



Information-technology
Promotion
Agency, Japan

2015年度

情報セキュリティの脅威に対する意識調査
— 調査報告書 —

2015年12月

独立行政法人 情報処理推進機構

1. 調査概要	3
2. 回答者属性	6
3. 結果概要	9
4. 調査結果詳細<パソコン調査>	16
4-1. パソコンでのインターネット利用状況	17
4-2. 情報セキュリティの脅威に対する意識	38
4-3. 情報セキュリティに関する被害状況	53
4-4. 情報セキュリティ対策の実施状況	62
5. 調査結果詳細<スマートデバイス調査>	95
5-1. スマートデバイスでのインターネット利用状況	96
5-2. 情報セキュリティの脅威に対する意識・被害状況・対策	107

1.調査概要

1. 調査目的

- 本調査は、過去に当機構が実施した「情報セキュリティの脅威に対する意識調査」を継承し、インターネット利用者を対象としたアンケート調査を実施することで、パソコンおよびスマートデバイスの個人利用者が、情報セキュリティ関連の脅威に対する認識をどの程度深めているか、どの程度対策を進めているか等を把握し、今後の普及啓発活動に役立てることを目的とする。

2. 調査手法

- 株式会社クロス・マーケティングが保有するアンケートモニターに対して行ったWebアンケート方式。

3. 調査時期

- 2015年10月7日(水)～10月18日(日)

4. 調査対象者

- 全国13歳以上の、①パソコンでのインターネット利用者、ならびに②スマートデバイス(スマートフォンまたはタブレット端末)でのインターネット利用者。それぞれの利用者の性別・年代別構成をもとに割り付けて回収(下表参照)。

5. 有効回収数 ・割付

- ①パソコンでの情報セキュリティの脅威に対する意識調査(以下「パソコン調査」) 5,000サンプル
 - ②スマートデバイスでの情報セキュリティの脅威に対する意識調査(以下「スマートデバイス調査」) 5,000サンプル
- ※ ①②の振り分けにあたっては、事前調査にて、①は「インターネットはパソコンのみで行う」または「インターネットの利用時間がスマートデバイスよりパソコンの方が長い」回答者を、②は「インターネットはスマートデバイスのみで行う」または「インターネットの利用時間がパソコンよりスマートデバイスの方が長い」回答者を抽出。

①パソコン調査

	男性		女性		合計	
	回答者数	割合(%)	回答者数	割合(%)	回答者数	割合(%)
13-14歳	60	1.2%	55	1.1%	115	2.3%
15-19歳	185	3.7%	170	3.4%	355	7.1%
20-29歳	410	8.2%	345	6.9%	755	15.1%
30-39歳	490	9.8%	435	8.7%	925	18.5%
40-49歳	575	11.5%	510	10.2%	1,085	21.7%
50-59歳	460	9.2%	355	7.1%	815	16.3%
60-69歳	405	8.1%	255	5.1%	660	13.2%
70歳以上	200	4.0%	90	1.8%	290	5.8%
合計	2,785	55.7%	2,215	44.3%	5,000	100%

②スマートデバイス調査

	男性		女性		合計	
	回答者数	割合(%)	回答者数	割合(%)	回答者数	割合(%)
13-14歳	50	1.0%	55	1.1%	105	2.1%
15-19歳	245	4.9%	245	4.9%	490	9.8%
20-29歳	560	11.2%	550	11.0%	1,110	22.2%
30-39歳	625	12.5%	625	12.5%	1,250	25.0%
40-49歳	585	11.7%	580	11.6%	1,165	23.3%
50-59歳	340	6.8%	290	5.8%	630	12.6%
60-69歳	135	2.7%	115	2.3%	250	5.0%
合計	2,540	50.8%	2,460	49.2%	5,000	100%

6.留意事項①

- 回答者数が30未満の層については参考値とする。
- 各質問文における記号やアイコンの意味は下記の通り。
Q.O :本調査における質問番号
Q.OSQ :本調査における質問番号(サブクエスチョン)
SQ.O :事前調査における質問番号
(SA) :単一回答(シングルアンサー)質問
(MA) :複数回答(マルチアンサー)質問
(NU) :数値回答質問
- 図表内のスコアについては、四捨五入表示の関係で、小数点1桁目がずれることもある。
- 今回調査(2015年10月調査)は、前回調査(2014年10月調査)から、調査対象者の年代構成を変更しているため、時系列データで比較する際、厳密には全体値の単純比較はできない。
- 今回調査で使用した調査票は当機構のWebページにて公開している。
<https://www.ipa.go.jp/security/fy27/reports/ishiki/index.html>

1.調査概要

6.留意事項②

- 本調査報告書で時系列で比較している過去の調査結果は、以下のURLで報告書全文を公開している。

「2014年度 情報セキュリティの脅威に対する意識調査」調査報告書(2014年10月調査)

<https://www.ipa.go.jp/security/fy26/reports/ishiki/index.html>

「2013年度 情報セキュリティの脅威に対する意識調査」調査報告書(2013年10月調査)

<https://www.ipa.go.jp/security/fy25/reports/ishiki/index.html>

「2012年度 情報セキュリティの脅威に対する意識調査」調査報告書(2012年10月調査)

<http://www.ipa.go.jp/security/fy24/reports/ishiki/index.html>

「2011年度 情報セキュリティの脅威に対する意識調査」調査報告書(2011年10月調査)

<http://www.ipa.go.jp/security/fy23/reports/ishiki/index.html>

「2010年度 情報セキュリティの脅威に対する意識調査」調査報告書(2010年10月調査)

<http://www.ipa.go.jp/security/fy22/reports/ishiki/index.html>

「2009年度 情報セキュリティの脅威に対する意識調査」調査報告書(2009年8月調査)

<http://www.ipa.go.jp/security/fy21/reports/ishiki/index.html>

「2008年度第2回 情報セキュリティの脅威に対する意識調査」調査報告書(2009年1月調査)

<http://www.ipa.go.jp/security/fy20/reports/ishiki02/index.html>

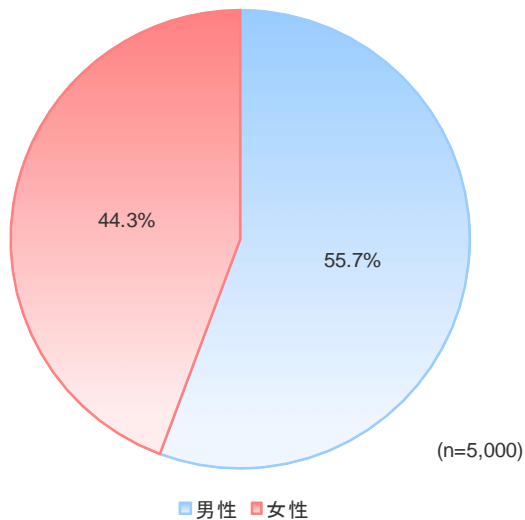
「2008年度第1回 情報セキュリティの脅威に対する意識調査」調査報告書(2008年7月調査)

<http://www.ipa.go.jp/security/fy20/reports/ishiki01/index.html>

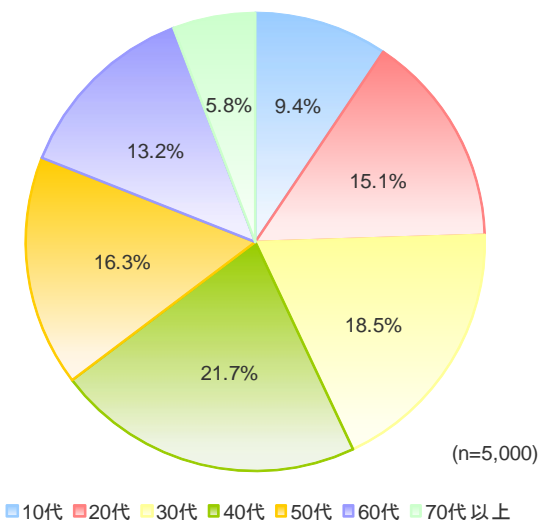
2.回答者属性

2.回答者属性(パソコン) n=5,000

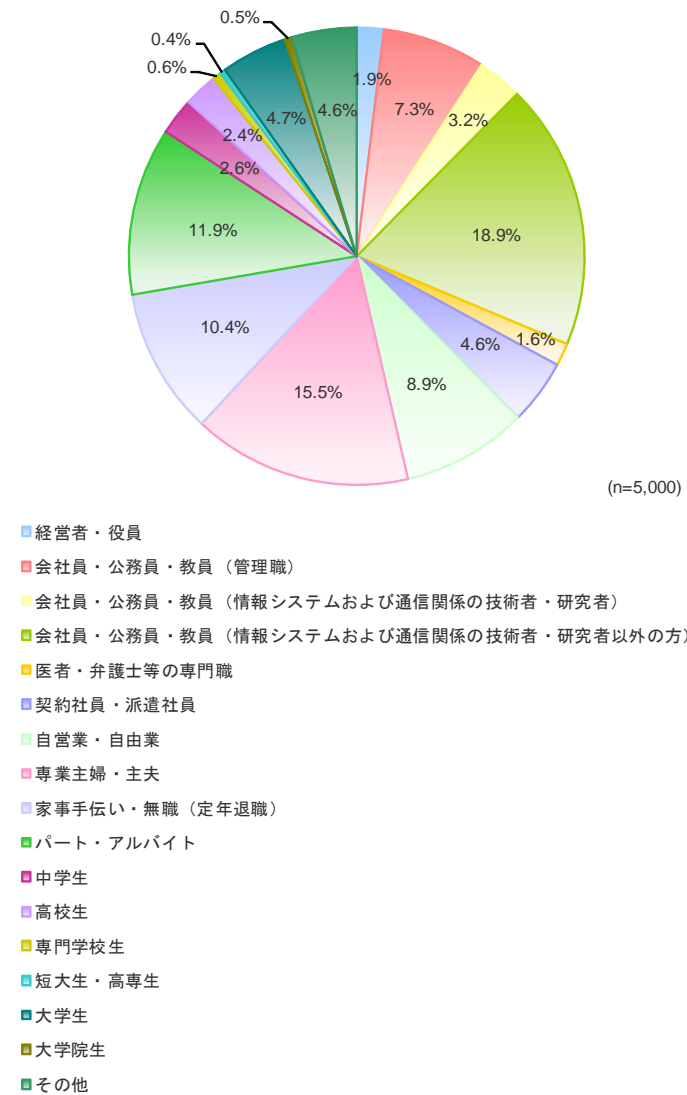
性別



年齢

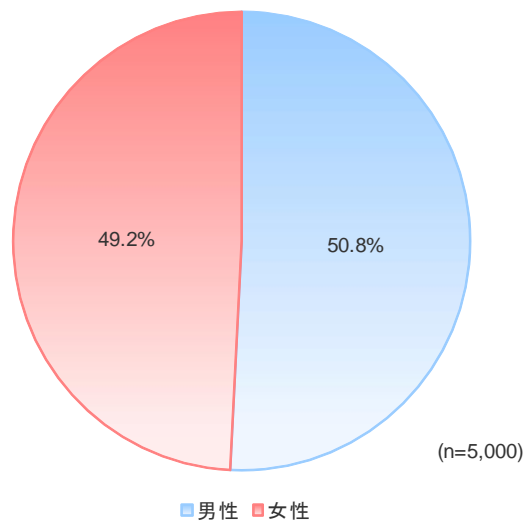


職業

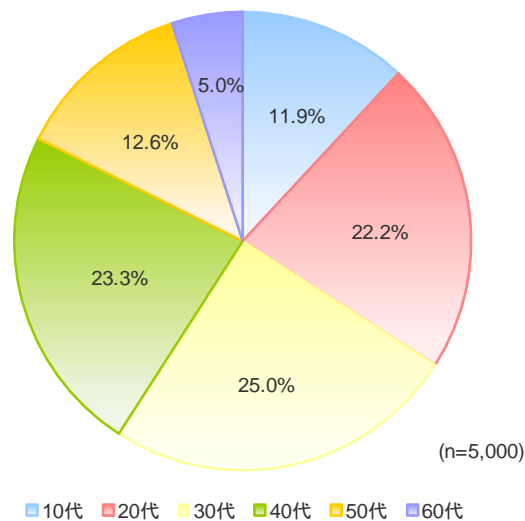


2.回答者属性(スマートデバイス) n=5,000

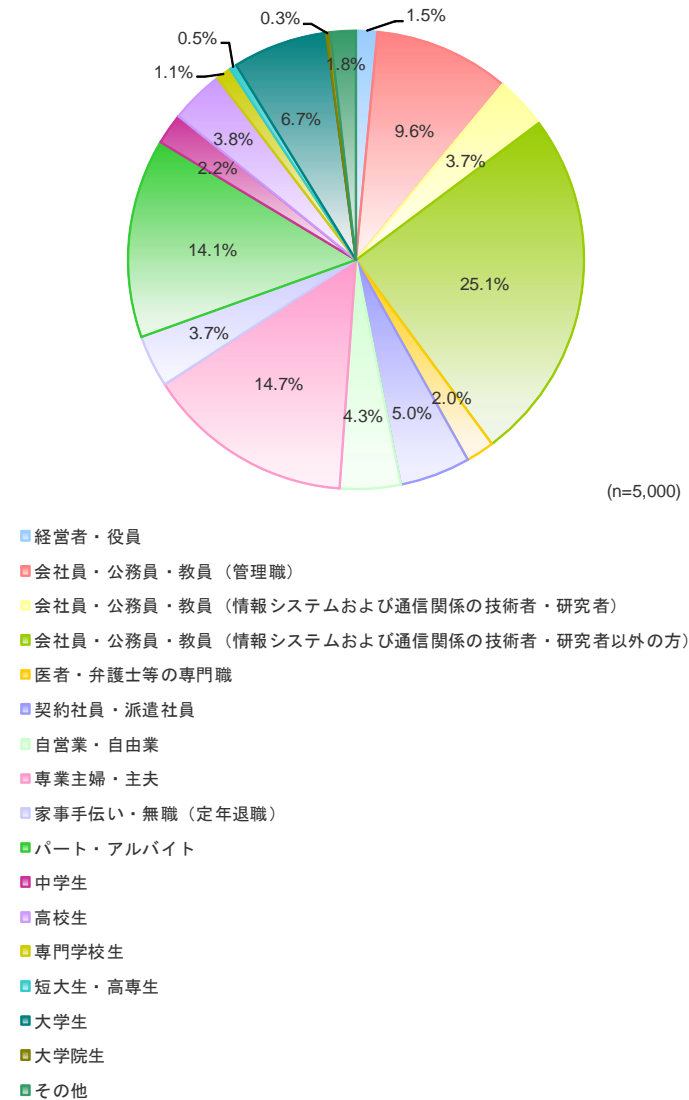
性別



年齢



職業



3.結果概要

3.結果概要(1) インターネットサービスの利用状況

インターネットは主に情報収集や買い物目的での利用が多い。スマートデバイスでは「SNS」も約6割と利用者が多い。公衆無線LANの利用率が前回調査から約20ポイントと大幅に増加。主な利用サービスはホームページやブログの閲覧。

- インターネット利用時の使用機器は、パソコンでは「Windows 7」が最多。スマートデバイスでは、iOSとAndroidがほぼ同数。

パソコン利用者の使用機器のOS

- インターネットを利用する際に使用している機器のOSは、「Windows 7」(46.2%)が最も高く、次いで「Windows 8/8.1」(25.0%)が高い。

【パソコン調査】4-1-3.使用機器のOS①(p.19)

【パソコン調査】4-1-3.使用機器のOS②(p.20)

スマートデバイス利用者の使用機器のOS

- インターネットを利用する際に使用しているスマートデバイスのOSは、iOS(44.4%)とAndroid(45.7%)がほぼ同数で、前回調査とほぼ同様の結果となった。

【スマートデバイス調査】5-1-3.使用機器のOS(p.98)

- インターネットの利用用途は「検索サイト・ポータルサイト」のほか、「インターネットショッピング」、「ニュースサイト」。スマートデバイスでは「SNS」も。

パソコン利用者のインターネットの利用用途

- パソコンでのインターネットの利用用途は、「検索サイト・ポータルサイト」(82.5%)が8割以上と最も高く、次いで「インターネットショッピング」(66.9%)、「ニュースサイト」(58.0%)と続く。

- 過去の調査と比較すると、ほぼ前回調査並みの利用率となっているものが多いが、「懸賞サイト」の利用率は20.9%と、前回調査(39.6%)より下がっている。

【パソコン調査】4-1-7.インターネットの利用用途①(p.27)

【パソコン調査】4-1-7.インターネットの利用用途②(p.28)

スマートデバイス利用者のインターネットの利用用途

- スマートデバイスでのインターネットの利用用途は、「検索サイト・ポータルサイト」(80.1%)が最も高く、次いで「ニュースサイト」(59.2%)となり、上位は情報収集系の用途。3位以下は、「SNS」(58.1%)、「インターネットショッピング」(57.7%)、「電子メール・SMS」(52.1%)と続く。

- 過去の調査と比較すると、上位の利用用途や順位はほぼ同様の結果となった。「動画共有サイト」(38.2%)が、前回調査と比べて約10ポイント減少。

【スマートデバイス調査】5-1-7.インターネットの利用用途①(p.104)

【スマートデバイス調査】5-1-7.インターネットの利用用途②(p.105)

- スマートデバイスでの公衆無線LAN利用率が上昇。利用しているサービスは、「ホームページやブログなどの閲覧」が約8割。

スマートデバイス利用者の無線LAN(Wi-Fi)接続時の環境

- 無線LAN(Wi-Fi)接続時の環境は、「暗号化や認証等のセキュリティ対策が施されている環境で接続する」(58.6%)が最も高く、次いで「公衆無線LANなどフリーWi-Fiを利用して接続する」(28.7%)が高い。

- 前回調査と比較すると、「公衆無線LANなどフリーWi-Fiを利用して接続する」が前回調査から約20ポイントと大幅に増加。

【スマートデバイス調査】5-2-3.無線LAN(Wi-Fi)接続時の環境(p.110)

スマートデバイス利用者の公衆無線LAN接続時の利用サービス

- 公衆無線LAN(Wi-Fi)接続時に利用しているサービスは、「ホームページやブログなどの閲覧」(83.0%)が最も高い。次いで「Web掲示板やSNSへの書き込み」(33.8%)、「ネットショッピングやネットオークションでの買い物」(32.4%)が約3割。

【スマートデバイス調査】5-2-4.公衆LAN(Wi-Fi)接続時に利用しているサービス(p.111)

3.結果概要(2) インターネット利用時の不安要素

インターネット利用時の不安要素は、サイトやサービスを問わず「コンピュータウイルスへの感染が心配」が多い。漏えいしたら困る情報は「クレジットカード番号・使用期限」、「銀行の口座情報」、「マイナンバー(個人番号)」、「住所」などが7割以上。

■ インターネット利用時の不安要素は、「コンピュータウイルスへの感染」が上位。掲示板やSNSでの「個人情報の掲載や誹謗・中傷」は減少。

パソコン利用者のインターネット利用時の不安要素

- インターネット利用時の不安要素について、「検索サイト・ポータルサイト」、「ニュースサイト」、「企業・団体のサイト」、「インターネットショッピング」では、時系列による大きな変化は見られないが、サイトやサービスを問わず「コンピュータウイルスへの感染」については一定数不安を感じる利用者が存在している。
- インターネット利用時の不安要素について、「インターネットオークション」、「インターネットバンキング」、「株のネット取引」、「旅行のオンライン予約サイト」では、時系列による大きな変化は見られない。「インターネットバンキング」では、「知らない間に銀行口座からお金が引き出されることが心配」(37.5%)が高い。
- インターネット利用時の不安要素について、「商品比較・口コミ等のコミュニティサイト」、「Q & Aサイト」、「掲示板」、「Wikipedia等、百科事典サイト、オンライン辞書」では、時系列による大きな変化は見られないが、「掲示板」における「知らないところでの個人情報の掲載や誹謗・中傷などが心配」(14.9%)の割合は徐々に減少。
- インターネット利用時の不安要素について、「SNS」、「通話・コミュニケーション」、「電子メール」、「オンラインゲーム」では、時系列による大きな変化は見られないが、「電子メール」、「オンラインゲーム」における「コンピュータウイルスへの感染が心配」の割合が前回調査から約2ポイントとわずかに増加。
- インターネット利用時の不安要素について、「懸賞サイト」、「映像や音楽、電子書籍の購入」、「動画共有サイト」、「クラウドサービス」では、過去の調査と比較して、大きな変化は見られない。「懸賞サイト」における「コンピュータウイルスへの感染が心配」(27.4%)、「パソコンに届く迷惑メールが増えることが心配」(28.5%)の割合は前回、前々回調査と同様やや高い。
- インターネット利用時の不安要素について、「アダルトサイトの閲覧」、「海外サイトの閲覧」、「ファイル交換ソフトの利用」では、「コンピュータウイルスへの感染が心配」の割合が高い。

【パソコン調査】4-1-10.インターネット利用時の不安要素①(p.31)

【パソコン調査】4-1-10.インターネット利用時の不安要素②(p.32)

【パソコン調査】4-1-10.インターネット利用時の不安要素③(p.33)

【パソコン調査】4-1-10.インターネット利用時の不安要素④(p.34)

【パソコン調査】4-1-10.インターネット利用時の不安要素⑤(p.35)

【パソコン調査】4-1-10.インターネット利用時の不安要素⑥(p.36)

■ インターネット上に漏えいしたら困る情報の上位は、「クレジットカード番号・使用期限」、「銀行の口座情報」、「マイナンバー(個人番号)」、「住所」などの情報。

パソコン利用者のインターネット上に漏えいしたら困る情報

- インターネット上に漏えいしたら困る情報は、「クレジットカード番号・使用期限」(75.1%)、「銀行の口座情報」(74.4%)、「マイナンバー(個人番号)」(73.1%)、「住所」(70.9%)が7割を超える。「固定電話番号」(55.2%)、「自分が写っている写真」(43.7%)、「勤務先・通学先」(35.9%)は前回調査より5ポイント以上減少。

【パソコン調査】4-1-11.インターネット上に漏えいしたら困る情報(p.37)

スマートデバイス利用者のインターネット上に漏えいしたら困る情報

- インターネット上に漏えいしたら困る情報は、「住所」(79.1%)と「銀行の口座情報」(78.3%)、「クレジットカード番号・使用期限」(78.1%)、「マイナンバー(個人番号)」(78.0%)が約8割でほぼ並ぶ。「ウェブの検索履歴」(32.3%)や「ウェブの閲覧履歴」(32.1%)など、インターネットを使った上での情報に対しては、あまり意識は高くない。前回調査とほぼ同様の結果となった。

【スマートデバイス調査】5-1-8.インターネット上に漏えいしたら困る情報(p.106)

3.結果概要(3) 情報セキュリティの脅威に関する認知・理解

情報セキュリティに関する攻撃・脅威等では、「ワンクリック請求」、「フィッシング詐欺」の認知度が約9割と高い。スマートデバイスのウイルスの認知率は、前回調査より減少したものの、約7割と高いが、習熟度による認知率の差が大きい。

■ 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等では、認知度・理解度ともに「ワンクリック請求」が高め。

パソコン利用者の情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知・理解

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知度(「詳しい内容を知っている」+「概要をある程度知っている」+「名前を聞いたことがある程度」)は、「ワンクリック請求」(89.1%)、「フィッシング詐欺」(87.6%)、「cookie」(81.7%)で8割を超える。一方、「オプトアウト/オプトイン」(29.3%)、「ランサムウェア」(26.9%)では、3割を下回った。
- 過去調査と比較すると、「マルウェア」(48.7%)の認知度は引き続き増加。「偽セキュリティソフト」(55.7%)は緩やかに増加し、「ランサムウェア」も前回から約4ポイント増加。
- 「標的型攻撃」(51.2%)は前回調査より約5ポイント増加したものの、認知度は約半数。
- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度は、今回調査においては「ワンクリック請求」(25.6%)の全問正解率が最も高く、次いで「セキュリティホール(脆弱性)」(20.8%)、「フィッシング詐欺」(18.4%)と続く。
- 全問正解率を過去調査と比較すると、「フィッシング詐欺」、「セキュリティホール(脆弱性)」が引き続き減少。

【パソコン調査】4-2-1.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知①(p.38)

【パソコン調査】4-2-1.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知②(p.39)

【パソコン調査】4-2-3.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度①(p.41)

【パソコン調査】4-2-3.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度②(p.42)

【パソコン調査】4-2-3.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度③(p.43)

【パソコン調査】4-2-3.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度④(p.44)

【パソコン調査】4-2-3.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度⑤(p.45)

【パソコン調査】4-2-3.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度⑥(p.46)

■ スマートデバイスのウイルス認知は、前回調査から約11ポイント減少し、約7割。習熟度による認知率の差が大きい。

スマートデバイスのウイルス認知

- スマートデバイスのウイルスの認知率(「詳しい内容について知っている」+「概要をある程度知っている」+「そのようなものがあることを聞いたことがある程度である」)は、72.0%で約7割。前回調査から約11ポイント減少。
- 習熟度による認知率の差が大きく、レベル4(87.2%)とレベル1(42.8%)では40ポイント以上の差が見られる。

【スマートデバイス調査】5-2-5.スマートデバイスのウイルス認知(p.112)

3.結果概要(4) 情報セキュリティに関する被害・トラブル経験

パソコン利用者の過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブルの経験率は約3割。
情報セキュリティに関する金銭的被害の経験率は3.7%で前回調査と同程度。

- 過去1年間の被害経験率は約3割。被害経験者の約3人に1人が「自力で対処」、約4人に1人が「何もしなかった」と回答。

パソコン利用者の情報セキュリティに関する被害・トラブル経験

- 過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブルの状況について、何らかの被害があった人は約3割。「全く知らない差出人から大量のメールが送られてきた」(13.1%)が最も高く、次いで「急にパソコンの動作が重くなったり、動かなくなったりした」(10.9%)、「コンピュータウイルスに感染した(感染後にセキュリティソフトが検出したケースを含む)」(8.1%)と続く。
- 過去の調査と比較すると、「コンピュータウイルスに感染した(感染後にセキュリティソフトが検出したケースを含む)」、「全く知らない差出人から大量のメールが送られてきた」は引き続き減少。
- 情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法は、「自力で対処」(36.1%)が最も高く、「家族・友人・知人に相談」も16.4%と続く。一方、被害にあったことがある人のうち、約4人に1人が「何もしなかった」(25.9%)と回答している。
- 過去の調査と比較すると、「自力で対処」、「銀行・クレジットカード会社へ連絡」(6.6%)が引き続き減少。「パソコンメーカーに相談」(12.5%)が引き続き増加。一方、前回調査まで増加していた「プロバイダに相談」(10.4%)、「サービス(オークションやゲーム等)の提供会社に相談」(4.7%)、前々回調査まで増加していた「何もしなかった」は減少。
- 情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由は、「対処の必要性を感じなかった」(50.6%)が約半数と最も高く、次いで「何をしてもよいかわからなかった」(39.7%)も約4割と高い。「面倒だった」(13.4%)は前回調査に引き続き減少。

【パソコン調査】4-3-1.過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブル①(p.53)

【パソコン調査】4-3-1.過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブル②(p.54)

【パソコン調査】4-3-4.情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法①(p.59)

【パソコン調査】4-3-4.情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法②(p.60)

【パソコン調査】4-3-5.情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由(p.61)

- パソコンでの情報セキュリティに関する金銭的被害の経験率は3.7%で前回調査と同程度。「1万円未満」が約半数(46.6%)で、平均被害金額は54,523円。

パソコン利用者の情報セキュリティに関する金銭的被害経験

- 過去1年間に情報セキュリティに関する被害・トラブルを経験した人のうち、金銭的被害経験者は3.7%で、前回調査と同程度。
- 過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額は、「1万円未満」(46.6%)が約半数と、過去の調査と比べて低被害金額の割合が高い。
- 平均被害金額は54,523円と、前回調査より低いものの、過去の調査と比べて同水準。最高被害金額は100万円と金額が大きく、内容は「知らない間に、銀行口座からお金が引き出された(不正送金を含む)」であった。

【パソコン調査】4-3-2.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害経験(p.55)

【パソコン調査】4-3-3.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額①(p.56)

【パソコン調査】4-3-3.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額②(p.57)

【パソコン調査】4-3-3.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額③(p.58)

3.結果概要(5) 情報セキュリティに関する被害・トラブル経験

スマートデバイス利用者のウイルスの感染・発見経験率が、年々増加。

最も被害金額の大きいものは「ホームページ閲覧中に表示された、契約した覚えのない料金支払い要求メッセージ」の10万円。※

※回答数が少ないため、スマートデバイス利用者の被害金額・件数については参考値

■ スマートデバイスのウイルスは感染経験、発見経験ともに、年々増加。

スマートデバイス利用者のウイルス感染経験

- スマートデバイスのウイルス感染経験は、「感染したことがある」(4.4%)、「感染したことはないが、セキュリティソフトなどで発見したことがある」(19.2%)で、感染経験、発見経験ともに、年々増加。
- スマートデバイスのウイルス感染時の被害は、「個人情報の流出」(37.5%)が最も高く、次いで「友人・知人の情報の流出」(26.6%)、「不正な請求メッセージの表示」(20.3%)と続く。「感染はしたが被害は特になかった」(29.7%)が約3割で、前回調査から約18ポイント増加。
- 今回調査から追加した「画面がロックされる等、スマートデバイスが利用できなくなった」(10.9%)は約1割と、数は少ないがランサムウェアによるものと思われる被害が見られる。
- 情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法は、「スマートデバイスメーカーに相談」(42.2%)が最も高く、「携帯電話会社(キャリア)に相談」(37.8%)、「スマートデバイスを購入した販売店に相談」(26.7%)と続く。パソコンとは異なり、「自力で対処」(11.1%)の割合は低く、メーカーやキャリア、販売店などサポートの助力を必要とする利用者が多い。

【スマートデバイス調査】5-2-6.スマートデバイスのウイルス感染経験(p.113)

【スマートデバイス調査】5-2-7.スマートデバイスのウイルス感染時の被害状況(p.114)

【スマートデバイス調査】5-2-8.セキュリティ被害・トラブル時の対処法(p.115)

■ 最も被害金額の大きいものは「ホームページ閲覧中に表示された、契約した覚えのない料金支払い要求メッセージ」の10万円。

スマートデバイス利用者の情報セキュリティに関する金銭的被害経験

- スマートデバイス利用者の情報セキュリティに関する金銭的被害経験は、「ホームページ閲覧中に表示された、契約した覚えのない料金支払い要求メッセージ」の件数が最も多い。
- 最高被害金額は、「ホームページ閲覧中に表示された、契約した覚えのない料金支払い要求メッセージ」の10万円。
- その他の被害では、被害金額は数千円～1万円の範囲に収まっている。

【スマートデバイス調査】5-2-10.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額(p.117)

3.結果概要(6) 情報セキュリティ対策の浸透度

パソコン利用者の情報セキュリティ対策として「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」を半数以上が実施。パスワードを定期的に変更する人が約2割とわずかに増加。管理方法は「自分で記憶」、「紙にメモ」などが大半。

- パソコンでの情報セキュリティ対策は「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」。スマートデバイスでは「OSのアップデート」、「信頼できる場所からアプリをインストールする」。

パソコン利用者の情報セキュリティ対策の状況

- 情報セキュリティ対策は、「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」(52.1%)が半数以上と最も高く、次いで「不審な電子メールの添付ファイルは開かない」(44.2%)、「WindowsUpdate等によるセキュリティパッチの更新」(44.1%)と続く。

【パソコン調査】4-4-8.情報セキュリティ対策(p.73)

スマートデバイス利用者の情報セキュリティ対策の状況

- スマートデバイスのセキュリティ対策は、「OSのアップデート」(40.7%)と「信頼できる場所からアプリをインストールする」(40.6%)が約4割とほぼ同率で並ぶ。次いで「インストールしたアプリのアップデート」(36.5%)が続く。「特になし」(26.6%)は3割未満に留まる。

【スマートデバイス調査】5-2-13.スマートデバイスのセキュリティ対策の実施状況(p.120)

- パスワードを定期的に変更している人は約2割とわずかに増加。管理方法は「自分で記憶している」、「手帳などの紙にメモをしている」が大半。

パソコン利用者のパスワードの設定方法

- パスワードの設定方法は、「パスワードは誕生日など推測されやすいものを避けて設定している」(49.1%)、「パスワードはわかりにくい文字列(8文字以上、記号含む)を設定している」(46.5%)が上位。
- 過去の調査と比較すると、「パスワードは定期的に変更している」(22.2%)が引き続き増加している一方、「パスワードは誕生日など推測されやすいものを避けて設定している」、「パスワードはわかりにくい文字列(8文字以上、記号含む)を設定している」は引き続き減少。
- インターネットで利用しているID(アカウント)を2種類以上管理している利用者の中、サービス毎に異なるパスワードを設定しているのは32.6%と約3割。習熟度のレベルが高くなるほど、サービス毎に異なるパスワードを設定している割合が高い。
- ID・パスワードの管理方法は、「自分で記憶している」(53.9%)、「手帳などの紙にメモをしている」(49.0%)が上位。前回調査と比べると、「自分で記憶している」、「ブラウザの保存機能を使っている」(10.4%)がわずかに減少しているものの、大きな変化は見られない。

【パソコン調査】4-4-1.パスワードの設定方法①(p.62)

【パソコン調査】4-4-1.パスワードの設定方法②(p.63)

【パソコン調査】4-4-1.パスワードの設定方法③(p.64)

【パソコン調査】4-4-1.パスワードの設定方法④(p.65)

【パソコン調査】4-4-1.パスワードの設定方法⑤(p.66)

【パソコン調査】4-4-2.ID・パスワードの管理方法(p.67)

4.調査結果詳細<パソコン調査>

<設問種別>

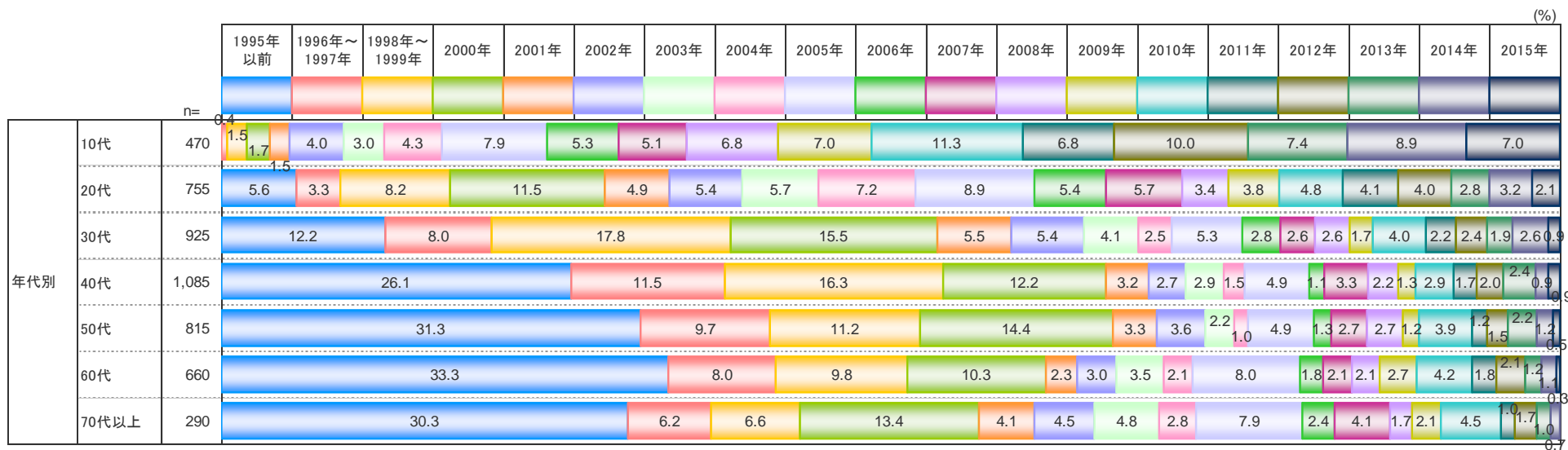
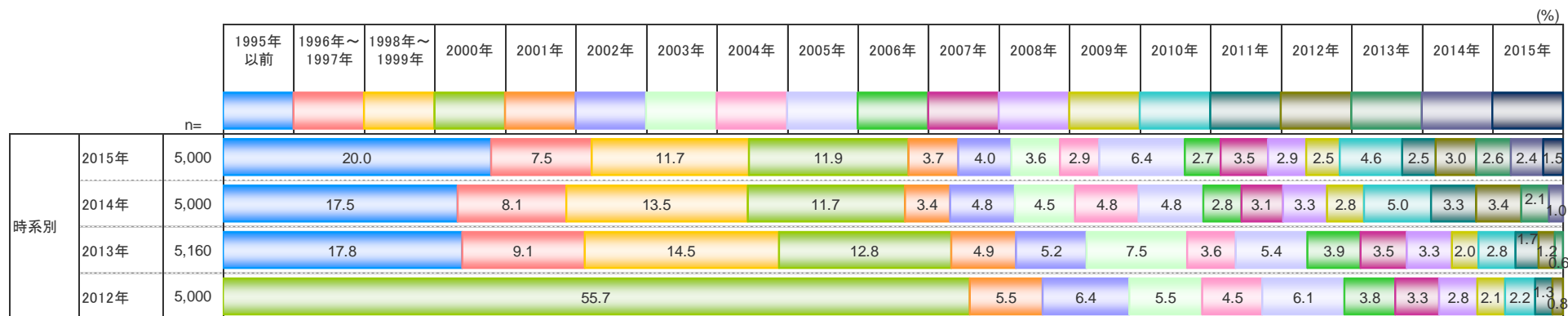
SA..... 単一回答
MA..... 複数回答
NU..... 数値回答
FA..... 自由回答

4-1.パソコンでのインターネット利用状況 4-1-1.インターネット利用開始時期

■ パソコンでのインターネット利用開始時期は、「1995年以前」(20.0%)が最も高く、次いで「2000年」、「1998年～1999年」がそれぞれ約1割で続く。

- ・年代別で見ると、20代では「2000年」(11.5%)、30代では「1998年～1999年」(17.8%)の割合が最も高い。
- ・40代～70代以上は、いずれも「1995年以前」の割合が約2～3割と最も高い。

Q.2 あなたが、パソコンでインターネットを利用し始めた時期はいつですか。
覚えていない場合はだいたいの時期で構いませんので以下よりご回答ください。(SA)



4-1-2.パソコンの習熟度

■ パソコンの習熟度は、レベル3の「必要なソフトウェアをインストールして使ったり、パソコンやソフトウェアの設定を変えて使ったりできるレベルである」(36.9%)、レベル2の「メールを使ったり、ホームページを閲覧したり、文章を書いたりするのに支障がないレベルである」(36.8%)の割合が、いずれも35%を超えており高い。

- 年代別で見ると、10代ではレベル1、20代ではレベル3の割合が、それぞれ他の年代と比べてやや高い。
- 70代以上では、レベル1~2の低い習熟度の割合が高い。
- 職業別で見ると、「会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)」ではレベル4、「会社員・公務員・教員(管理職)」では、レベル3の割合が高い。

Q.3 あなたはパソコンで以下のことを自分ひとりでできますか。(SA)

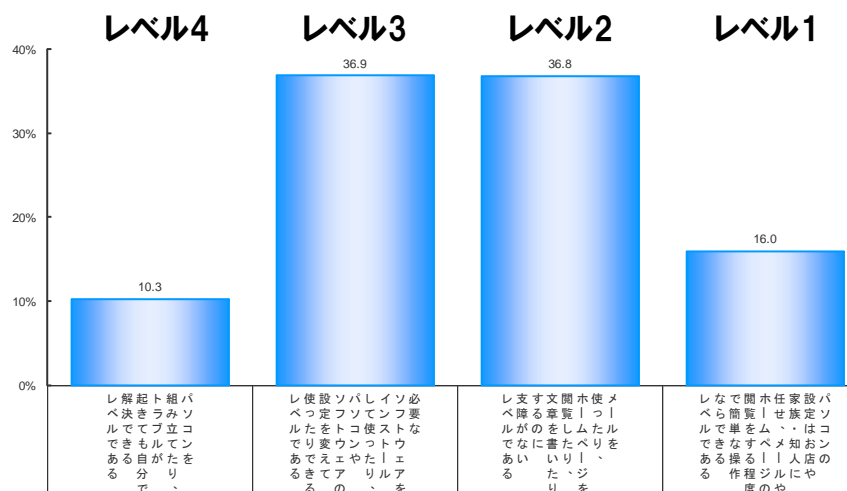
※習熟度を以下のように定義し、分析に使用している。

レベル4: 非常に習熟している(パソコンを組み立てたり、トラブルが起きても自分で解決できるレベルである)

レベル3: 習熟している(必要なソフトウェアをインストールして使ったり、パソコンやソフトウェアの設定を変えて使ったりできるレベルである)

レベル2: 基本操作は習熟(メールを使ったり、ホームページを閲覧したり、文章を書いたりするのに支障がないレベルである)

レベル1: 入門・初心者(パソコンの設定はお店や家族・知人に任せ、メールやホームページの閲覧をする程度で簡単な操作ならできるレベルである)



n=30以上で
 全体+10pt以上
 全体+5pt以上
 全体-5pt以下
 全体-10pt以下

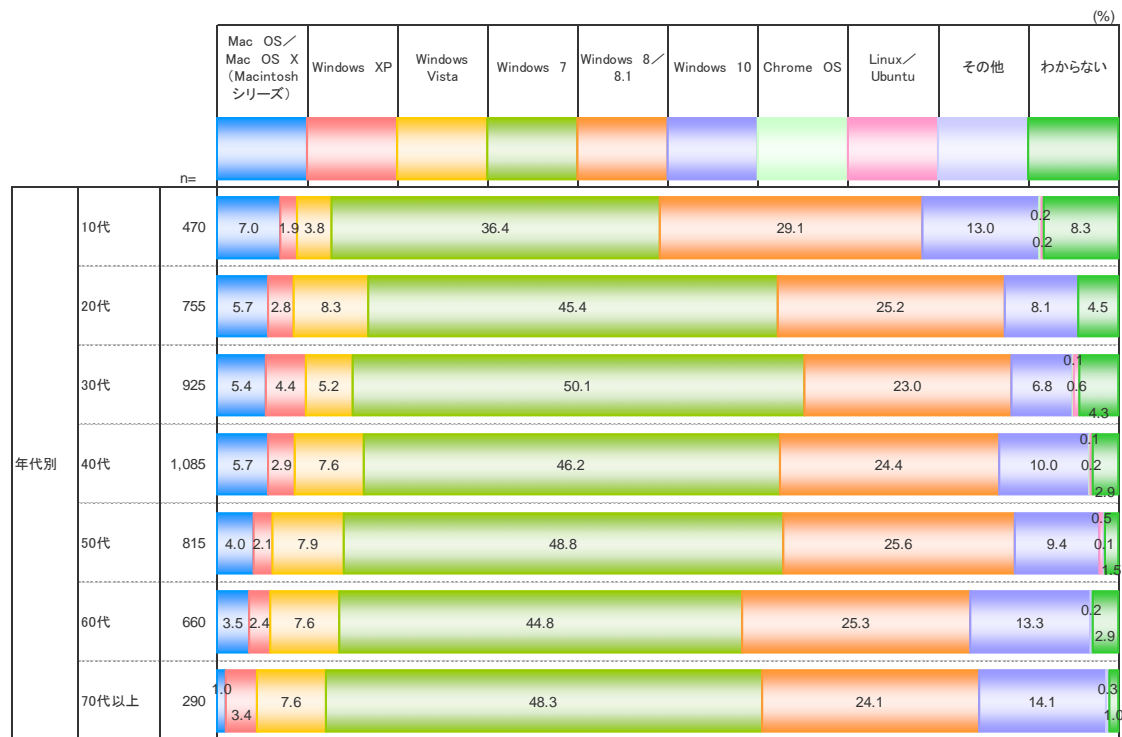
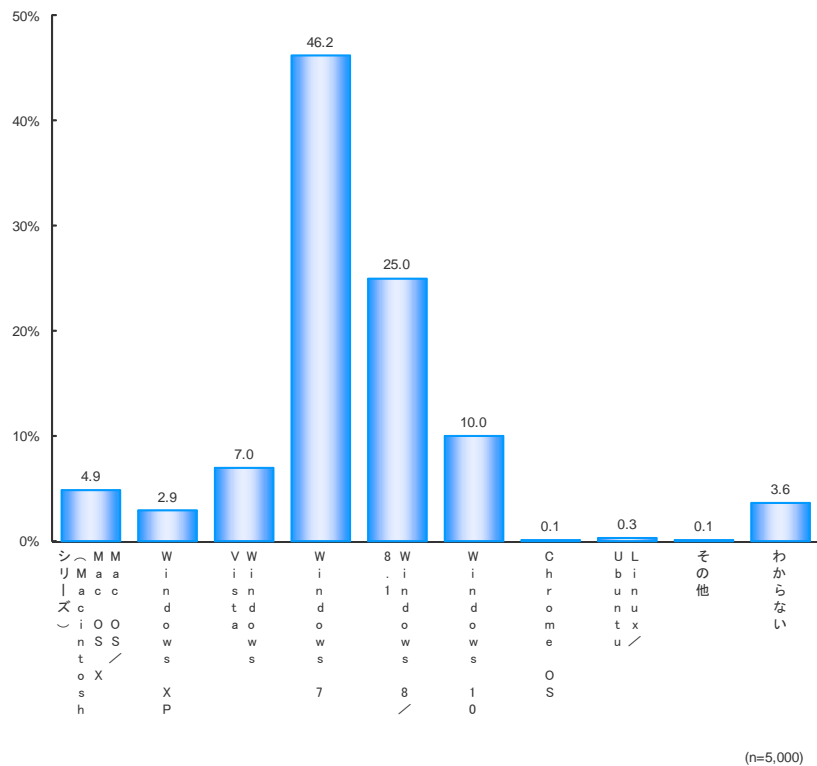
年代別	職業別	n	習熟度			
			レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
全体		5,000	10.3	36.9	36.8	16.0
10代		470	8.5	28.7	38.9	23.8
20代		755	7.9	43.7	37.4	11.0
30代		925	13.3	36.3	34.8	15.6
40代		1,085	13.9	39.0	33.5	13.6
50代		815	9.9	38.7	35.8	15.6
60代		660	8.0	34.4	38.5	19.1
70代以上		290	2.8	26.9	49.3	21.0
	経営者・役員	96	16.7	40.6	28.1	14.6
	会社員・公務員・教員(管理職)	364	15.9	49.7	25.0	9.3
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)	162	38.2	40.1	12.3	12.3
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者以外の方)	944	12.4	41.4	32.9	13.2
	医師・弁護士等の専門職	62	9.8	41.5	34.1	14.6
	契約社員・派遣社員	229	10.9	40.6	38.9	9.6
	自営業・自由業	443	16.5	43.8	31.8	7.9
	専業主婦・主夫	773	2.7	20.6	47.2	29.5
	寮生(アルバイト・無職(定年退職))	519	8.7	40.3	41.6	9.4
	パート・アルバイト	586	4.7	34.6	41.9	18.8
	中学生	129	7.0	11.6	35.7	45.7
	高校生	121	9.9	33.1	34.7	22.3
	専門学校生	30	20.0	33.3	30.0	16.7
	短大生・高専生	16		53.3	33.3	11.1
	大学生	237	8.9	38.4	42.2	10.5
	大学院生	26	7.7	53.8	23.1	15.4
	その他	231	7.8	40.3	39.8	12.1

※n=30未満は参考値のため灰色。

4-1-3.使用機器のOS①

- インターネットを利用する際に使用している機器のOSは、「Windows 7」(46.2%)が最も高く、次いで「Windows 8/8.1」(25.0%)が高い。
 - ・年代別の割合も、全体と大きく変わらないが、30代は「Windows 7」(50.1%)の割合が5割と半数を占めている。

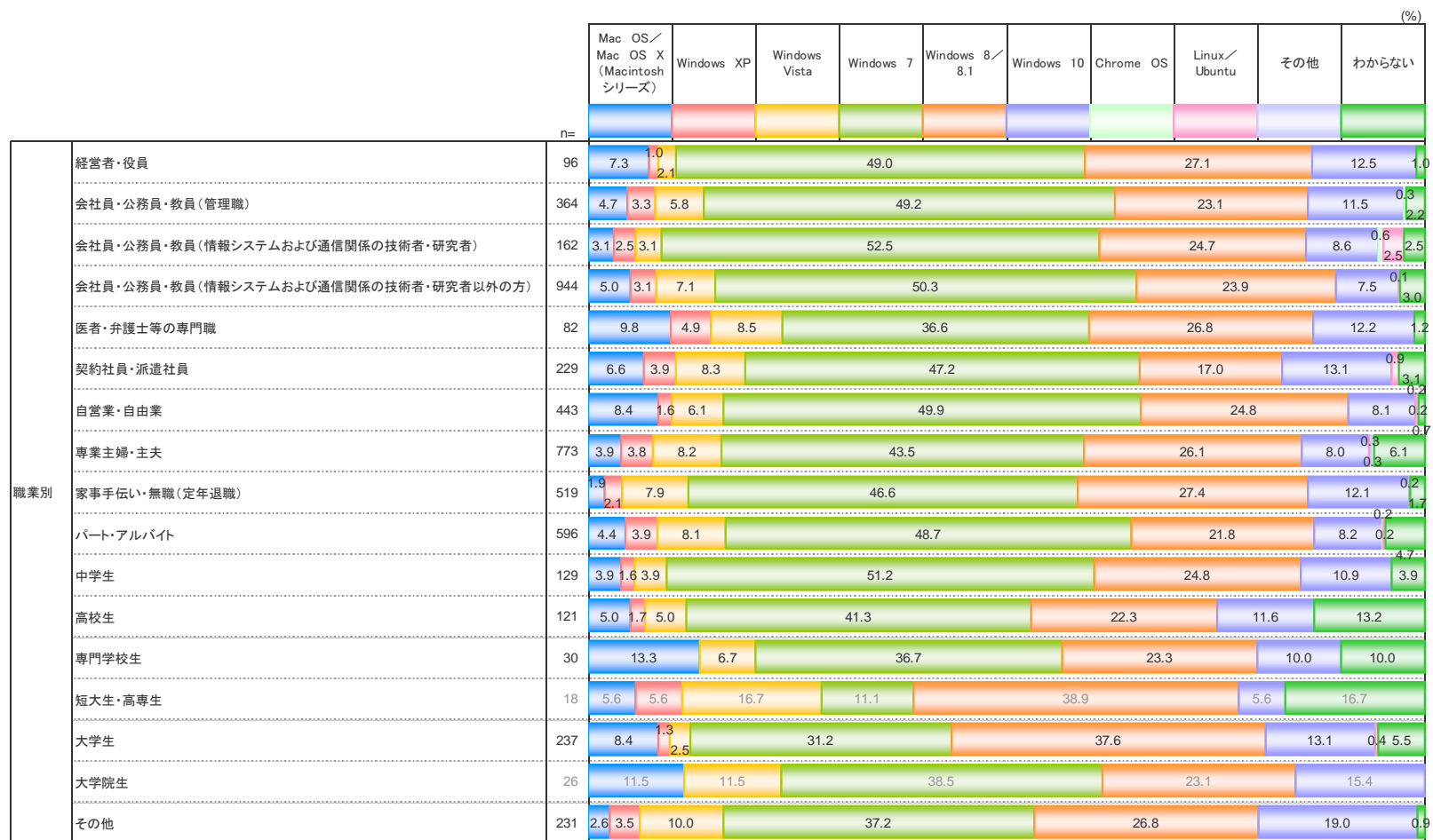
Q.1 あなたが主に利用しているパソコンのOSをお答えください。
 パソコンを複数お持ちの場合は、最もインターネットを利用しているパソコンについてお答えください。(SA)



4-1-3.使用機器のOS②

- インターネットを利用する際に使用している機器のOSについて、職業別で見ると、全般的に「Windows 7」が最も高く、次いで「Windows 8/8.1」が高い。
- 「Windows 7」の利用率は、有職者の中では管理職を除く会社員・公務員・教員などの職業、有職者以外では「中学生」がそれぞれ5割を超えている。

Q.1 あなたが主に利用しているパソコンのOSをお答えください。
 パソコンを複数台お持ちの場合は、最もインターネットを利用しているパソコンについてお答えください。(SA)



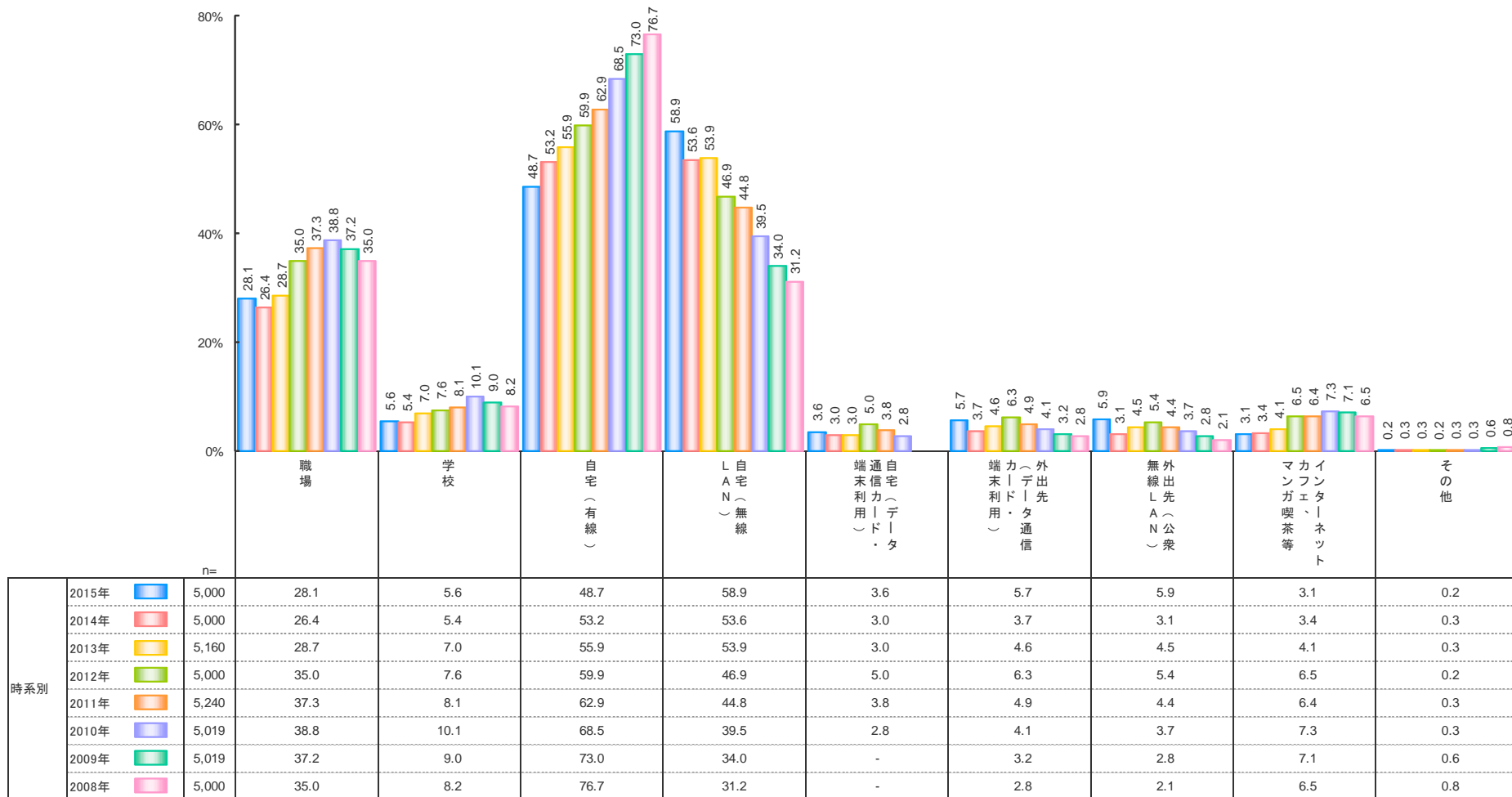
※n=30未満は参考値のため灰色。

4-1-4.パソコンでのインターネットの利用場所①

■ パソコンでのインターネットの利用場所について、過去の調査と比較すると、「自宅(有線)」の割合が年々減少している一方で、「自宅(無線LAN)」の割合は年々増加しており、今回調査では自宅の(有線)と(無線LAN)の割合が逆転している。(有線:48.7%/無線LAN:58.9%)

Q.4 あなたがパソコンでインターネットを利用する場所はどこですか。

※主に利用しているパソコンに限らずに、パソコンでインターネットを使用することのある場所をすべてお答えください。(MA)

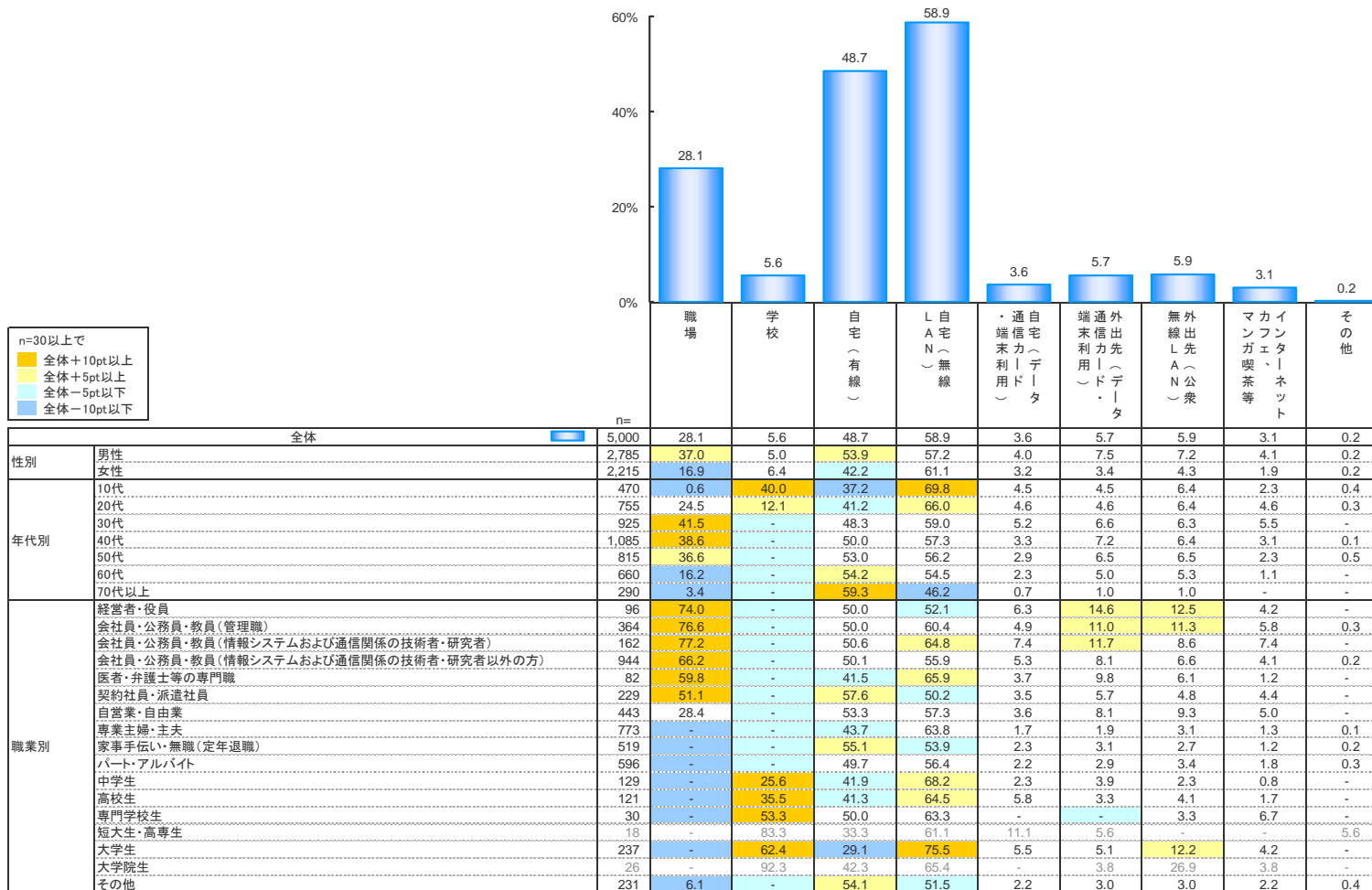


4-1-4.パソコンでのインターネットの利用場所②

- パソコンでのインターネットの利用場所を性別で見ると、男性では、「自宅(有線)」(53.9%)、「職場」(37.0%)がやや高い。
- 年代別で見ると、10代、20代では、「自宅(無線LAN)」の割合が6割台と高く、「自宅(有線)」は約4割に留まった。
- 70代以上では、「自宅(無線LAN)」(46.2%)より「自宅(有線)」(59.3%)の割合が高い。
- 職業別で見ると、「経営者・役員」、「会社員・公務員・教員」では、「自宅(有線・無線LAN)」より「職場」の利用率が高い。

Q.4 あなたがパソコンでインターネットを利用する場所はどこですか。

※主に利用しているパソコンに限らずに、パソコンでインターネットを使用することのある場所をすべてお答えください。(MA)



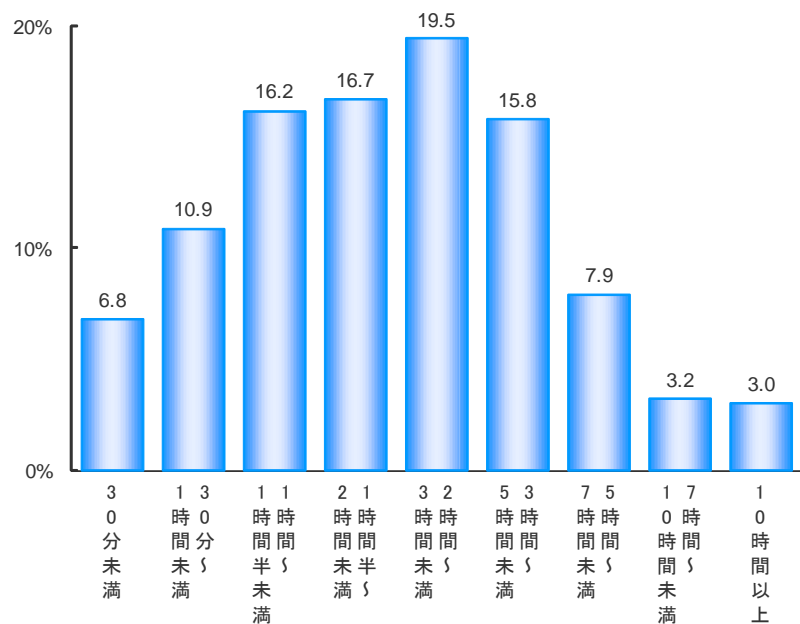
※n=30未満は参考値のため灰色。

4-1-5.パソコンでのインターネット利用時間(平日)①

■ 平日1日あたりのパソコンでのインターネット利用時間は、「2時間～3時間未満」(19.5%)の割合が最も高い。

- 年代別で見ると、10代は「30分未満」(19.1%)の割合が約2割と他の年代と比べて利用時間が短い。
- 40代以上では、「2時間～3時間未満」の割合が2割以上で最も高い。

SQ.5 あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日(またはお仕事や学校などのある日)／休日(またはお仕事や学校などのない日)の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。(お答えはそれぞれひとつずつ)
 ※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。(SA)



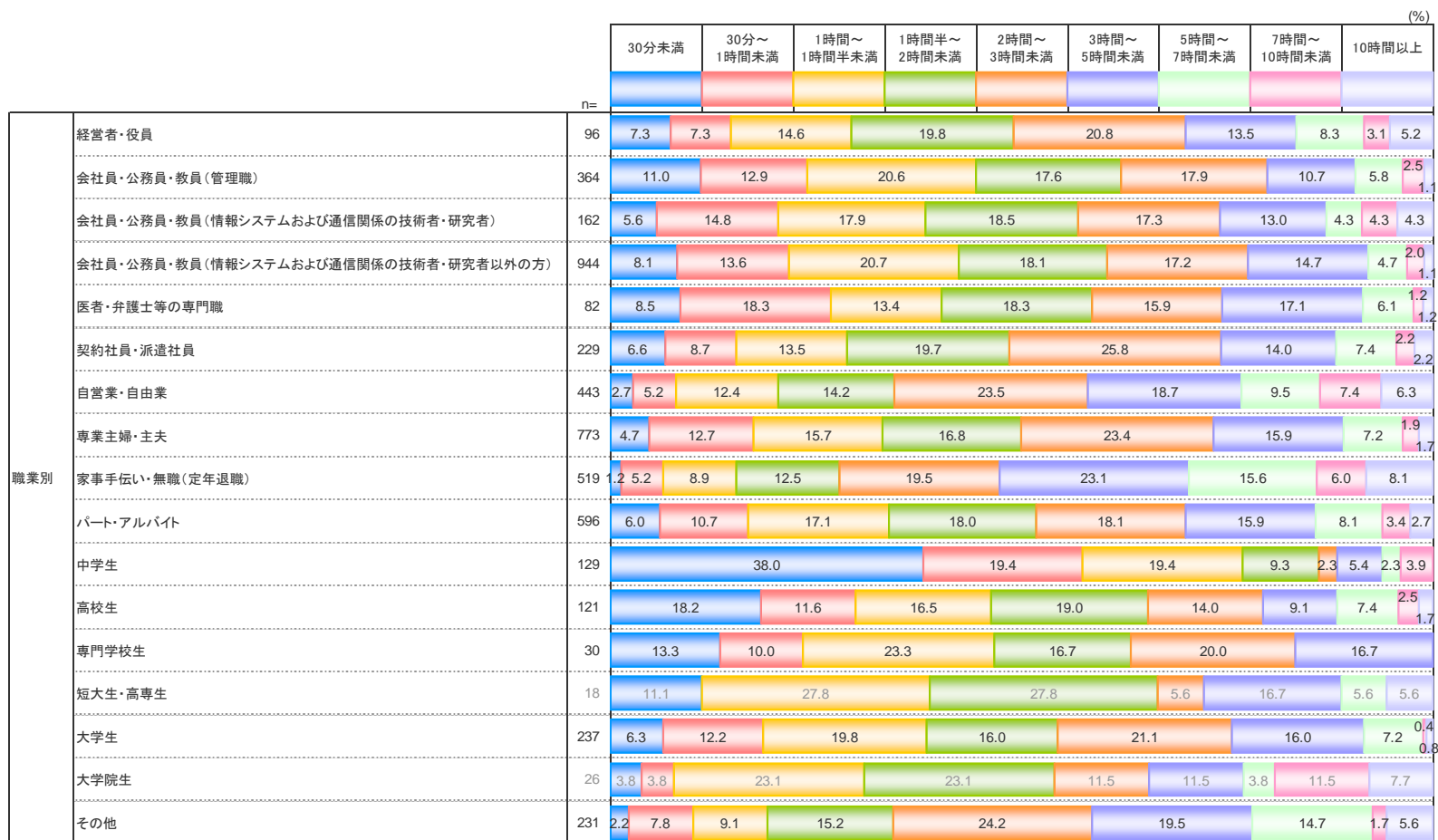
(n=5,000)



4-1-5.パソコンでのインターネット利用時間(平日)②

- 平日1日あたりのパソコンでのインターネット利用時間を職業別で見ると、「経営者・役員」と会社員・公務員・教員などの職業では、「1時間～3時間」の間で分散しているが、「契約社員・派遣社員」、「自営業・自由業」は「2時間～3時間未満」の割合が高い。
- 「中学生」では、「30分未満」(38.0%)の割合が最も高い。

SQ.5 あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日(またはお仕事や学校などのある日)／休日(またはお仕事や学校などのない日)の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。(お答えはそれぞれひとつずつ)
 ※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。(SA)



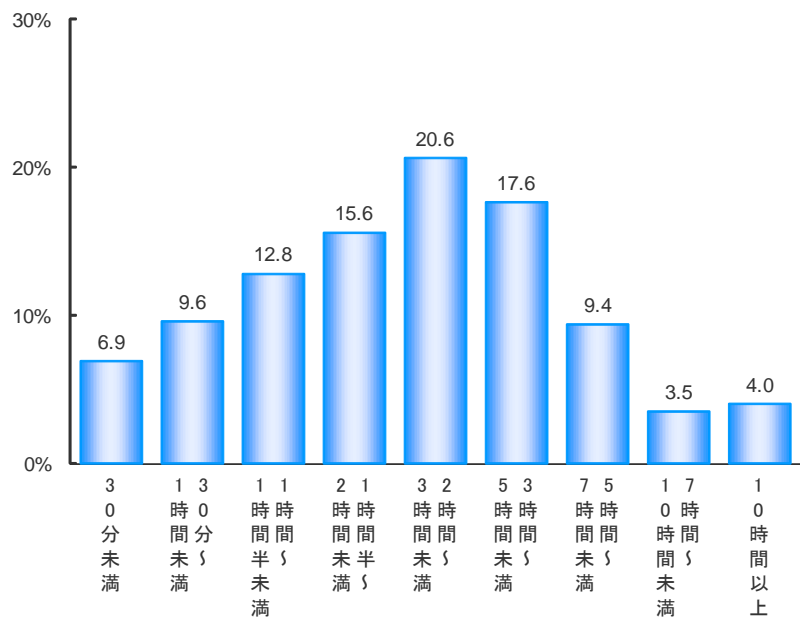
※n=30未満は参考値のため灰色。

4-1-6.パソコンでのインターネット利用時間(休日)①

■ 休日1日あたりのパソコンでのインターネット利用時間は、平日同様「2時間～3時間未満」(20.6%)の割合が最も高い。

- 年代問わず、利用時間は分散しているが60代以上になると2時間以上利用する割合がやや高い。
- 20代では2時間以上利用する割合が約6割と、他の年代に比べて利用時間が長い。

SQ.5 あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日(またはお仕事や学校などのある日)／休日(またはお仕事や学校などのない日)の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。(お答えはそれぞれひとつずつ)
 ※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。(SA)



(n=5,000)



4-1-6.パソコンでのインターネット利用時間(休日)②

- 休日1日あたりのパソコンでのインターネット利用時間を職業別で見ると、会社員・公務員・教員などの職業と「医者・弁護士等の専門職」、「契約社員・派遣社員」、「自営業・自由業」、「専業主婦・主夫」などで「2時間～3時間未満」の割合が高い。
- 「中学生」では、「30分未満」の割合が最も高い。

SQ.5 あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日(またはお仕事や学校などのある日)／休日(またはお仕事や学校などのない日)の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。(お答えはそれぞれひとつずつ)
 ※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。(SA)

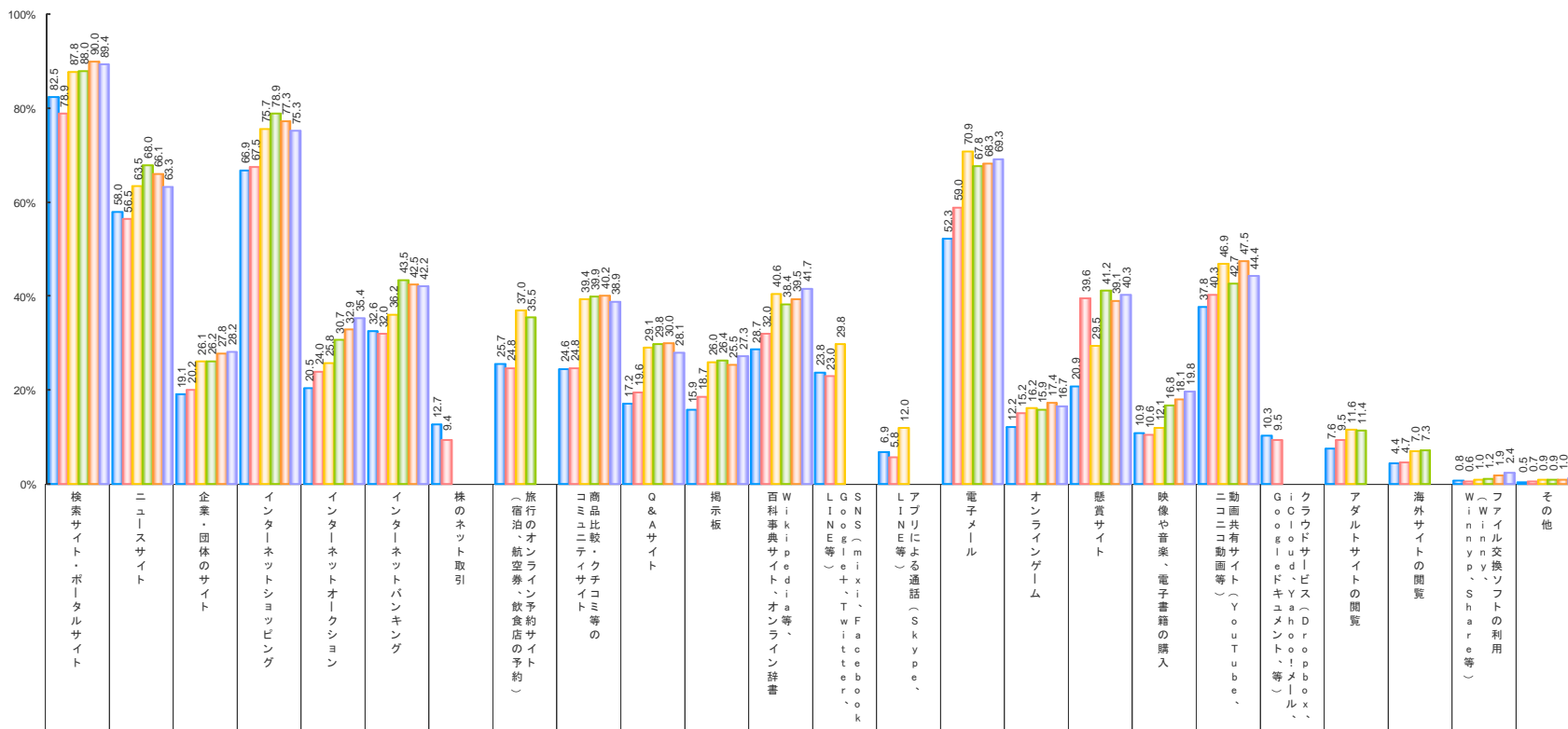
		(%)									
		30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間半未満	1時間半～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～5時間未満	5時間～7時間未満	7時間～10時間未満	10時間以上	
職業別	経営者・役員	96	6.3	16.7	15.6	18.8	14.6	13.5	5.2	4.2	5.2
	会社員・公務員・教員(管理職)	364	11.0	12.4	15.7	16.2	19.0	16.5	6.9	1.9	0.5
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)	162	7.4	9.9	7.4	19.1	24.7	19.8	6.2	2.5	3.1
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者以外の方)	944	7.6	10.4	14.2	17.8	20.4	17.2	7.9	2.1	2.3
	医者・弁護士等の専門職	82	7.3	12.2	20.7	12.2	24.4	7.3	14.6	1.2	1.2
	契約社員・派遣社員	229	4.8	4.4	9.2	11.8	26.2	24.0	10.5	3.9	5.2
	自営業・自由業	443	6.5	5.2	11.3	12.4	22.6	19.6	9.5	5.9	7.0
	専業主婦・主夫	773	8.2	14.9	15.4	18.1	22.5	12.5	5.4	1.3	1.7
	家事手伝い・無職(定年退職)	519	1.5	5.0	8.5	12.7	17.0	24.5	16.0	6.9	7.9
	パート・アルバイト	596	5.2	8.2	12.8	16.3	19.0	18.6	9.9	5.2	4.9
	中学生	129	29.5	17.8	16.3	12.4	10.1	3.9	6.2	2.3	1.6
	高校生	121	11.6	6.6	12.4	12.4	19.0	12.4	16.5	2.5	6.6
	専門学校生	30	3.3	10.0	13.3	16.7	16.7	26.7	6.7	6.7	
	短大生・高専生	18	5.6	11.1	5.6	27.8	11.1	16.7	5.6	16.7	
	大学生	237	2.5	5.9	13.5	13.1	22.4	21.5	12.7	4.2	4.2
大学院生	26	15.4	3.8	19.2	19.2	19.2	3.8	11.5	7.7		
その他	231	2.6	7.8	10.0	14.3	24.7	18.6	13.0	3.0	6.1	

※n=30未満は参考値のため灰色。

4-1-7.インターネットの利用用途①

- パソコンでのインターネットの利用用途は、「検索サイト・ポータルサイト」(82.5%)が8割以上と最も高く、次いで「インターネットショッピング」(66.9%)、「ニュースサイト」(58.0%)と続く。
- 過去の調査と比較すると、ほぼ前回調査並みの利用水準となっているものが多いが、「懸賞サイト」の利用率は20.9%と、前回調査(39.6%)より利用率は低下。

Q.5 パソコンでインターネットを利用する際、どのようなサイトやサービスなどをよく利用していますか。利用しているものをすべて選択してください。(MA)

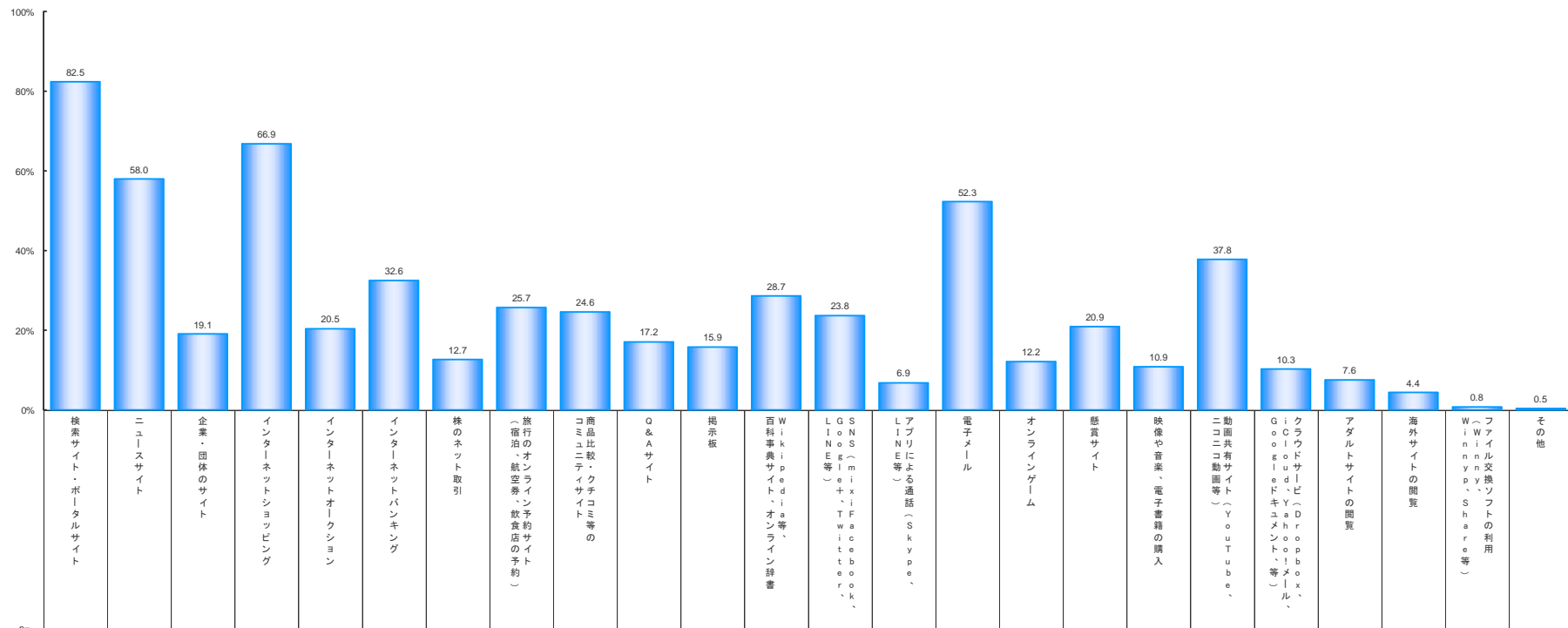


時系列	n	検索サイト・ポータルサイト	ニュースサイト	企業・団体のサイト	インターネットショッピング	インターネットオークション	インターネットバンキング	株のインターネット取引	旅行のオンライン予約サイト(宿泊・航空券・飲食店の予約)	高層階ビル・マンション等のインターネット	O&Aサイト	掲示板	百科事典サイト・オンライン辞書	Wiki等	LINE等(等)による通話	電子メール	オンラインゲーム	懸賞サイト	映像や音楽、電子書籍の購入	動画共有サイト(YouTube等)	クラウドサービス(Dropbox, Google+, etc.)	アダルトサイトの閲覧	海外サイトの閲覧	Wi-Fi交換ソフトの利用	その他
2015年	5,000	82.5	58.0	19.1	66.9	20.5	32.6	12.7	25.7	24.6	17.2	15.9	28.7	23.8	6.9	52.3	12.2	20.9	10.9	37.8	10.3	7.6	4.4	0.8	0.5
2014年	5,000	78.9	56.5	20.2	67.5	24.0	32.0	9.4	24.8	24.8	19.6	18.7	32.0	23.0	5.8	59.0	15.2	39.6	10.6	40.3	9.5	9.5	4.7	0.6	0.7
2013年	5,160	87.6	63.5	26.1	75.7	25.8	36.2	-	37.0	39.4	29.1	26.0	40.6	29.8	12.0	70.9	16.2	29.5	12.1	46.9	-	11.6	7.0	1.0	0.9
2012年	5,000	88.0	68.0	26.2	78.9	30.7	43.5	-	35.5	39.9	29.8	26.4	38.4	-	-	67.8	15.9	41.2	16.8	42.7	-	11.4	7.3	1.2	0.9
2011年	5,240	90.0	66.1	27.8	77.3	32.9	42.5	-	-	40.2	30.0	25.5	39.5	-	-	68.3	17.4	39.1	18.1	47.5	-	-	-	1.9	1.0
2010年	5,019	89.4	63.3	28.2	75.3	35.4	42.2	-	-	38.9	28.1	27.3	41.7	-	-	69.3	16.7	40.3	19.8	44.4	-	-	-	2.4	1.3

4-1-7.インターネットの利用用途②

- パソコンでのインターネットの利用用途を性別に見ると、「インターネットバンキング」(27.1%)、「株のネット取引」(7.2%)で女性の利用率が低い。
- 年代別では、10代では、「オンラインゲーム」(24.9%)、10代、20代で「SNS」、「動画共有サイト」の利用率が高い。50代では、「インターネットバンキング」(42.8%)、60代では、「旅行のオンライン予約サイト」(43.5%)、70代以上では「懸賞サイト」(33.8%)の利用率がそれぞれ高い。「電子メール」は10～20代の若年層での利用率が低く、60代以上の利用率が高い。
- パソコン習熟度別で見ると、レベル4では、「電子メール」(63.4%)、「インターネットバンキング」(50.0%)、「Wikipedia等、百科事典サイト・オンライン辞書」(41.1%)が高い。

Q.5 パソコンでインターネットを利用する際、どのようなサイトやサービスなどをよく利用していますか。利用しているものをすべて選択してください。(MA)



n=30以上で

- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

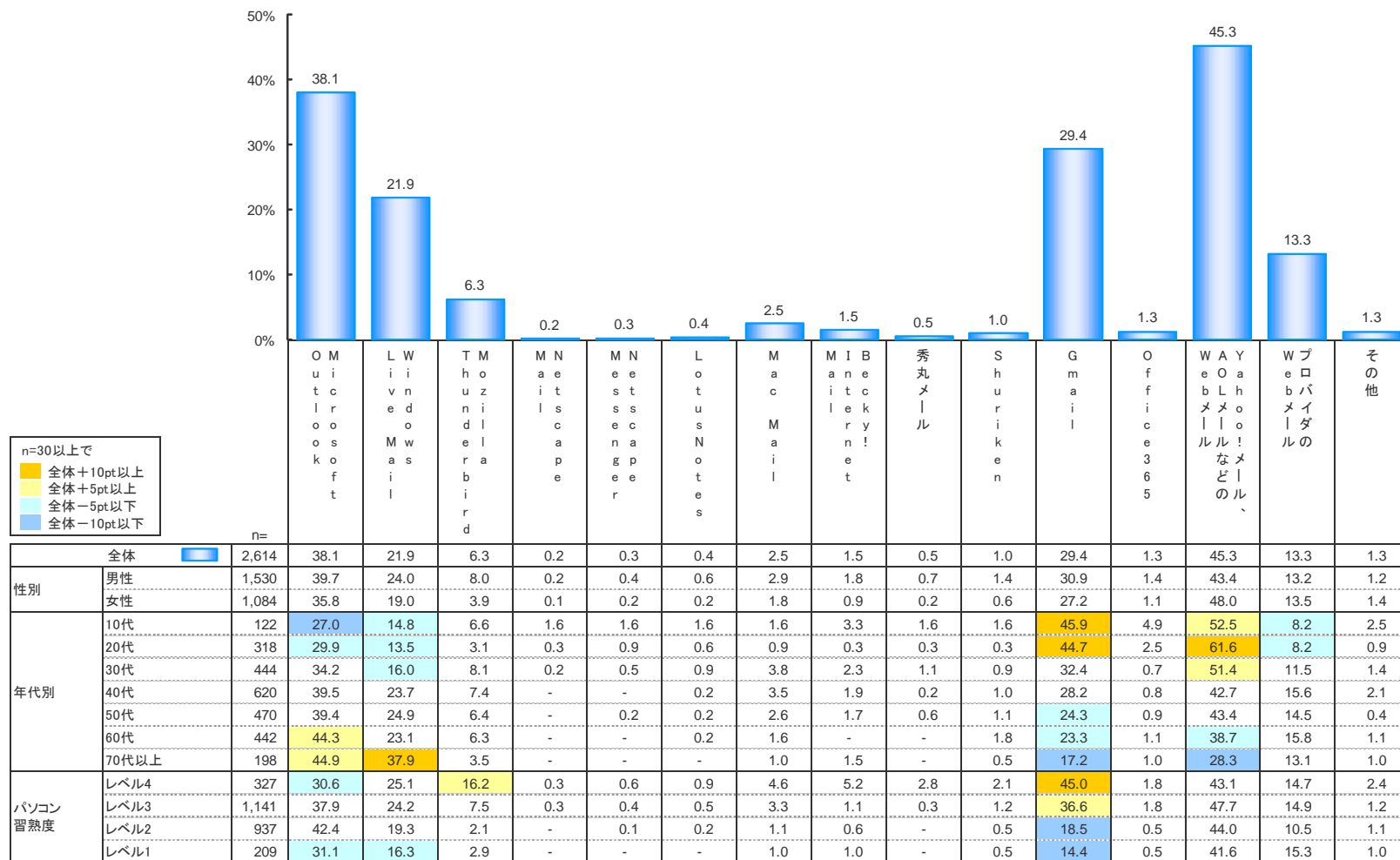
性別	n	全体	男性	女性
全体	5,000	82.5	82.4	82.6
10代	470	72.6	30.2	12.1
20代	755	86.4	52.6	18.8
30代	925	88.8	61.0	19.4
40代	1,085	85.5	61.7	21.1
50代	815	82.6	65.9	20.6
60代	660	78.2	64.4	20.3
70代以上	290	66.6	57.9	15.9
レベル4	516	87.2	66.7	27.1
レベル3	1,844	88.1	64.9	24.6
レベル2	1,830	81.6	56.3	15.8
レベル1	801	68.5	40.8	8.7

4-1-8.電子メールを利用する際のソフトウェア

■ 電子メールを利用する際に使用しているソフトウェアは、「Yahoo!メール、AOLメールなどのWebメール」(45.3%)の割合が最も高く、次いで「Microsoft Outlook」(38.1%)、「Gmail」(29.4%)と続く。

- ・年代別で見ると、10代、20代といった若年層では、「Yahoo!メール、AOLメールなどのWebメール」、「Gmail」の利用率が高い一方、高年齢層では「Microsoft Outlook」、「Windows Live Mail」の利用率が高い。

Q.5SQ 電子メールを利用する際に使用しているソフトウェアをすべて選択してください。(MA)

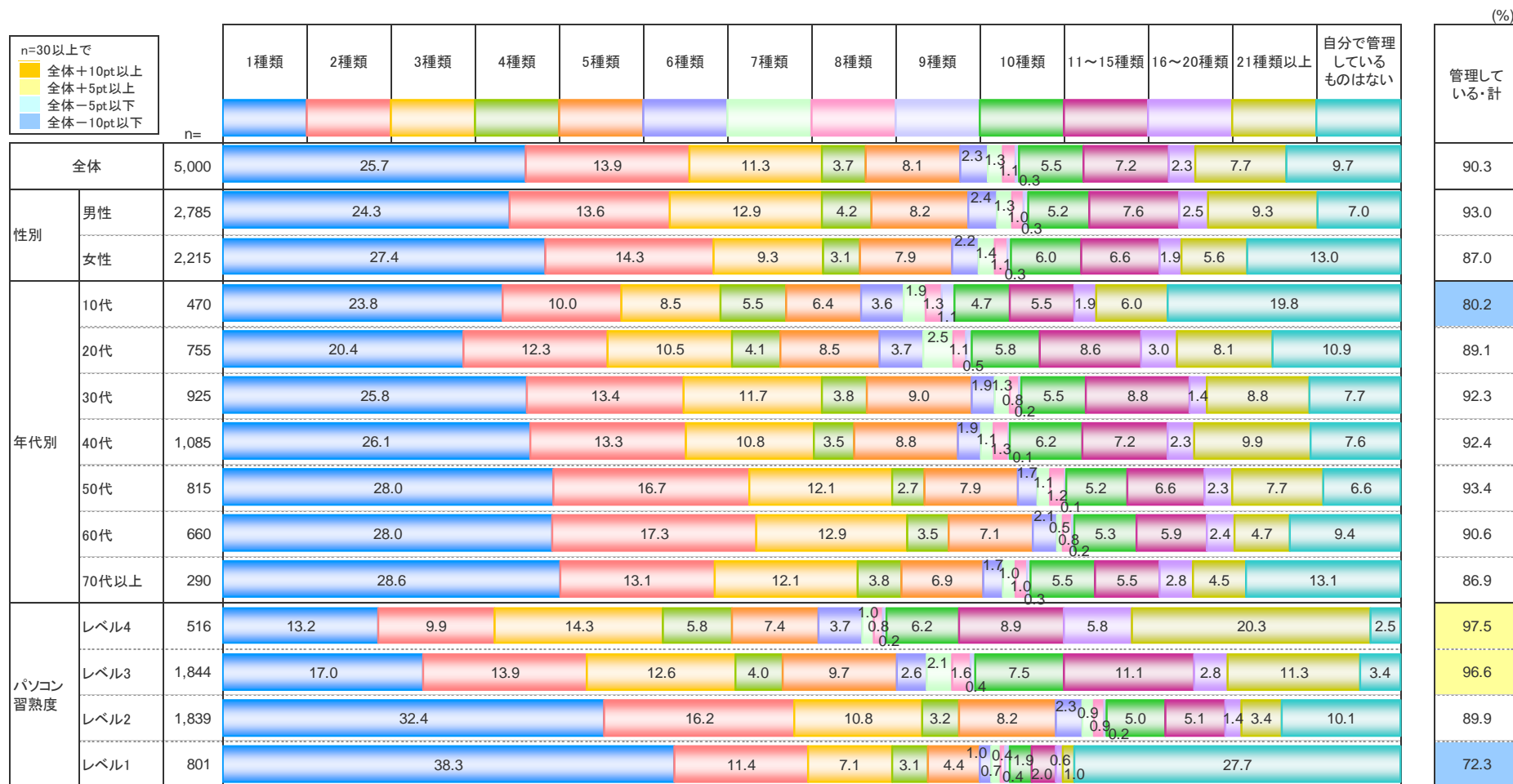


4-1-9.管理しているID(アカウント)の数

■ インターネットで利用しているID(アカウント)のうち、自分で管理しているものは、「1種類」(25.7%)の割合が最も高く、次いで「2種類」(13.9%)、「3種類」(11.3%)と続く。

- ・ 年代別の結果も、上位3位までは全体と同じ結果。
- ・ パソコン習熟度別で見ると、レベルが下がるに連れて「1種類」の割合が高く、自分で管理しているIDが無い利用者の割合も高くなっている。

Q.6 あなたがインターネットで利用しているID(アカウント)の内、自分で管理しているものはいくつありますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。
※直近1年以内に使用したもので、複数のサービスで共通したIDを使用しているも、サイトが異なれば別々にカウントしてください。(SA)

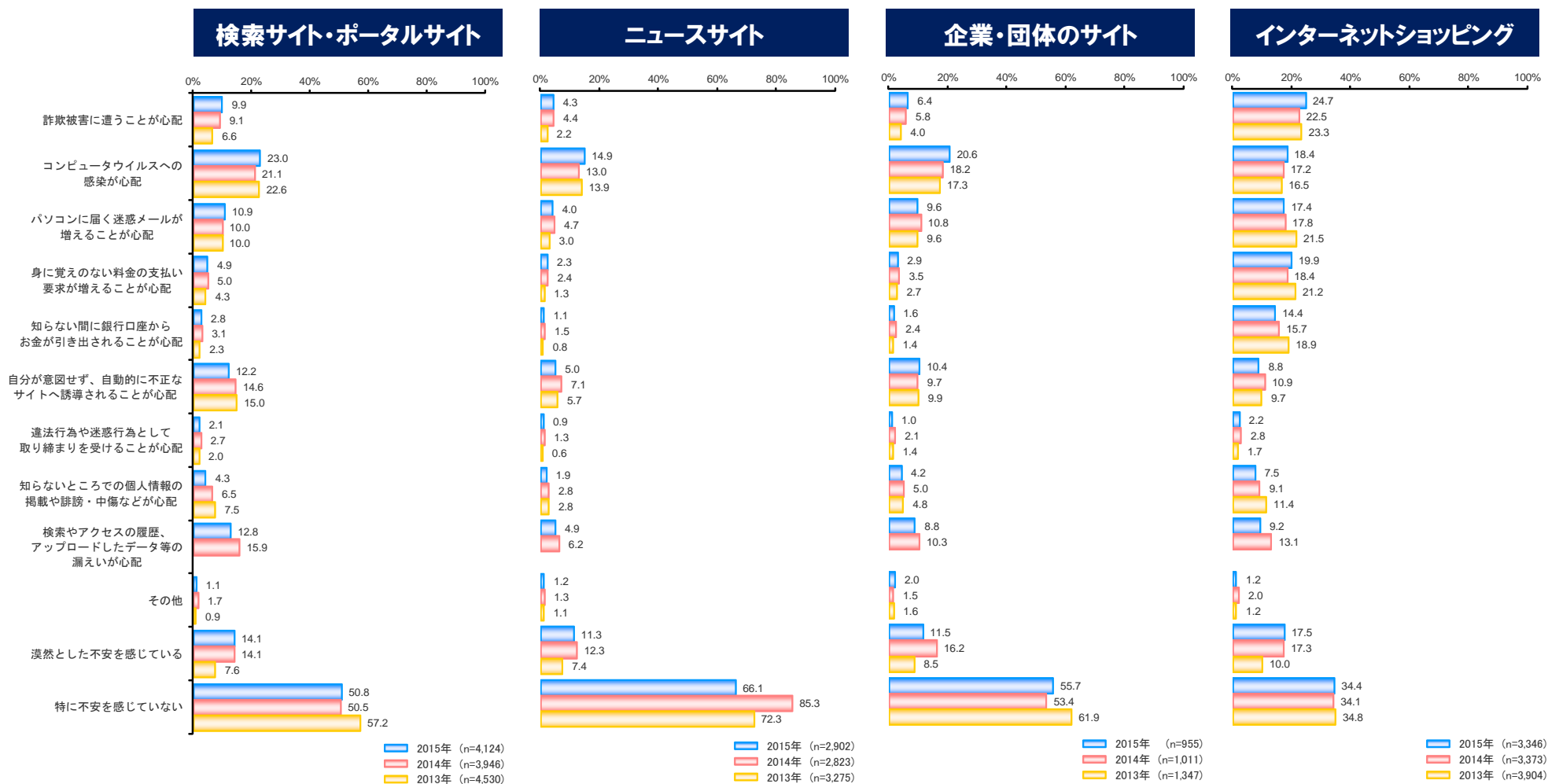


4-1-10.インターネット利用時の不安要素①

■ インターネット利用時の不安要素について、「検索サイト・ポータルサイト」、「ニュースサイト」、「企業・団体のサイト」、「インターネットショッピング」では、時系列による大きな変化は見られないが、サイトやサービスを問わず「コンピュータウイルスへの感染」については一定数不安を感じる利用者が存在している。

・「インターネットショッピング」では、詐欺被害や身に覚えのない料金の支払い要求など、金銭的なトラブルへの不安を感じる利用者が多い。

Q.7 パソコンでインターネットを利用する際、以下のサイトやサービスの利用に対して、不安を感じることがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(各MA)

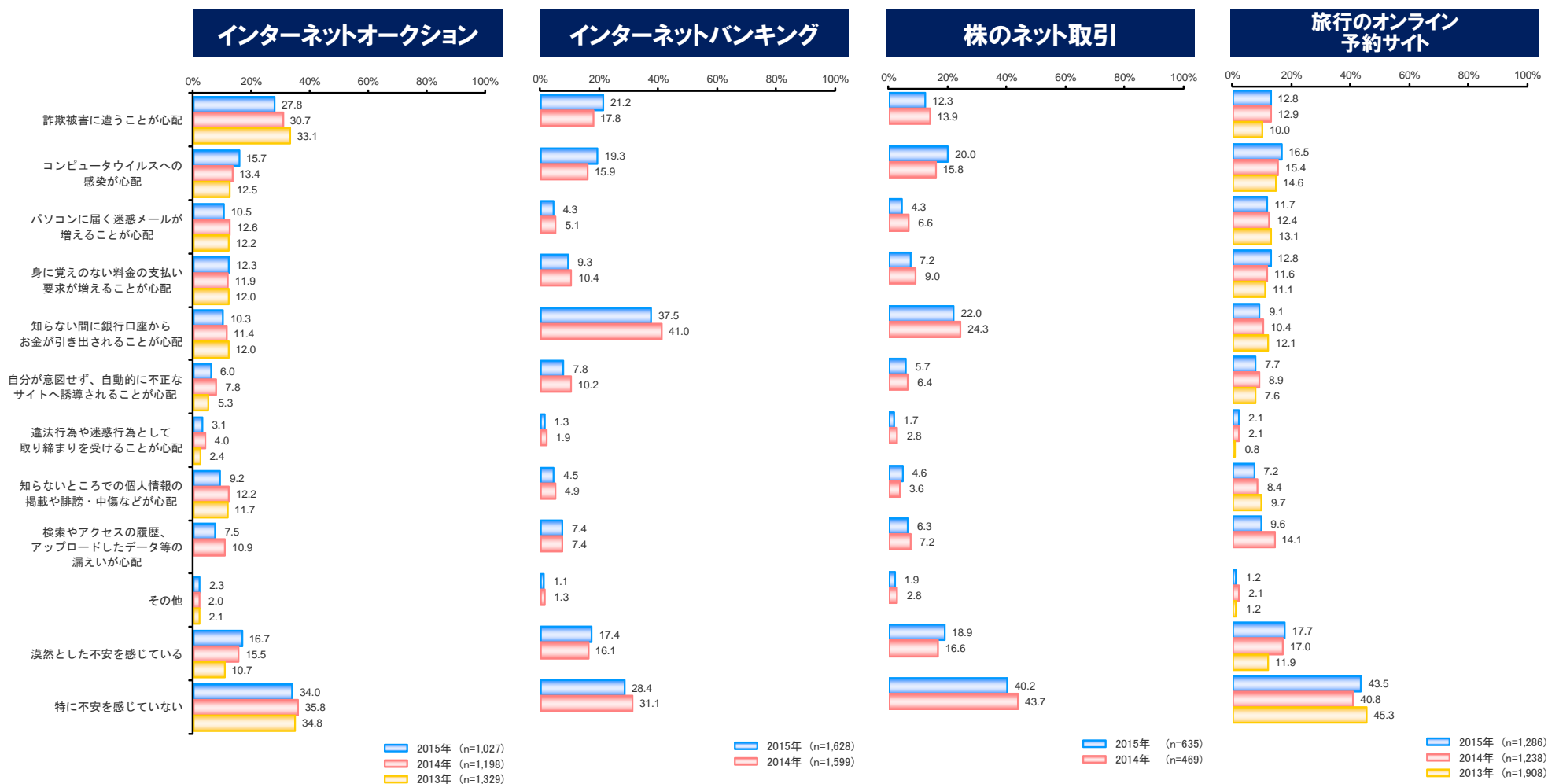


4-1-10.インターネット利用時の不安要素②

■ インターネット利用時の不安要素について、「インターネットオークション」、「インターネットバンキング」、「株のネット取引」、「旅行のオンライン予約サイト」では、時系列による大きな変化は見られない。「インターネットバンキング」では、「知らない間に銀行口座からお金が引き出されることが心配」(37.5%)が最も高い。

・「インターネットオークション」では、「詐欺被害に遭うことが心配」(27.8%)が最も高い。

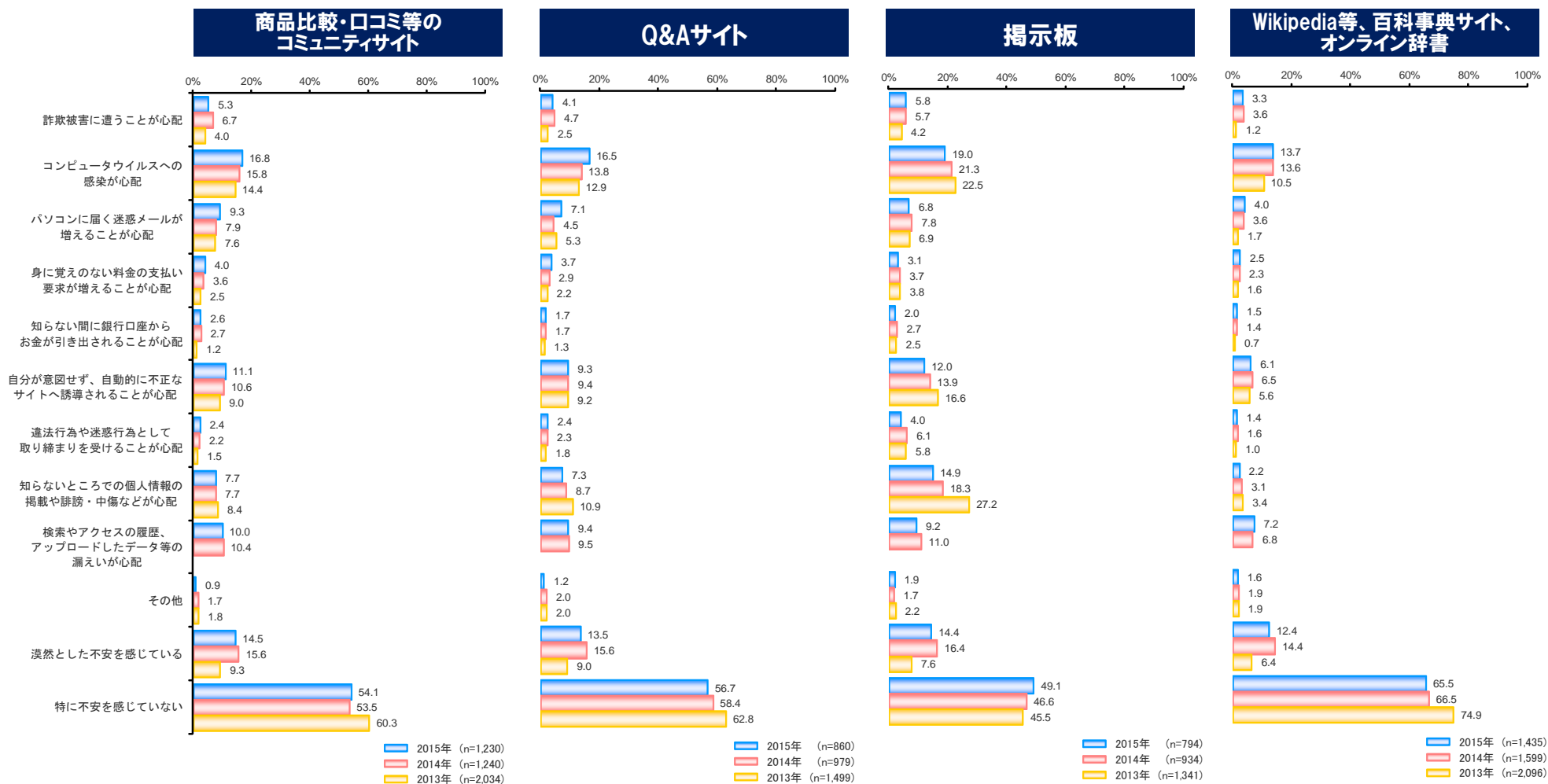
Q.7 パソコンでインターネットを利用する際、以下のサイトやサービスの利用に対して、不安を感じることがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(各MA)



4-1-10.インターネット利用時の不安要素③

■ インターネット利用時の不安要素について、「商品比較・口コミ等のコミュニティサイト」、「Q&Aサイト」、「Wikipedia等、百科事典サイト、オンライン辞書」では、時系列による大きな変化は見られないが、「掲示板」における「知らないところでの個人情報の掲載や誹謗・中傷などが心配」(14.9%)の割合が前々回調査と比べて約半分まで減少。

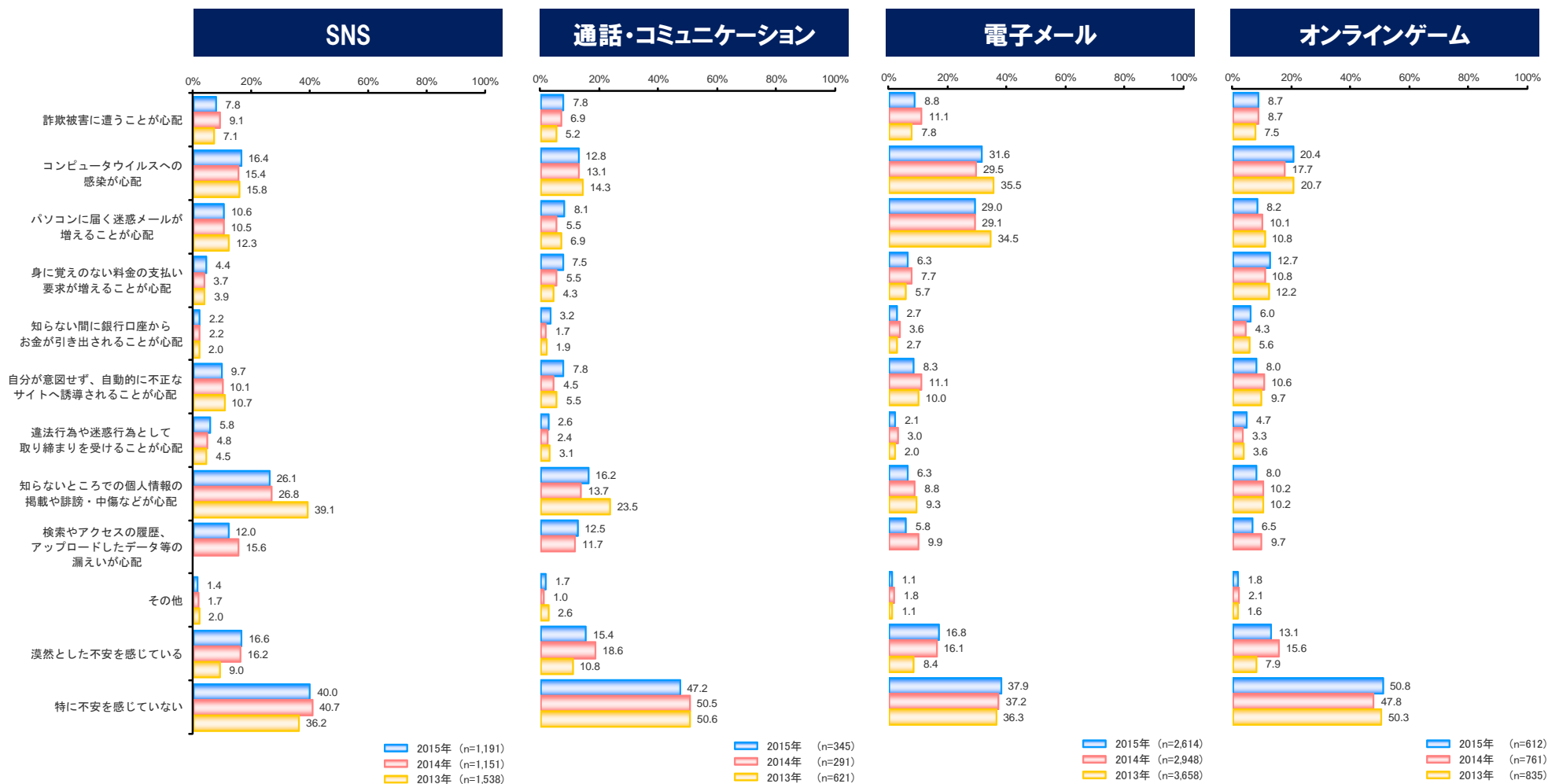
Q.7 パソコンでインターネットを利用する際、以下のサイトやサービスの利用に対して、不安を感じることがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(各MA)



4-1-10.インターネット利用時の不安要素④

■ インターネット利用時の不安要素について、「SNS」、「通話・コミュニケーション」、「電子メール」、「オンラインゲーム」では、時系列による大きな変化は見られないが、「電子メール」、「オンラインゲーム」における「コンピュータウイルスへの感染が心配」の割合が前回調査から約2ポイントとわずかに増加。

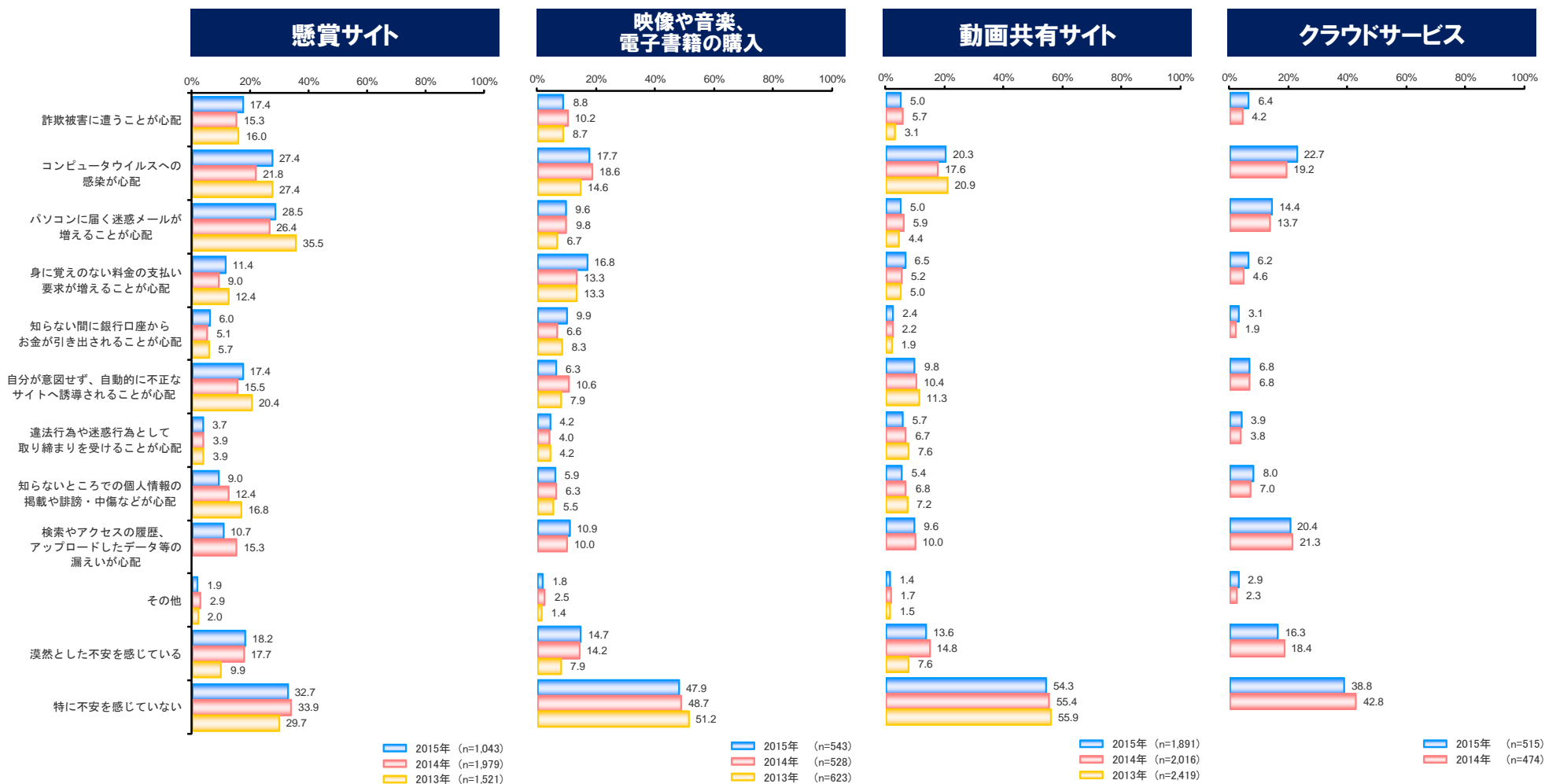
Q.7 パソコンでインターネットを利用する際、以下のサイトやサービスの利用に対して、不安を感じることがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(各MA)



4-1-10.インターネット利用時の不安要素⑤

■ インターネット利用時の不安要素について、「懸賞サイト」、「映像や音楽、電子書籍の購入」、「動画共有サイト」、「クラウドサービス」では、過去の調査と比較して、大きな変化は見られない。「懸賞サイト」における「コンピュータウイルスへの感染が心配」(27.4%)、「パソコンに届く迷惑メールが増えることが心配」(28.5%)の割合は前回、前々回調査と同様に2割を超えている。

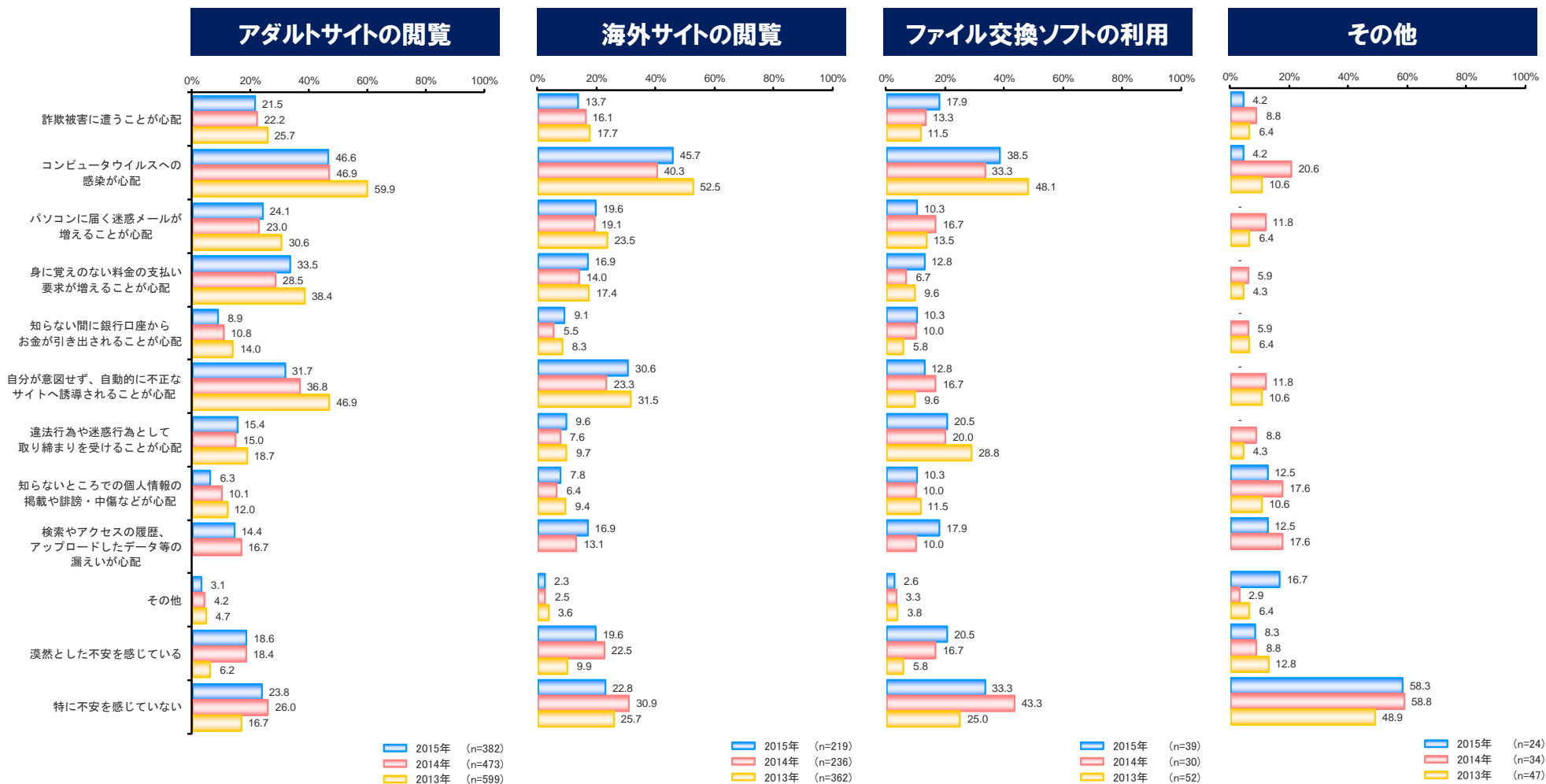
Q.7 パソコンでインターネットを利用する際、以下のサイトやサービスの利用に対して、不安を感じることがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(各MA)



4-1-10.インターネット利用時の不安要素⑥

■ インターネット利用時の不安要素について、「アダルトサイトの閲覧」、「海外サイトの閲覧」、「ファイル交換ソフトの利用」では、「コンピュータウイルスへの感染が心配」の割合が約4割と他のサービスに比べて高い。

Q.7 パソコンでインターネットを利用する際、以下のサイトやサービスの利用に対して、不安を感じることがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(各MA)

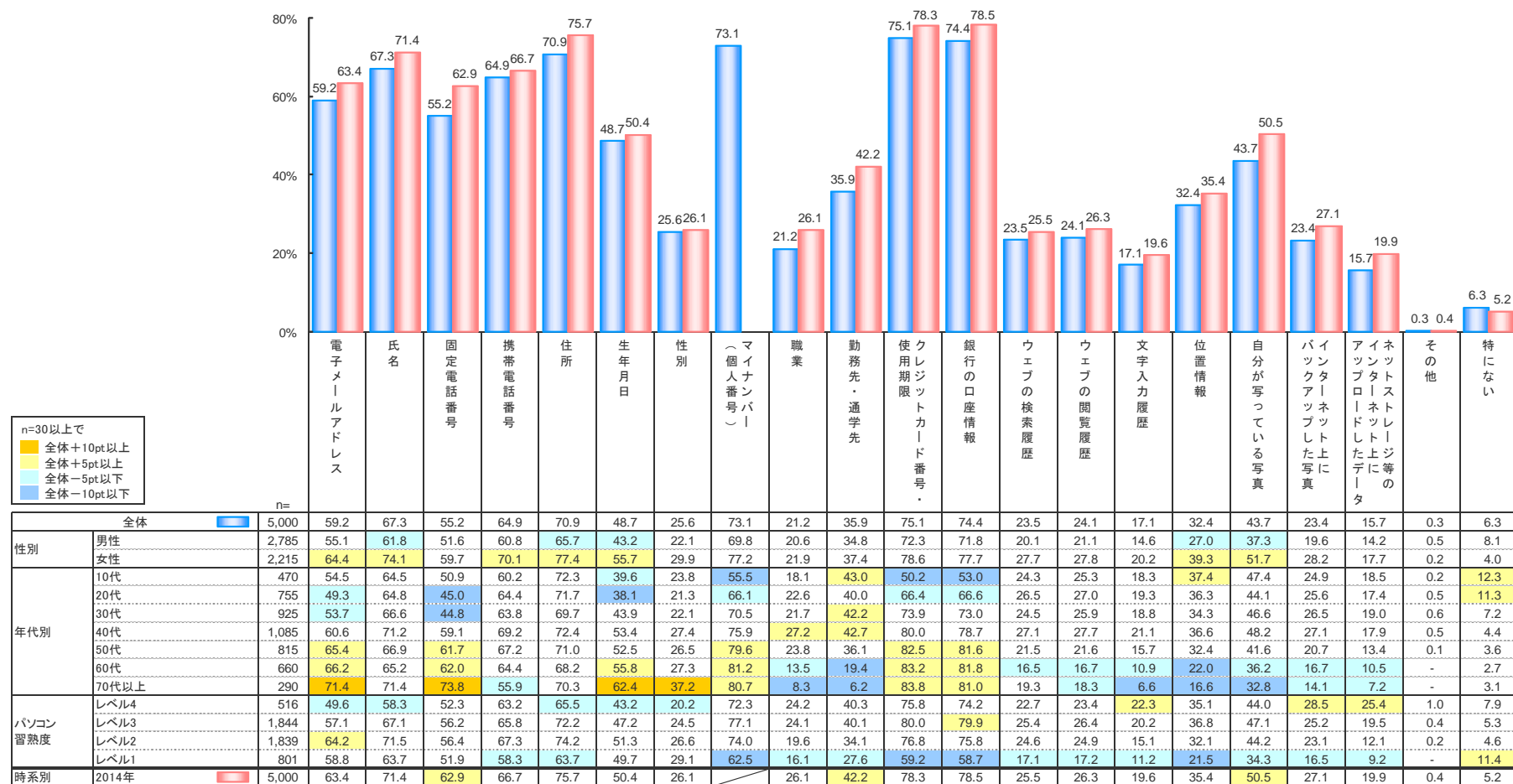


4-1-11.インターネット上に漏えいしたら困る情報

■ インターネット上に漏えいしたら困る情報は、「クレジットカード番号・使用期限」(75.1%)、「銀行の口座情報」(74.4%)、「マイナンバー(個人番号)」(73.1%)が7割を超える。「固定電話番号」(55.2%)、「自分が写っている写真」(43.7%)、「勤務先・通学先」(35.9%)は前回調査より減少。

- ・性別で見ると、女性では、「住所」(77.4%)、「氏名」(74.1%)、「携帯電話番号」(70.1%)が、男性と比べてやや高い。
- ・年代別で見ると、70代以上では、「電子メールアドレス」(71.4%)、「固定電話番号」(73.8%)、「生年月日」(62.4%)などの割合が高い。
- ・パソコン習熟度別で見ると、レベル1では、「マイナンバー(個人番号)」(62.5%)、「クレジットカード番号・使用期限」(59.2%)、「銀行の口座情報」(58.7%)が低い。

Q.8 インターネット上に漏えいしたら困るものとして、以下からあてはまるものをすべて選択してください。(MA)



※「マイナンバー(個人番号)」は今回調査から追加された項目。

4-2.情報セキュリティの脅威に対する意識 4-2-1.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知①

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知度(「詳しい内容を知っている」+「概要をある程度知っている」+「名前を聞いたことがある程度」)は、「ワンクリック請求」(89.1%)、「フィッシング詐欺」(87.6%)、「cookie」(81.7%)で8割を超える。一方、「オプトアウト/オプトイン」(29.3%)、「ランサムウェア」(26.9%)では、3割を下回った。

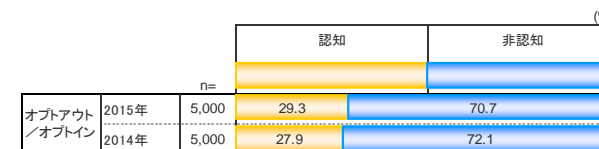
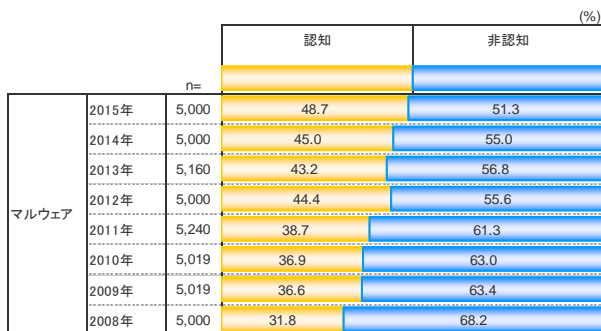
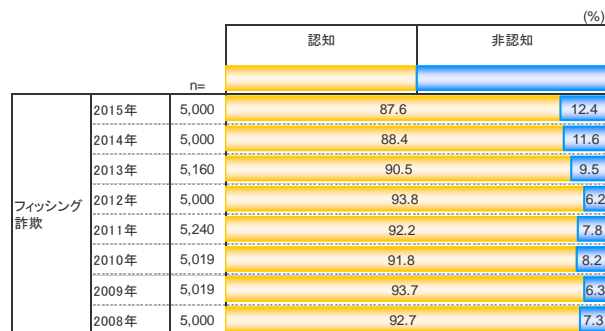
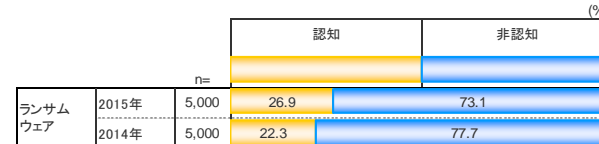
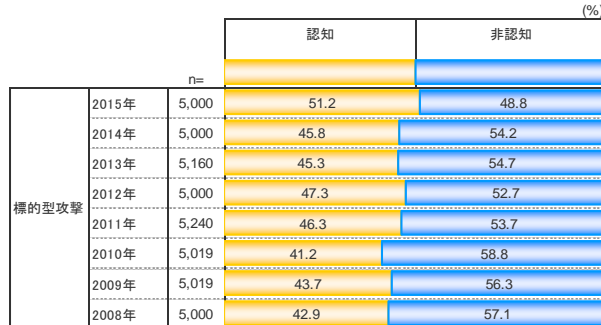
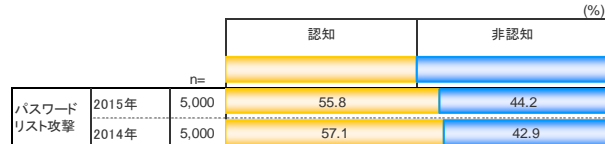
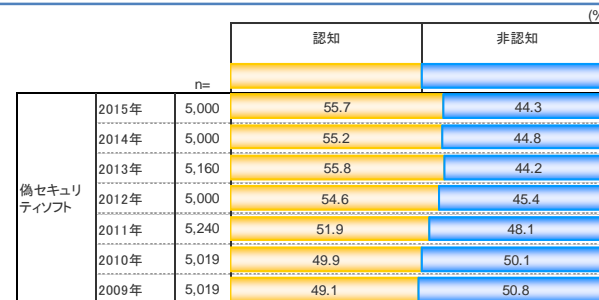
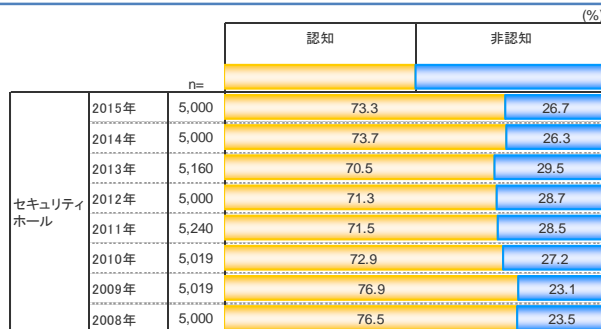
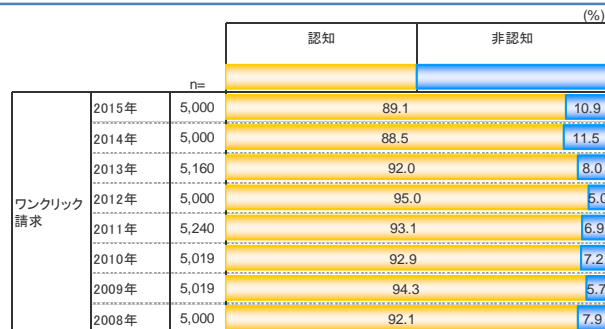
Q.9 あなたは、次のようなインターネット上での攻撃・脅威等についてご存知ですか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(各SA)

項目	n=	認知・計 (%)				認知・計 (%)
		詳しい内容を知っている	概要をある程度知っている	名前を聞いたことがある程度	名前も概要も知らない	
ワンクリック請求	5,000	15.6	39.5	34.0	10.9	89.1
パスワードリスト攻撃	5,000	7.5	19.5	28.8	44.2	55.8
フィッシング詐欺	5,000	12.0	32.0	43.6	12.4	87.6
セキュリティホール	5,000	9.8	27.5	35.9	26.7	73.3
標的型攻撃	5,000	7.1	16.7	27.4	48.8	51.2
マルウェア	5,000	7.5	15.5	25.7	51.3	48.7
偽セキュリティソフト	5,000	7.5	18.0	30.3	44.3	55.7
ランサムウェア	5,000	3.7	7.0	16.2	73.1	26.9
cookie	5,000	10.2	26.8	44.7	18.3	81.7
オプトアウト/オプトイン	5,000	4.4	8.0	16.9	70.7	29.3

4-2-1.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知②

- 過去調査と比較すると、「マルウェア」の認知度は引き続き増加。「偽セキュリティソフト」は緩やかに増加が続き、「ランサムウェア」も前回調査から約4ポイント増加。「標的型攻撃」(51.2%)は前回調査より約5ポイント増加したものの、認知度は約半数。

Q.9 あなたは、次のようなインターネット上での攻撃・脅威等についてご存知ですか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(各SA)

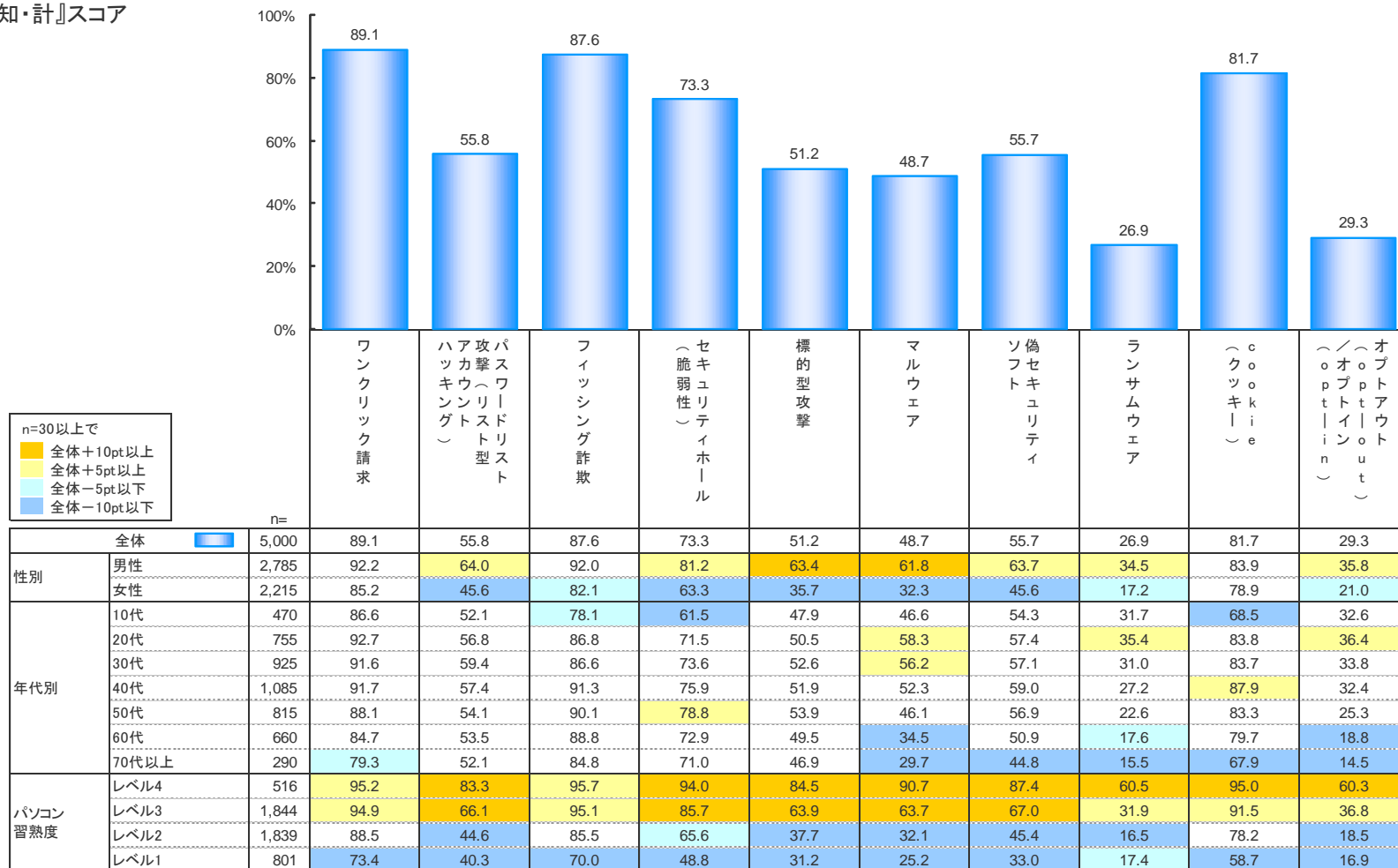


4-2-1.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知③

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等について、性別で見ると、男性では、「標的型攻撃」(63.4%)、「マルウェア」(61.8%)の認知度が女性の倍近く高い。
- 年代別で見ると、20～40代では「マルウェア」が5割を上回る一方、60代以上では約3割に留まる。
- パソコン習熟度別で見ると、レベルの高い層ほど認知度が高くなっているものの、レベル4でも、「ランサムウェア」(60.5%)、「オプトアウト(opt-out)／オプトイン(opt-in)」(60.3%)は約6割に留まった。

Q.9 あなたは、次のようなインターネット上での攻撃・脅威等についてご存知ですか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(各SA)

※『認知・計』スコア

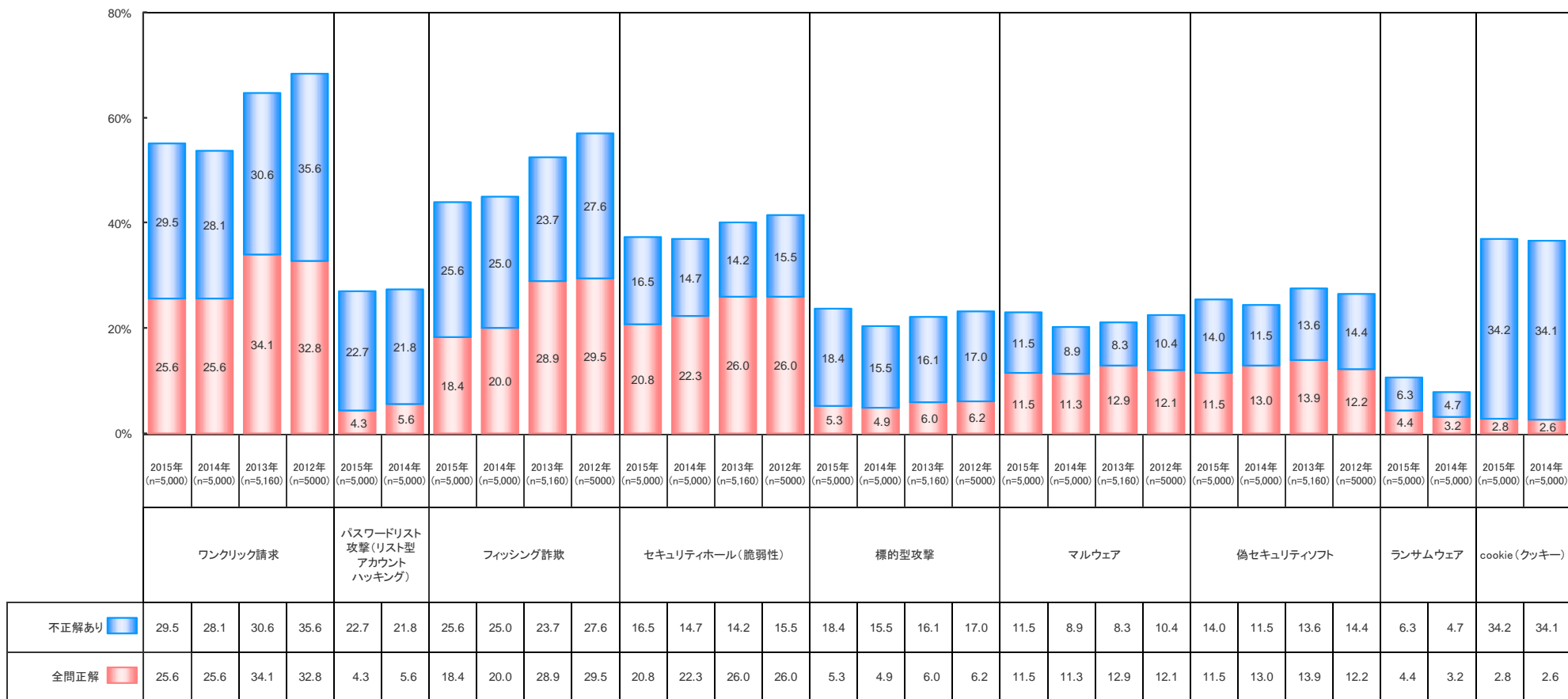


4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度①

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度は、今回調査においては「ワンクリック請求」(25.6%)の全問正解率が最も高く、次いで「セキュリティホール(脆弱性)」(20.8%)、「フィッシング詐欺」(18.4%)と続く。
- 全問正解率を過去調査と比較すると、「フィッシング詐欺」、「セキュリティホール(脆弱性)」が引き続き減少。

Q.10 それぞれの項目について、概要や特徴に関する説明が正しいか間違っているかについて、あなたが思うものを選択してください。(各SA)

※Q.9の各項目で「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人を対象とし、各攻撃・脅威を問う設問において、全3問正解の場合を「全問正解」、正解が2問以下の場合を「不正解あり」と定義している。



4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度②

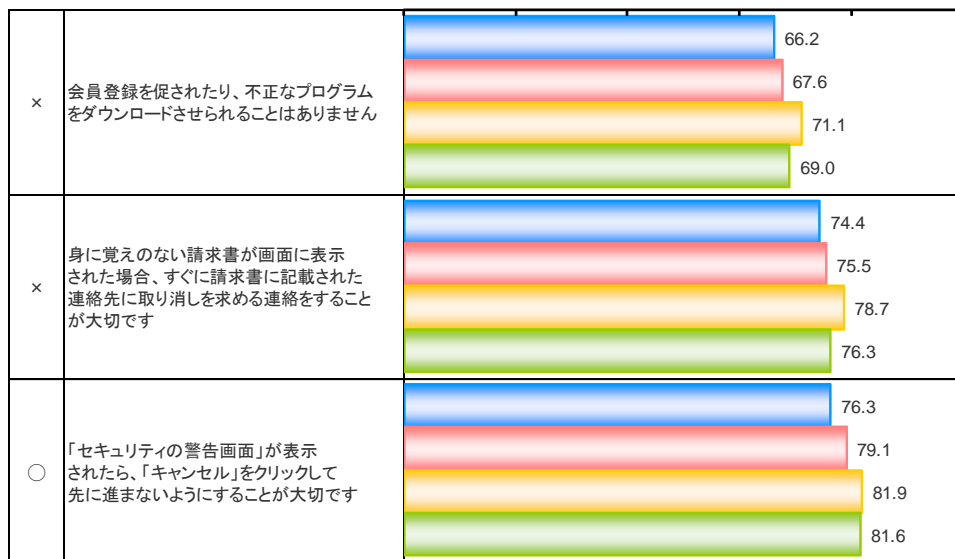
- 「ワンクリック請求」の全問正解率は46.5%と、過去の調査と比べて最低の水準となった。質問ごとの正解率も、いずれも前回調査から減少。
- 「パスワードリスト攻撃」の全問正解率は15.9%と、2割を下回る結果となった。質問ごとの正解率では、「辞書や人名録などのリストに載っている単語やそれらを組み合わせたパスワードを総当たりする攻撃手法です」(25.5%)の正解率が極めて低く、「被害を防ぐには利用しているインターネットサービス毎に、異なるパスワードを設定することが有効です」(76.8%)も、前回調査から約6ポイント減少。

Q.10 それぞれの項目について、概要や特徴に関する説明が正しいか間違っているかについて、あなたが思うものを選択してください。(各SA)

【Q.9の各項目で「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人ベース】

ワンクリック請求

0% 20% 40% 60% 80% 100%

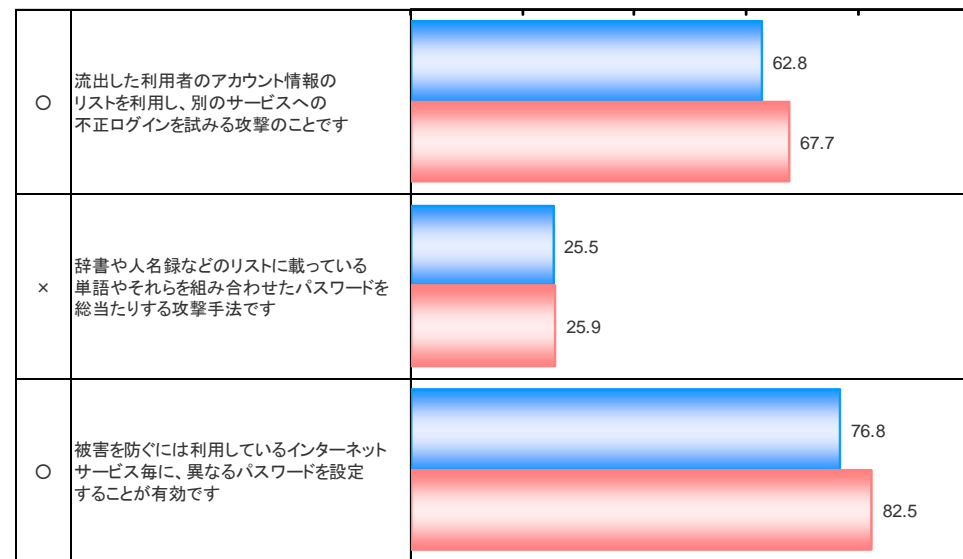


	全問正解	不正解あり
2015年	46.5%	53.5%
2014年	47.7%	52.3%
2013年	52.7%	47.3%
2012年	47.9%	52.1%

■ 2015年 (n=2,755)
■ 2014年 (n=2,686)
■ 2013年 (n=3,340)
■ 2012年 (n=3,421)

パスワードリスト攻撃

0% 20% 40% 60% 80% 100%



	全問正解	不正解あり
2015年	15.9%	84.1%
2014年	20.5%	79.5%

■ 2015年 (n=1,351)
■ 2014年 (n=1,371)

4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度③

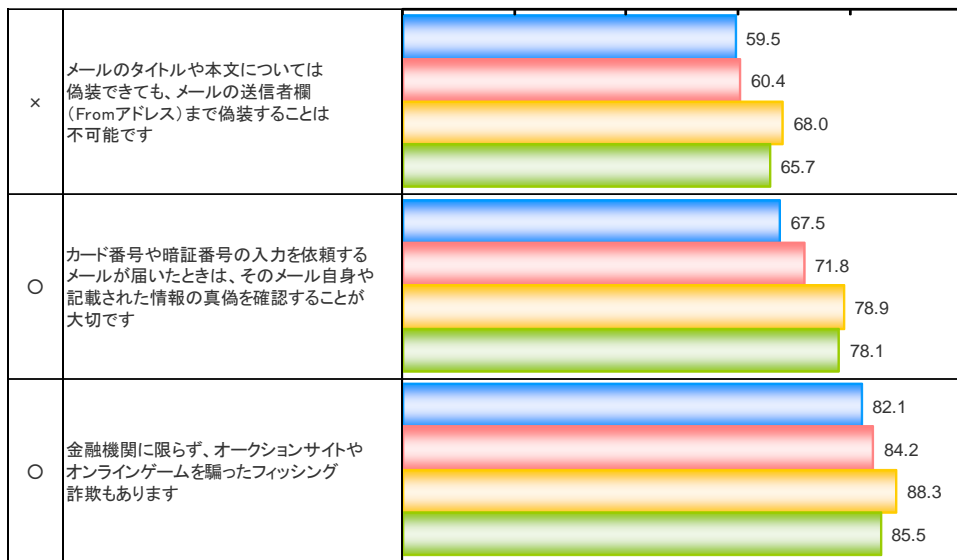
- 「フィッシング詐欺」の全問正解率は41.9%と、過去最低水準。質問ごとの正解率も、いずれも前回調査から減少。特に「メールのタイトルや本文については偽装できても、メールの送信者欄(Fromアドレス)まで偽装することは不可能です」(59.5%)の正解率が低い。
- 「セキュリティホール」の全問正解率は55.8%と、過去最低水準。質問ごとの正解率は、いずれも約7割。

Q.10 それぞれの項目について、概要や特徴に関する説明が正しいか間違っているかについて、あなたが思うものを選択してください。(各SA)

【Q.9の各項目で「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人ベース】

フィッシング詐欺

0% 20% 40% 60% 80% 100%

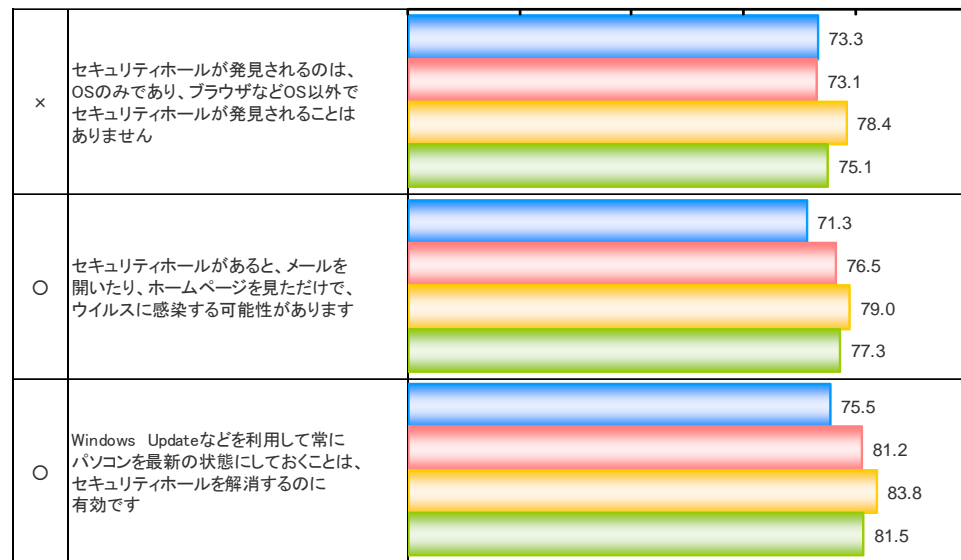


	全問正解	不正解あり
2015年	41.9%	58.1%
2014年	44.5%	55.5%
2013年	54.9%	45.1%
2012年	51.7%	48.3%

■ 2015年 (n=2,200)
■ 2014年 (n=2,250)
■ 2013年 (n=2,715)
■ 2012年 (n=2,857)

セキュリティホール

0% 20% 40% 60% 80% 100%



	全問正解	不正解あり
2015年	55.8%	44.2%
2014年	60.3%	39.7%
2013年	64.7%	35.3%
2012年	62.7%	37.3%

■ 2015年 (n=1,868)
■ 2014年 (n=1,850)
■ 2013年 (n=2,074)
■ 2012年 (n=2,079)

4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度④

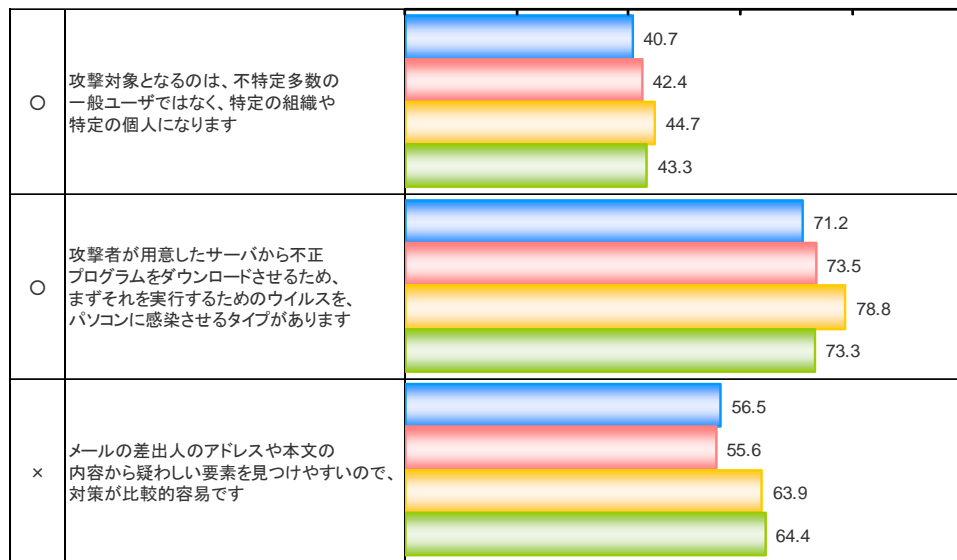
- 「標的型攻撃」の全問正解率は22.5%と、過去最低水準。質問ごとの正解率では、「攻撃対象となるのは、不特定多数の一般ユーザではなく、特定の組織や特定の個人になります」(40.7%)が低く、約4割に留まった。
- 「マルウェア」の全問正解率は50.2%と、過去最低水準。質問ごとの正解率も、いずれも前回調査から減少。

Q.10 それぞれの項目について、概要や特徴に関する説明が正しいか間違っているかについて、あなたが思うものを選択してください。(各SA)

【Q.9の各項目で「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人ベース】

標的型攻撃

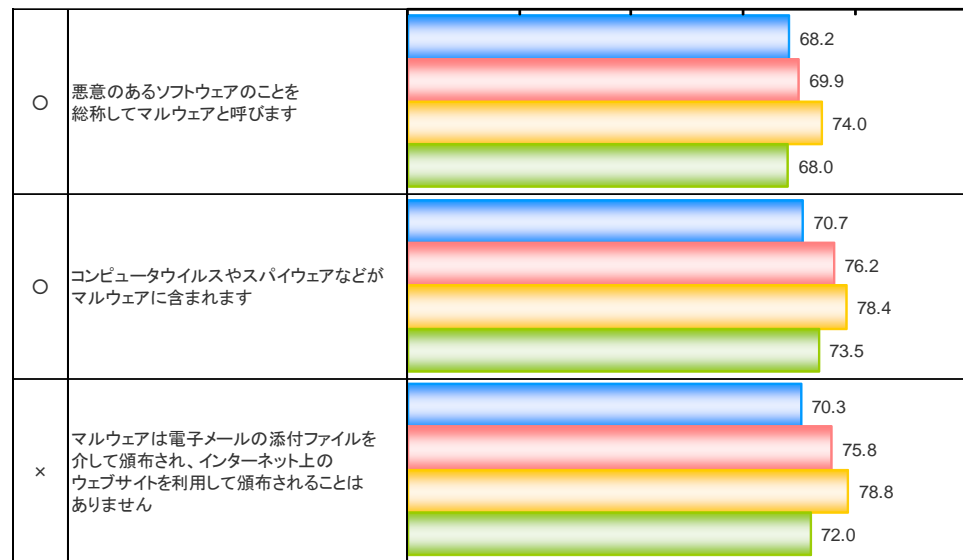
0% 20% 40% 60% 80% 100%



	全問正解	不正解あり
2015年	22.5%	77.5%
2014年	24.0%	76.0%
2013年	27.1%	72.9%
2012年	26.8%	73.2%

マルウェア

0% 20% 40% 60% 80% 100%



	全問正解	不正解あり
2015年	50.2%	49.8%
2014年	56.1%	43.9%
2013年	60.8%	39.2%
2012年	53.8%	46.2%

4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度⑤

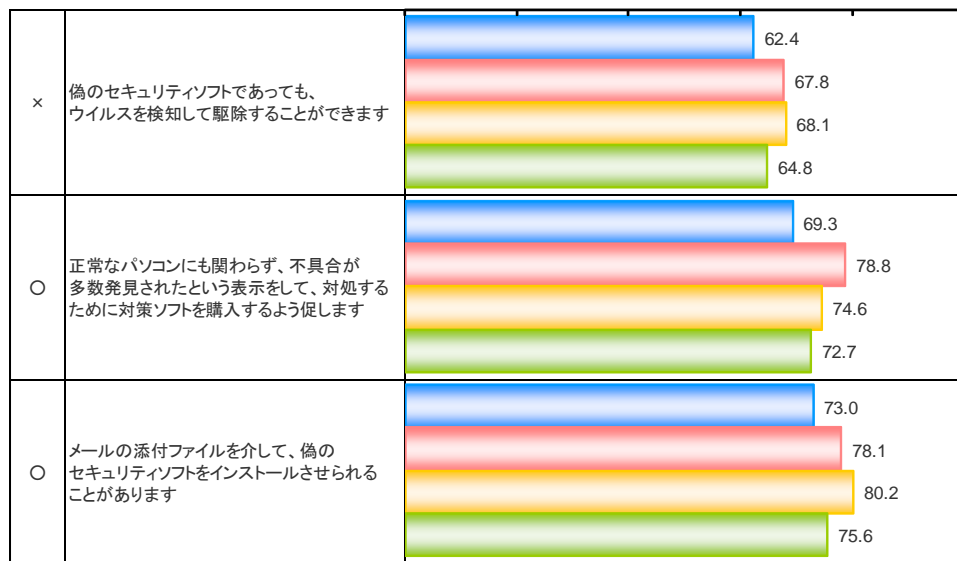
- 「偽セキュリティソフト」の全問正解率は45.0%と、過去最低水準。質問ごとの正解率では、「正常なパソコンにも関わらず、不具合が多数発見されたという表示をして、対処するために対策ソフトを購入するよう促します」(69.3%)が、前回調査から9.5ポイントと、大きく減少。
- 「ランサムウェア」の全問正解率は41.0%と、前回調査と同程度の結果となった。質問ごとの正解率は、いずれも約6割。

Q.10 それぞれの項目について、概要や特徴に関する説明が正しいか間違っているかについて、あなたが思うものを選択してください。(各SA)

【Q.9の各項目で「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人ベース】

偽セキュリティソフト

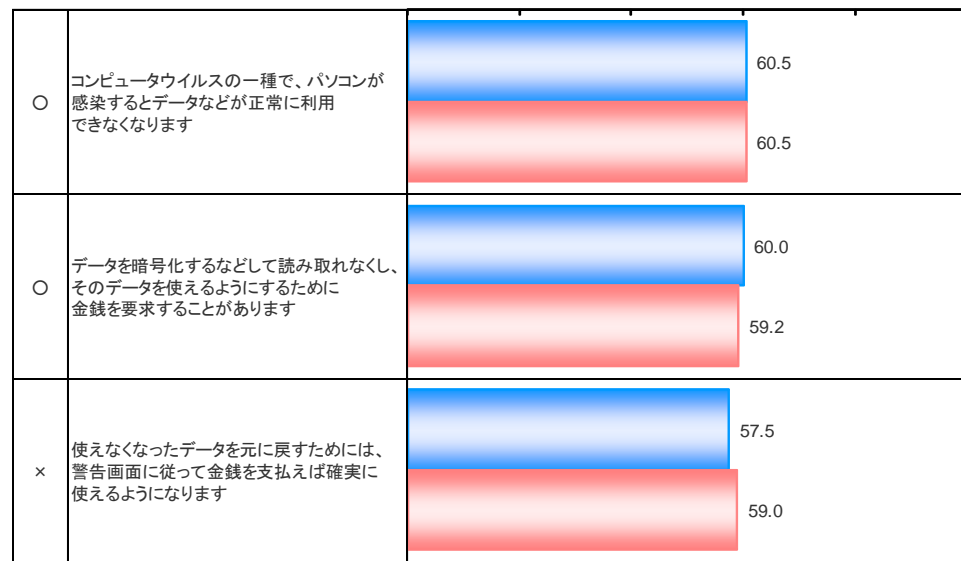
0% 20% 40% 60% 80% 100%



	全問正解	不正解あり
2015年	45.0%	55.0%
2014年	53.1%	46.9%
2013年	50.6%	49.4%
2012年	45.8%	54.8%

ランサムウェア

0% 20% 40% 60% 80% 100%



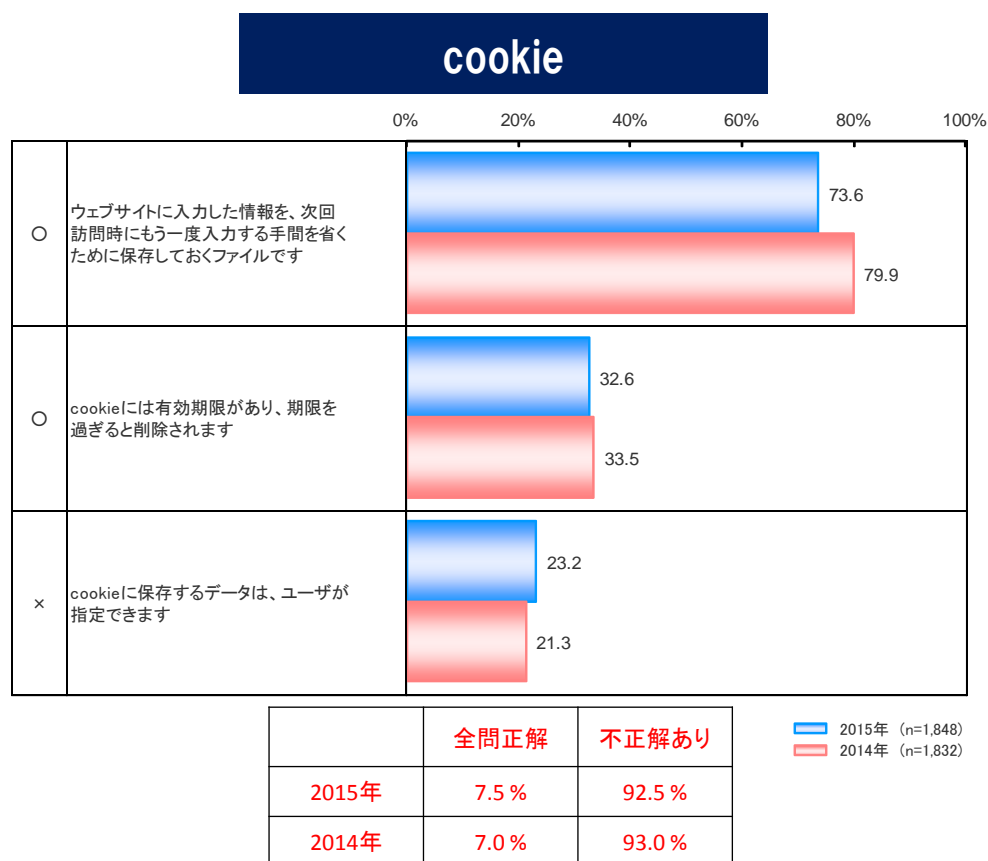
	全問正解	不正解あり
2015年	41.0%	59.0%
2014年	40.0%	60.0%

4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度⑥

- 「cookie」の全問正解率は7.5%と、前回調査をやや上回る結果となった。質問ごとの正解率では、「cookieには有効期限があり、期限を過ぎると削除されます」(32.6%)、「cookieに保存するデータは、ユーザが指定できます」(23.2%)で低く、それぞれ約2～3割に留まった。

Q.10 それぞれの項目について、概要や特徴に関する説明が正しいか間違っているかについて、あなたが思うものを選択してください。(各SA)

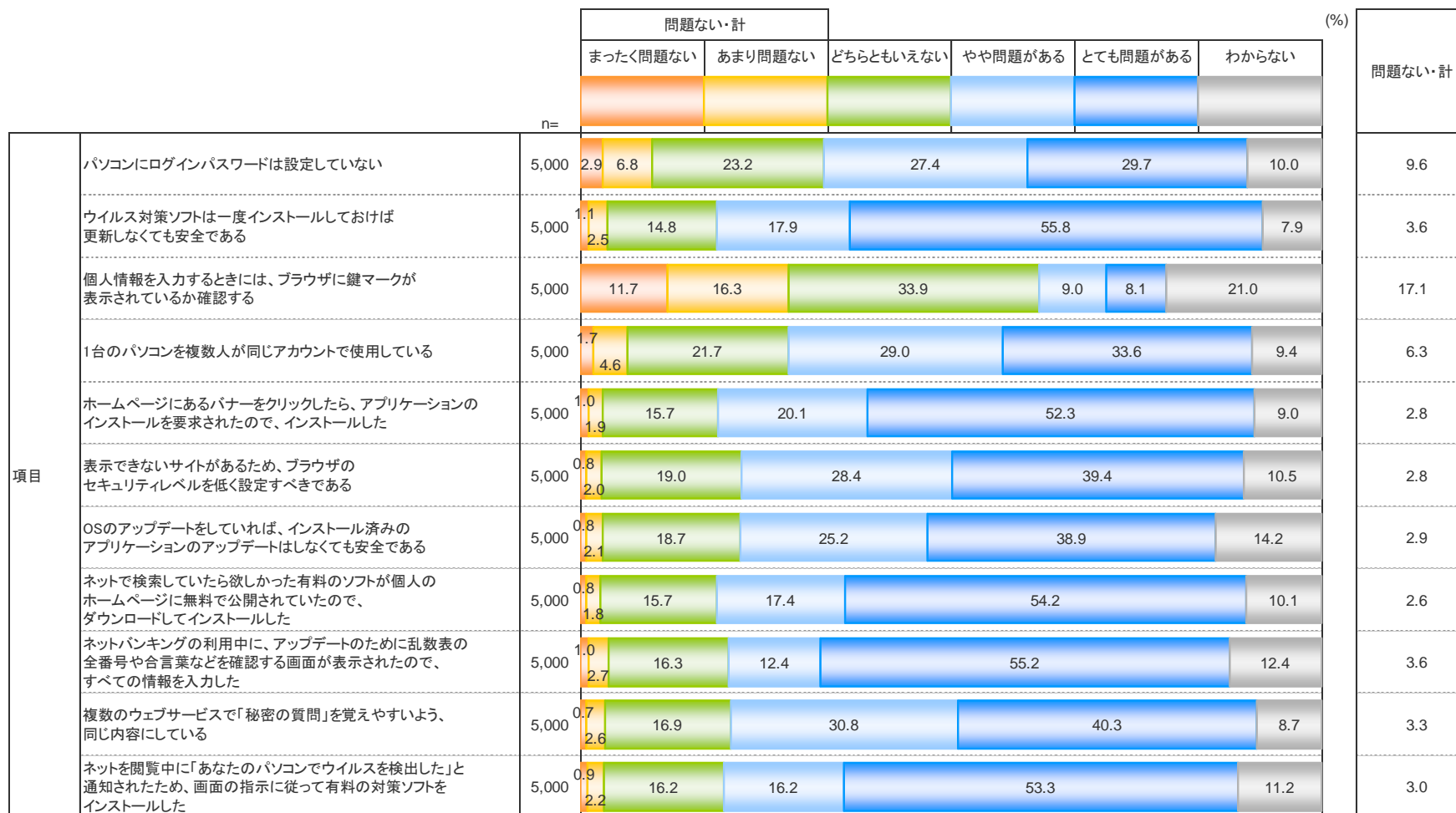
【Q.9の各項目で「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人ベース】



4-2-3.情報セキュリティに関する問題意識①

- 情報セキュリティに関する問題意識について、セキュリティ上問題のある行為に対して「問題ない」と回答した人の割合は、「個人情報を入力する際には、ブラウザに鍵マークが表示されているか確認する」(反転項目のため「やや問題がある」+「とても問題がある」で17.1%)が約2割と最も高く、次いで「パソコンにログインパスワードは設定していない」(9.6%)、「1台のパソコンを複数人が同じアカウントで使用している」(6.3%)と続く。

Q.11 以下の行為について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(各SA)



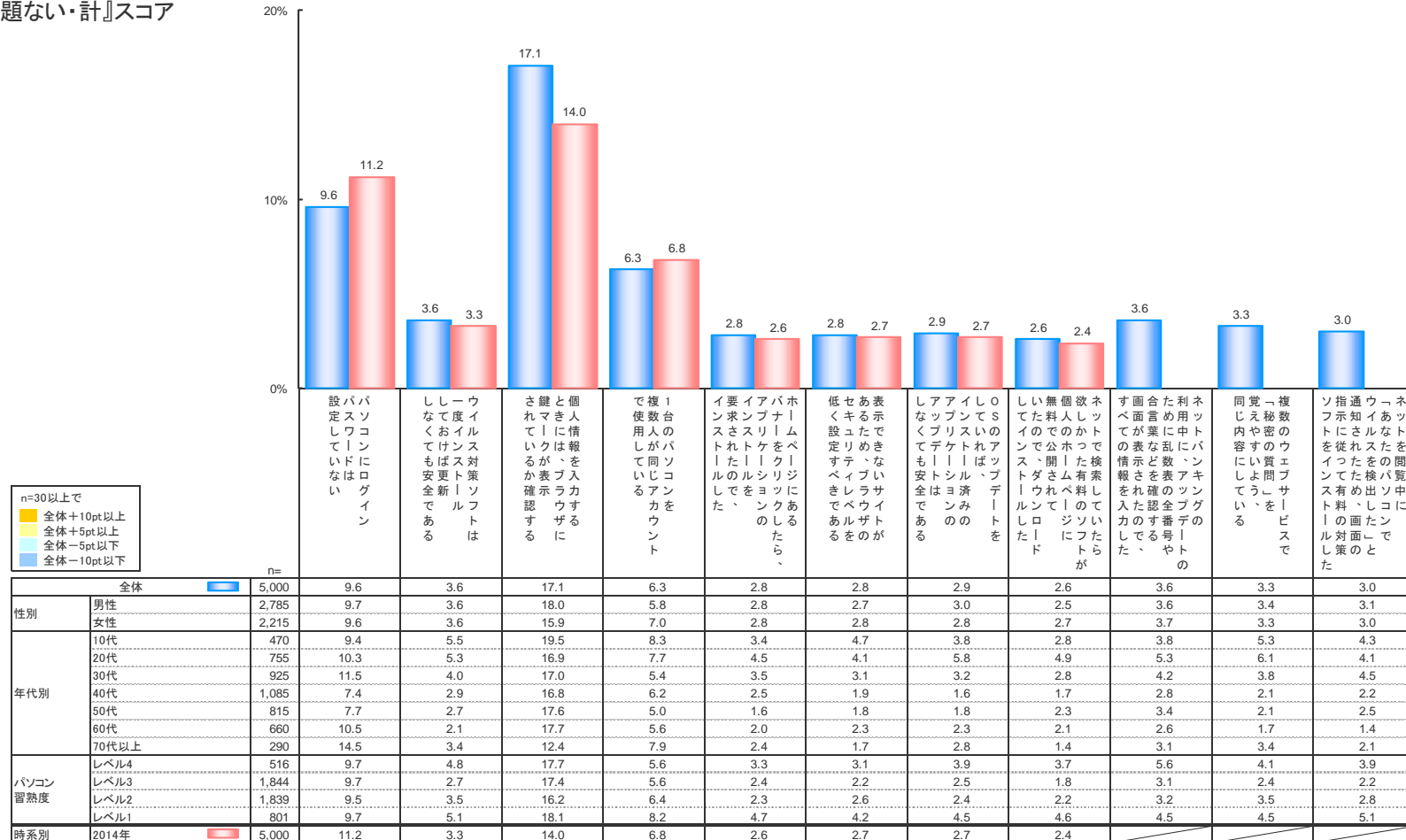
※「個人情報を入力する際には、ブラウザに鍵マークが表示されているか確認する」は正しい行為であり、反転項目のため、「問題ない・計」は「やや問題がある」「とても問題がある」の合計値。

4-2-3.情報セキュリティに関する問題意識②

- 情報セキュリティに関する問題意識について、年代やパソコン習熟度による差はあまり見られなかった。
- 前回調査と比較すると、「個人情報を入力するときには、ブラウザに鍵マークが表示されているか確認する」(17.1%)が約3ポイント増加。「パソコンにログインパスワードを設定していない」(9.6%)がやや減少。

Q.11 以下の行為について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(各SA)

※『問題ない・計』スコア



※「個人情報を入力するときには、ブラウザに鍵マークが表示されているか確認する」は正しい行為であり、反転項目のため、「問題ない・計」は「やや問題がある」「とても問題がある」の合計値。
 ※「ネットバンキングの利用中に、アップデートのために乱数表の全番号や合言葉などを確認する画面が表示されたので、すべての情報を入力した」、「複数のウェブサービスで「秘密の質問」を覚えやすいよう、同じ内容にしている」、「ネットを閲覧中に「あなたのパソコンでウイルスを検出した」と通知されたため、画面の指示に従って有料の対策ソフトをインストールした」は今回調査から追加された項目。

4-2-4.情報セキュリティに関する攻撃の脅威度①

- 情報セキュリティに関する攻撃の脅威度は、全ての項目で約8割と非常に高い結果。特に、「ウイルスに感染して、勝手に銀行口座から不正送金されてしまうこと」、「代金を振り込んだのに商品が届かなかったり、クレジットカードが不正に利用されてしまうこと」は、「脅威を感じる」と回答した人の割合が約7割と高く、金銭的被害を特に脅威と感じている割合が高い。

Q.12 あなたは、次にあげるインターネット上の攻撃や被害を、どの程度脅威に感じていますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(各SA)

	項目	n=	脅威を感じる・計 (%)					脅威を感じる・計 (%)
			脅威を感じる	やや脅威を感じる	どちらともいえない	あまり脅威に感じない	脅威に感じない	
	パソコンがウイルスに感染して氏名やメールアドレスなどの個人情報が流出してしまうこと	5,000	58.6	25.3	12.6	2.1	1.4	83.9
	パソコンがウイルスに感染してパソコンが利用できなくなってしまうこと	5,000	64.3	20.1	12.5	1.6	1.5	84.4
	パソコン内に保存している写真や文書などのデータが流出してしまうこと	5,000	53.6	25.6	15.7	3.3	1.7	79.2
	代金を振り込んだのに商品が届かなかったり、クレジットカードが不正に利用されてしまうこと	5,000	69.4	14.8	12.8	1.5	1.5	84.2
	お気に入りに登録したURLからアクセスしても、偽物のサイトに誘導させられてしまうこと	5,000	55.1	25.7	15.3	2.4	1.5	80.8
	ウイルスに感染して、知らぬ間に他人のパソコンを攻撃してしまうこと	5,000	60.5	21.3	15.0	1.8	1.4	81.9
	ウイルスに感染して知らぬ間に他人宛にウイルスメールを送ってしまい自分が犯人と誤解されてしまうこと	5,000	62.7	19.8	14.4	1.7	1.5	82.5
	ウイルスに感染して、勝手に銀行口座から不正送金されてしまうこと	5,000	70.7	13.5	12.9	1.5	1.4	84.2
	キーボードから入力した情報や、ウェブの検索・閲覧履歴が収集されてしまうこと	5,000	52.0	27.6	16.2	2.6	1.6	79.6

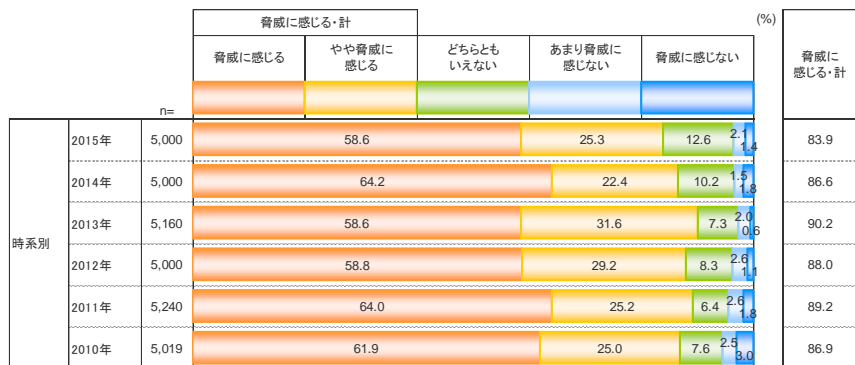
4-2-4.情報セキュリティに関する攻撃の脅威度②

■ 情報セキュリティに関する攻撃の脅威度は、どの項目においても、過去の調査から大きな変化は見られない。

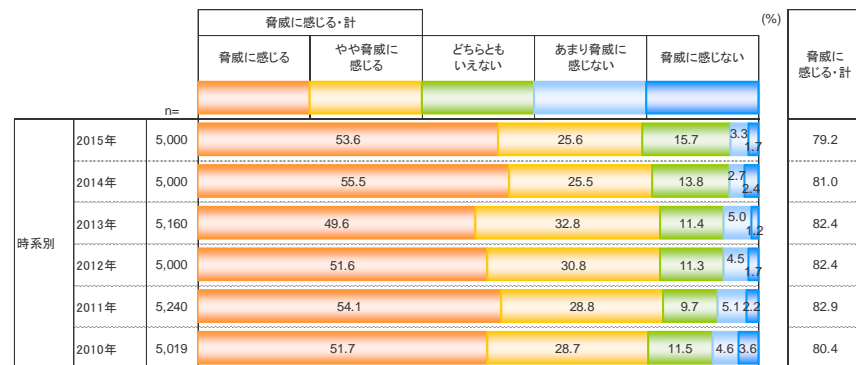
- ・ 前回調査と比較すると、脅威を感じる割合がわずかに減少。

Q.12 あなたは、次にあげるインターネット上の攻撃や被害を、どの程度脅威に感じていますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(各SA)

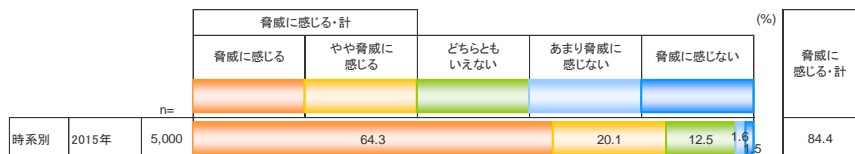
パソコンがウイルスに感染して氏名やメールアドレスなどの個人情報が流出してしまうこと



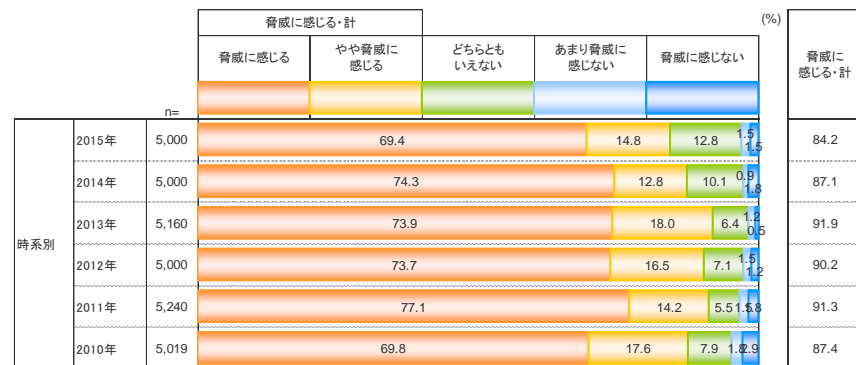
パソコン内に保存している写真や文書などのデータが流出してしまうこと



パソコンがウイルスに感染してパソコンが利用できなくされてしまうこと



代金を振り込んだのに商品が届かなかったり、クレジットカードが不正に利用されてしまうこと



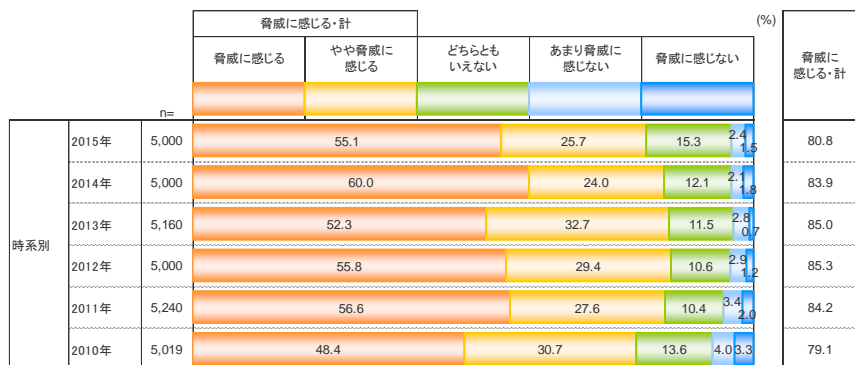
4-2-4.情報セキュリティに関する攻撃の脅威度③

■ 情報セキュリティに関する攻撃の脅威度は、どの項目においても、過去の調査から大きな変化は見られない。

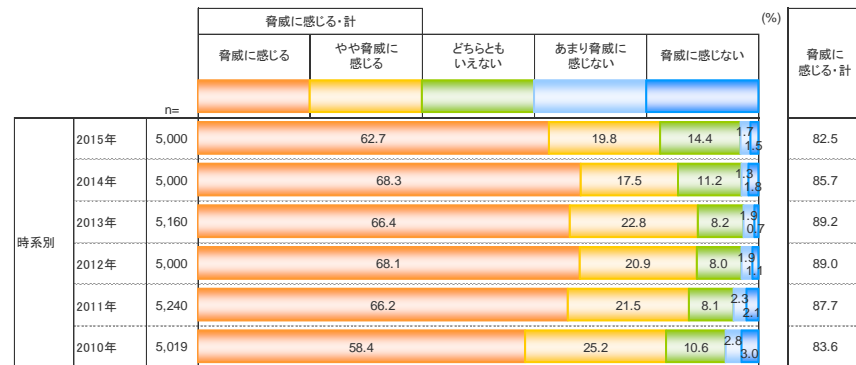
- ・ 前回調査と比較すると、脅威を感じる割合がわずかに減少。

Q.12 あなたは、次にあげるインターネット上の攻撃や被害を、どの程度脅威に感じていますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(各SA)

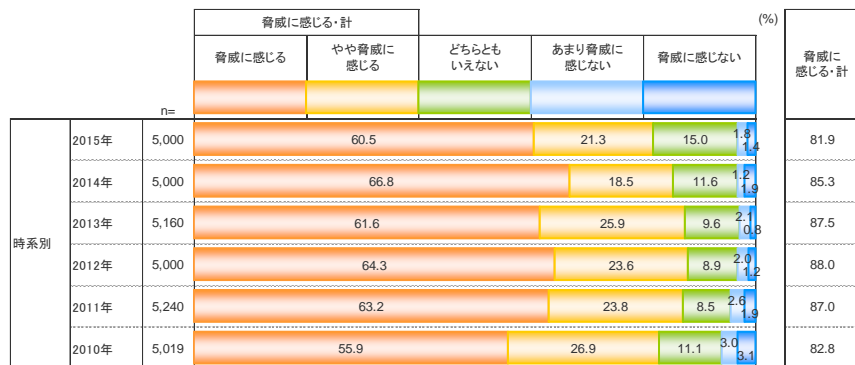
お気に入りの登録したURLからアクセスしても、偽物のサイトに誘導させられてしまうこと



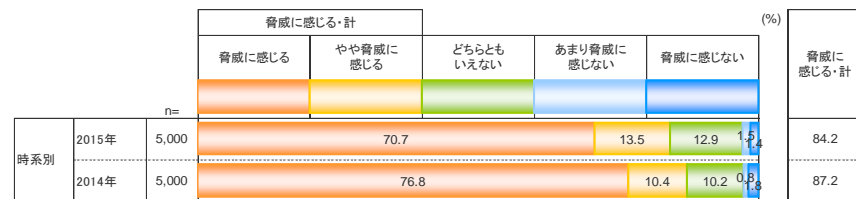
ウイルスに感染して知らぬ間に他人宛にウイルスメールを送ってしまい自分が犯人と誤解されてしまうこと



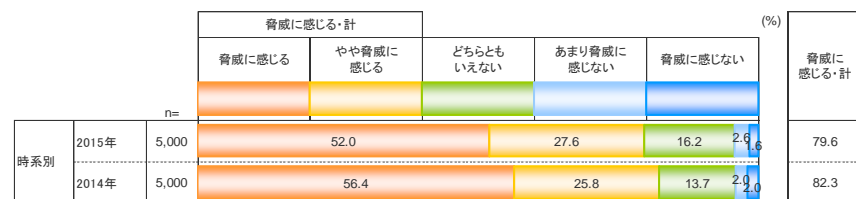
ウイルスに感染して、知らぬ間に他人のパソコンを攻撃してしまうこと



ウイルスに感染して、勝手に銀行口座から不正送金されてしまうこと



キーボードから入力した情報や、ウェブの検索・閲覧履歴が収集されてしまうこと

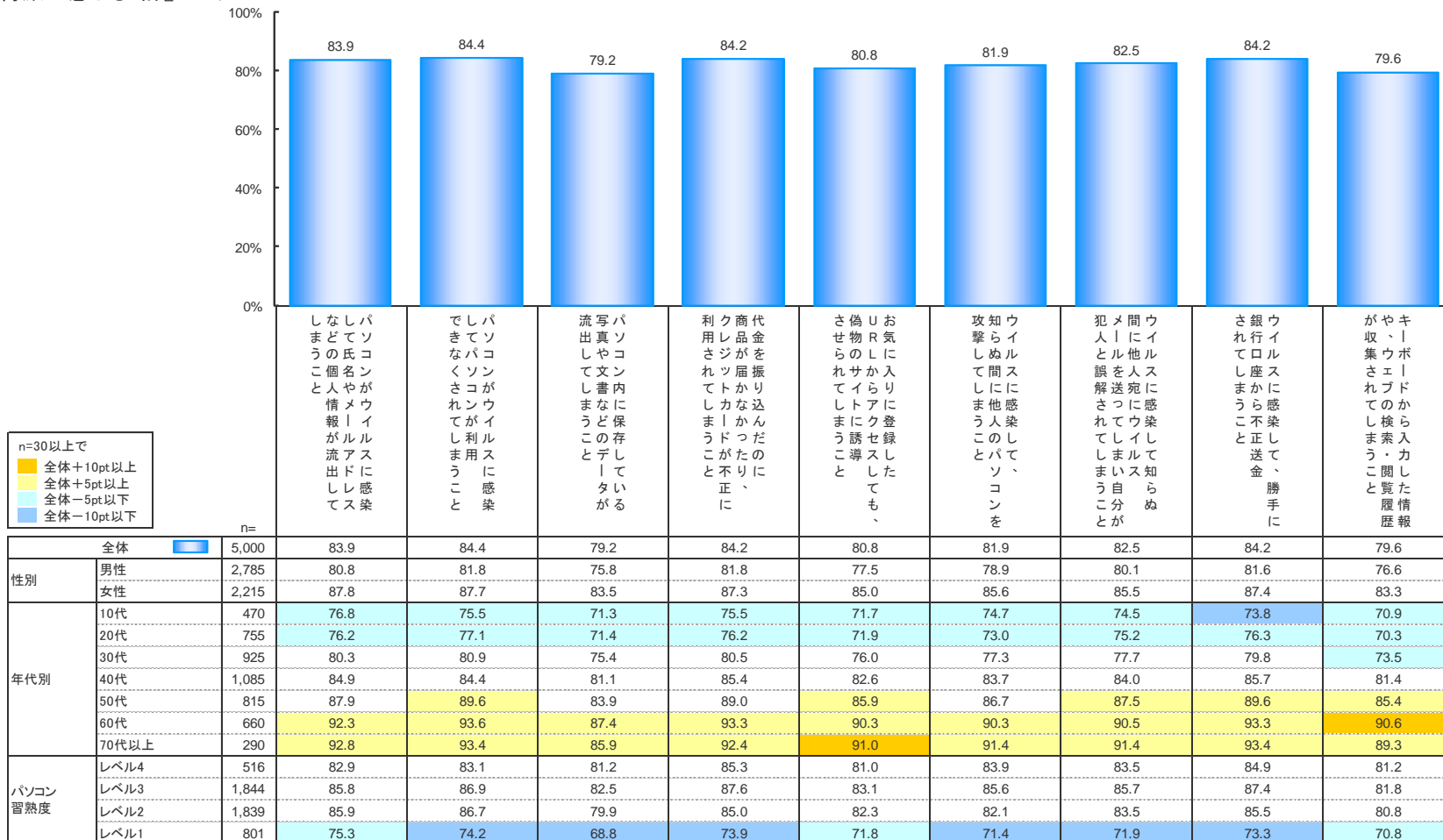


4-2-4.情報セキュリティに関する攻撃の脅威度④

- 情報セキュリティに関する攻撃の脅威度について、脅威に感じると回答した人の割合を年代別で見ると、60代以上の高齢層では、全ての項目で約9割と、他の年代と比べて高い。
- パソコン習熟度別で見ると、レベル1では、ほとんどの項目で約7割と、全体より低い。

Q.12 あなたは、次にあげるインターネット上の攻撃や被害を、どの程度脅威に感じていますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(各SA)

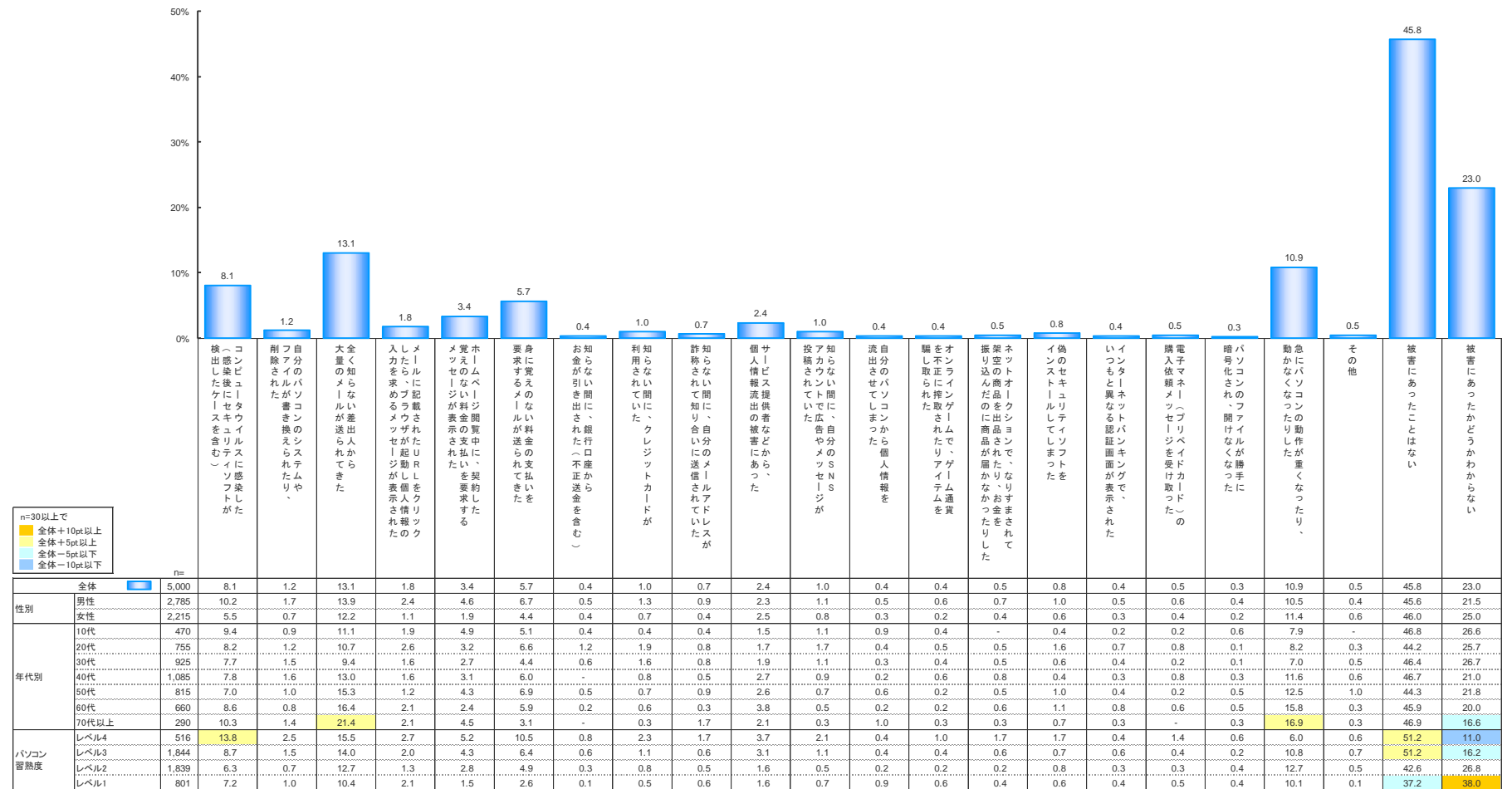
※『脅威に感じる・計』スコア



4-3-1. 過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブル②

- 過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブルの状況について、年代別で見ると、70代以上では、「全く知らない差出人から大量のメールが送られてきた」(21.4%)、「急にパソコンの動作が重くなったり、動かなくなったりした」(16.9%)が、他の年代と比べて高い。
- パソコン習熟度別で見ると、レベル1では、「被害にあったかどうかわからない」(38.0%)が、全体より高い。

Q.13 あなたは、過去1年間にパソコンやインターネットを利用して、以下のような情報セキュリティに関する被害やトラブルを経験したことがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(MA)



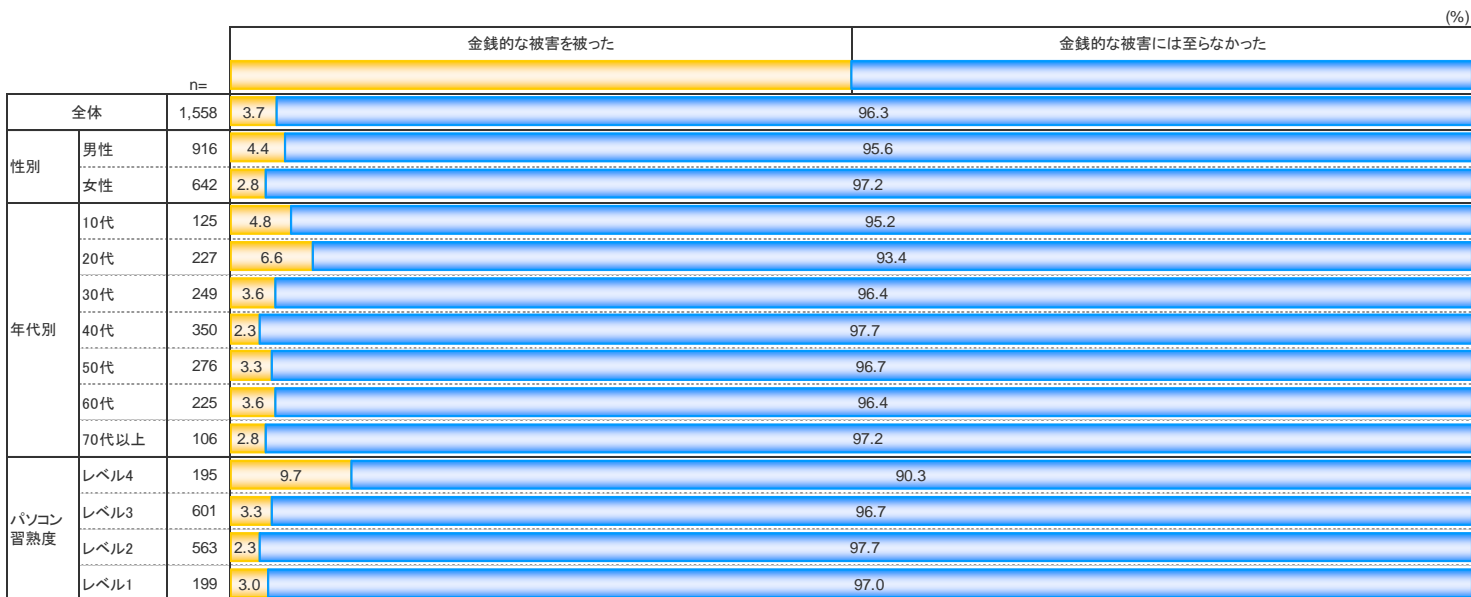
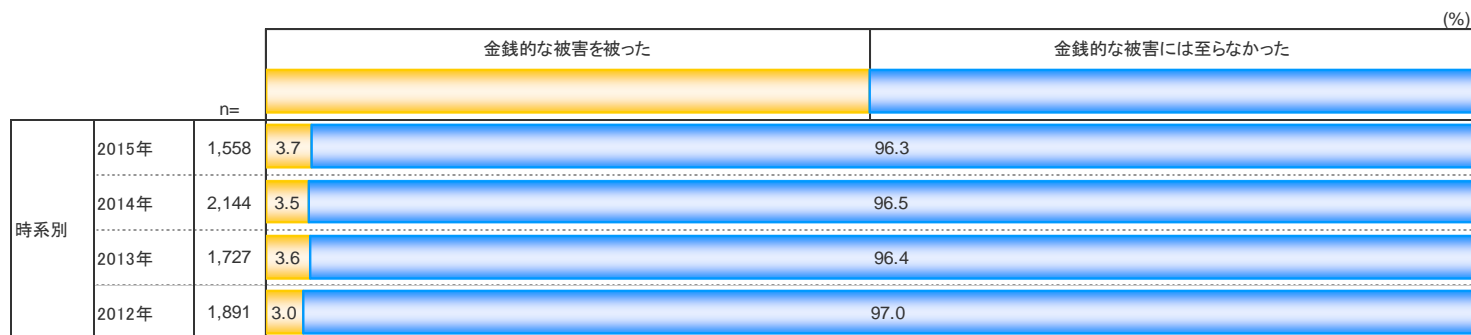
※「パソコンのファイルが勝手に暗号化され、開けなくなった」は今回調査から追加された項目。

4-3-2.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害経験

- 過去1年間に情報セキュリティに関する被害・トラブルを経験した人のうち、金銭的被害経験者は3.7%で、過去の調査と同程度の結果となった。
 - ・年代別で見ると、20代では6.6%と、他の年代と比べて高い。
 - ・パソコン習熟度別で見ると、レベル4では9.7%と、全体より高い。

Q.14 Q.13でお答えになった情報セキュリティに関する被害やトラブルで、あなたは過去1年間に金銭的な被害を被りましたか。(SA)

【Q.13で「被害にあったことはない」または「被害にあったかどうかわからない」以外を回答した人ベース】

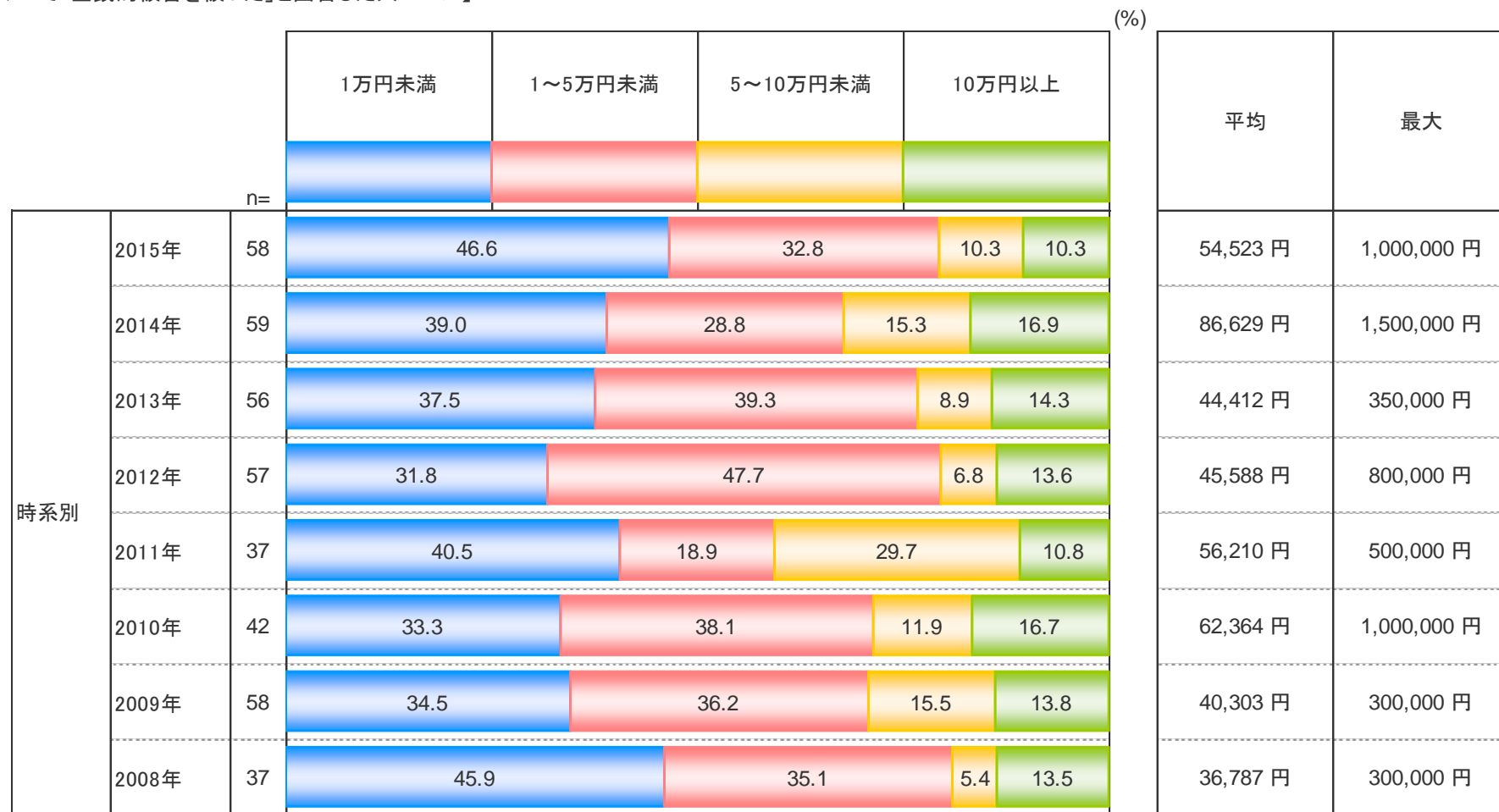


4-3-3.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額①

- 過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額は、「1万円未満」が46.6%と、過去の調査と比べて少額被害の割合が高い。
- 平均被害金額は54,523円と、前年より低いものの、過去の調査と比べて同水準。

Q.15 Q.14でお答えの情報セキュリティに関する被害やトラブルについて、それぞれ過去1年間で被った具体的な被害額をご記入ください。
 ※金銭的な被害を被っていないトラブルについては「0円」とご記入ください。(NU)

【Q.14で「金銭的被害を被った」と回答した人ベース】



4-3-3.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額②

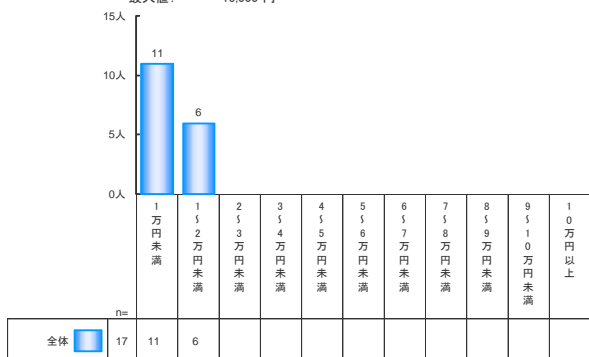
- 過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害の分布状況について、「ホームページ閲覧中に表示された、契約した覚えのない料金支払要求メッセージ」では、1万円未満が多く、中央値は5,000円。「身に覚えのない料金の支払いを要求するメール」(中央値:20,000円)、「ネットオークションでの被害」(中央値:30,000円)では、1万円未満~7万円未満の範囲で分散しており、「知らない間に、銀行口座からお金が引き出された(不正送金を含む)」(中央値:130,000円)では、100万円の高額被害も見られる。

Q.15 Q.14でお答えの情報セキュリティに関する被害やトラブルについて、それぞれ過去1年間で被った具体的な被害額をご記入ください。
 ※金銭的な被害を被っていないトラブルについては「0円」とご記入ください。(NU)

【Q.14で「金銭的被害を被った」と回答した人ベース】

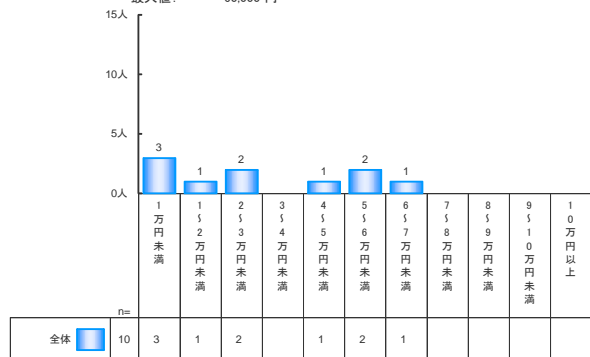
ホームページ閲覧中に表示された、
契約した覚えのない料金支払要求メッセージ

中央値: 5,000円
 平均値: 5,688円
 最大値: 15,000円



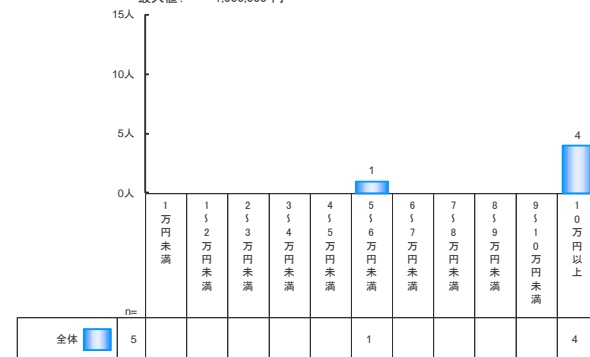
身に覚えのない料金の支払いを要求するメール

中央値: 20,000円
 平均値: 26,800円
 最大値: 60,000円



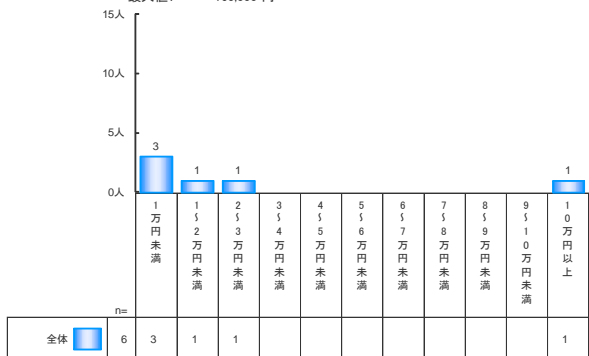
知らない間に、銀行口座から
お金が引き出された(不正送金を含む)

中央値: 130,000円
 平均値: 436,000円
 最大値: 1,000,000円



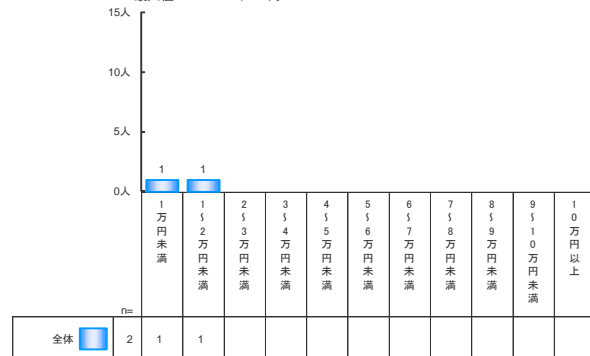
知らない間に、クレジットカードが利用されていた

中央値: 8,000円
 平均値: 33,250円
 最大値: 160,000円



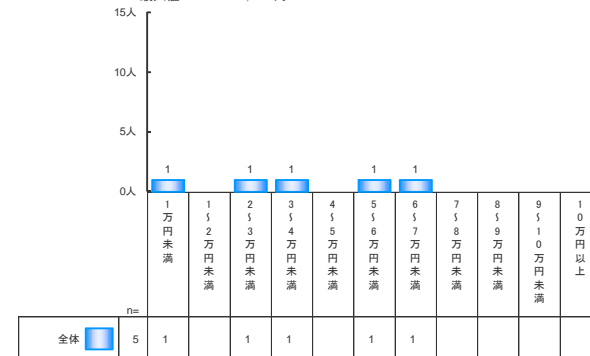
オンラインゲームでの被害

中央値: 7,500円
 平均値: 7,500円
 最大値: 12,000円



ネットオークションでの被害

中央値: 30,000円
 平均値: 32,800円
 最大値: 60,000円



※数値は金銭的被害にあった人数(n数)。

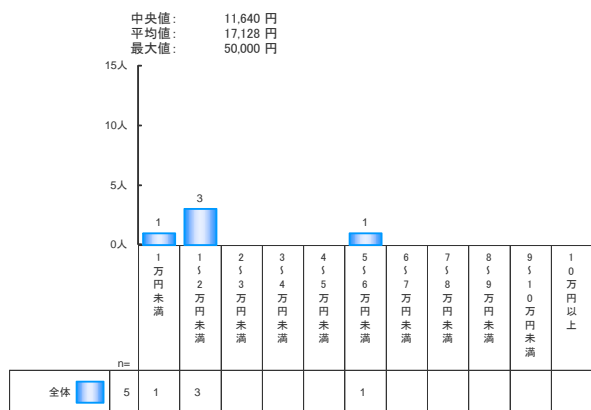
4-3-3.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額③

・「偽のセキュリティソフトによる被害(購入費など)」「要求された電子マネーなどの購入額」(中央値:10,640円)、「要求された電子マネーなどの購入額」(中央値:10,000円)では、1万円前後の金額的被害状況が見られる。

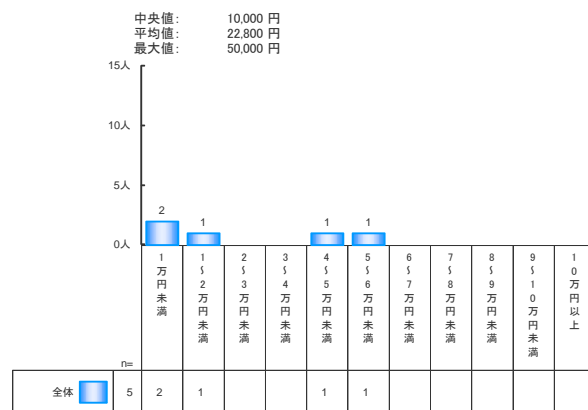
Q.15 Q.14でお答えの情報セキュリティに関する被害やトラブルについて、それぞれ過去1年間で被った具体的な被害額をご記入ください。
 ※金銭的な被害を被っていないトラブルについては「0円」とご記入ください。(NU)

【Q.14で「金銭的被害を被った」と回答した人ベース】

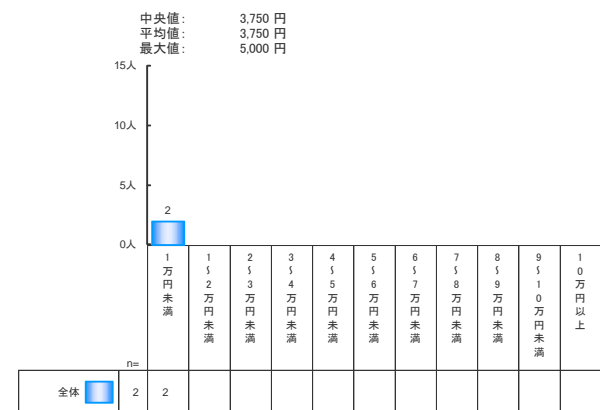
偽のセキュリティソフトによる被害(購入費など)



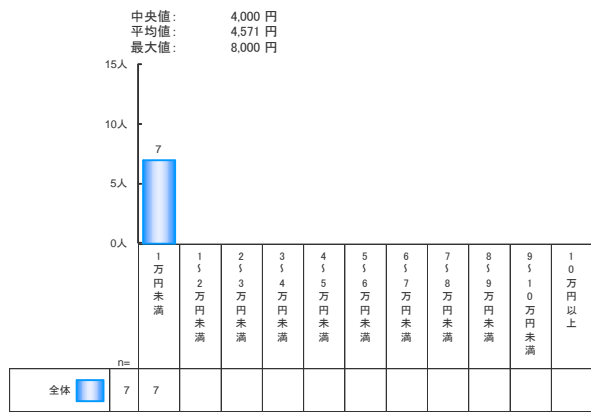
要求された電子マネーなどの購入額



トラブル対応のために有償サービスを利用した費用



その他



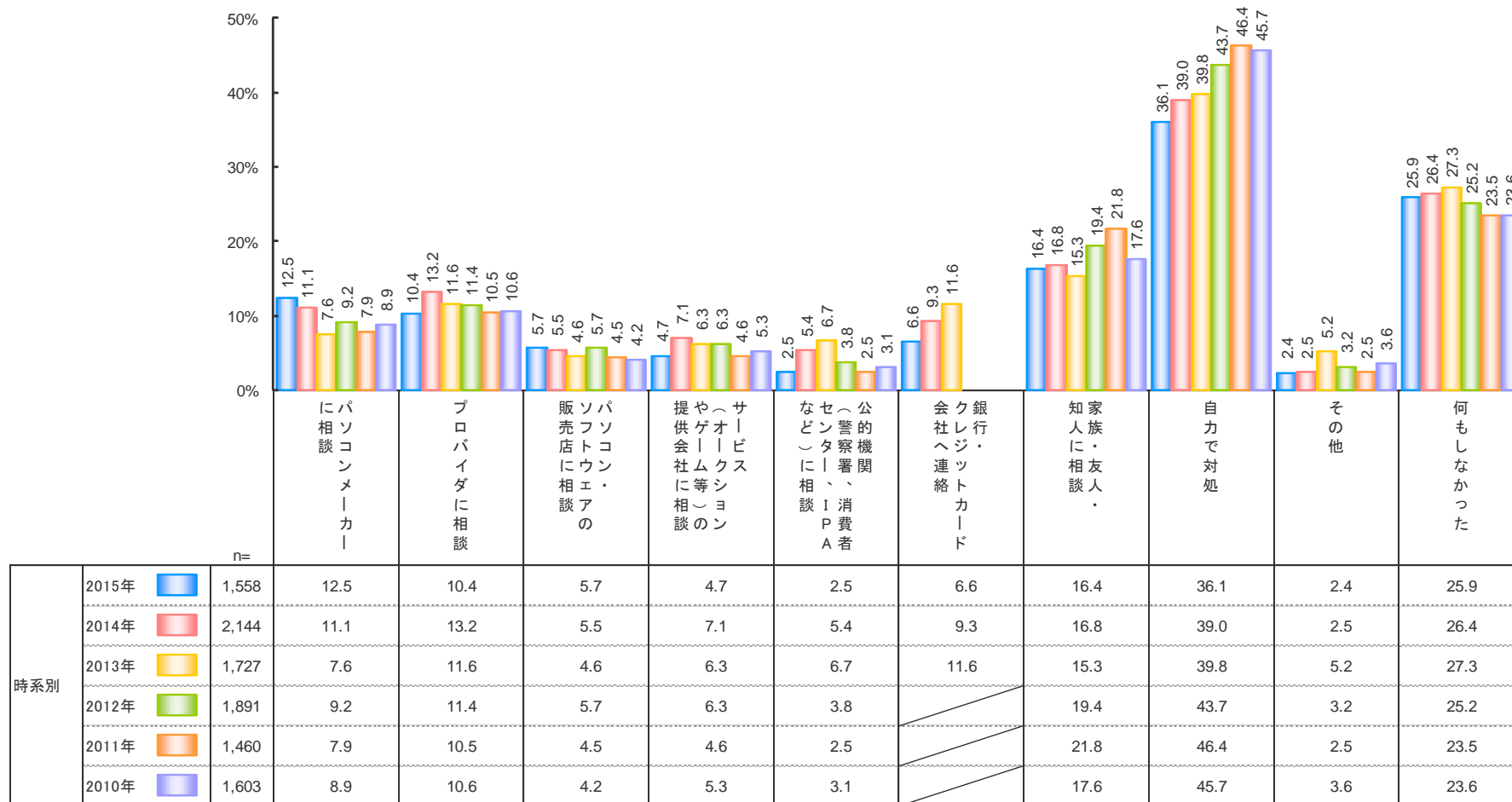
※数値は金銭的被害にあった人数(n数)。

4-3-4.情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法①

- 情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法は、「自力で対処」(36.1%)が最も高く、「家族・友人・知人に相談」が16.4%と続く。一方、被害にあったことがある人のうち、約4人に1人が「何もしなかった」(25.9%)と回答している。
- 過去の調査と比較すると、「自力で対処」、「銀行・クレジットカード会社へ連絡」(6.6%)が引き続き減少。「パソコンメーカーに相談」(12.5%)が引き続き増加。一方、前回調査まで増加していた「プロバイダに相談」(10.4%)、「サービス(オークションやゲーム等)の提供会社に相談」(4.7%)、前々回調査まで増加していた「何もしなかった」は減少。

Q.16 Q.13でお答えになった被害やトラブルにあったときに、あなたがとった対処方法を以下からすべて選択してください。(MA)

【Q.13で「被害にあったことはない」または「被害にあったかどうかわからない」以外を回答した人ベース】

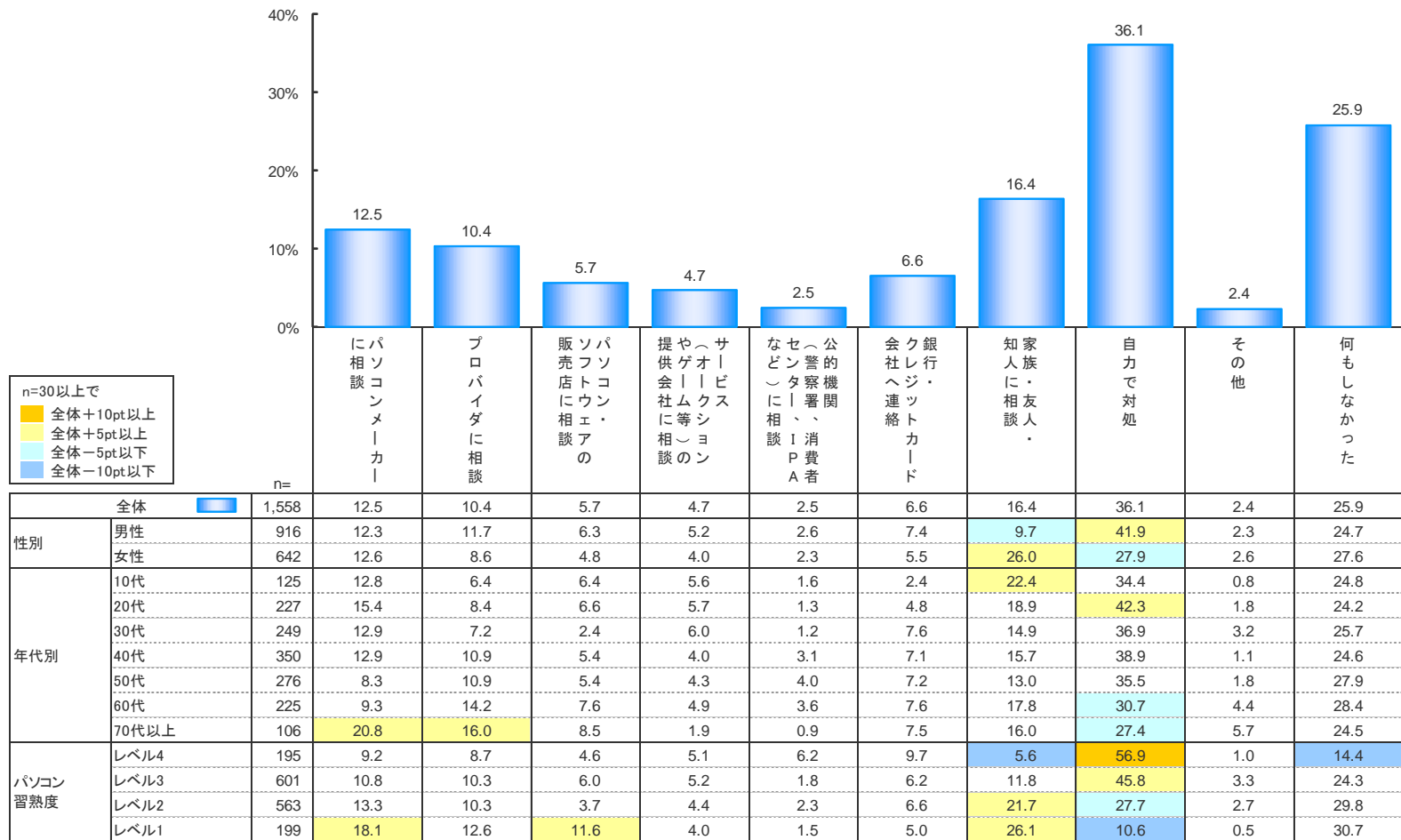


4-3-4.情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法②

- 情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法について、性別で見ると、男性では、「自力で対処」(41.9%)が女性より高く、女性では、「家族・友人・知人に相談」(26.0%)が男性より高い。
- 年代別で見ると、20代では、「自力で対処」(42.3%)が4割を超え、他の年代と比べて高い。
- パソコン習熟度別で見ると、レベルが高い層ほど「自力で対処」、レベルの低い層ほど「家族・友人・知人に相談」の割合が高い。また、レベル1では、「パソコンメーカーに相談」(18.1%)、「パソコン・ソフトウェアの販売店に相談」(11.6%)など、取扱店やメーカーなどに相談している割合が他のレベルより高い。

Q.16 Q.13でお答えになった被害やトラブルにあったときに、あなたがとった対処方法を以下からすべて選択してください。(MA)

【Q.13で「被害にあったことはない」または「被害にあったかどうかわからない」以外を回答した人ベース】



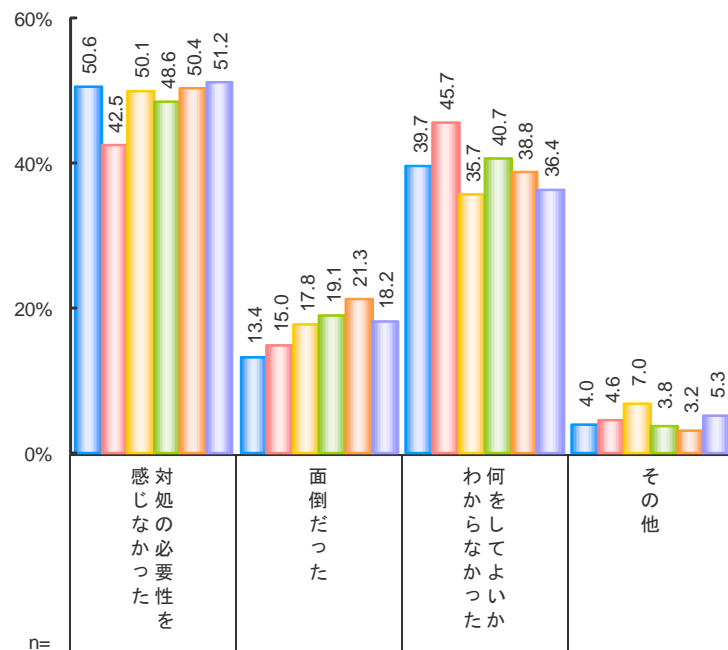
4-3-5.情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由

■ 情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由は、「対処の必要性を感じなかった」(50.6%)が約半数と最も高く、次いで「何をしてもよいかわからなかった」(39.7%)も約4割と高い。「面倒だった」(13.4%)は前回調査に引き続き減少。

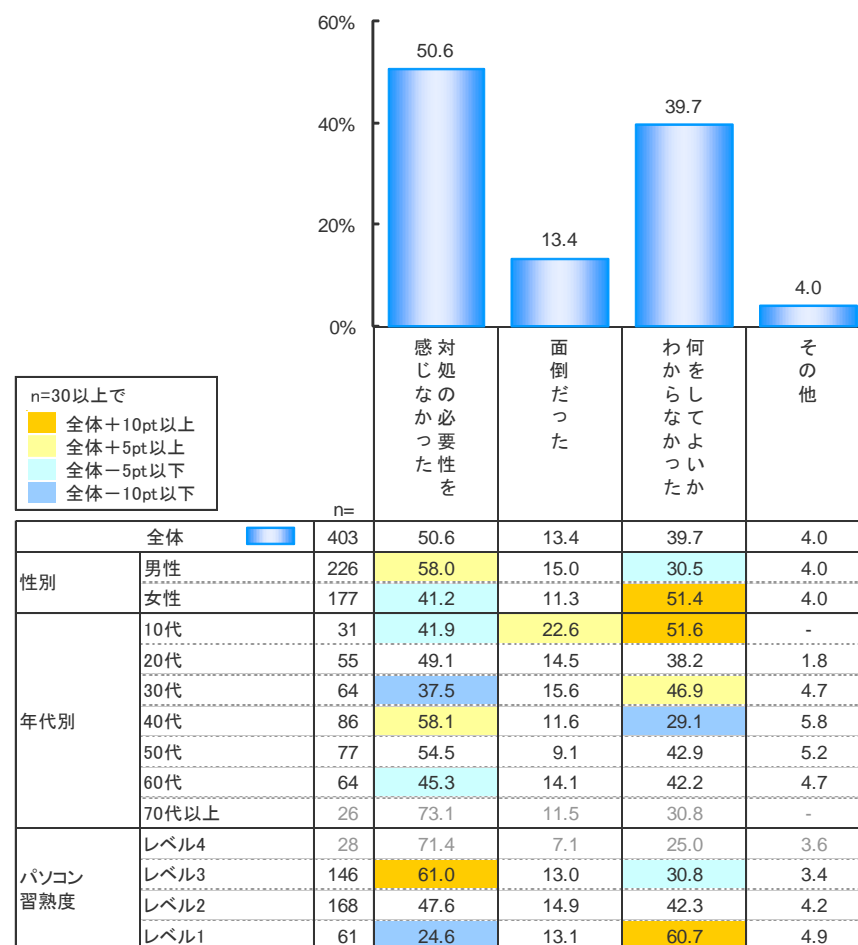
・ 女性、10代、30代、パソコン習熟度がレベル1では、「何をしてもよいかわからなかった」がトップの理由となった。

Q.17 対処を何もしなかった理由をすべて選択してください。(MA)

【Q.16で「何もしなかった」と回答した人ベース】



時系列	年	n	理由 (%)			
			感じなかつた必要性	面倒だった	わからなかつたよいか	その他
時系列別	2015年	403	50.6	13.4	39.7	4.0
	2014年	567	42.5	15.0	45.7	4.6
	2013年	471	50.1	17.8	35.7	7.0
	2012年	477	48.6	19.1	40.7	3.8
	2011年	343	50.4	21.3	38.8	3.2
	2010年	379	51.2	18.2	36.4	5.3

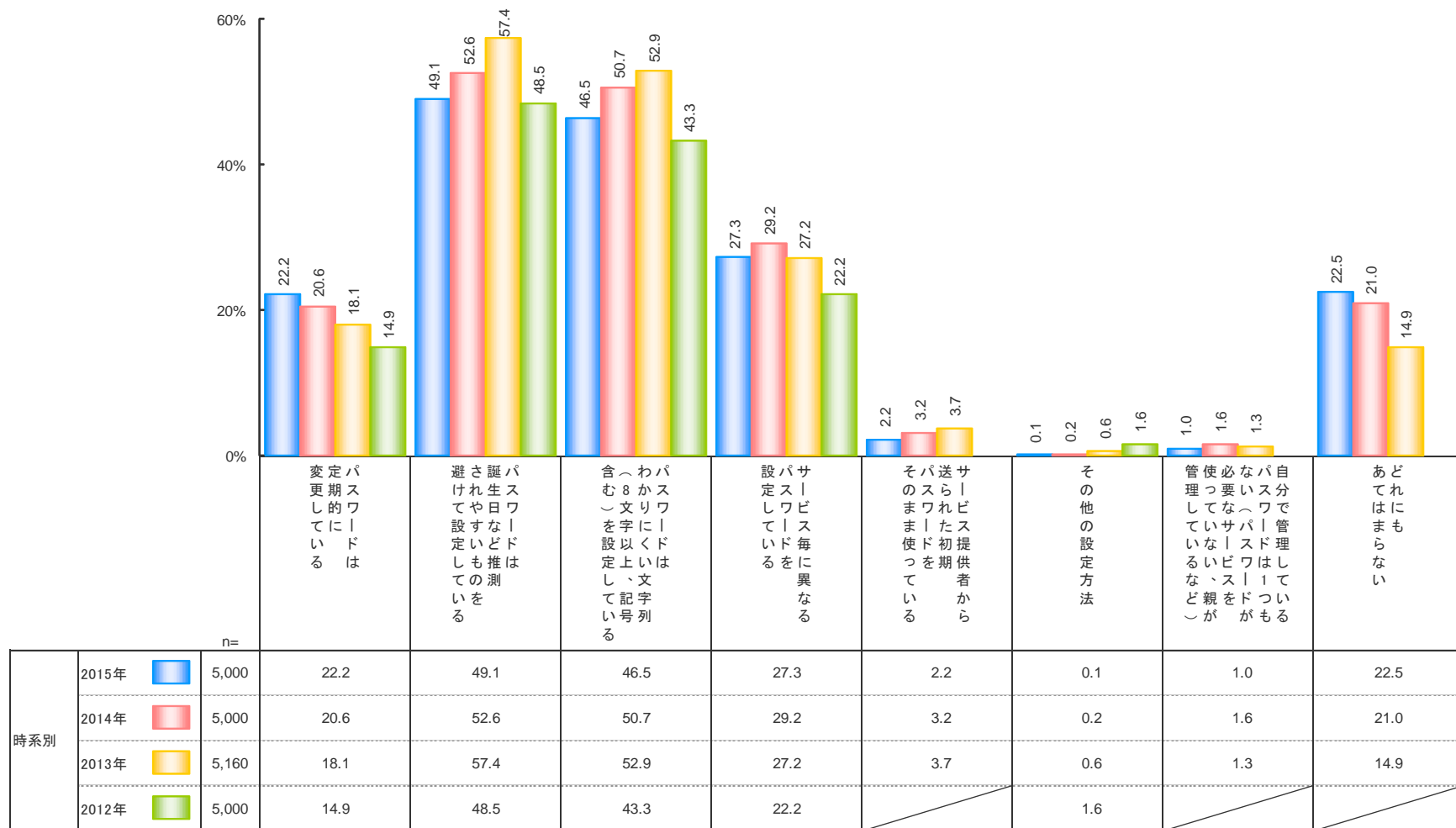


※n=30未満は参考値のため灰色。

4-4.情報セキュリティ対策の実施状況 4-4-1.パスワードの設定方法①

- パスワードの設定方法は、「パスワードは誕生日など推測されやすいものを避けて設定している」(49.1%)、「パスワードはわかりにくい文字列(8文字以上、記号含む)を設定している」(46.5%)が上位。
- 過去の調査と比較すると、「パスワードは定期的に変更している」(22.2%)が引き続き増加している一方、「パスワードは誕生日など推測されやすいものを避けて設定している」、「パスワードはわかりにくい文字列(8文字以上、記号含む)を設定している」、は前回調査に引き続き減少。

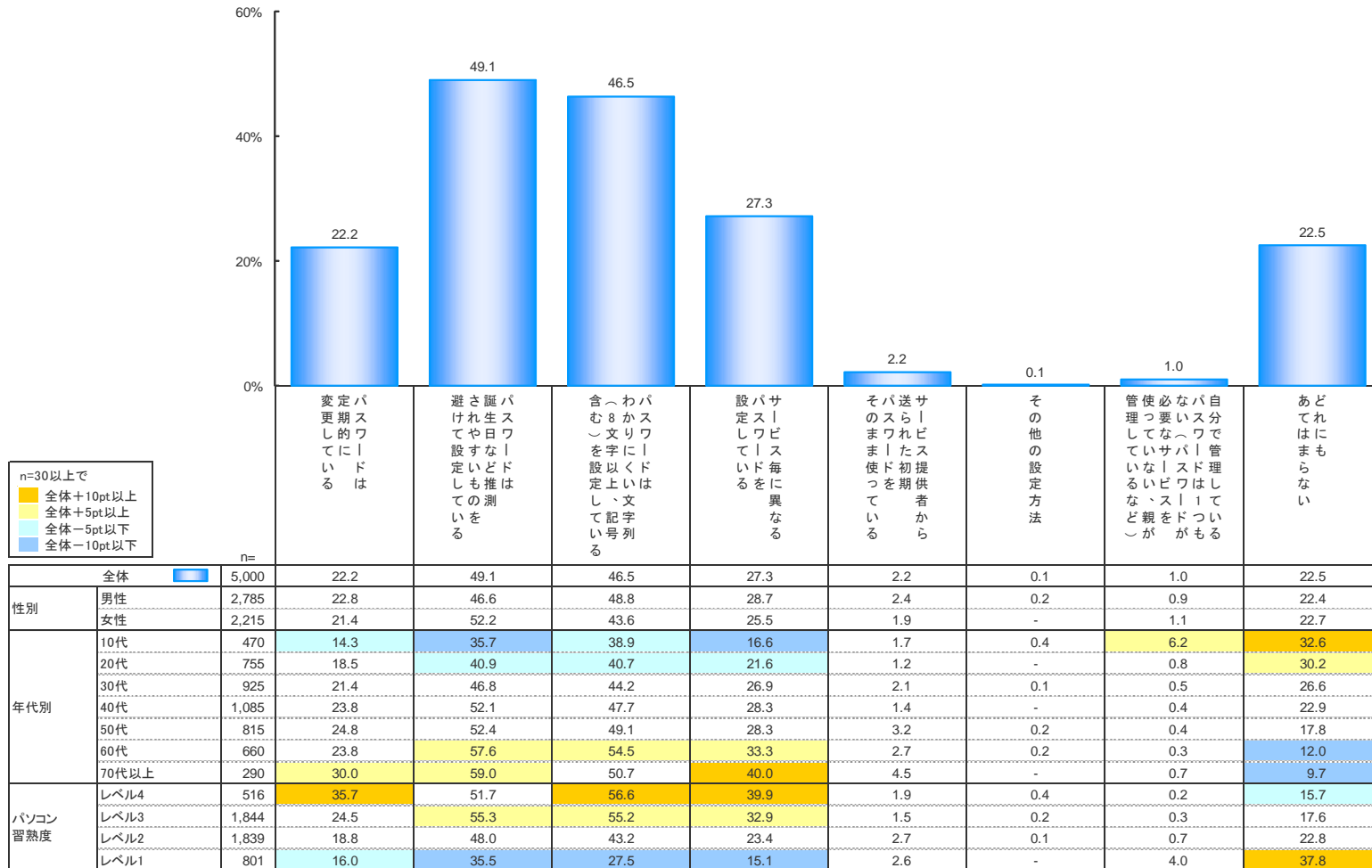
Q.18 インターネット上のサービス、及び電子メールのアカウントのパスワード設定方法について、あてはまるものをすべて選択してください。(MA)



4-4-1.パスワードの設定方法②

- パスワードの設定方法について、年代別で見ると、10~20代の若年層では、「パスワードは誕生日など推測されやすいものを避けて設定している」、「パスワードはわかりにくい文字列(8文字以上、記号含む)を設定している」、「サービス毎に異なるパスワードを設定している」が低い一方、60代以上の高齢層では高い。
- パソコン習熟度別で見ると、レベルが上がるほど、「パスワードは定期的に更新している」、「パスワードはわかりにくい文字列(8文字以上、記号含む)を設定している」、「サービス毎に異なるパスワードを設定している」の割合が高く、レベルの高い利用者はパスワードの設定・管理の方法について意識している様子が見られる。

Q.18 インターネット上のサービス、及び電子メールのアカウントのパスワード設定方法について、あてはまるものをすべて選択してください。(MA)

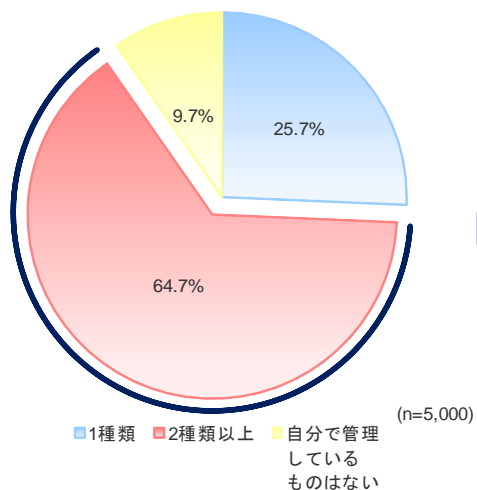


4-4-1.パスワードの設定方法③ 複数IDを持つ利用者のパスワード設定

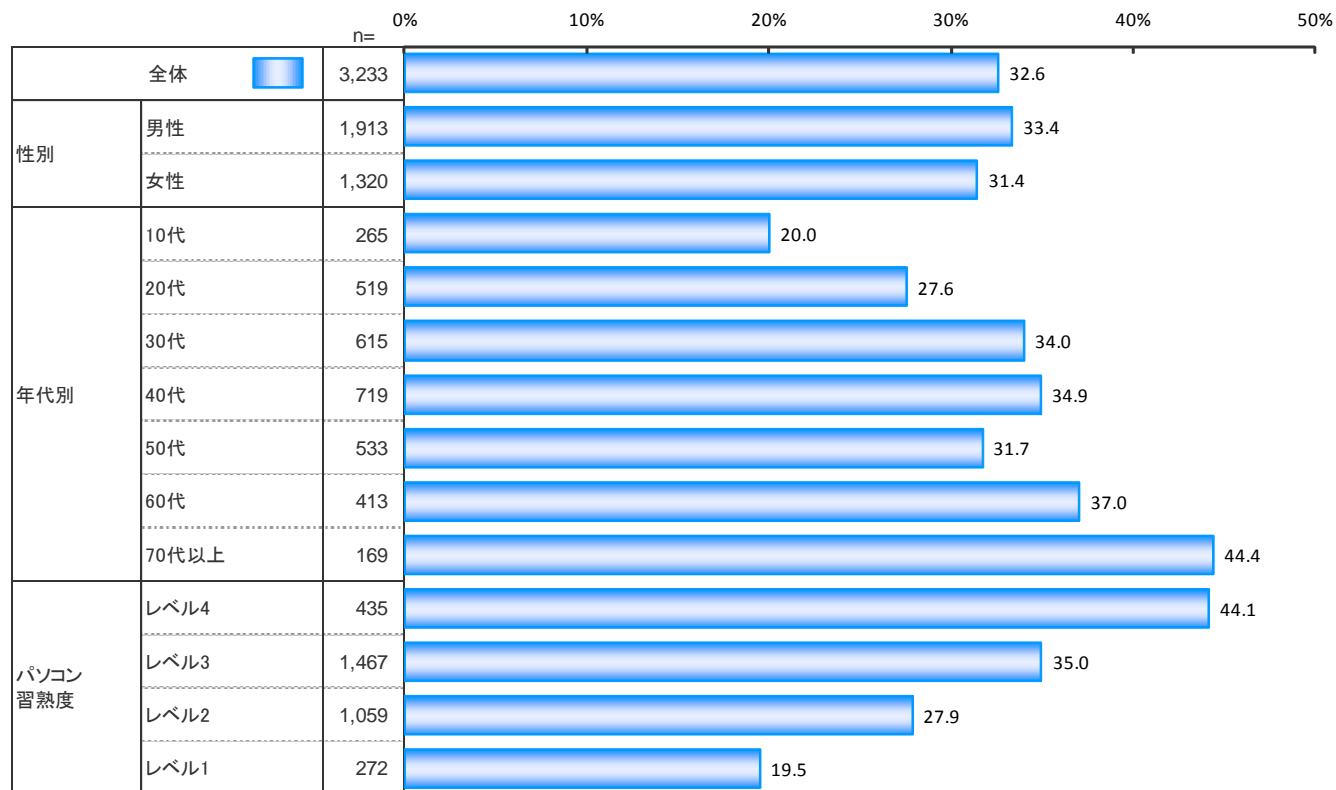
- インターネットで利用しているID(アカウント)を2種類以上管理している利用者の内、32.6%がサービス毎に異なるパスワードを設定している。
 - ・ 年代別に見ると、10代では20.0%と最も低く、年代が高くなるほどサービス毎に異なるパスワードを設定している割合が高い。
 - ・ パソコン習熟度別で見ると、レベルが高くなるほどサービス毎に異なるパスワードを設定している割合が高い。

Q.18 インターネット上のサービス、及び電子メールのアカウントのパスワード設定方法について、あてはまるものをすべて選択してください。
 /サービス毎に異なるパスワードを設定している(MA)

Q.6 あなたがインターネットで利用しているID(アカウント)の内、自分で管理しているものはいくつありますか。
 あてはまるものを1つだけ選択してください。(SA)



【Q.6で管理しているアカウント数が2種類以上と回答した人ベース】

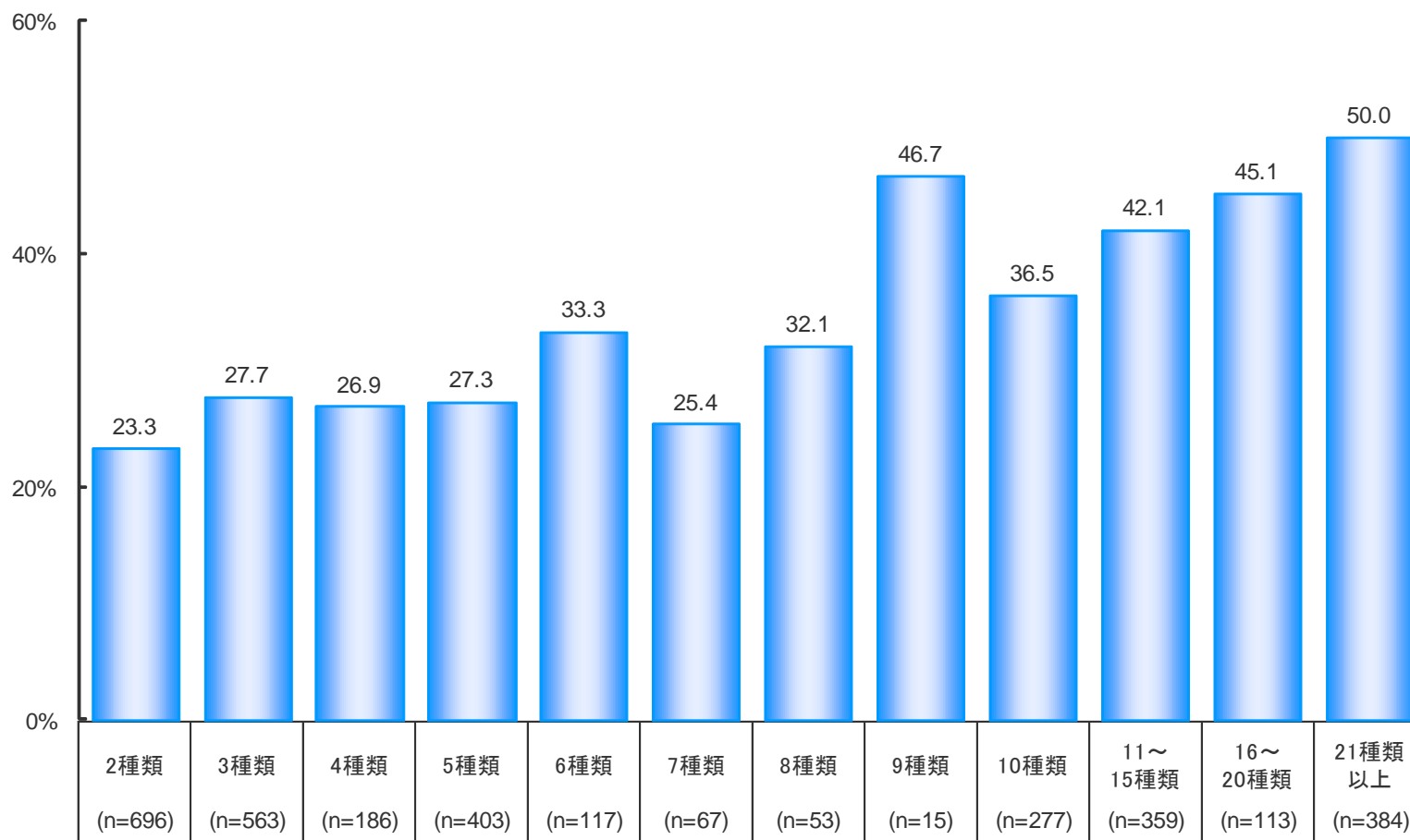


4-4-1.パスワードの設定方法④ 複数IDを持つ利用者のパスワード設定

- 管理しているID(アカウント数)別にサービス毎に異なるパスワードを設定している割合を見ると、「21種類以上」(50.0%)が最も高い。
 - ・ 管理しているID数が多い方がサービス毎に異なるパスワードを設定している割合が高い。

Q.18 インターネット上のサービス、及び電子メールのアカウントのパスワード設定方法について、あてはまるものをすべて選択してください。
／サービス毎に異なるパスワードを設定している(MA)

【Q.6で管理しているアカウント数が2種類以上と回答した人ベース】



4-4-1.パスワードの設定方法⑤ 複数IDを持つ利用者のパスワード設定

■ パソコン習熟度別に見ると、レベル4では、「16～20種類」、「21種類以上」管理している利用者の内、6割以上がサービス毎に異なるパスワードを設定している。

- ・ 習熟度がレベル4と非常に高い利用者の場合、管理しているID数が多い場合もサービス毎に異なるパスワードを設定している。
- ・ 習熟度が低く、管理しているID数も少ない利用者ほどサービス毎に異なるパスワードを設定していない。

Q.18 インターネット上のサービス、及び電子メールのアカウントのパスワード設定方法について、あてはまるものをすべて選択してください。
 /サービス毎に異なるパスワードを設定している(MA)

【Q.6で管理しているアカウント数が2種類以上と回答した人ベース】

n数一覧

		2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類	11種類	12種類	13種類	14種類	15種類	16種類	17種類	18種類	19種類	20種類	21種類以上				
全体		23.3	27.7	26.9	27.3	33.3	25.4	32.1	46.7	36.5	42.1	45.1	50.0	696	563	186	403	117	67	53	15	277	359	113	384
性別	男性	22.4	29.1	27.1	29.3	35.3	27.8	25.0	44.4	35.9	40.4	44.3	52.3	379	358	118	229	68	36	28	9	145	213	70	260
	女性	24.3	25.4	26.5	24.7	30.6	22.6	40.0	50.0	37.1	44.5	46.5	45.2	317	205	68	174	49	31	25	6	132	146	43	124
年代別	10代	6.4	10.0	19.2	20.0	23.5	33.3	16.7	40.0	22.7	11.5	22.2	53.6	47	40	26	30	17	9	6	5	22	26	9	28
	20代	15.1	26.6	32.3	21.9	39.3	21.1	37.5	50.0	29.5	24.6	56.5	36.1	93	79	31	64	28	19	8	4	44	65	23	61
	30代	22.6	31.5	20.0	25.3	38.9	25.0	28.6	100.0	35.3	45.7	46.2	54.3	124	108	35	83	18	12	7	2	51	81	13	81
	40代	27.8	30.8	26.3	25.3	28.6	25.0	28.6	-	35.8	50.0	40.0	51.4	144	117	38	95	21	12	14	1	67	78	25	107
	50代	22.1	23.2	22.7	31.3	21.4	33.3	40.0	-	40.5	51.9	42.1	44.4	136	99	22	64	14	9	10	1	42	54	19	63
	60代	32.5	29.4	34.8	36.2	42.9	33.3	20.0	-	40.0	46.2	50.0	58.1	114	85	23	47	14	3	5	1	35	39	16	31
	70代以上	26.3	37.1	45.5	40.0	40.0	-	66.7	100.0	62.5	62.5	50.0	76.9	38	35	11	20	5	3	3	1	16	16	8	13
パソコン習熟度	レベル4	23.5	32.4	36.7	42.1	47.4	40.0	75.0	100.0	34.4	45.7	63.3	60.0	51	74	30	38	19	5	4	1	32	46	30	105
	レベル3	27.3	28.3	26.0	31.8	37.5	28.2	31.0	57.1	38.4	42.6	36.5	47.8	256	233	73	179	48	39	29	7	138	204	52	209
	レベル2	23.2	27.6	24.1	19.9	23.8	17.6	23.5	50.0	34.8	39.8	50.0	41.9	298	199	58	151	42	17	17	4	92	93	26	62
	レベル1	12.1	19.3	24.0	20.0	25.0	16.7	33.3	-	33.3	37.5	-	37.5	91	57	25	35	8	6	3	3	15	16	5	8

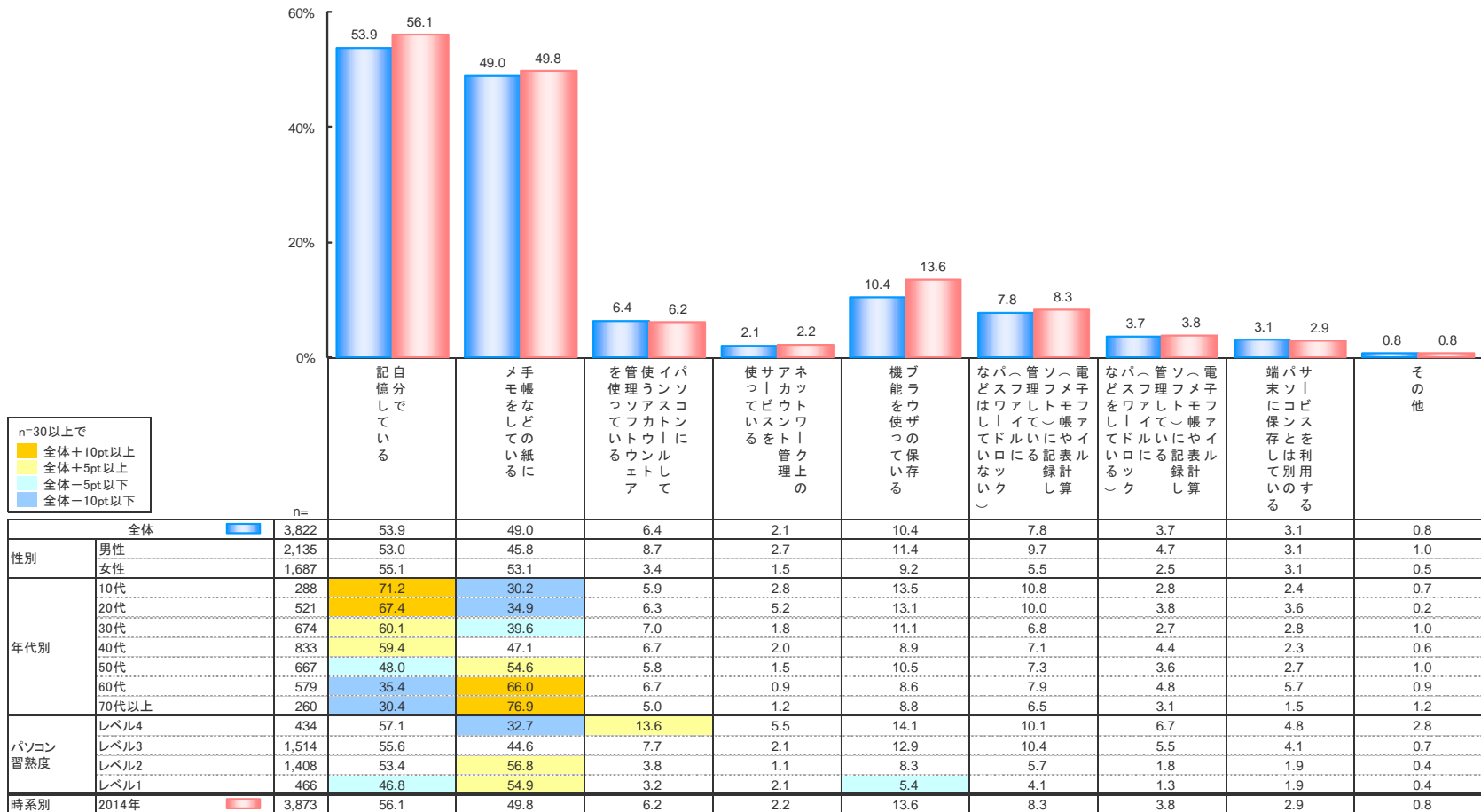
4-4-2.ID・パスワードの管理方法

■ ID・パスワードの管理方法は、「自分で記憶している」(53.9%)、「手帳などの紙にメモをしている」(49.0%)が上位。前回調査と比べると、「自分で記憶している」、「ブラウザの保存機能を使っている」(10.4%)がわずかに減少しているものの、大きな変化は見られない。

- ・年代別で見ると、50代以上では「自分で記憶している」が低く、「手帳などの紙にメモをしている」が高くなっており、順位が逆転している。
- ・パソコン習熟度別で見ると、レベルの低い層ほど「手帳などの紙にメモをしている」割合が高い。

Q.19 インターネット上のサービス、及び電子メールのアカウント(IDやパスワード)の管理方法について、あてはまるものをすべて選択してください。(MA)

【Q.18で「自分で管理しているパスワードは1つもない(パスワードが必要なサービスを使っていない、親が管理しているなど)」または「どれにもあてはまらない」以外を回答した人ベース】



4-4-3.「リボンのアイコン付き」メールの受信経験

■ 「リボンのアイコン付き」メールの受信経験率は14.8%と2割を下回る。

- 年代別で見ると、40代の経験率が最も高く、30～60代で15%を上回る。10代は1割に満たない。
- パソコン習熟度別で見ると、レベルが上がるにつれて経験率が高くなり、レベル4では約4人に1人が受信したことがある。

Q.20 電子メールの利用時に、画像の「リボンのアイコン」が付いたメール、もしくは添付ファイルに「smime.p7s」というファイルが添付されたメールを受け取ったことがありますか。※画像はWindows LiveメールおよびGmailの場合です。(SA)

			(%)	
			受け取ったことがある	受け取ったことはない
n=				
全体		5,000	14.8	85.2
性別	男性	2,785	16.2	83.8
	女性	2,215	13.0	87.0
年代別	10代	470	7.0	93.0
	20代	755	10.3	89.7
	30代	925	15.9	84.1
	40代	1,085	18.2	81.8
	50代	815	17.7	82.3
	60代	660	15.6	84.4
	70代以上	290	13.1	86.9
パソコン 習熟度	レベル4	516	25.8	74.2
	レベル3	1,844	18.4	81.6
	レベル2	1,839	11.1	88.9
	レベル1	801	8.0	92.0

4-4-4.「S/MIME」に関する認知度

■ 「S/MIME」の認知者(「詳しい内容を知っている」+「概要をある程度知っている」+「名前を聞いたことがある程度」)は、約4人に1人。そのうち、「詳しい内容を知っている」人は1.3%と非常に低い。

- ・ 年代別で見ると、40代では、認知者が3割を超える。
- ・ パソコン習熟度別で見ると、レベル4では、半数以上が認知。そのうち、「詳しい内容を知っている」人は6.6%と1割を下回る。

Q.20SQ Q.20のメールは「S/MIME」による電子署名を付加して送信されたメールです。
あなたは「S/MIME」についてご存知ですか。あてはまるものを選択してください。(SA)

		n=	知っている・計 (%)				
			詳しい内容を 知っている	概要をある程度 知っている	名前を聞いたことが ある程度	名前も概要も 知らない	
全体		5,000	1.3	6.9	17.4	74.4	25.6
性別	男性	2,785	1.7	9.0	19.5	69.9	30.1
	女性	2,215	0.8	4.2	14.9	80.1	19.9
年代別	10代	470	2.8	4.5	11.7	81.1	18.9
	20代	755	1.7	5.3	14.8	78.1	21.9
	30代	925	1.8	6.3	17.8	74.1	25.9
	40代	1,085	0.8	9.1	20.7	69.3	30.7
	50代	815	0.7	8.2	19.9	71.2	28.8
	60代	660	0.8	6.5	16.5	76.2	23.8
	70代以上	290	0.3	5.5	15.2	79.0	21.0
パソコン 習熟度	レベル4	516	6.6	21.1	25.6	46.7	53.3
	レベル3	1,844	1.0	9.0	21.8	68.2	31.8
	レベル2	1,839	0.3	2.6	13.9	83.3	16.7
	レベル1	801	0.7	2.6	10.4	86.3	13.7

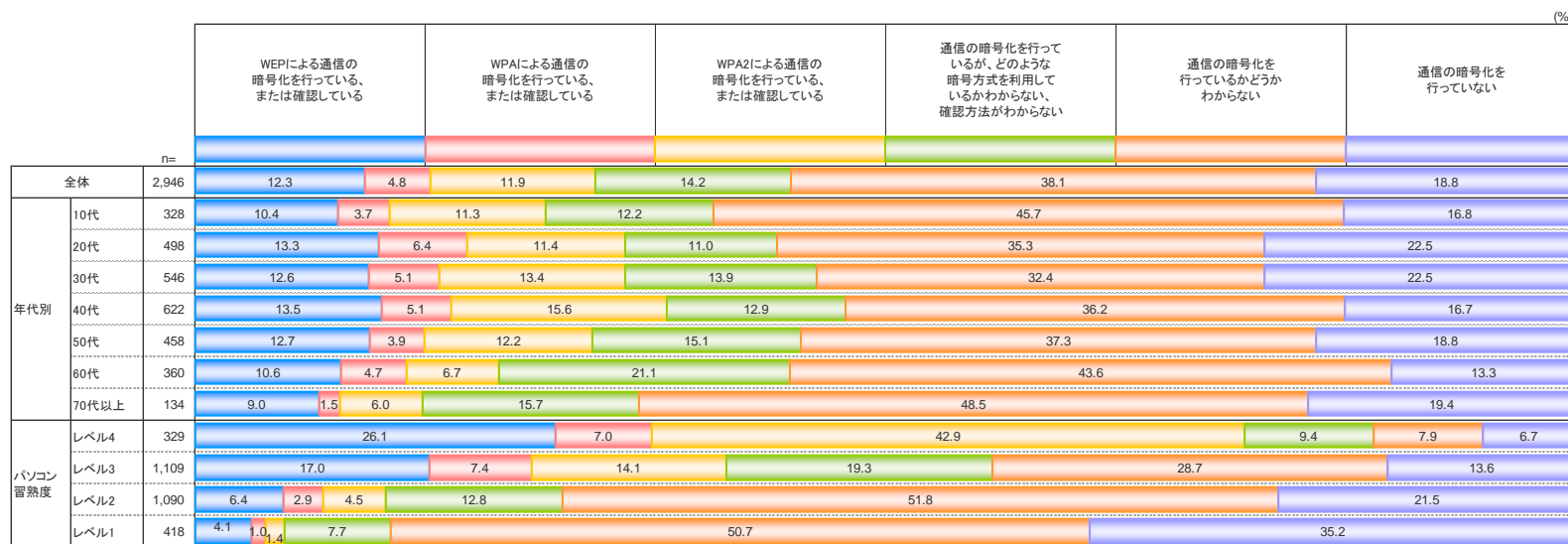
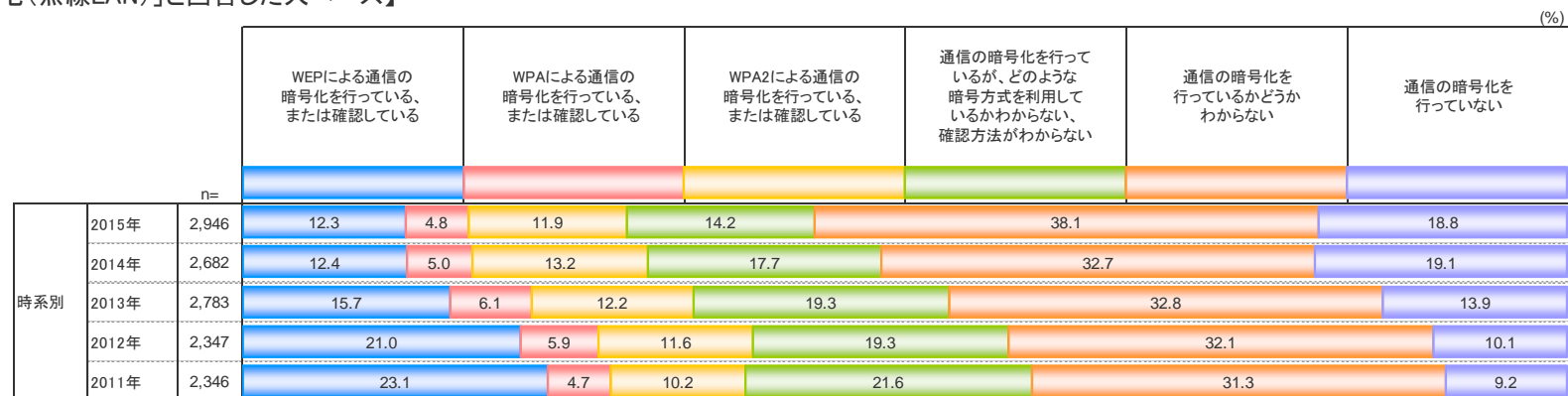
4-4-5. 自宅無線LAN(Wi-Fi)の暗号化

- 自宅無線LAN(Wi-Fi)の暗号化対策は、「通信の暗号化を行っているが、どのような暗号方式を利用しているかわからない、確認方法がわからない」(14.2%)、「WEPによる通信の暗号化を行っている、または確認している」(12.3%)、「WPA2による通信の暗号化を行っている、または確認している」(11.9%)、「WPAによる通信の暗号化を行っている、または確認している」(4.8%)の順で、合わせて約4割の人が対策を行っている。ただし、対策を行っている人の割合は年々減少。

・ パソコン習熟度別で見ると、レベル4では、「WPA2による通信の暗号化を行っている、または確認している」が約4割と最も高く、対策率は8割を超える。

Q.21 自宅の無線LAN(Wi-Fi)は、通信の暗号化対策を行っていますか。(SA)

【Q.4で「自宅(無線LAN)」と回答した人ベース】



4-4-6. 自宅無線LAN(Wi-Fi)への初回接続時の行動

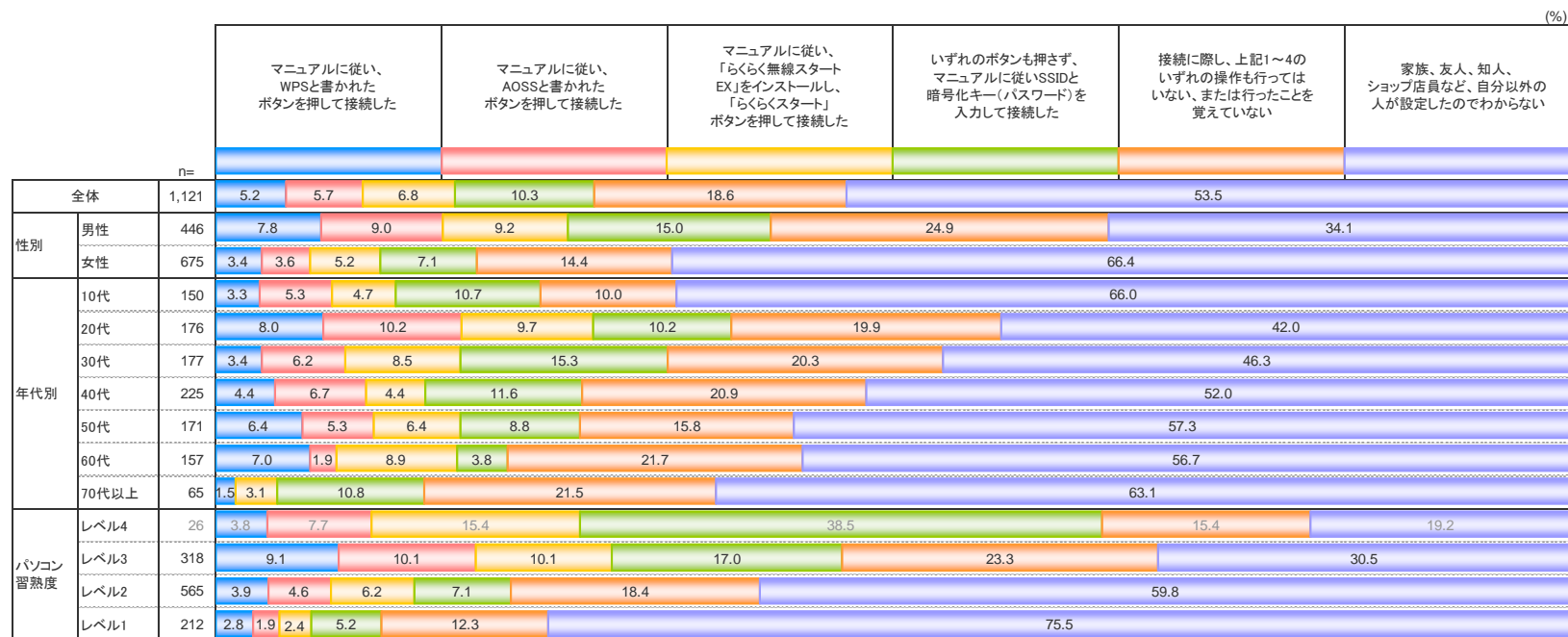
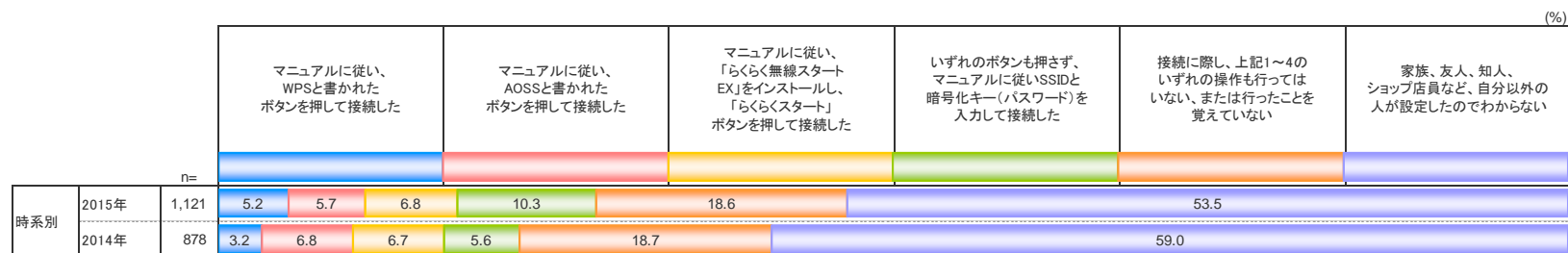
- 通信の暗号化を行っているかどうか分からない人の自宅無線LAN(Wi-Fi)への初回接続時の行動は、「いずれのボタンも押さず、マニュアルに従いSSIDと暗号化キー(パスワード)を入力して接続した」(10.3%)、「マニュアルに従い、「らくらく無線スタートEX」をインストールし、「らくらくスタート」ボタンを押して接続した」(6.8%)、「マニュアルに従い、AOSSと書かれたボタンを押して接続した」(5.7%)、「マニュアルに従い、WPSと書かれたボタンを押して接続した」(5.2%)の順で、合わせて約3割の人がマニュアルに従って接続し、暗号化された環境で利用出来ている。

・年代別で見ると、マニュアルに従って接続した人の割合は20代で最も高く、10代と高年齢層で低い。

Q.22 自宅の無線LAN(Wi-Fi)に最初に接続する際に行った行動として、あてはまるものを以下から選択してください。

※WPS: Wi-Fi Protected System、AOSS: AirStation One-Touch Secure System (SA)

【Q.21で「通信の暗号化を行っているかどうか分からない」と回答した人ベース】



※n=30未満は参考値のため灰色。

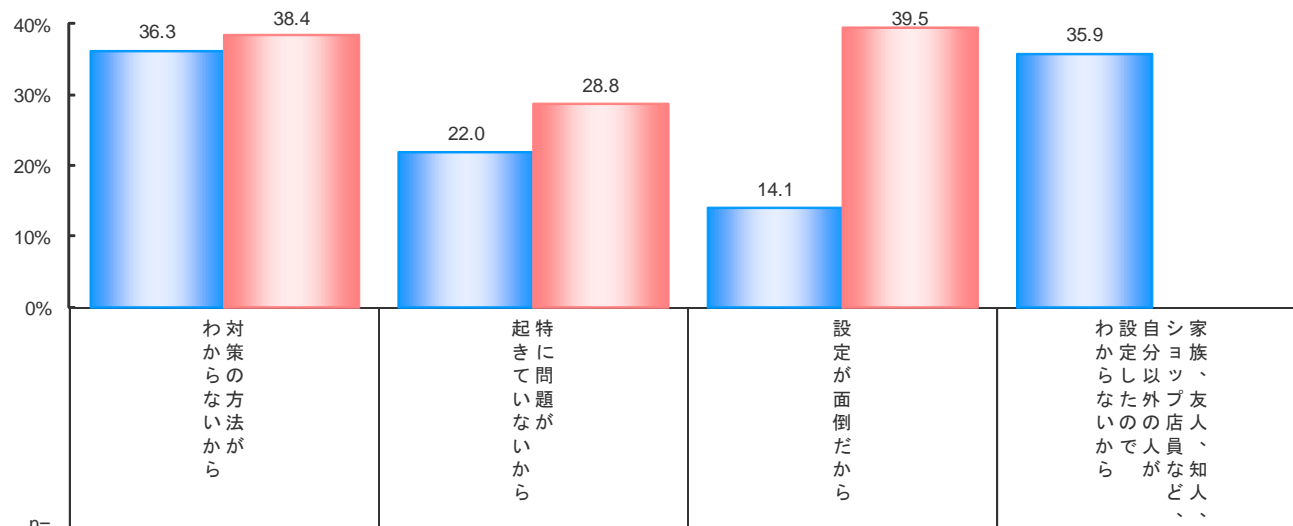
4-4-7. 自宅無線LAN(Wi-Fi)の暗号化対策をしていない理由

■ 自宅無線LAN(Wi-Fi)の暗号化対策をしていない理由は、「対策の方法がわからないから」(36.3%)、「家族、友人、知人、ショップ店員など、自分以外の方が設定したのでわからないから」(35.9%)が3割を超えている。前回調査でトップの「設定が面倒だから」が減少し、順位が入れ替わった。

- ・年代別で見ると、10代では、「家族、友人、知人、ショップ店員など、自分以外の方が設定したのでわからないから」(54.5%)が半数以上と高い。
- ・60代では、「特に問題が起きていないから」(35.4%)が3割以上と、他の年代と比べて高い。

Q.23 自宅の無線LAN(Wi-Fi)に通信の暗号化対策をしていない理由としてあてはまるものをすべて選択してください。(MA)

【Q.21で「通信の暗号化を行っていない」と回答した人ベース】



n=30以上で
 全体+10pt以上
 全体+5pt以上
 全体-5pt以下
 全体-10pt以下

		n=	対策の方法がわからないから	特に問題が起きていないから	設定が面倒だから	自分、家族、友人、ショップ店員など、自分以外の方が設定したのでわからないから
全体		554	36.3	22.0	14.1	35.9
性別	男性	278	37.4	28.1	14.7	30.6
	女性	276	35.1	15.9	13.4	41.3
年代別	10代	55	16.4	14.5	16.4	54.5
	20代	112	35.7	21.4	12.5	39.3
	30代	123	31.7	23.6	16.3	38.2
	40代	104	43.3	24.0	16.3	27.9
	50代	86	45.3	14.0	15.1	31.4
	60代	48	29.2	35.4	8.3	35.4
	70代以上	26	57.7	26.9	3.8	19.2
パソコン習熟度	レベル4	22	18.2	54.5	4.5	36.4
	レベル3	151	37.1	28.5	17.9	26.5
	レベル2	234	44.0	20.9	12.4	31.6
	レベル1	147	25.9	12.2	14.3	52.4
時系列別	2014年	511	38.4	28.8	39.5	-

※n=30未満は参考値のため灰色。

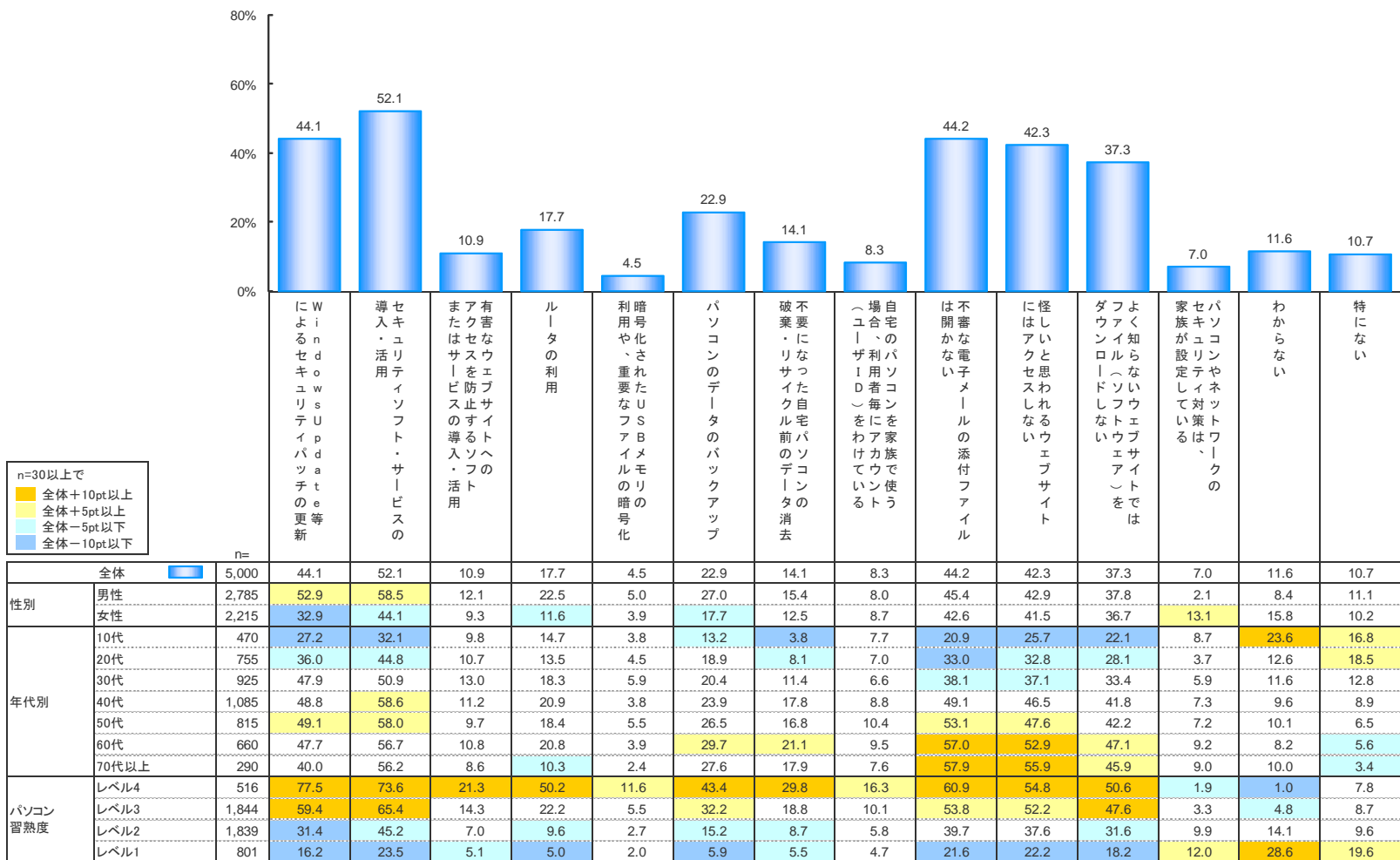
※「家族、友人、知人、ショップ店員など、自分以外の方が設定したのでわからないから」は今回調査から追加された項目。

4-4-8.情報セキュリティ対策

■ 情報セキュリティ対策は、「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」(52.1%)が半数以上と最も高く、次いで「不審な電子メールの添付ファイルは開かない」(44.2%)、「WindowsUpdate等によるセキュリティパッチの更新」(44.1%)と続く。

- ・ 情報セキュリティ対策について、年代別で見ると、60代以上では、「不審な電子メールの添付ファイルは開かない」、「怪しいと思われるウェブサイトにはアクセスしない」が他の年代と比べて高い。
- ・ パソコン習熟度別で見ると、レベルの高い層と低い層で、対策率に大きく差がついた。

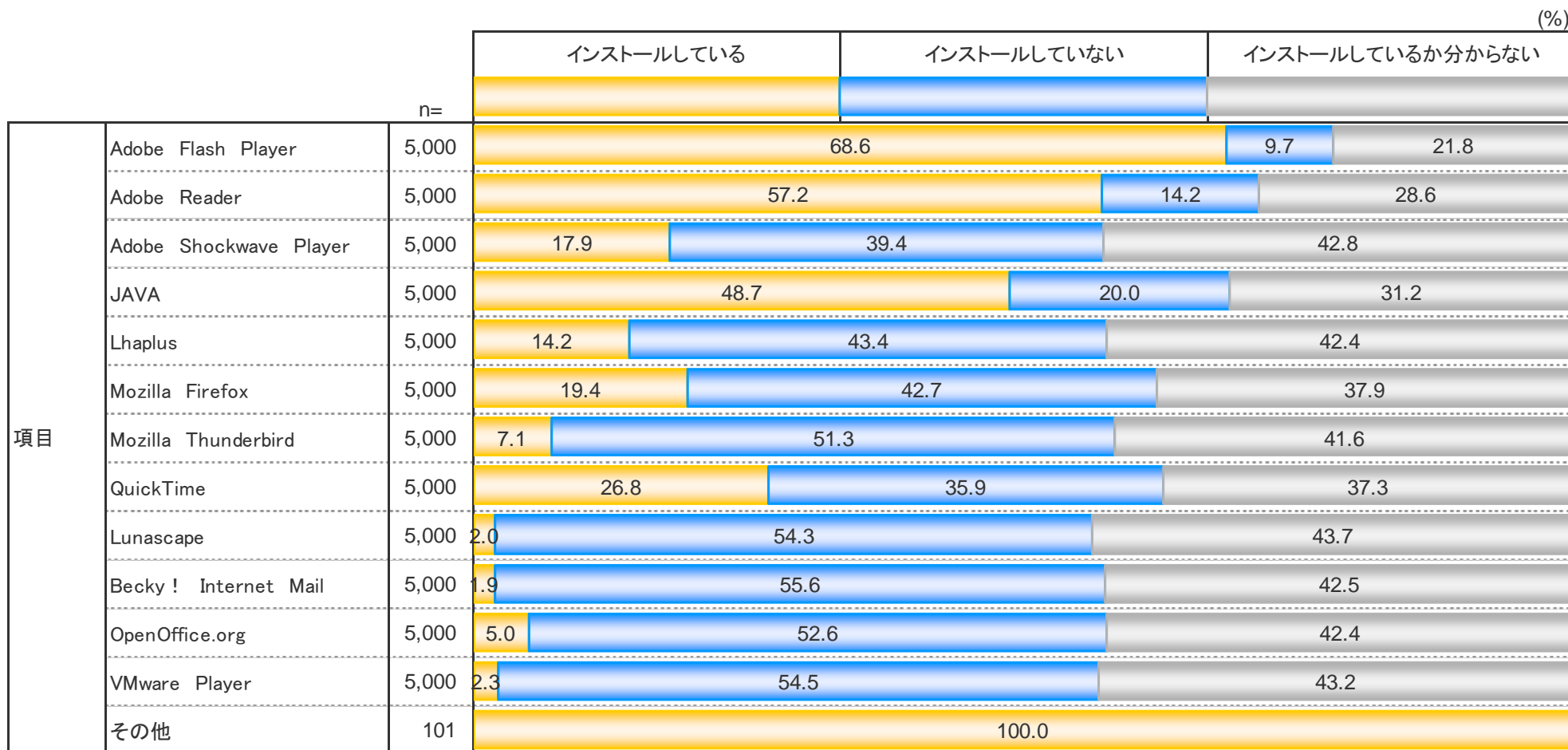
Q.24 あなた自身が所有するパソコンや自宅のネットワークについて、現在実施しているセキュリティ対策をすべて選択してください。(MA)



4-4-9.インストールしているソフトウェア

- インストールしているソフトウェアは、「Adobe Flash Player」(68.6%)が最も高く、次いで「Adobe Reader」(57.2%)、「JAVA」(48.7%)と続く。
- 「その他」では、「Google Chrome」等のブラウザや「ウイルスバスター」等のウイルス対策ソフト、「iTunes」等の回答があった。

Q.25 あなたのパソコンには以下のソフトウェアがインストールされていますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(各SA)

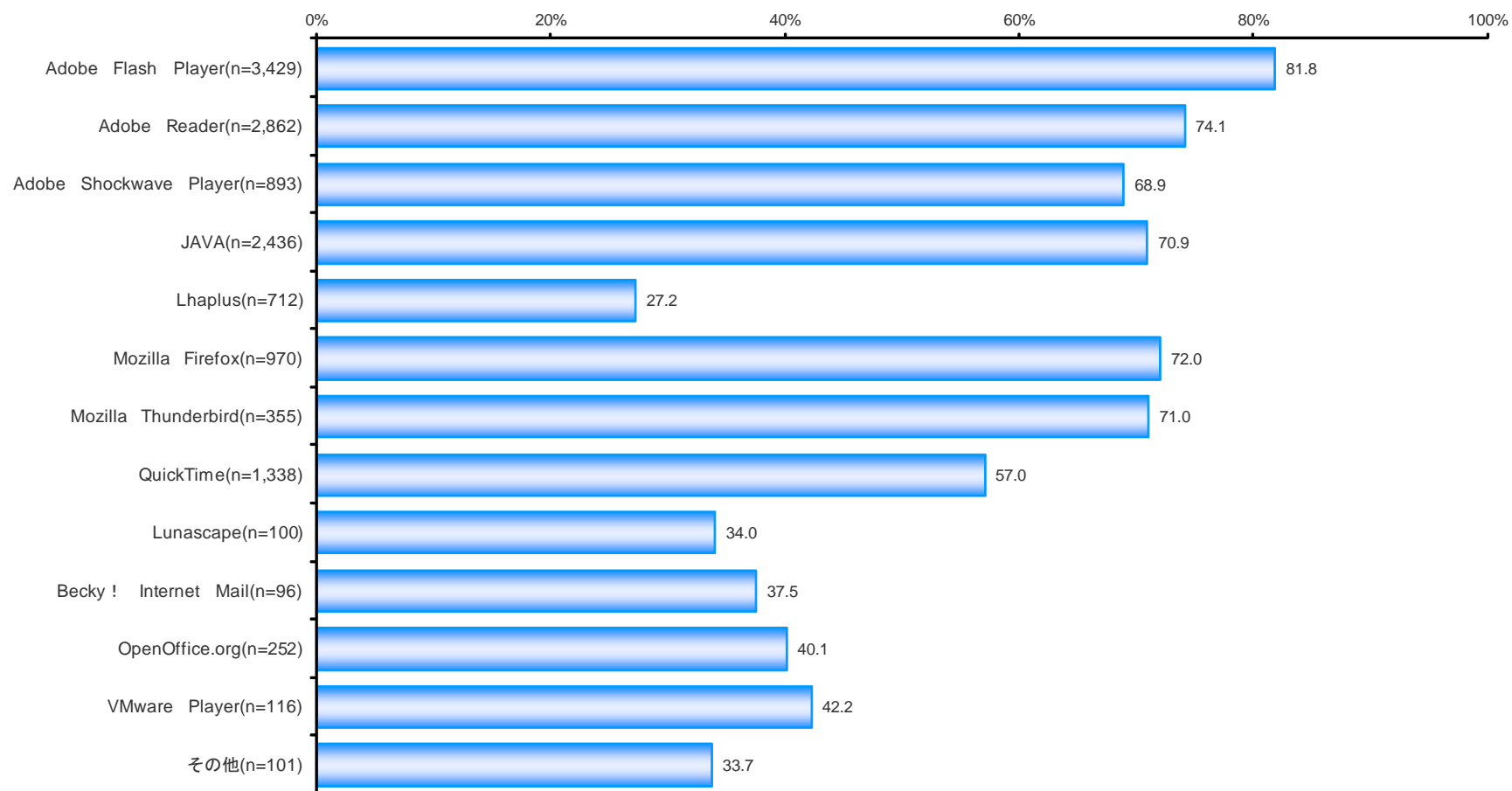


4-4-10.更新しているソフトウェア

- インストールしているソフトウェアのうち、更新しているものは、「Adobe Flash Player」(81.8%)が最も高く、「Adobe Reader」(74.1%)、「Mozilla Firefox」(72.0%)、「Mozilla Thunderbird」(71.0%)、「JAVA」(70.9%)で7割を超える。

Q.25SQ あなたのパソコンにインストールされているソフトウェアの中で、更新しているものをすべて選択してください。(MA)

【Q.25で「インストールしている」と回答した人ベース】



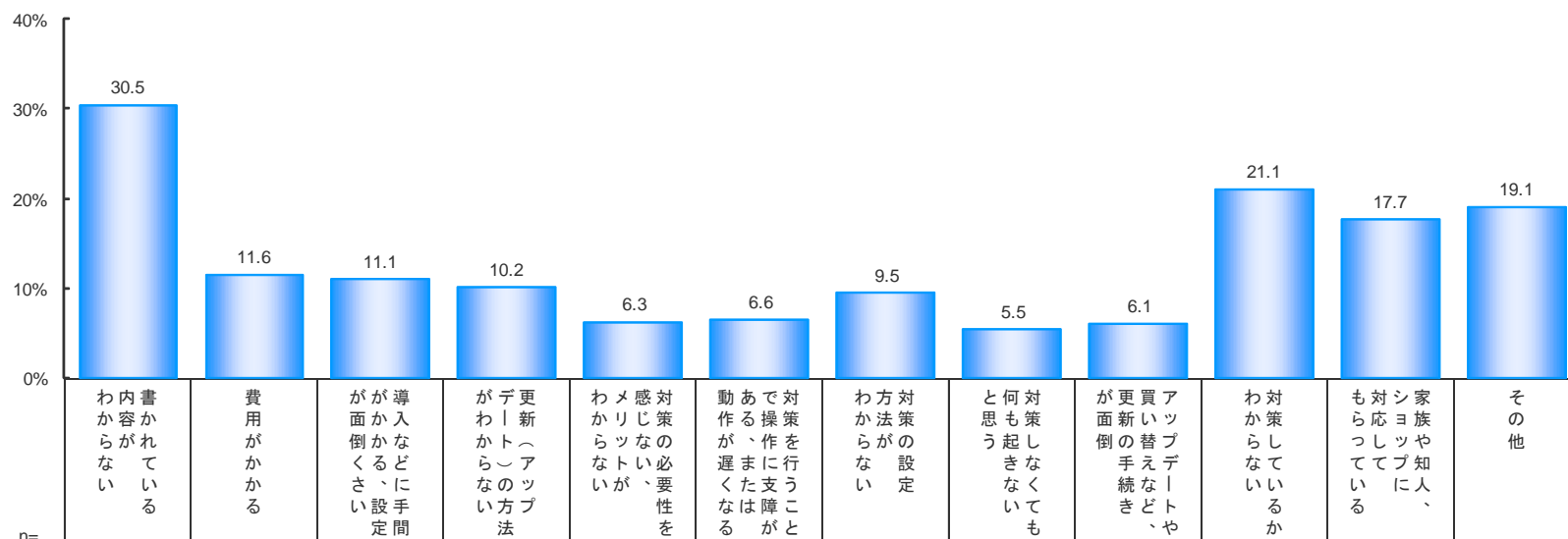
4-4-11.OSのUpdate等によるセキュリティパッチの更新をしない理由

■ OSのUpdate等によるセキュリティパッチの更新をしない理由は、「書かれている内容がわからない」(30.5%)がトップ。

・年代別で見ると、70代以上では、「アップデートや買い替えなど、更新の手続きが面倒」(16.1%)、「対策しているかわからない」(32.2%)の割合が、他の年代と比べて高い。

Q.26_1 対策をしていない理由としてあてはまるものを、すべて選択してください。／OSのUpdate等によるセキュリティパッチの更新(MA)

【Q.24で「WindowsUpdate等によるセキュリティパッチの更新」と回答しなかった人ベース】



n=30以上で
■ 全体+10pt以上
■ 全体+5pt以上
■ 全体-5pt以下
■ 全体-10pt以下

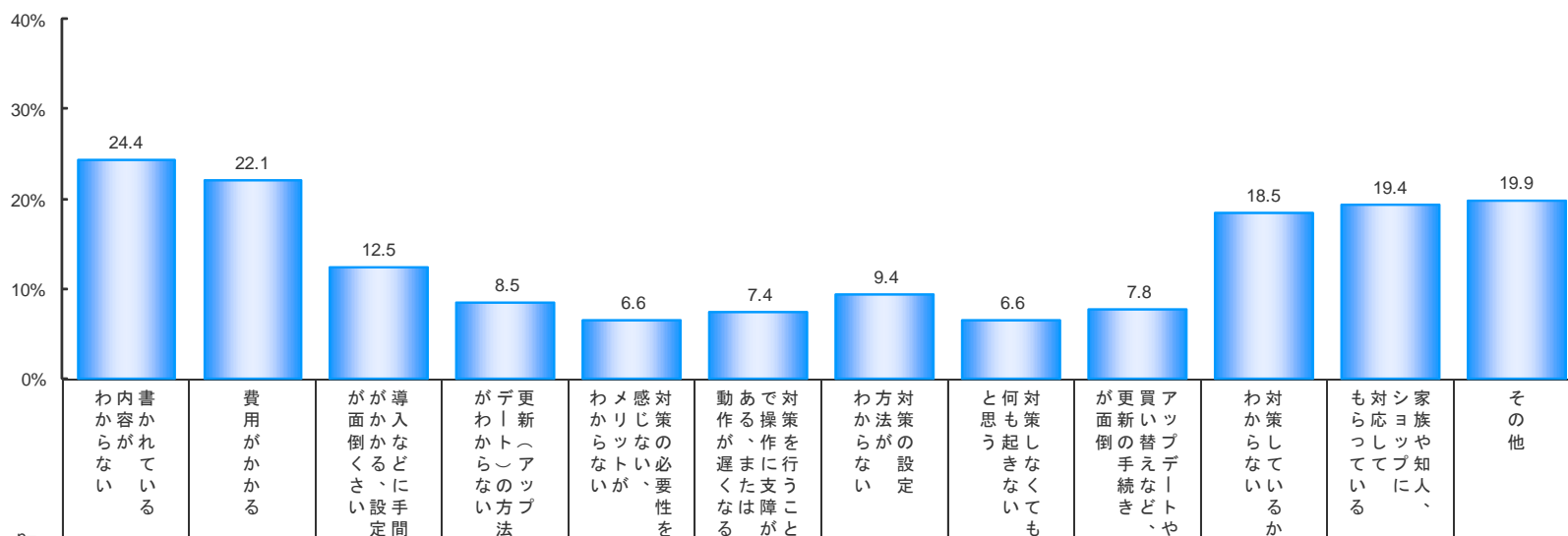
		n=	わが書か内容がらがない	費用がかかる	がが導面か入倒るなど、にい設手定間	ががデ更わかトヘ(ア)なツい方法	わがメ感対わからッじな必が、要性を	動あで対作の操策が、作を遅まに行うは障と	わが方対か策らがない設定	と何対思も策う起しきなくも	が更買ア面新いッ倒の替手えデ続など、や	わが対か策らしてないか	も対シ家ら応ヨ族つッやててブ知に、	その他
全体		2,797	30.5	11.6	11.1	10.2	6.3	6.6	9.5	5.5	6.1	21.1	17.7	19.1
性別	男性	1,311	28.8	15.2	13.0	11.4	8.8	8.2	10.3	7.9	8.2	18.9	10.7	25.6
	女性	1,486	32.0	8.5	9.4	9.0	4.0	5.2	8.8	3.4	4.3	23.0	23.8	13.4
年代別	10代	342	23.7	11.1	9.1	8.5	5.0	3.2	6.7	3.8	4.1	19.3	22.5	19.0
	20代	483	31.3	9.1	10.8	9.3	4.6	4.1	7.7	3.9	4.1	20.3	11.2	18.0
	30代	482	30.9	10.6	10.4	7.1	4.6	3.9	7.1	5.6	4.8	17.0	14.7	20.7
	40代	556	29.5	12.9	12.8	10.1	5.9	7.7	9.7	4.3	4.7	20.0	18.7	19.6
	50代	415	32.0	12.3	11.6	13.3	5.8	9.2	10.6	5.3	7.7	20.2	19.5	18.6
	60代	345	32.8	9.3	9.9	10.7	8.4	9.3	12.2	8.7	8.1	27.0	20.9	16.5
	70代以上	174	35.6	21.3	13.8	16.1	16.1	12.1	18.4	11.5	16.1	32.2	20.1	23.0
パソコン習熟度	レベル4	116	17.2	12.9	12.9	7.8	12.1	11.2	5.2	9.5	7.8	11.2	4.3	38.8
	レベル3	749	25.1	13.9	14.2	8.9	8.0	7.6	8.1	6.4	7.1	19.1	9.3	26.0
	レベル2	1,261	31.6	10.3	10.1	11.3	5.9	6.0	9.8	5.2	6.0	23.5	20.2	15.5
	レベル1	671	36.8	11.3	9.2	9.7	4.0	5.7	11.2	4.6	4.9	20.6	24.4	14.9

4-4-12.セキュリティソフト・サービスの導入・活用をしない理由

- セキュリティソフト・サービスの導入・活用をしない理由は、「書かれている内容がわからない」(24.4%)、「費用がかかる」(22.1%)が上位。
- ・ パソコン習熟度別で見ると、レベル4やレベル3の高いレベルの利用者は「家族や知人、ショップに対応してもらっている」の割合が他のレベルに比べて特に低い。

Q.26_2 対策をしていない理由としてあてはまるものを、すべて選択してください。／セキュリティソフト・サービスの導入・活用(MA)

【Q.24で「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」と回答しなかった人ベース】



n=30以上で

全体+10pt以上	全体+5pt以上	全体-5pt以下	全体-10pt以下
-----------	----------	----------	-----------

		n=	わ内書か容かからがられない	費用がかかる	がが導面か入倒かなくさ、い設手定間	がが更わし新わかトヘからのツい方法	わめ感対わかりじ策の必が、要性を	動あで対作の操策が、作を遅まに行うは障ごと	わ方対か法策らがの設	と何対思も策う起しきなくも	が更買ア面新いッ倒の替えデー続など、や	わ対か策らして	も対シ家ら応ヨ族つっててブ知に人、	その他
全体		2,394	24.4	22.1	12.5	8.5	6.6	7.4	9.4	6.6	7.8	18.5	19.4	19.9
性別	男性	1,156	23.5	27.4	13.8	9.2	8.1	9.7	8.9	8.5	8.7	15.3	11.2	25.9
	女性	1,238	25.2	17.2	11.4	7.8	5.2	5.2	9.8	4.8	6.9	21.5	27.1	14.3
年代別	10代	319	21.9	16.6	12.9	8.2	6.6	6.9	8.8	10.0	7.2	20.4	24.5	20.7
	20代	417	26.6	17.0	12.7	7.4	4.8	5.0	6.7	4.6	6.5	19.9	11.3	20.9
	30代	454	25.6	23.6	11.2	7.3	5.7	5.9	8.8	6.2	6.2	15.4	17.0	18.7
	40代	449	23.6	23.6	13.8	9.6	6.9	7.1	10.9	5.6	8.9	18.3	19.6	21.6
	50代	342	23.7	26.9	12.3	8.2	5.3	7.3	8.5	7.0	8.2	17.5	21.1	17.0
	60代	286	22.4	24.5	12.2	8.7	8.7	11.9	11.2	7.0	9.8	20.6	25.9	19.6
	70代以上	127	28.3	24.4	12.6	13.4	13.4	11.8	14.2	7.9	10.2	18.9	22.8	21.3
パソコン習熟度	レベル4	136	17.6	27.2	14.0	6.6	11.8	11.0	7.4	4.4	7.4	8.8	5.1	30.1
	レベル3	638	17.2	30.7	14.7	6.9	5.6	8.8	6.9	6.6	8.5	14.9	8.8	25.1
	レベル2	1,007	25.3	20.7	11.7	8.6	6.1	6.3	9.9	7.1	7.4	20.5	23.4	17.5
	レベル1	613	31.8	14.5	11.3	10.3	7.3	6.9	11.4	6.4	7.8	21.2	27.1	16.2

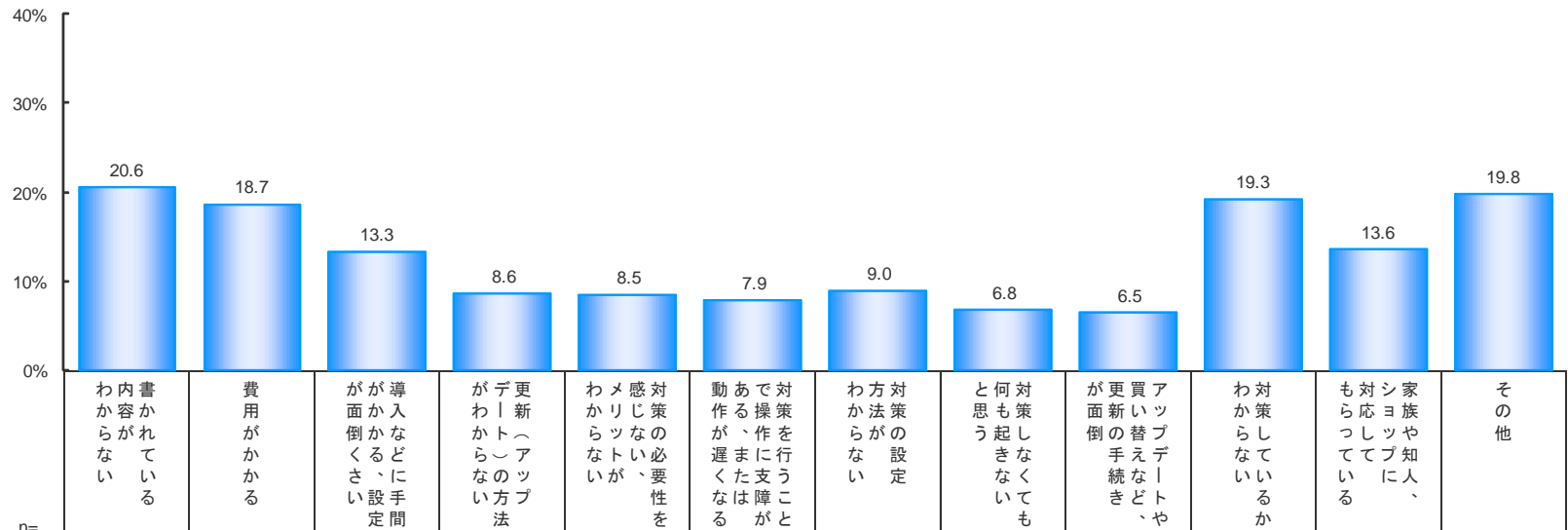
4-4-13.有害なウェブサイトへのアクセスを防止するソフトまたはサービスの導入・活用をしない理由

■ 有害なウェブサイトへのアクセスを防止するソフトまたはサービスの導入・活用をしない理由は、「書かれている内容がわからない」(20.6%)がトップ。

・ パソコン習熟度別で見ると、レベル1では「書かれている内容がわからない」(31.2%)、「家族や知人、ショップに対応してもらっている」(25.5%)が全体より高い。

Q.26_3 対策をしていない理由としてあてはまるものを、すべて選択してください。／有害なウェブサイトへのアクセスを防止するソフトまたはサービスの導入・活用(MA)

【Q.24で「有害なウェブサイトへのアクセスを防止するソフトまたはサービスの導入・活用」と回答しなかった人ベース】



n=30以上で

全体+10pt以上	全体+5pt以上	全体-5pt以下	全体-10pt以下
-----------	----------	----------	-----------

		n=	わ内書か容からがらがない	費用がかかるとい	がが導面か入倒かなどに	がデ更わし新わかトヘ	わメ感対かりじ策からッな	動あで対作る操策が、作	わ方対か法策らのがの設	と何対思も策う起さなく	が更新いッ面倒の替手	わ対か策らしてない	も対シ家ら応ヨ族つッや	その他
全体	4,457	20.6	18.7	13.3	8.6	8.5	7.9	9.0	6.8	6.5	19.3	13.6	19.8	
性別	男性	2,447	18.3	22.4	14.7	8.7	10.6	9.9	8.7	8.3	7.3	15.7	7.9	24.8
	女性	2,010	23.2	14.1	11.5	8.6	5.9	5.6	9.3	4.9	5.6	23.8	20.6	13.7
年代別	10代	424	18.6	17.7	16.0	8.7	9.0	6.1	9.2	7.3	8.0	17.9	21.0	19.3
	20代	674	20.3	14.7	14.1	8.6	5.9	7.1	6.4	4.9	6.1	20.6	9.1	18.5
	30代	805	21.7	18.5	15.4	8.7	8.9	7.8	9.3	7.5	6.2	18.1	13.0	21.2
	40代	964	18.0	19.4	11.0	8.0	8.4	8.0	8.3	5.9	6.1	17.6	12.7	22.5
	50代	736	20.2	20.5	14.1	9.1	8.4	9.2	10.3	7.9	6.5	20.4	14.0	17.7
	60代	589	21.7	19.0	10.0	6.8	8.3	7.6	9.3	6.3	5.9	19.4	13.6	18.7
	70代以上	265	27.9	22.3	13.2	13.6	13.6	10.2	12.1	9.8	9.1	24.9	18.1	18.1
パソコン習熟度	レベル4	406	11.1	24.1	15.0	6.9	16.5	13.1	5.2	9.6	6.4	9.9	4.9	30.8
	レベル3	1,581	13.5	22.8	14.2	6.5	8.9	9.4	7.2	6.6	6.9	16.5	6.1	25.0
	レベル2	1,710	24.6	15.0	12.7	9.8	7.0	6.2	9.8	6.4	5.8	22.9	17.4	14.6
	レベル1	760	31.2	15.5	11.6	11.3	6.8	6.1	12.8	6.6	7.5	22.2	25.5	14.9

4-4-15.自分自身で注意すべき対策をしない理由

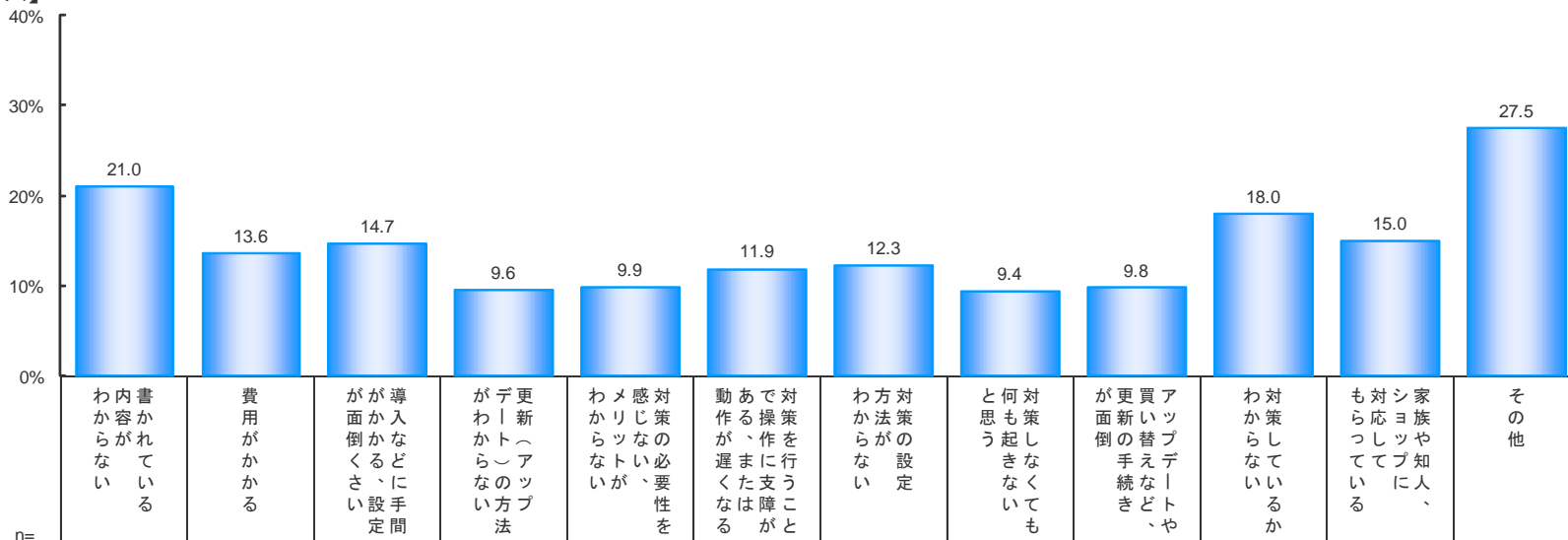
■ 自分自身で注意すべき対策をしない理由は、「書かれている内容がわからない」(21.0%)がトップ。

- ・年代別で見ると、70代以上では、「対策の設定方法がわからない」(23.4%)の割合が、他の年代と比べて高い。
- ・パソコン習熟度別で見ると、レベル1では「書かれている内容がわからない」(35.6%)、「家族や知人、ショップに対応してもらっている」(27.3%)が全体より高い。

Q.26.5 対策をしていない理由としてあてはまるものを、すべて選択してください。

／ご自身で注意すべき対策(不審な電子メールの添付ファイルは開かない、怪しいウェブサイトへアクセスしない、など)(MA)

【Q.24で「自宅のパソコンを家族で使う場合、利用者毎にアカウント(ユーザID)をわけている」「不審な電子メールの添付ファイルは開かない」「怪しいと思われるウェブサイトにはアクセスしない」「よく知らないウェブサイトではファイル(ソフトウェア)をダウンロードしない」のいずれかを実施していると回答しなかった人ベース】



n=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

		n=	全体	21.0	13.6	14.7	9.6	9.9	11.9	12.3	9.4	9.8	18.0	15.0	27.5
性別	全体	4,735	21.0	13.6	14.7	9.6	9.9	11.9	12.3	9.4	9.8	18.0	15.0	27.5	
	男性	2,641	19.3	15.4	15.3	9.4	11.1	13.5	11.2	10.3	10.3	15.9	9.4	32.1	
	女性	2,094	23.2	11.5	13.8	9.8	8.4	9.9	13.8	8.3	9.2	20.8	22.0	21.8	
年代別	10代	448	21.9	14.5	19.0	11.6	9.4	10.0	13.6	12.3	9.2	19.6	22.8	21.0	
	20代	726	20.2	12.1	15.6	9.0	7.9	9.2	10.2	9.1	9.1	19.0	10.6	23.0	
	30代	883	20.5	12.9	16.4	7.7	9.5	11.7	10.6	9.6	8.5	17.1	12.1	27.5	
	40代	1,022	18.0	14.7	14.1	9.5	10.4	12.3	12.4	8.7	10.4	16.7	14.5	31.4	
	50代	765	20.7	11.8	10.8	8.6	7.7	11.5	9.9	6.5	9.2	16.9	16.5	31.1	
	60代	618	23.8	14.9	11.8	9.7	10.5	14.7	14.2	9.2	10.5	18.3	14.7	27.7	
	70代以上	273	29.7	17.2	19.0	16.8	19.8	16.5	23.4	15.8	15.4	23.4	20.9	25.6	
パソコン習熟度	レベル4	451	10.9	15.3	15.5	7.1	13.7	14.6	4.7	10.2	8.2	8.2	4.4	41.5	
	レベル3	1,719	14.1	12.0	14.8	6.2	9.2	12.2	8.8	9.1	8.3	14.1	7.8	33.5	
	レベル2	1,784	23.9	13.5	14.0	11.0	9.0	10.5	14.8	8.8	10.6	21.5	19.1	20.9	
	レベル1	781	35.6	16.6	15.5	15.2	11.1	13.1	18.8	11.0	12.3	24.6	27.3	21.5	

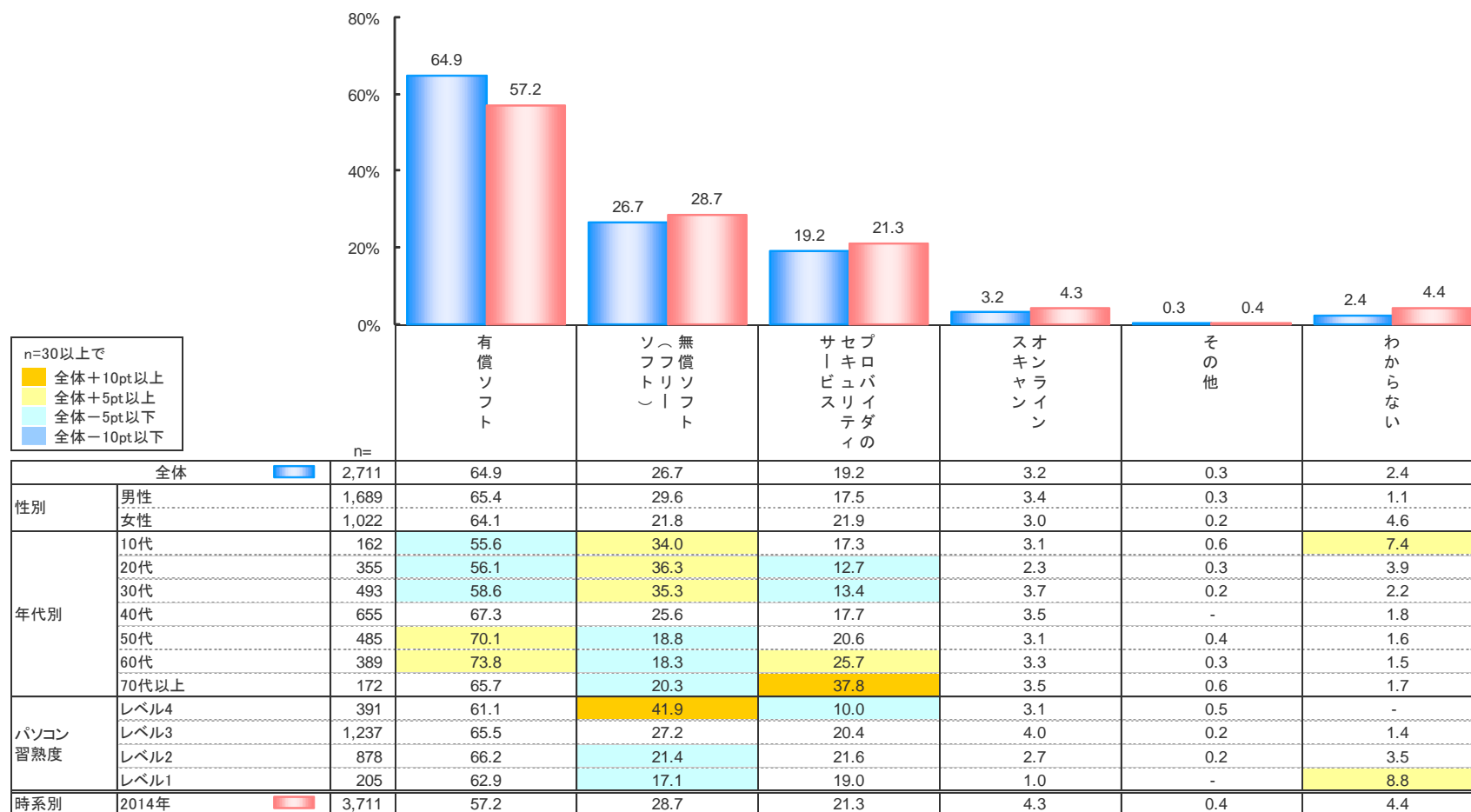
4-4-17.利用しているセキュリティソフト・サービス

■ セキュリティソフトを導入・活用している人が利用しているセキュリティソフト・サービスは、「有償ソフト」(64.9%)がトップで、前回調査から7ポイント以上増加。

- ・年代別で見ると、70代以上では、「プロバイダのセキュリティサービス」(37.8%)が、他の年代と比べて高い。
- ・パソコン習熟度別で見ると、レベル4では「無償ソフト(フリーソフト)」(41.9%)が全体より高い。

Q.27 あなたがお使いのセキュリティソフト・サービスを以下から選択してください。(MA)

【Q.24で「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」と回答した人ベース】



4-4-18.金融機関提供のセキュリティサービス内容①

- 金融機関提供のセキュリティサービスについて、インターネットバンキング利用経験者が認知している割合は、「ワンタイムパスワード生成器の提供」(63.0%)が最も高く、次いで「ソフトウェアキーボードの提供」(60.9%)、「ワンタイムパスワードのメール通知サービスの提供」(57.0%)と続く。

・「EV SSLによるインターネット接続環境の提供」は提供されているかわからないと回答した利用者が58.2%と半数以上となった。

Q.28 「インターネットバンキング」を利用するうえで金融機関が提供しているセキュリティサービスを選択してください。(各SA)

【Q.5で「インターネットバンキング」と回答した人ベース】

		(%)			
		提供されている	提供されているか、 わからない	提供されていない	
	n=				
項目	セキュリティ対策ソフトの提供	1,628	53.0	32.6	14.4
	ワンタイムパスワード生成器の提供	1,628	63.0	25.4	11.7
	ワンタイムパスワードのメール通知サービスの提供	1,628	57.0	28.7	14.3
	乱数表の提供	1,628	54.7	27.9	17.4
	ソフトウェアキーボードの提供	1,628	60.9	24.9	14.2
	EV SSLによるインターネット接続環境の提供	1,628	21.1	58.2	20.7
	合言葉による追加認証の提供	1,628	51.3	31.5	17.2
	登録画像による正規サイト確認の提供	1,628	33.4	44.8	21.8

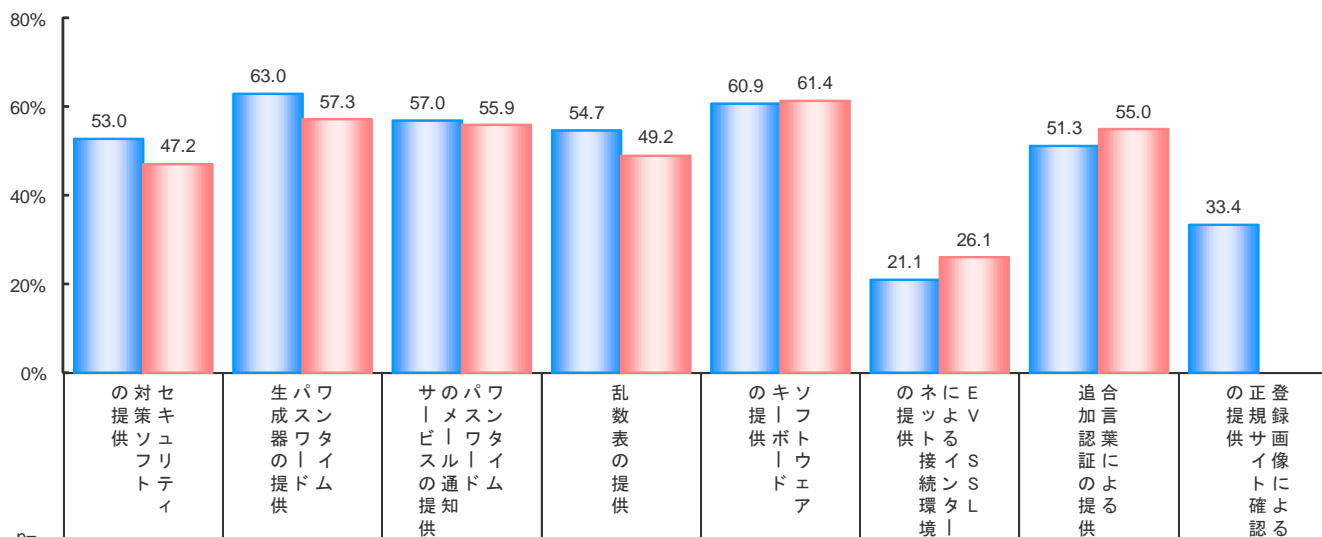
4-4-18.金融機関提供のセキュリティサービス内容②

- インターネットバンキング利用経験者が認知している金融機関提供のセキュリティサービスについて、年代別で見ると、60代では、「合言葉による追加認証の提供」(61.5%)が、他の年代と比べて高い。
- パソコン習熟度別で見ると、レベル4では全体的に認知度が高い。

Q.28 「インターネットバンキング」を利用するうえで金融機関が提供しているセキュリティサービスを選択してください。(各SA)

【Q.5で「インターネットバンキング」と回答した人ベース】

※『提供されている』スコア



n=30以上で
 全体+10pt以上
 全体+5pt以上
 全体-5pt以下
 全体-10pt以下

		n=	全体	対策セキュリティ	生パソコン生成器の提供	サのパソコンメールの通知	乱数表の提供	のパソコン提供ソフトウェア	のネット接続環境	追加認証の提供	の正登録画像による確認
性別	全体	1,628	53.0	63.0	57.0	54.7	60.9	21.1	51.3	33.4	
	男性	1,027	54.9	64.3	57.4	56.8	63.3	23.5	53.0	34.5	
	女性	601	49.8	60.7	56.2	51.1	56.9	17.0	48.4	31.4	
年代別	10代	26	50.0	65.4	46.2	46.2	57.7	42.3	57.7	46.2	
	20代	153	41.8	61.4	54.2	47.7	58.8	22.9	49.0	30.1	
	30代	335	50.4	60.6	54.3	48.7	57.6	23.6	46.3	32.8	
	40代	424	55.2	65.6	57.3	55.4	63.0	22.2	49.3	32.8	
	50代	349	55.3	61.9	56.7	59.3	63.3	18.9	50.4	32.4	
	60代	252	59.5	67.9	62.3	59.5	63.9	18.3	61.5	38.1	
	70代以上	89	44.9	51.7	59.6	56.2	50.6	13.5	56.2	30.3	
パソコン習熟度	レベル4	258	59.7	75.6	67.4	69.8	83.3	44.2	64.3	48.1	
	レベル3	767	57.9	69.6	60.8	57.9	65.6	21.5	54.1	35.1	
	レベル2	489	45.2	51.1	48.9	45.8	48.3	10.6	42.7	25.8	
	レベル1	114	38.6	40.4	43.0	36.8	33.3	10.5	39.5	21.1	
時系列別	2014年	1,599	47.2	57.3	55.9	49.2	61.4	26.1	55.0	-	

※n=30未満は参考値のため灰色。

※「登録画像による正規サイト確認の提供」は今回調査から追加された項目。

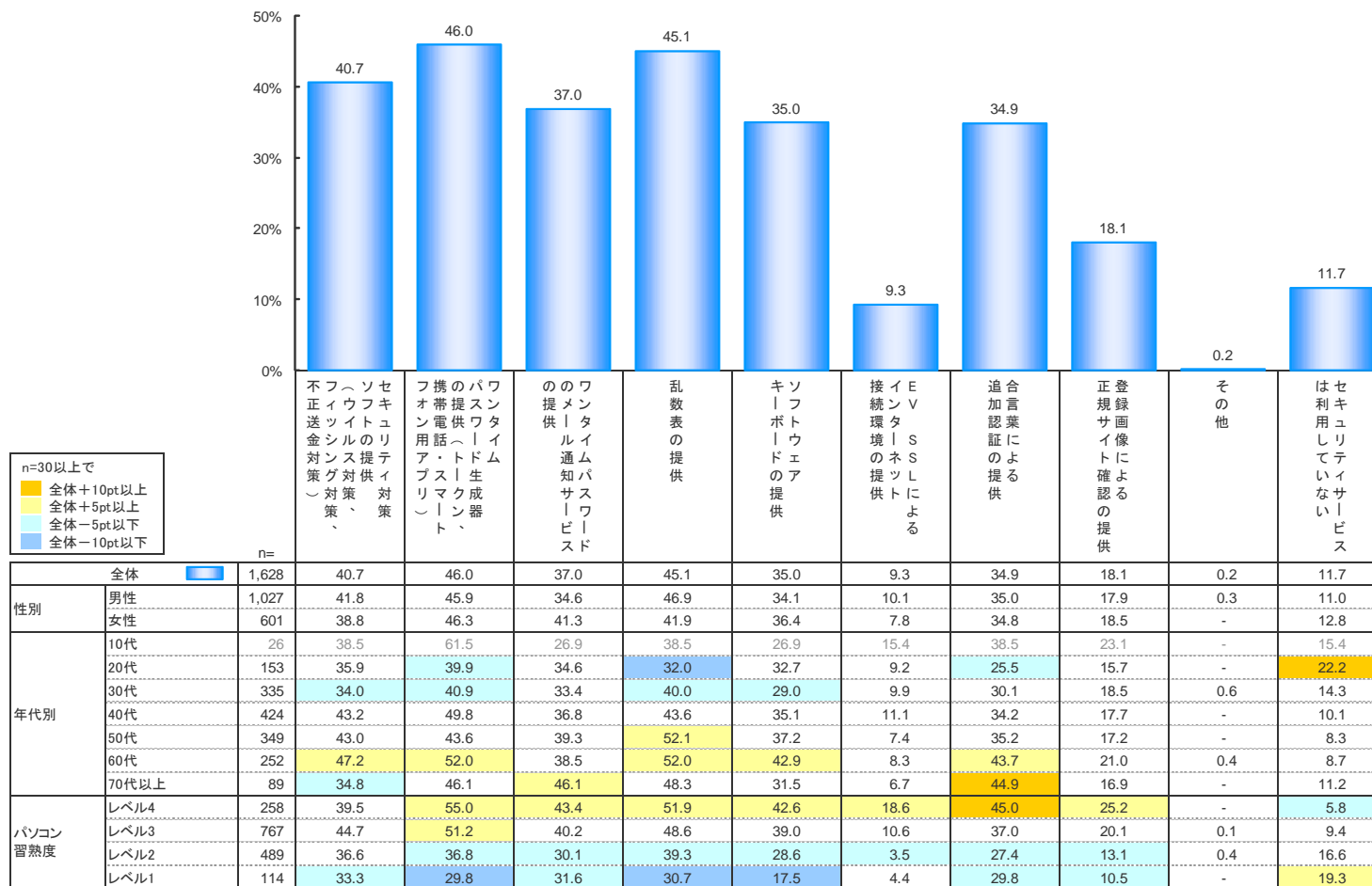
4-4-19.利用している金融機関提供のセキュリティサービス内容

■ インターネットバンキング利用経験者が利用している金融機関提供のセキュリティサービスは、「ワンタイムパスワード生成器の提供(トークン、携帯電話・スマートフォン用アプリ)」(46.0%)、「乱数表の提供」(45.1%)、「セキュリティ対策ソフトの提供(ウイルス対策、フィッシング対策、不正送金対策)」(40.7%)が上位。

・年代別で見ると、20代では、「セキュリティサービスは利用していない」が2割以上と高い。また、70代以上では「合言葉による追加認証の提供」(44.9%)が、他の年代と比べて高い。

Q.29 主に利用している金融機関の「インターネットバンキング」のセキュリティサービスのうち、あなたが利用しているものをすべて選択してください。(MA)

【Q.5で「インターネットバンキング」と回答した人ベース】



※n=30未満は参考値のため灰色。

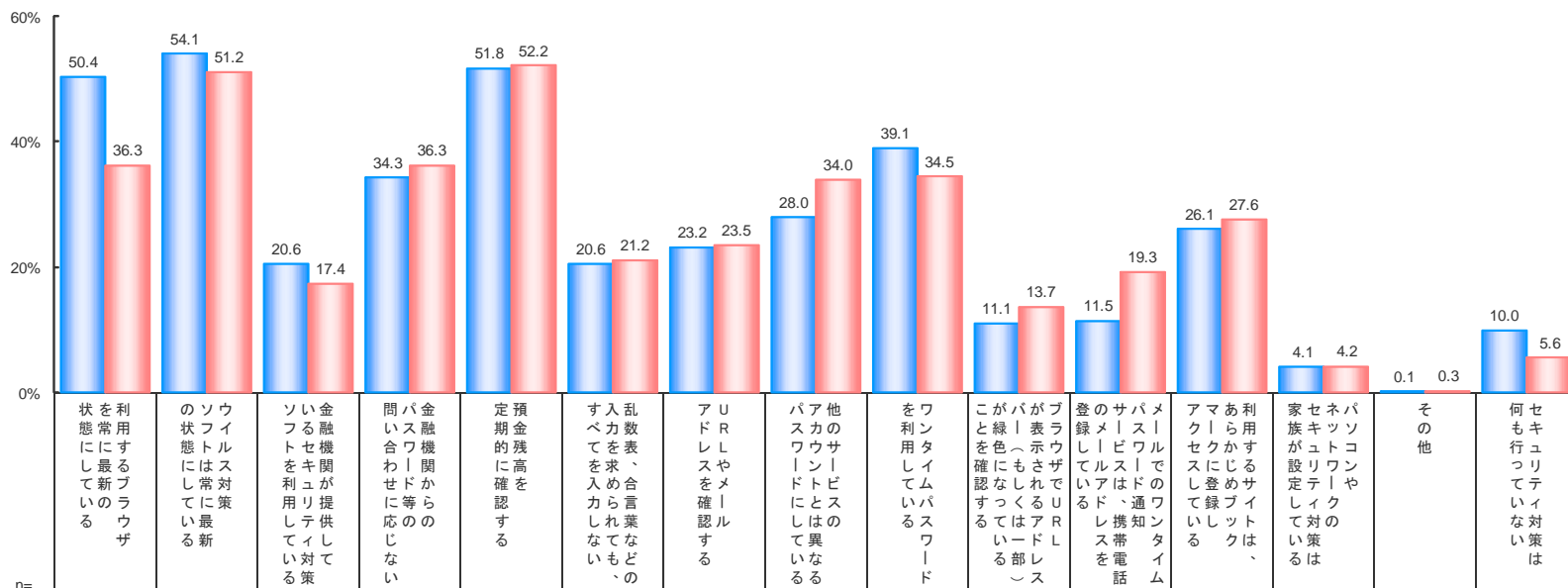
4-4-20.金融機関のインターネットバンキングの利用について

■ インターネットバンキング利用経験者が対策している内容は、「ウイルス対策ソフトは常に最新の状態にしている」(54.1%)、「預金残高を定期的に確認する」(51.8%)、「利用するブラウザを常に最新の状態にしている」(50.4%)の順で、1位と2位が前回調査から入れ替わる結果となった。

- ・年代別で見ると、60代以上では、「金融機関が提供しているセキュリティ対策ソフトを利用している」、「金融機関からのパスワード等の問い合わせに応じない」、「預金残高を定期的に確認する」の割合が、他の年代と比べて高い。

Q.30 主に利用している金融機関の「インターネットバンキング」を利用するうえで、あてはまるものをすべて選択してください。(MA)

【Q.5で「インターネットバンキング」と回答した人ベース】



n=30以上で
■ 全体+10pt以上
■ 全体+5pt以上
■ 全体-5pt以下
■ 全体-10pt以下

		全体	50.4	54.1	20.6	34.3	51.8	20.6	23.2	28.0	39.1	11.1	11.5	26.1	4.1	0.1	10.0
性別	男性	1,027	57.8	60.0	20.4	36.2	52.8	23.0	25.1	29.2	37.6	11.9	11.5	27.0	2.1	0.1	9.1
	女性	601	37.6	43.9	20.8	31.1	50.1	16.6	20.0	26.0	41.6	9.7	11.5	24.6	7.5	-	11.5
年代別	10代	26	50.0	42.3	30.8	42.3	46.2	23.1	34.6	34.6	42.3	30.8	15.4	34.6	7.7	-	15.4
	20代	153	51.0	43.1	13.7	23.5	43.1	17.6	20.9	25.5	30.1	11.8	13.7	17.0	4.6	-	17.0
	30代	335	50.4	49.3	12.5	26.0	44.2	17.3	22.4	24.5	33.1	11.0	8.7	23.0	1.2	-	14.3
	40代	424	54.5	58.3	19.3	34.7	50.0	19.8	22.6	25.9	41.5	12.7	11.1	27.6	2.8	0.2	8.7
	50代	349	48.4	56.2	22.6	36.1	53.6	22.1	23.8	29.2	38.1	10.9	14.0	28.9	6.3	-	7.2
	60代	252	51.6	58.3	30.6	44.0	61.9	26.6	26.6	32.5	47.6	7.5	12.7	31.3	4.0	-	7.1
	70代以上	89	33.7	53.9	29.2	46.1	69.7	19.1	18.0	36.0	43.8	6.7	5.6	18.0	11.2	-	4.5
パソコン習熟度	レベル4	258	78.3	74.8	24.0	46.5	61.6	34.1	40.7	41.1	47.3	24.4	16.3	39.9	2.3	0.4	3.9
	レベル3	767	57.6	59.7	22.9	36.9	54.5	21.9	25.0	33.2	42.0	11.7	12.3	29.7	2.5	-	7.6
	レベル2	489	29.4	39.7	16.2	28.0	45.6	13.9	14.3	16.4	32.7	4.7	9.6	16.2	6.1	-	14.7
	レベル1	114	28.1	30.7	15.8	16.7	37.7	10.5	9.6	13.2	28.1	3.5	3.5	13.2	10.5	-	19.3
時系列	2014年	1,599	36.3	51.2	17.4	36.3	52.2	21.2	23.5	34.0	34.5	13.7	19.3	27.6	4.2	0.3	5.6

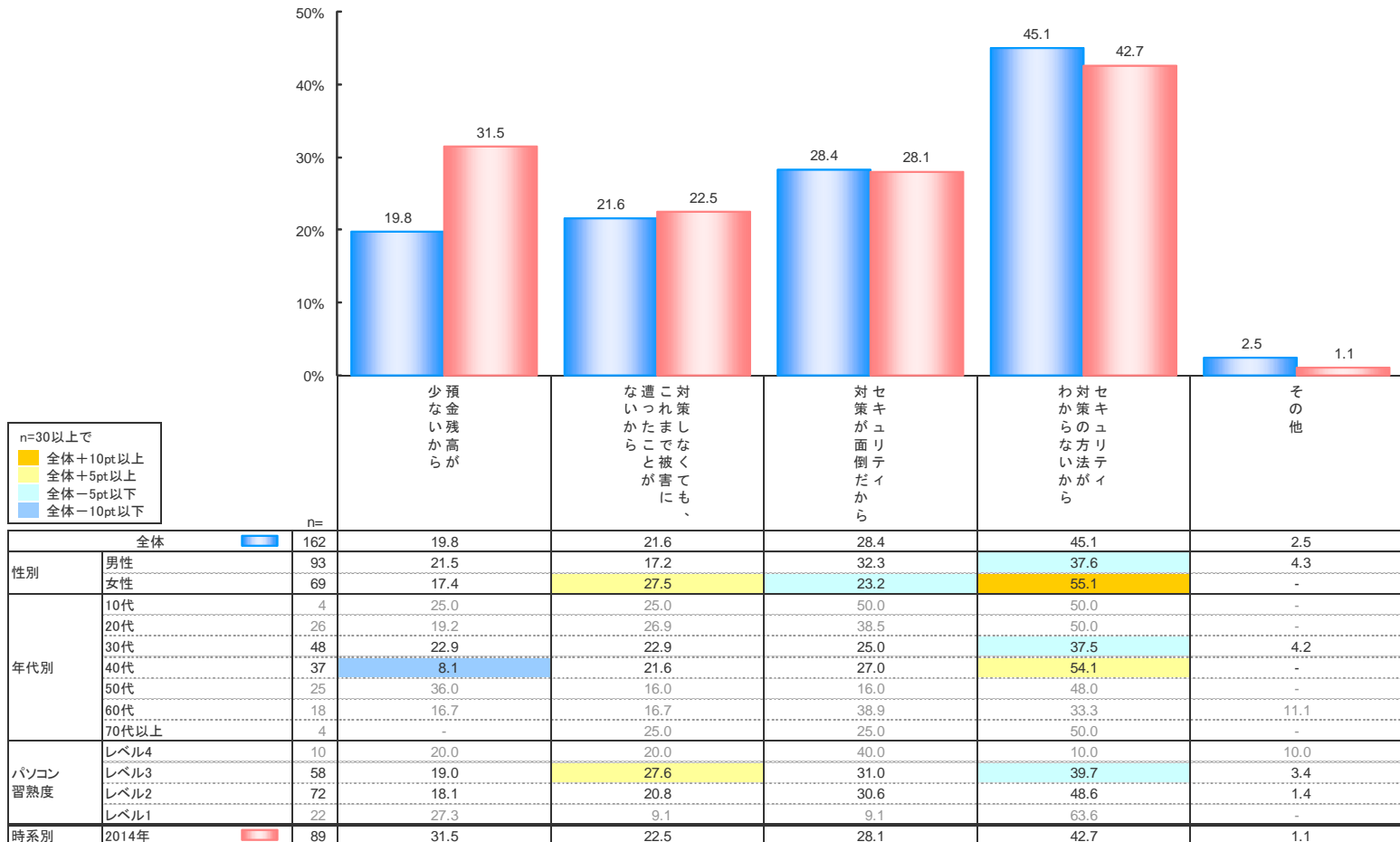
※n=30未満は参考値のため灰色。

4-4-21.インターネットバンキング利用時にセキュリティ対策をしていない理由

- インターネットバンキング利用時にセキュリティ対策をしていない理由は、「セキュリティ対策の方法がわからないから」(45.1%)がトップ。
- 前回調査と比較すると、「預金残高が少ないから」が約12ポイント減少。
 - ・性別で見ると、女性では「セキュリティ対策の方法がわからないから」(55.1%)と回答した割合が、男性と比べて高い。

Q.31 「インターネットバンキング」を利用するうえでセキュリティ対策を行っていない理由としてあてはまるものをすべて選択してください。(MA)

【Q.30で「セキュリティ対策は何も行っていない」と回答した人ベース】



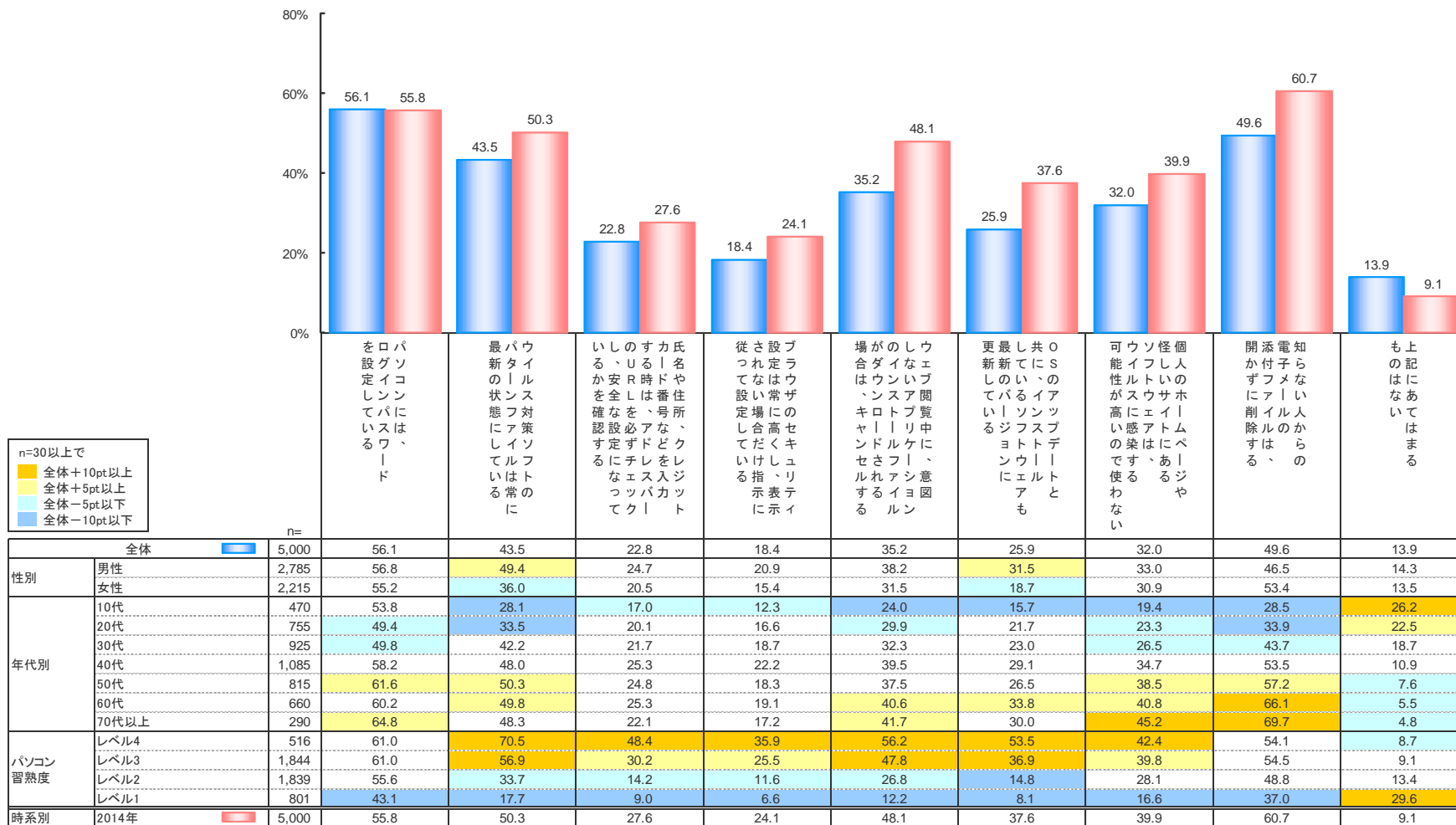
※n=30未満は参考値のため灰色。

4-4-22.情報セキュリティに関する日常の行動

■ 情報セキュリティに関する日常の行動は「パソコンには、ログインパスワードを設定している」(56.1%)が最も高く、次いで「知らない人からの電子メールの添付ファイルは、開かずに削除する」(49.6%)、「ウイルス対策ソフトのパターンファイルは常に最新の状態にしている」(43.5%)と続く。「知らない人からの電子メールの添付ファイルは、開かずに削除する」は前回調査から約11ポイント減少し、1位と2位が入れ替わった。

・年代別で見ると、50代以上の高年齢層では、「個人のホームページや怪しいサイトにあるソフトウェアは、ウイルスに感染する可能性が高いので使わない」、「知らない人からの電子メールの添付ファイルは、開かずに削除する」と回答した人の割合が、若年層と比べて高い。

Q.32 あなたは以下の行動をとっていますか。あてはまるものをすべて選択してください。(MA)

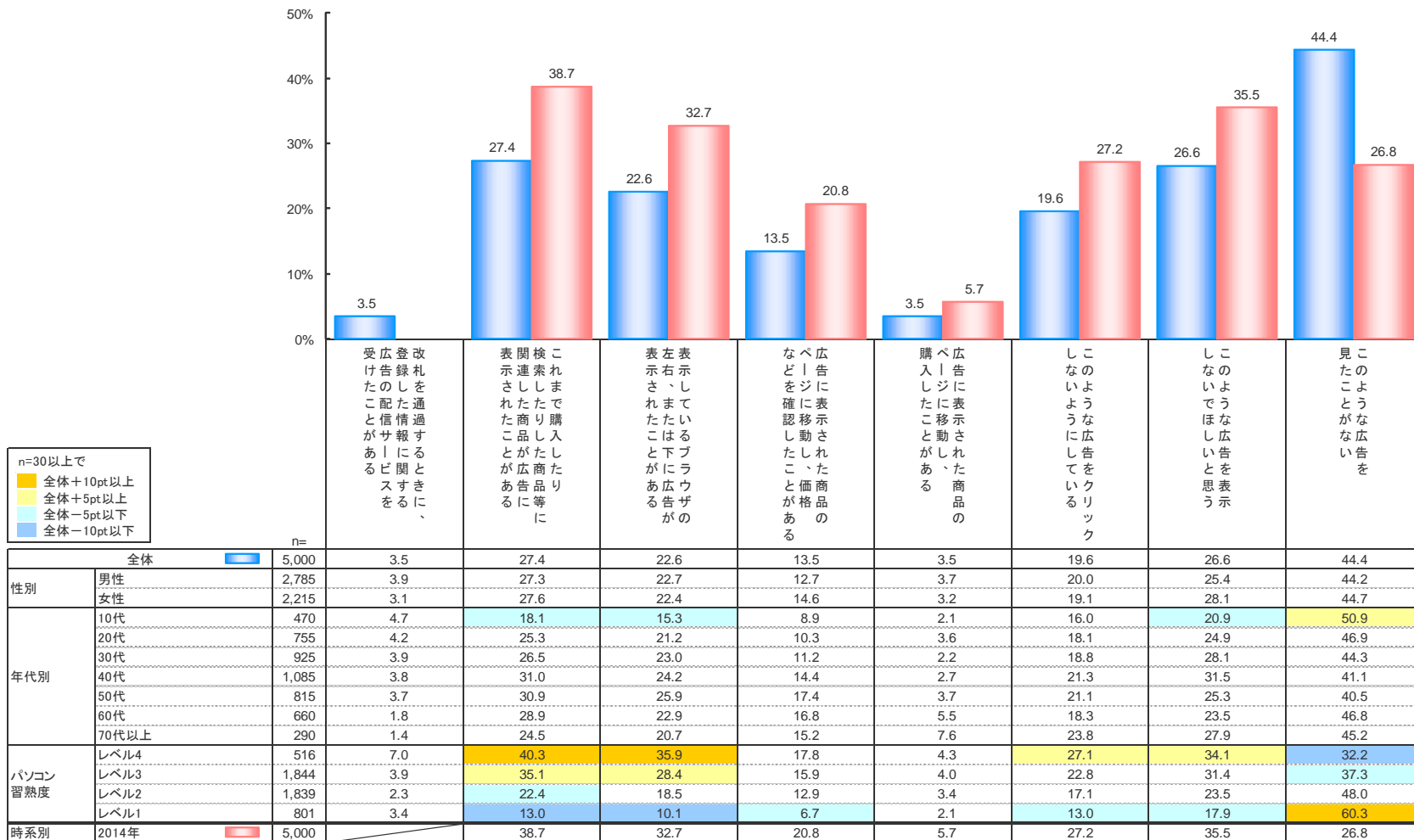


4-4-23.行動ターゲティング広告に対する認識・行動

■ 行動ターゲティングに対する認識・行動は、「これまで購入したり検索したりした商品等に関連した商品が広告に表示されたことがある」(27.4%)、「このような広告を表示しないでほしいと思う」(26.6%)が上位。前回調査と比較すると、「このような広告を見たことがない」(44.4%)と回答した人の割合が約20ポイントと大きく増加。

・パソコン習熟度別で見ると、レベルが上がるほど、「これまで購入したり検索したりした商品等に関連した商品が広告に表示されたことがある」、「表示しているブラウザの左右、または下に広告が表示されたことがある」などの、行動ターゲティング広告の認知に関する内容が高い。

Q.33 利用者がインターネットで検索した商品やサービス、利用している駅、位置情報、購買履歴等を利用して、利用者が興味がある商品やサービスについて個別に知らせる行動ターゲティング広告というサービスがあります。行動ターゲティング広告について、あてはまるものをすべて選択してください。(MA)



※「改札を通過するときに、登録した情報に関する広告の配信サービスを受けたことがある」は今回調査から追加された項目。

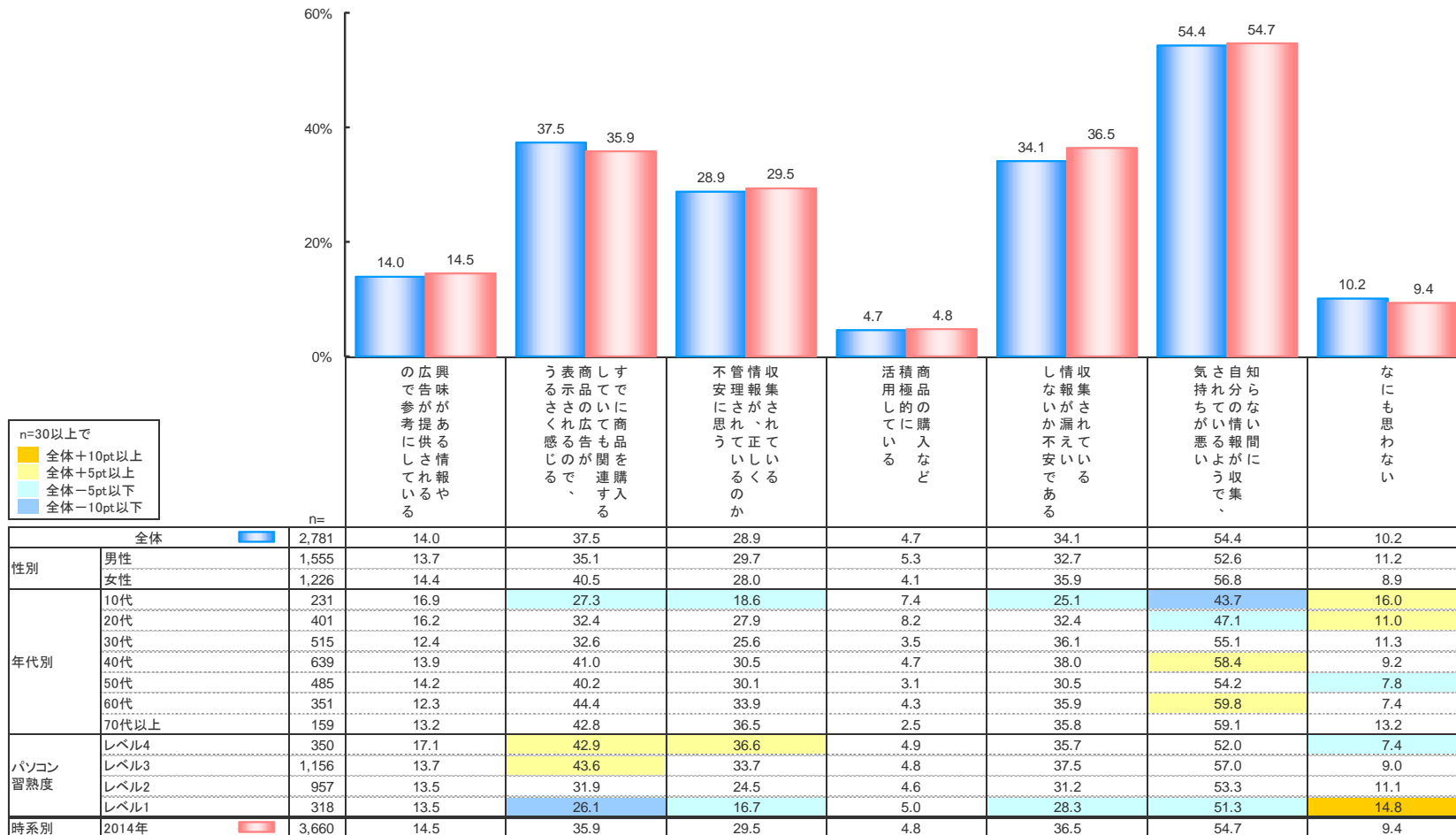
4-4-24.行動ターゲティング広告に対する意識

■ 行動ターゲティングに対する意識は、「知らない間に自分の情報が収集されているようで、気持ちが悪い」(54.4%)がトップで、前回調査と同様の結果となった。

・ パソコン習熟度別で見ると、レベル1では、「なにも思わない」(14.8%)が全体より高め。

Q34 行動ターゲティング広告について、どのように思いますか。あてはまるものをすべて選択してください。(MA)

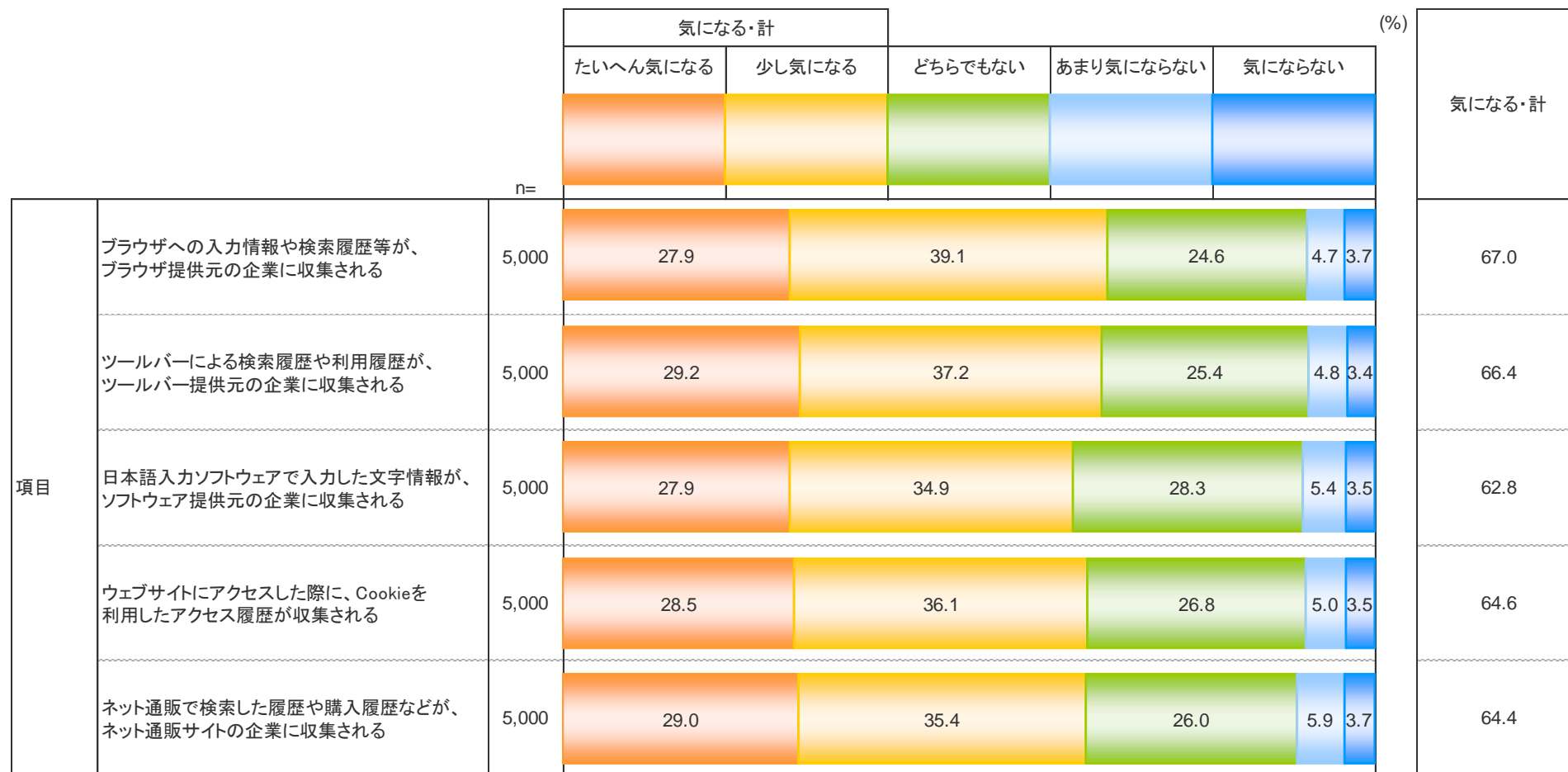
【Q33で「このような広告を見たことがない」以外を回答した人ベース】



4-4-25.ブラウザへの入力情報が収集される行為に対する意識①

- ブラウザへの入力情報が収集される行為に対する意識について、気になる(「たいへん気になる」+「少し気になる」)と回答した人の割合は、いずれの項目でも6割以上。

Q.35 ブラウザへの入力情報、検索履歴、文字入力情報等が収集される行為についてどの様に感じますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(各SA)

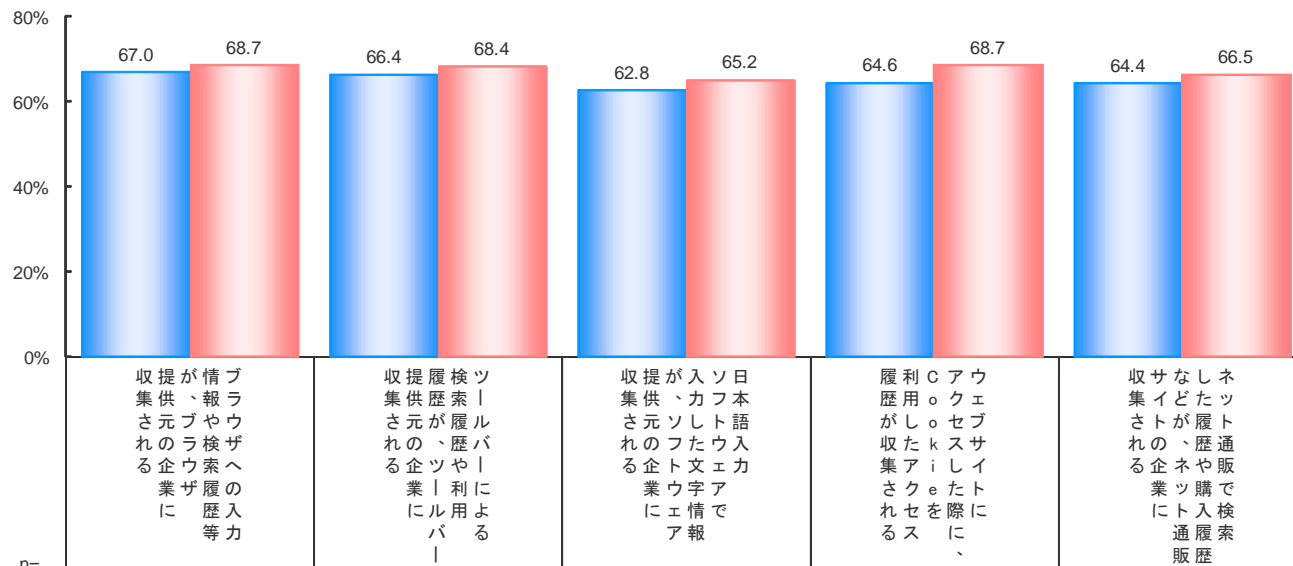


4-4-25.ブラウザへの入力情報が収集される行為に対する意識②

- ブラウザへの入力情報が収集される行為に対する意識について、年代別で見ると、10～20代の若年層では、気になると回答した割合が全体的に低い。
- パソコン習熟度別で見ると、レベル1では、気になると回答した割合が全体的に低い。

Q.35 ブラウザへの入力情報、検索履歴、文字入力情報等が収集される行為についてどの様に感じますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(各SA)

※『気になる・計』スコア



n=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

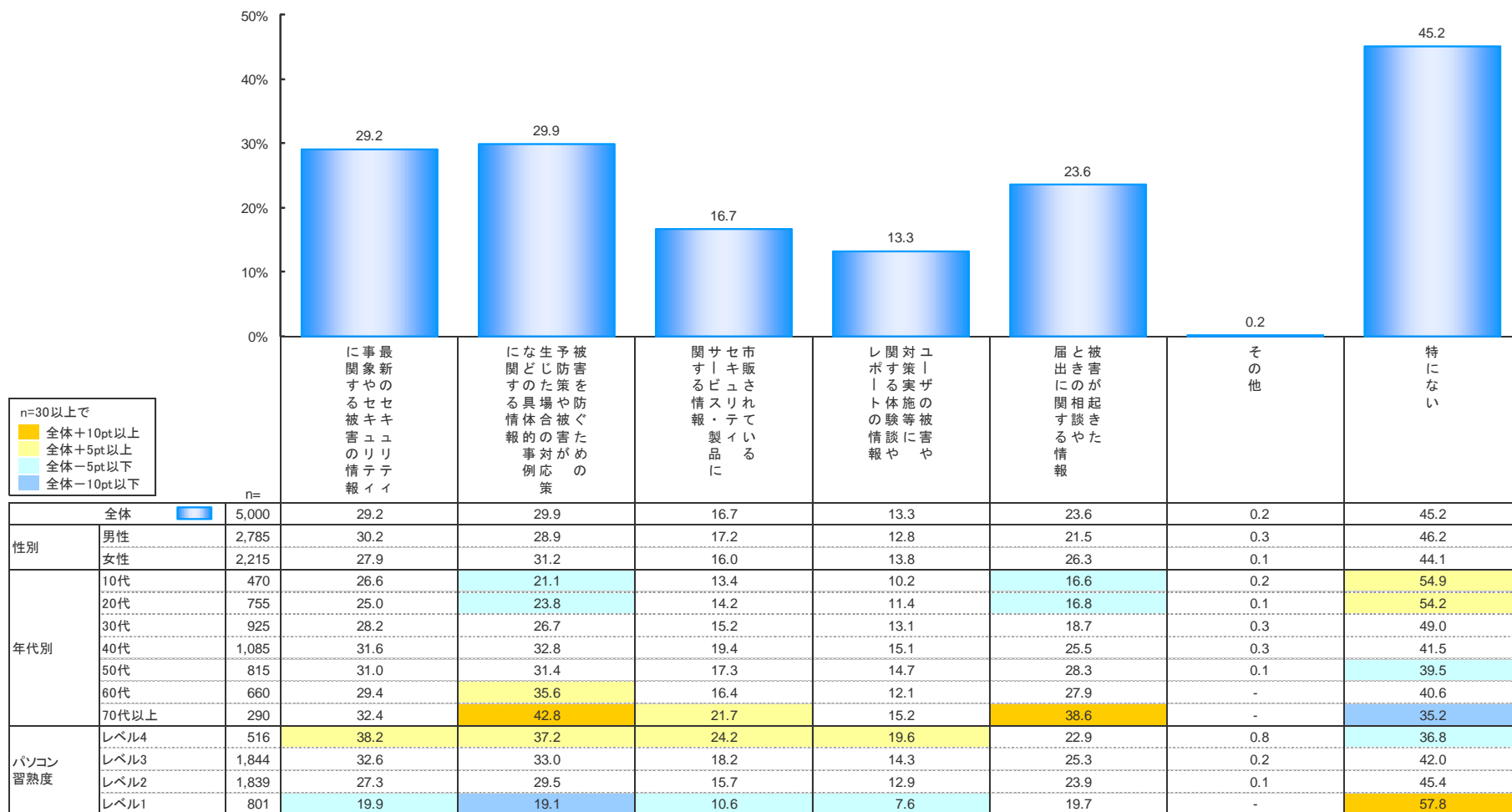
		n=	67.0	66.4	62.8	64.6	64.4
全体		5,000	67.0	66.4	62.8	64.6	64.4
性別	男性	2,785	64.5	63.0	59.6	61.7	61.0
	女性	2,215	70.3	70.7	67.0	68.4	68.7
年代別	10代	470	54.0	53.6	50.0	53.4	53.6
	20代	755	60.9	58.8	55.8	58.3	56.4
	30代	925	63.5	63.5	61.7	62.4	60.9
	40代	1,085	70.7	70.0	65.9	68.8	67.2
	50代	815	71.9	71.0	66.9	67.0	68.5
	60代	660	74.2	75.0	68.9	71.4	73.3
	70代以上	290	71.7	70.7	69.0	69.3	72.1
パソコン習熟度	レベル4	516	70.9	71.3	69.6	72.5	68.6
	レベル3	1,844	71.5	70.7	67.4	69.0	67.7
	レベル2	1,839	66.7	65.5	61.8	63.6	64.5
	レベル1	801	55.1	55.6	50.3	51.9	53.8
時系別	2014年	5,000	68.7	68.4	65.2	68.7	66.5

4-4-26.過去1年間に知りたいと思ったセキュリティ情報

■ 過去1年間に知りたいと思ったセキュリティ情報は、「被害を防ぐための予防策や被害が生じた場合の対応策などの具体的事例に関する情報」(29.9%)、「最新のセキュリティ事象やセキュリティに関する被害の情報」(29.2%)が上位。

・年代別で見ると、70代以上では、「被害を防ぐための予防策や被害が生じた場合の対応策などの具体的事例に関する情報」(42.8%)、「被害が起きたときの相談や届出に関する情報」(38.6%)が、他の年代と比べて高い。

Q.36 過去1年間に、あなたが知りたいと思ったセキュリティ情報はどのようなことでしたか。あてはまるものをすべて選択してください。(MA)

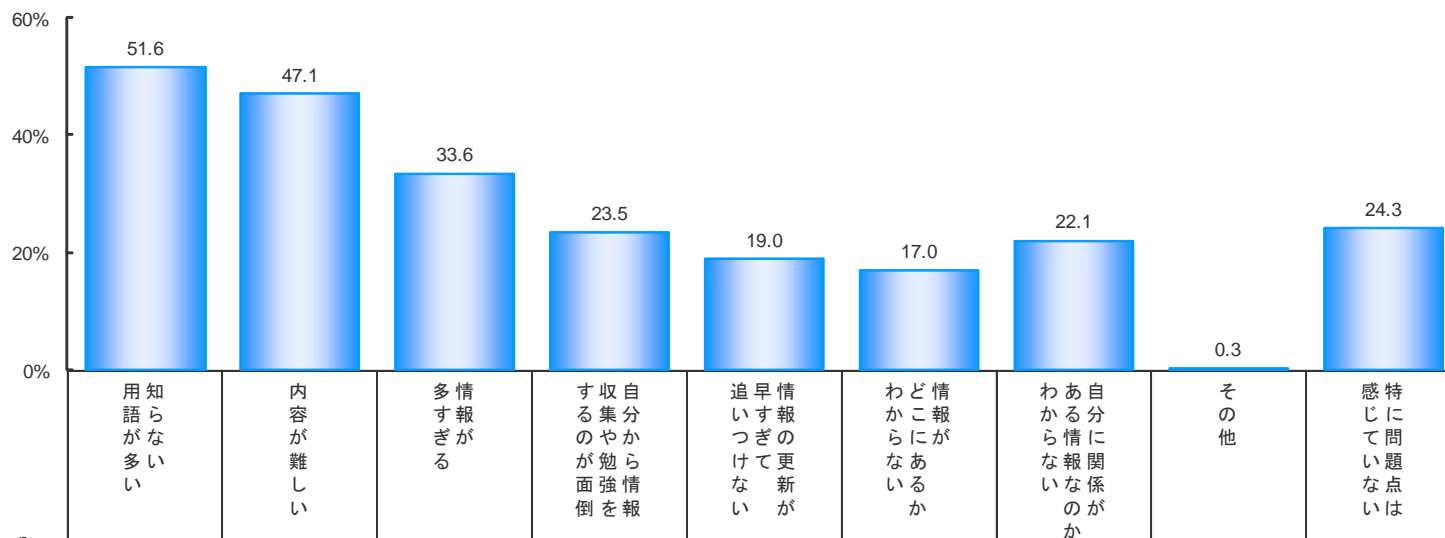


4-4-27. セキュリティ情報を収集する際の問題点

■ セキュリティ情報を収集する際の問題点は、「知らない用語が多い」(51.6%)が最も高く、次いで「内容が難しい」(47.1%)、「情報が多すぎる」(33.6%)と続く。

- ・年代別で見ると、70代以上では、「知らない用語が多い」(63.1%)、「内容が難しい」(59.7%)、「情報がどこにあるかわからない」(28.3%)、「自分に関係がある情報なのかわからない」(39.7%)が、他の年代と比べて高い一方、10代では「特に問題点は感じていない」(37.0%)が高い。
- ・パソコン習熟度別で見ると、レベル2では「知らない用語が多い」(62.8%)、「内容が難しい」(57.4%)、レベル4では「特に問題点は感じていない」(35.7%)が全体より高い。

Q.37 あなたは、セキュリティ情報を収集するにあたって、どのような問題点を感じていますか。あてはまるものをすべて選択してください。(MA)



n=30以上で
■ 全体+10pt以上
■ 全体+5pt以上
■ 全体-5pt以下
■ 全体-10pt以下

		n=	知らない用語が多い	内容が難しい	情報が多すぎる	自分のやるべき情報を見逃す	情報の更新が早い	情報がどこにあるかわからない	自分に関係のない情報が多い	その他	特に問題点は感じていない
全体		5,000	51.6	47.1	33.6	23.5	19.0	17.0	22.1	0.3	24.3
性別	男性	2,785	44.6	40.9	31.9	22.0	17.1	14.8	17.7	0.3	29.4
	女性	2,215	60.4	55.0	35.8	25.4	21.5	19.9	27.7	0.3	17.8
年代別	10代	470	43.8	36.8	28.9	19.8	10.6	12.6	14.7	0.4	37.0
	20代	755	44.0	39.2	28.6	20.5	16.3	12.5	12.3	-	33.1
	30代	925	47.1	43.4	35.1	24.0	19.8	16.4	17.8	0.3	27.9
	40代	1,085	52.4	48.3	34.4	26.1	21.4	17.3	23.0	0.5	22.6
	50代	815	55.8	52.1	37.3	25.5	21.3	17.4	26.3	0.2	18.5
	60代	660	60.6	55.3	34.5	22.1	18.6	20.3	30.5	0.2	14.4
	70代以上	290	63.1	59.7	34.1	23.4	23.1	28.3	39.7	0.3	13.8
パソコン習熟度	レベル4	516	26.4	29.3	33.3	20.7	17.6	11.4	13.2	1.0	35.7
	レベル3	1,844	47.1	43.2	34.7	22.9	18.7	14.9	18.9	0.3	25.0
	レベル2	1,839	62.8	57.4	35.6	26.4	21.2	20.2	27.2	0.1	17.6
	レベル1	801	52.8	44.2	27.0	20.0	15.9	18.2	23.6	0.1	30.5

調査結果詳細<スマートデバイス調査>

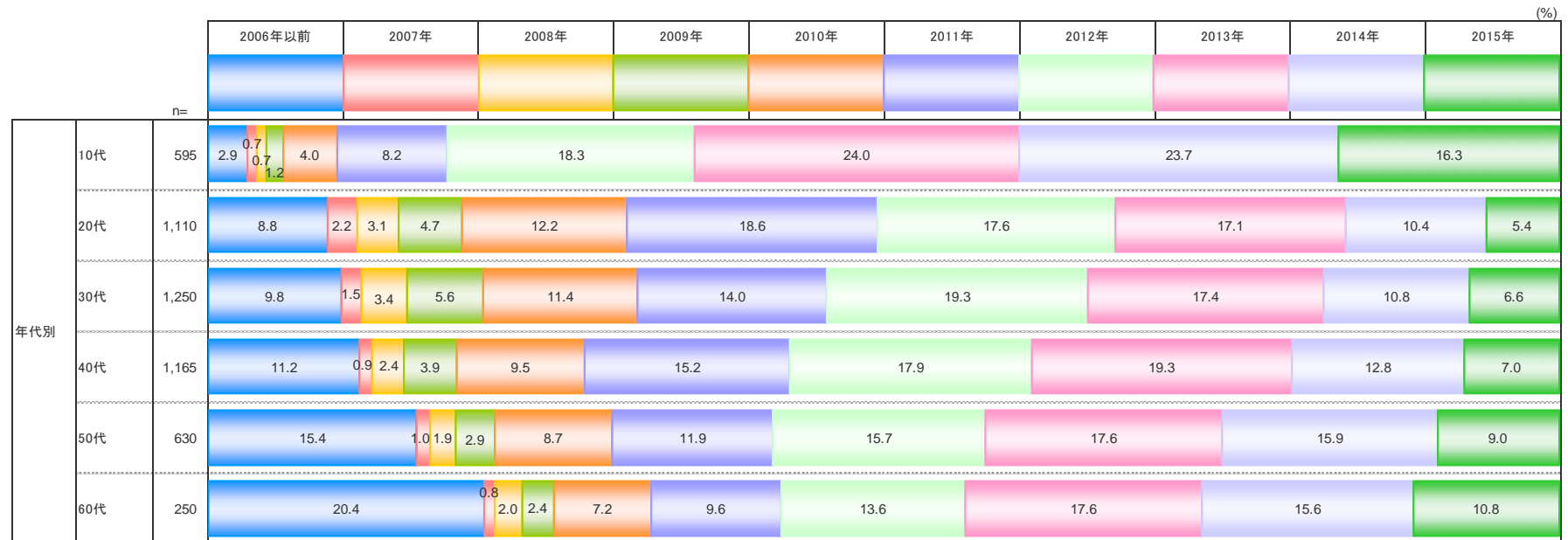
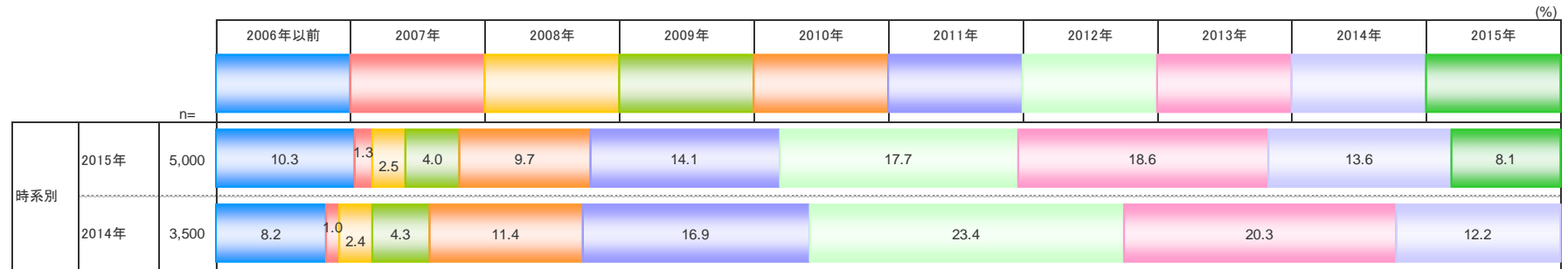
<設問種別>

SA..... 単一回答
MA..... 複数回答
NU..... 数値回答
FA..... 自由回答

5-1.スマートデバイスでのインターネット利用状況 5-1-1.スマートデバイスによるインターネット利用開始時期

- スマートデバイスでのインターネット利用開始時期は、「2013年」(18.6%)が最も高く、次いで「2012年」(17.7%)が高い。2012年から2015年までで、全体の約6割を占める。
 - ・ 年代別で見ると、10代では、2013年から2014年がほぼ半数を占める。20代から40代では、2011年から2013年に分散。60代は、「2006年以前」(20.4%)が最も高い。

Q.2 あなたが、スマートデバイスでインターネットを利用し始めた時期はいつですか。
覚えていない場合はだいたいの時期で構いませんので以下よりご回答ください。(SA)



5-1-2.スマートデバイスの習熟度

■ スマートデバイスの習熟度は、レベル3の「必要なアプリをインストールしたり、設定を変更したりして使える」(45.7%)が最も高く、全体の約5割を占める。

- ・年代別で見ると、10代、20代ではレベル3以上の高い習熟度である割合が高く、60代は習熟度のレベルが低い。
- ・職業別で見ると、「経営者・役員」、「会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)」、「高校生」では、レベル4の割合が高い。

Q.3 あなたのスマートデバイスの習熟度について、最も近いものをひとつ選択してください。(SA)

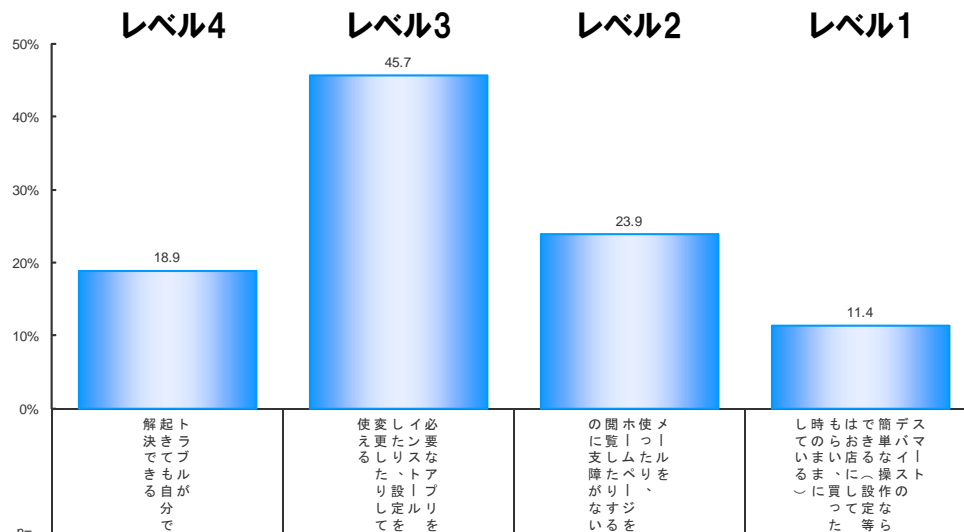
※習熟度を以下のように定義し、分析に使用している。

レベル4:非常に習熟している(トラブルが起きても自分で解決できる)

レベル3:習熟している(必要なアプリをインストールしたり、設定を変更したりして使える)

レベル2:基本操作は習熟(メールを使ったり、ホームページを閲覧したりするのに支障がない)

レベル1:入門・初心者(スマートデバイスの簡単な操作ならできる(設定等はお店にしてもらい、買った時のままにしている))



n=30以上で
■ 全体+10pt以上
■ 全体+5pt以上
■ 全体-5pt以下
■ 全体-10pt以下

		n=	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
全体		5,000	18.9	45.7	23.9	11.4
年代別	10代	595	24.0	49.9	15.5	10.6
	20代	1,110	21.6	50.9	17.5	10.0
	30代	1,250	16.8	45.2	26.2	11.8
	40代	1,165	19.3	43.2	26.7	10.8
	50代	630	15.9	41.0	29.4	13.8
	60代	250	10.4	39.6	34.8	15.2
職業別	経営者・役員	73	31.5	38.4	23.3	6.8
	会社員・公務員・教員(管理職)	478	26.6	39.3	21.3	12.8
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)	185	49.2	36.2	5.9	8.6
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者以外の方)	1,254	20.5	47.2	21.9	10.4
	医者・弁護士等の専門職	102	18.6	43.1	26.5	11.8
	契約社員・派遣社員	252	15.5	51.6	23.8	9.1
	自営業・自由業	215	24.2	45.1	23.3	7.4
	専業主婦・主夫	736	6.9	41.2	36.5	15.4
	家事手伝い・無職(定年退職)	184	14.1	46.7	28.8	10.3
	パート・アルバイト	704	9.5	47.6	29.0	13.9
	中学生	109	10.1	45.0	28.4	16.5
	高校生	190	33.7	48.4	8.9	8.9
	専門学校生	54	20.4	50.0	14.8	14.8
	短大生・高専生	23	21.7	43.5	17.4	17.4
	大学生	334	24.9	54.8	14.1	6.3
	大学院生	15	20.0	73.3	6.7	-
	その他	92	16.3	48.9	22.8	12.0

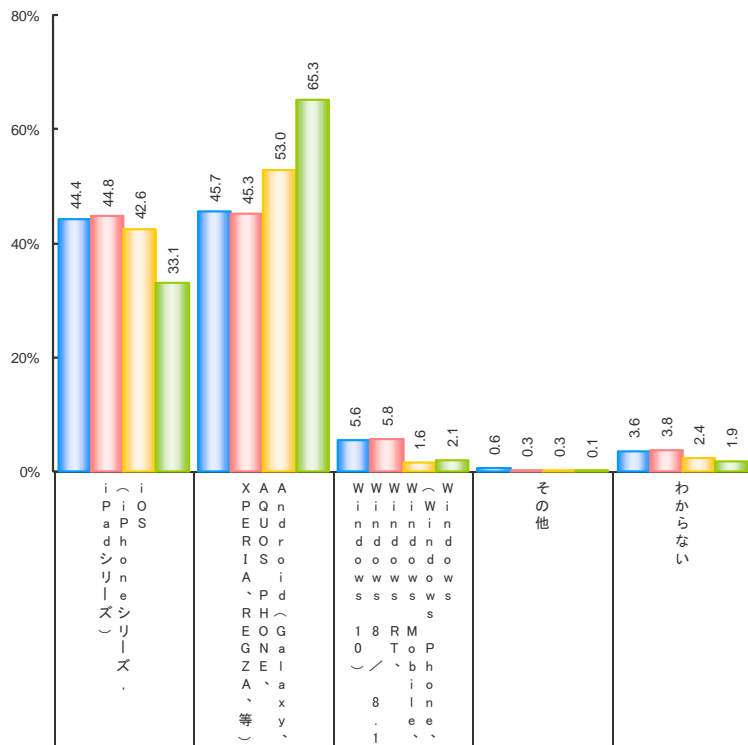
※n=30未満は参考値のため灰色。

5-1-3.使用機器のOS

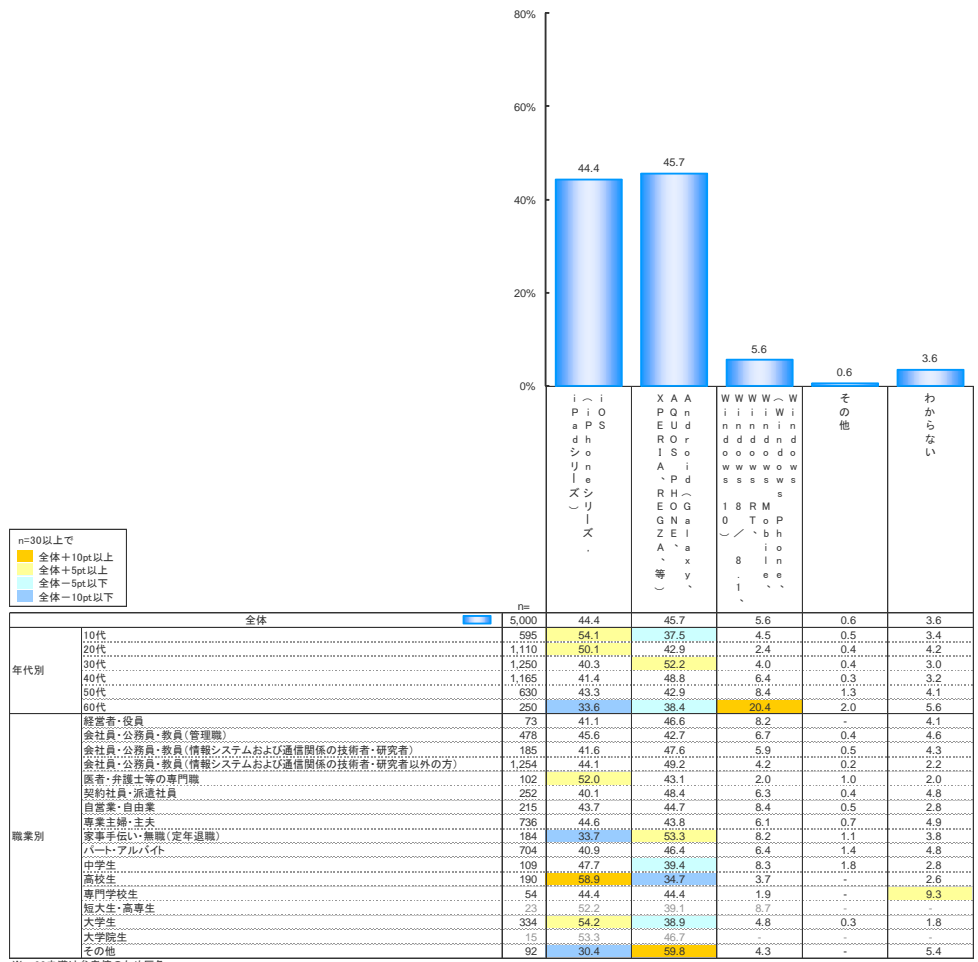
■ インターネットを利用する際に使用しているスマートデバイスのOSは、iOS(44.4%)とAndroid(45.7%)がほぼ同数で、前回調査とほぼ同様の結果となった。

- ・年代別で見ると、10代、20代はiOSの割合が30代以上と比べて高い。Windows OSは、60代でやや利用率が高い。

Q.1 スマートデバイスのOSをお答えください。(お答えはひとつで、複数台所有している場合は、主に使っている端末についてお答えください)(SA)



時系列	年	n	iOS (%)	Android (%)	Windows (%)	その他 (%)	わからない (%)
時系列	2015年	5,000	44.4	45.7	5.6	0.6	3.6
	2014年	3,500	44.8	45.3	5.8	0.3	3.8
	2013年	2,066	42.6	53.0	1.6	0.3	2.4
	2012年	1,596	33.1	65.3	2.1	0.1	1.9



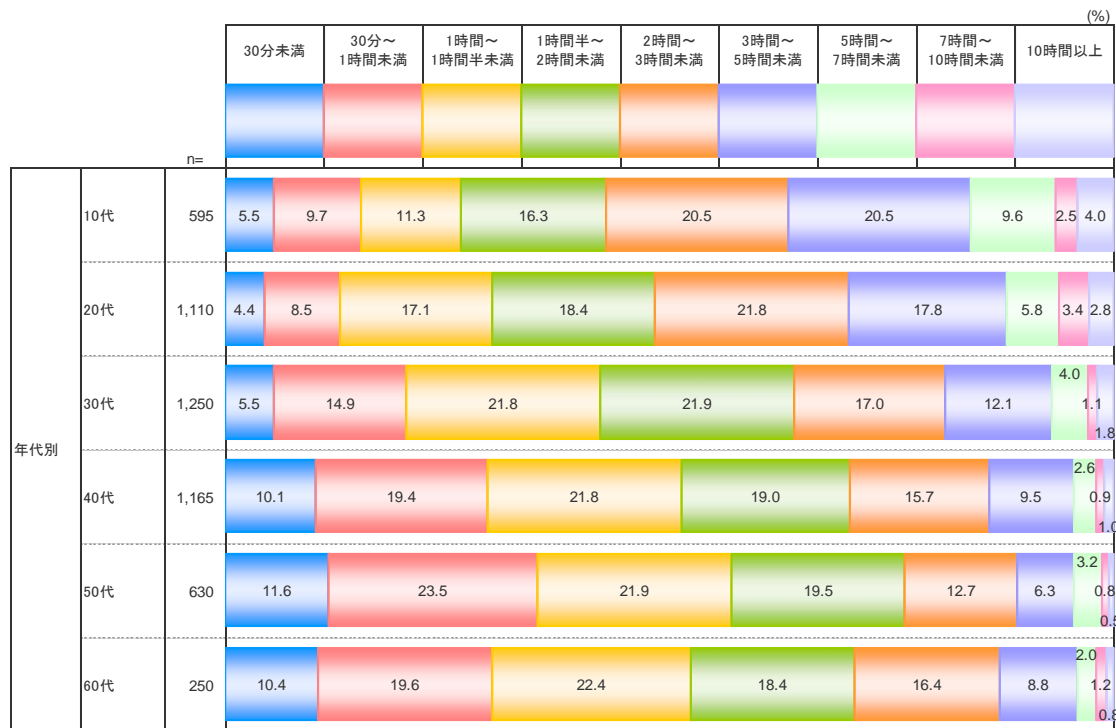
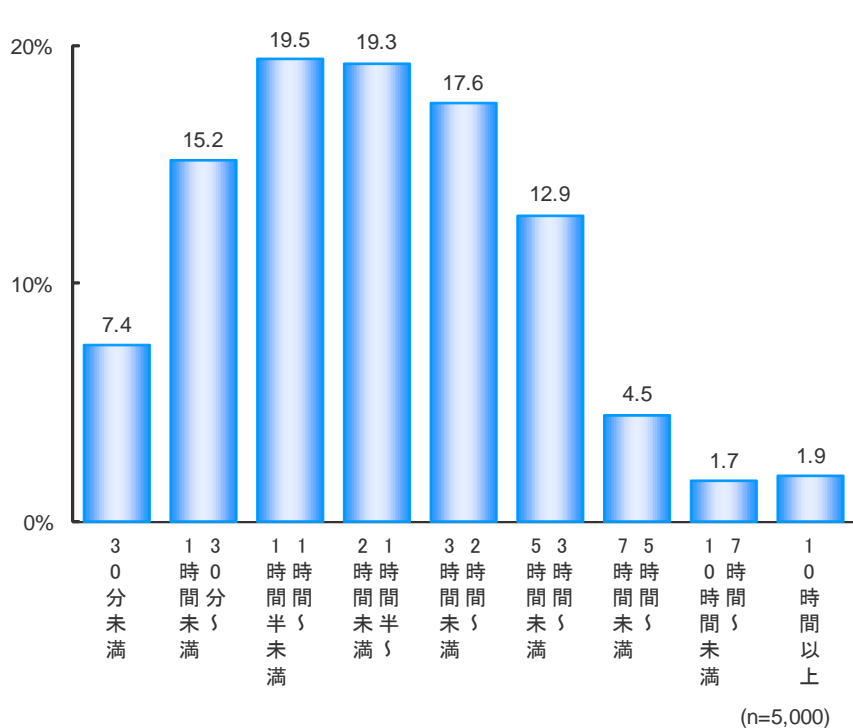
※n=30未満は参考値のため灰色。

5-1-4.スマートデバイスでのインターネット利用時間(平日)①

■ 平日1日あたりのスマートデバイスでのインターネット利用時間は、1時間から2時間程度がボリュームゾーンで、全体の約4割を占める。3時間以上の利用者は、全体の約2割で、全体的にパソコンよりも利用時間が短い。

・年代別で見ると、10代から50代までは、年代が下がるほど、利用時間が長い。10代では、3時間以上の利用者が約4割。

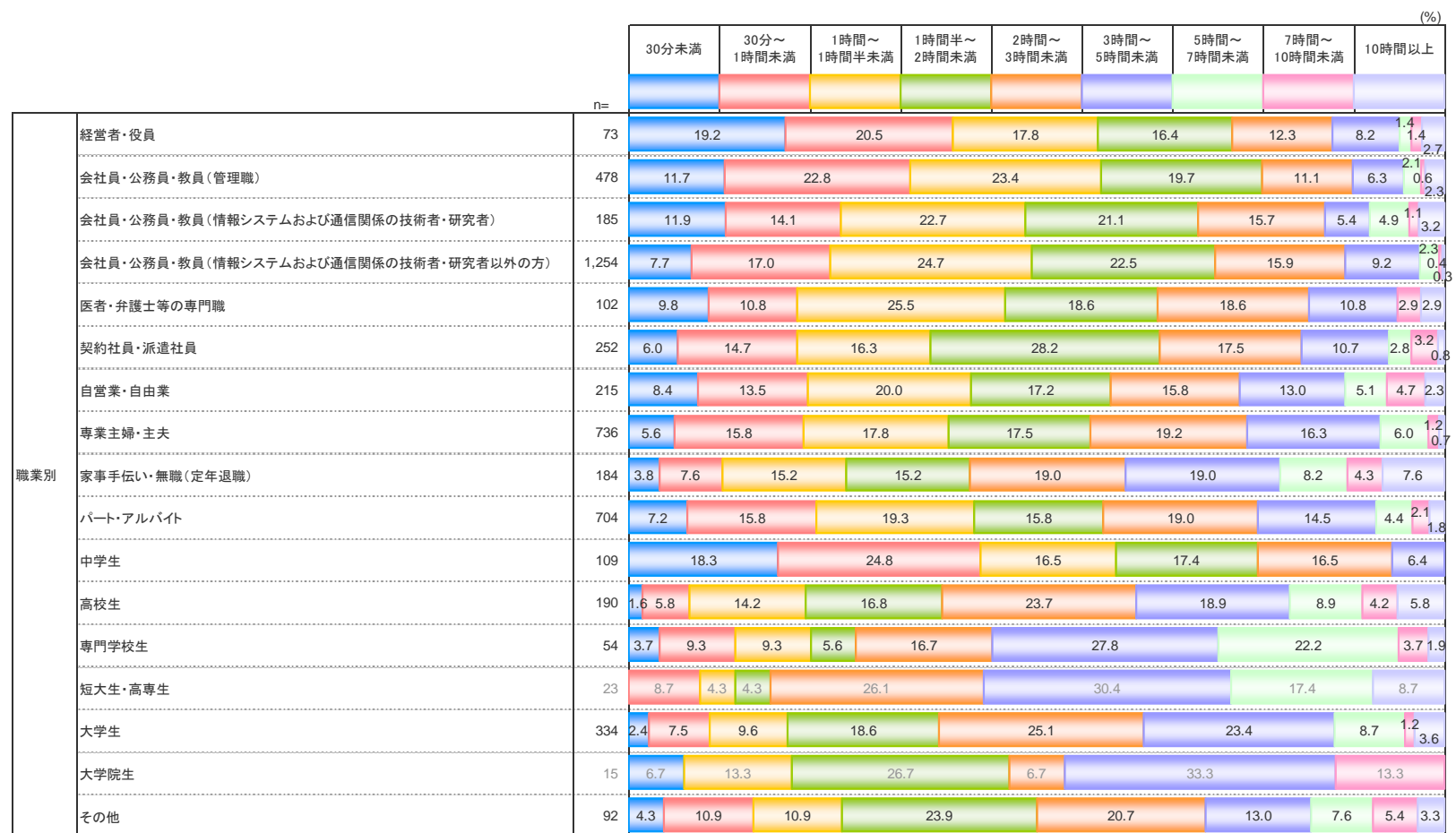
SQ.5 あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日(またはお仕事や学校などのある日)／休日(またはお仕事や学校などのない日)の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。(お答えはそれぞれひとつずつ)
 ※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。(SA)



5-1-4.スマートデバイスでのインターネット利用時間(平日)②

- 平日1日あたりのスマートデバイスでのインターネット利用時間を職業別で見ると、「経営者・役員」と「会社員・公務員・教員(管理職)」では、他の有職者と比べて、利用時間がやや短い。
- 「中学生」では、1時間未満の利用者が約4割。

SQ.5 あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日(またはお仕事や学校などのある日)／休日(またはお仕事や学校などのない日)の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。(お答えはそれぞれひとつずつ)
 ※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。(SA)



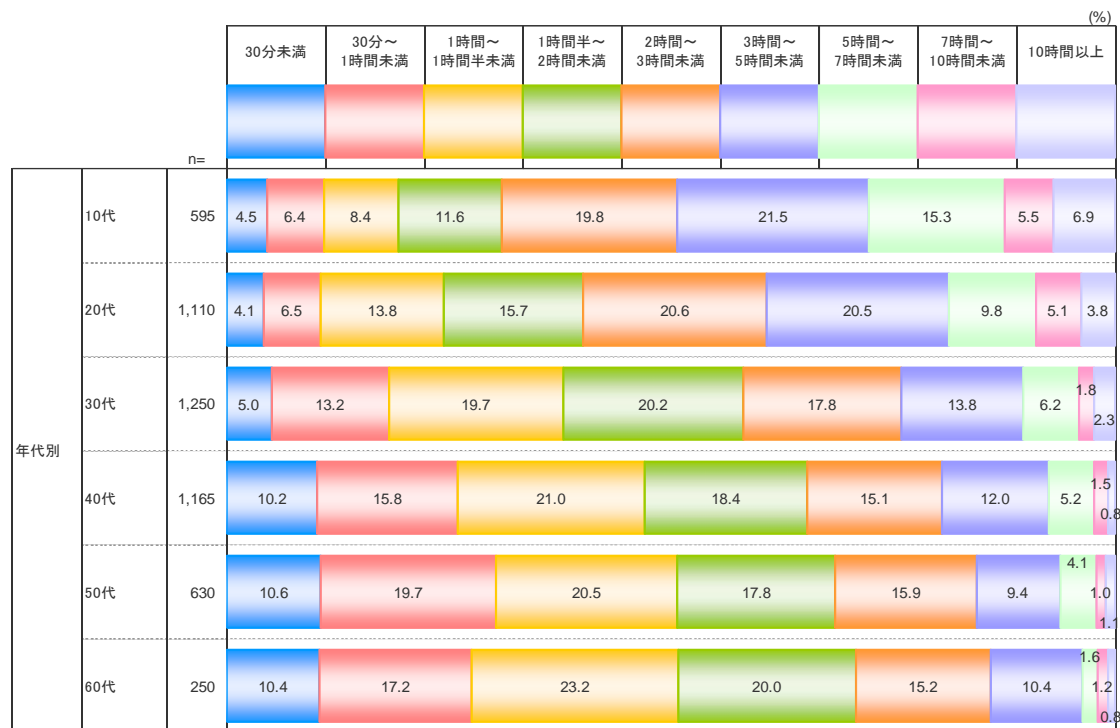
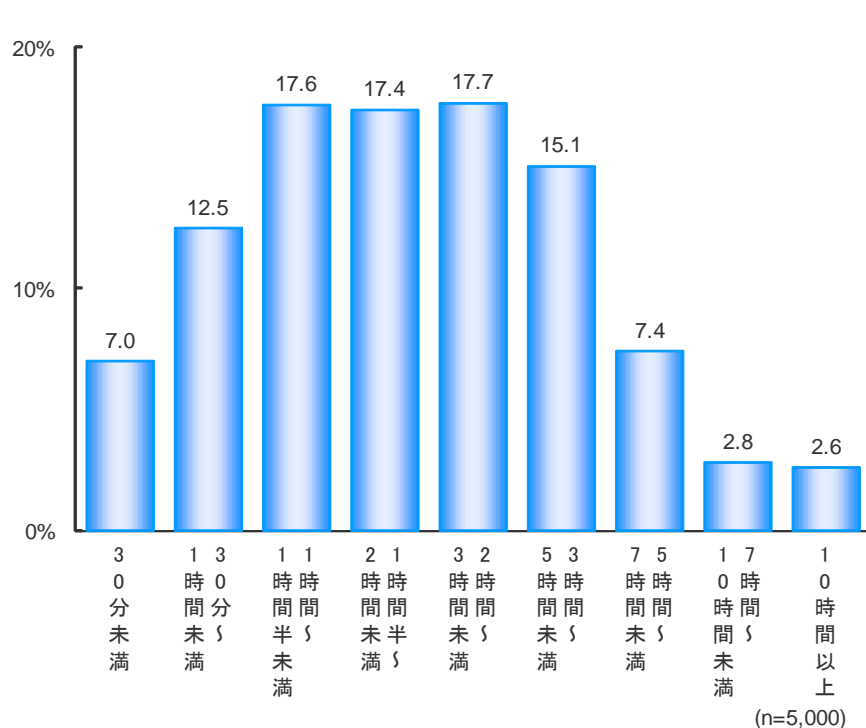
※n=30未満は参考値のため灰色。

5-1-5.スマートデバイスでのインターネット利用時間(休日)①

■ 休日1日あたりのスマートデバイスでのインターネット利用時間は、1時間から3時間程度がボリュームゾーンで、全体の約5割を占める。平日と比べると、やや利用時間は長い。

・年代別の割合は、平日とほぼ同様で、10代から50代までは、年代が下がるほど、利用時間が長い。特に10代は、3時間以上の利用者が約半数。

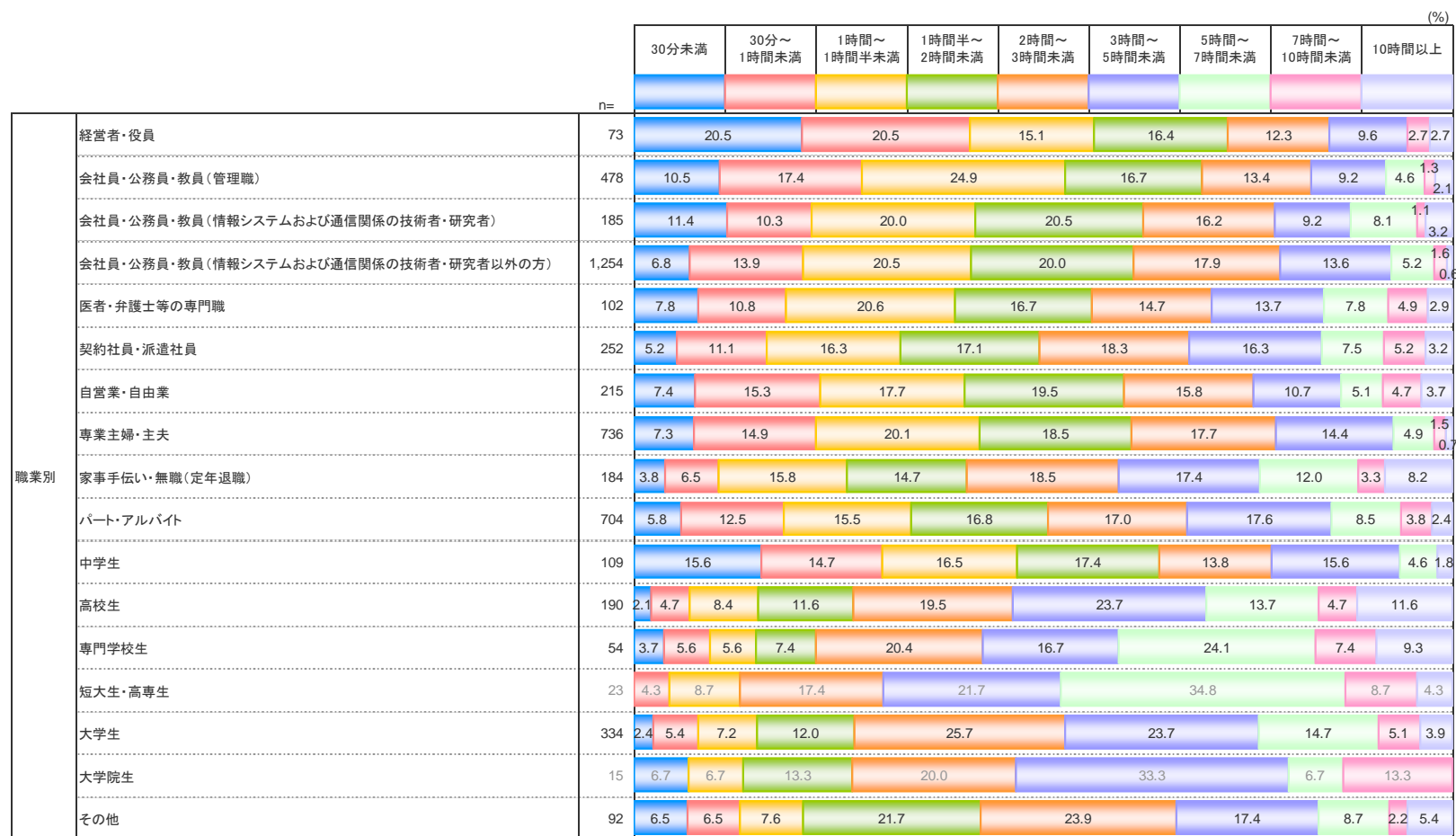
SQ.5 あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日(またはお仕事や学校などのある日)／休日(またはお仕事や学校などのない日)の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。(お答えはそれぞれひとつずつ)
 ※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。(SA)



5-1-5.スマートデバイスでのインターネット利用時間(休日)②

- 休日1日あたりのスマートデバイスでのインターネット利用時間を職業別で見ると、「経営者・役員」と「会社員・公務員・教員(管理職)」では、他の有職者と比べて、利用時間がやや短い。

SQ.5 あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日(またはお仕事や学校などのある日)／休日(またはお仕事や学校などのない日)の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。(お答えはそれぞれひとつずつ)
 ※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。(SA)

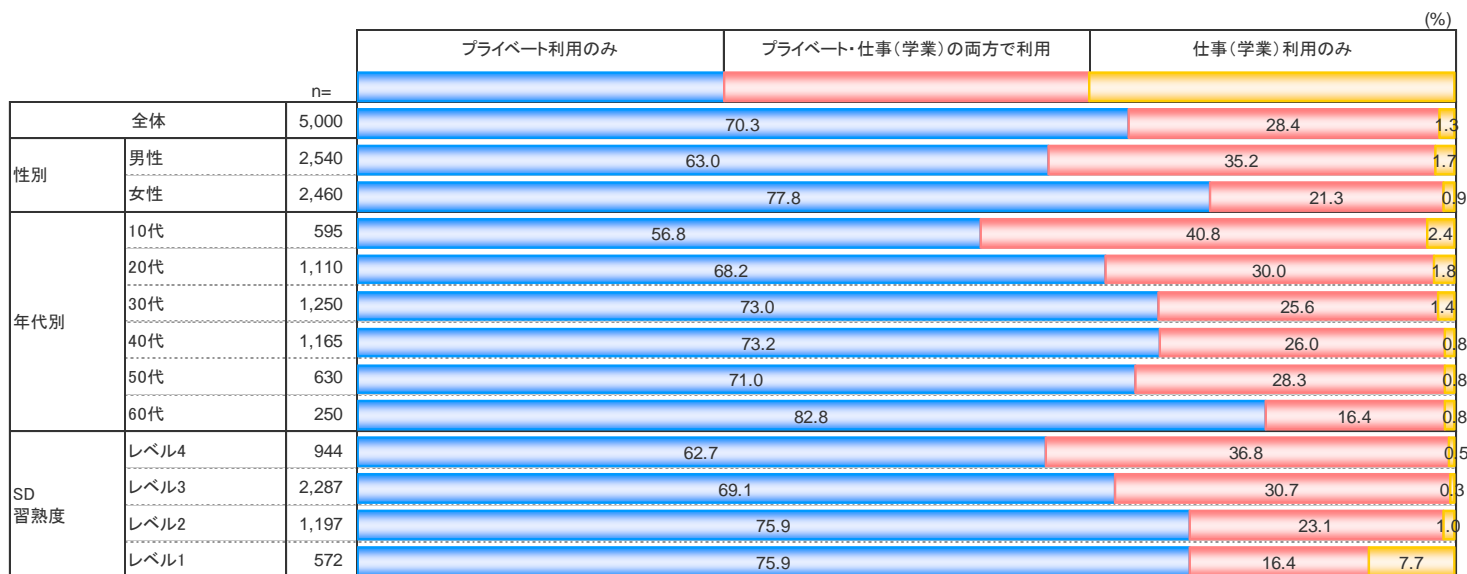
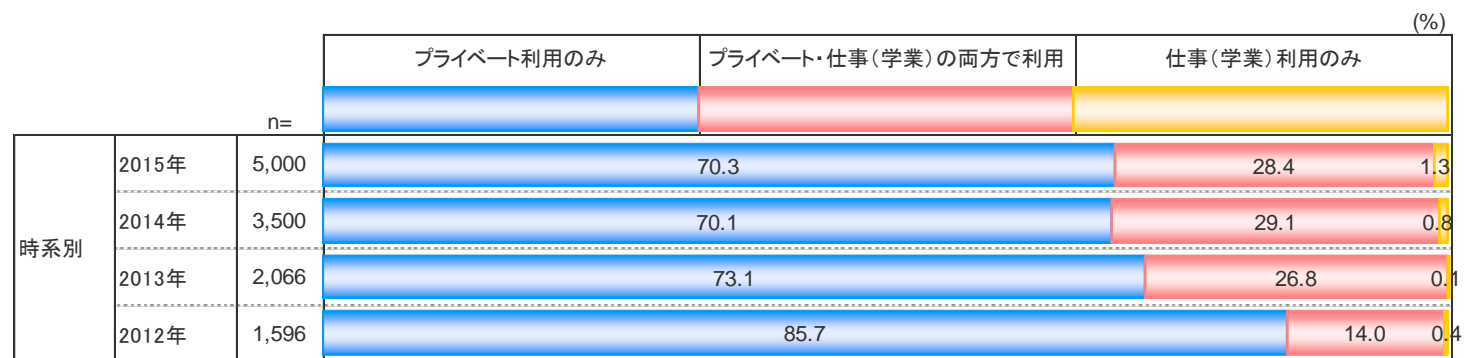


※n=30未満は参考値のため灰色。

5-1-6.スマートデバイスのプライベート／ビジネス使用

- スマートデバイスは、「プライベート利用のみ」(70.3%)が全体の7割を占める。「プライベート・仕事(学業)の両方で利用」(28.4%)は約3割。
- 2013年以降、ほぼ同様の結果が続いている。
 - ・ 性別で見ると、女性では、「プライベート利用のみ」(77.8%)が、男性に比べてやや高い。
 - ・ 年代別で見ると、10代では、「プライベート・仕事(学業)の両方で利用」(40.8%)、60代では、「プライベート利用のみ」(82.8%)の割合が、他の年代に比べて高い。

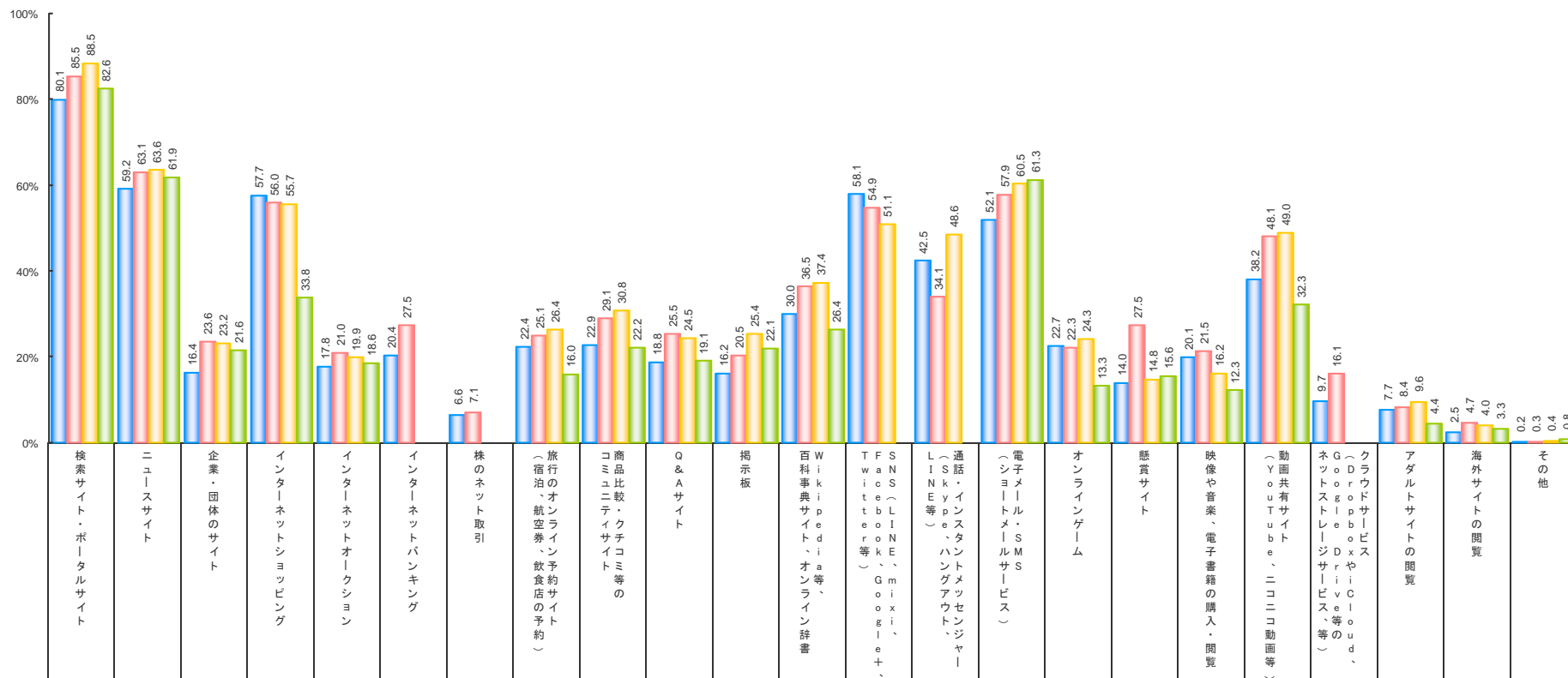
Q.4 お持ちのスマートデバイスはプライベート(家事も含む)利用ですか、仕事・学業でも利用しますか。あてはまるものを一つ選択してください。(SA)



5-1-7.インターネットの利用用途①

- スマートデバイスでのインターネットの利用用途は、「検索サイト・ポータルサイト」(80.1%)が最も高く、次いで「ニュースサイト」(59.2%)となり、上位は情報収集系の用途。3位以下は、「SNS」(58.1%)、「インターネットショッピング」(57.7%)、「電子メール・SMS」(52.1%)と続く。
- 過去の調査と比較すると、上位の用途や順位はほぼ同様の結果。「動画共有サイト」が、前回調査と比べて約10ポイント減少。

Q.5 スマートデバイスでインターネットを利用する際、どのようなことに利用していますか。あてはまるものをすべて選択してください。(MA)

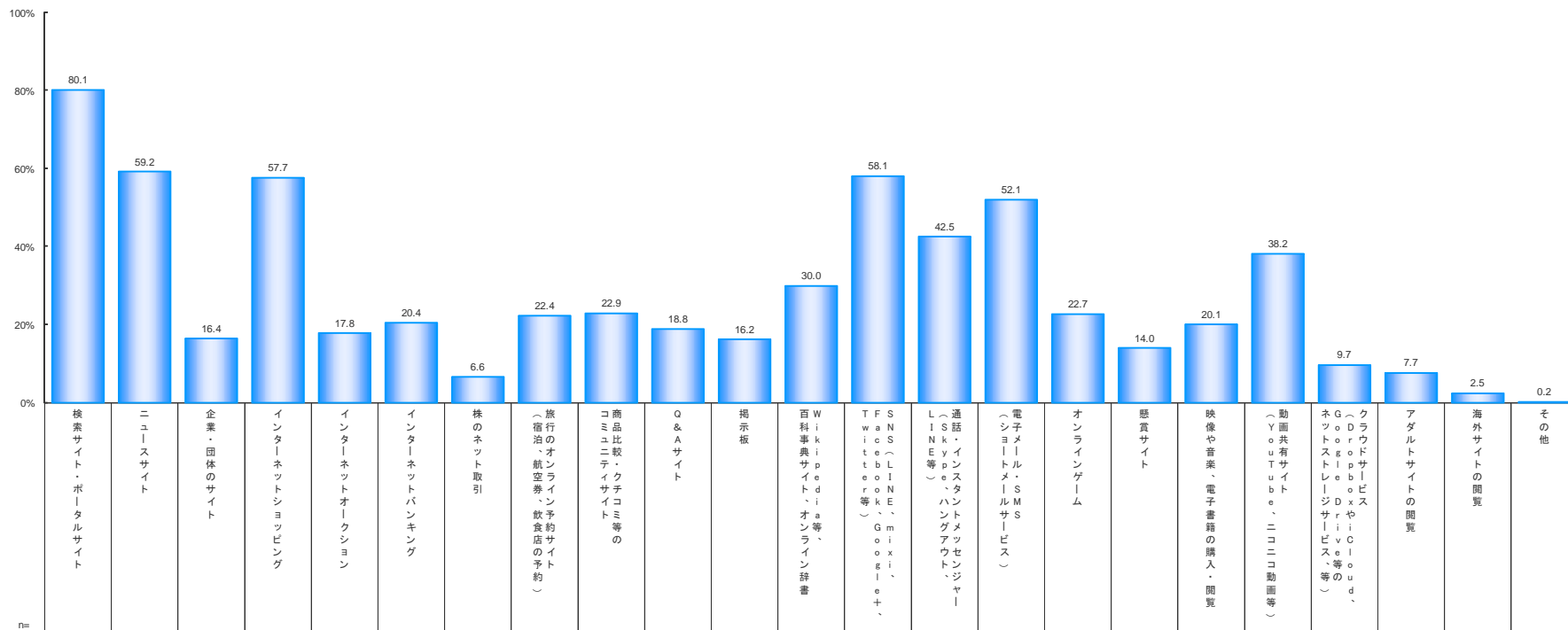


時系列	n=	利用用途																																
		検索サイト・ポータルサイト	ニュースサイト	企業・団体のサイト	インターネットショッピング	インターネットオークション	インターネットバンキング	株のネット取引	(宿泊、航空券、飲食店の予約)	旅行のオンライン予約サイト	商品比較・クチコミサイトの	QRコード	掲示板	百科事典サイト、オンライン辞書	Wikiipedia、	Twitter、	SNS(LINE、	LINE(等)	通話・インスタントメッセージ	(ショートメール・SMS)	電子メール・SMS	オンラインゲーム	音声サイト	映像や音楽、電子書籍の購入・閲覧	(等)動画共有サイト	動画共有サイト	ストリーミングサービスの	クラウドサービスの	アダルトサイトの閲覧	海外サイトの閲覧	その他			
2015年	5,000	80.1	59.2	16.4	57.7	17.8	20.4	6.6	22.4	22.9	18.8	16.2	30.0	58.1	42.5	52.1	22.7	14.0	20.1	38.2	9.7	7.7	2.5	0.2										
2014年	3,500	85.5	63.1	23.6	56.0	21.0	27.5	7.1	25.1	29.1	25.5	20.5	36.5	54.9	34.1	57.9	22.3	27.5	21.5	48.1	16.1	8.4	4.7	0.3										
2013年	2,066	88.5	63.6	23.2	55.7	19.9			26.4	30.8	24.5	25.4	37.4	51.1	48.6	60.5	24.3	14.8	16.2	49.0		9.6	4.0	0.4										
2012年	1,596	82.6	61.9	21.6	33.8	18.6			16.0	22.2	19.1	22.1	26.4			61.3	13.3	15.6	12.3	32.3		4.4	3.3	0.8										

5-1-7.インターネットの利用用途②

- スマートデバイスでのインターネットの利用用途を性別で見ると、女性は「インターネットショッピング」(64.2%)、「商品比較・クチコミ等のコミュニティサイト」(28.4%)、「SNS」(66.7%)、「通話・インスタントメッセージ」(49.2%)などの用途が、男性と比べて10ポイント以上高い。
- 年代別で見ると、「検索サイト・ポータルサイト」はどの年代もほぼ同じように利用が多いが、「ニュースサイト」は年代が上がるほど、「SNS」は年代が下がるほど、それぞれ利用割合が高い。

Q.5 スマートデバイスでインターネットを利用する際、どのようなことに利用していますか。あてはまるものをすべて選択してください。(MA)



n=30以上で
■ 全体+10pt以上
■ 全体+5pt以上
■ 全体-5pt以下
■ 全体-10pt以下

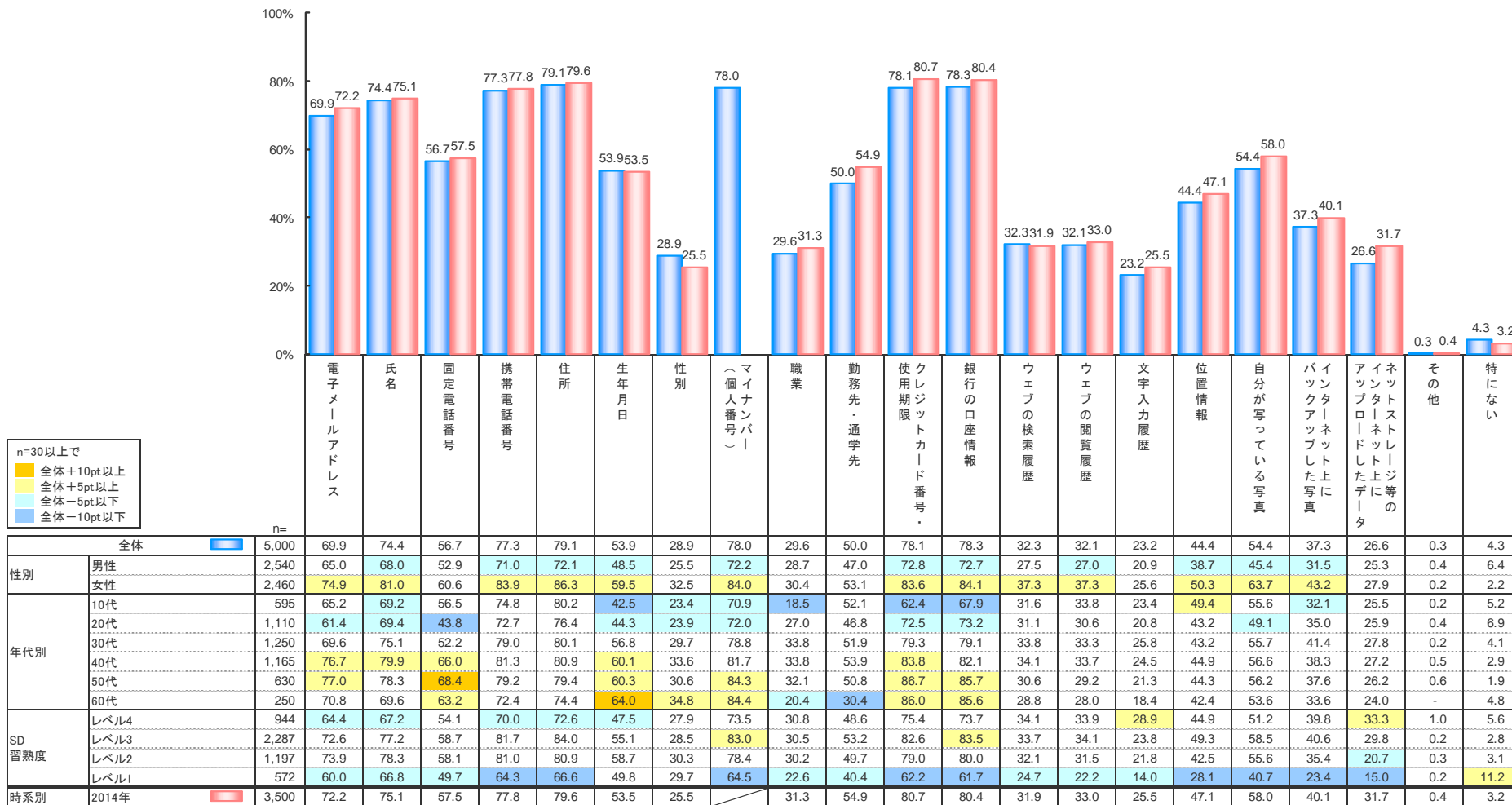
		n	検索サイト・ポータルサイト	ニュースサイト	企業・団体のサイト	インターネットショッピング	インターネットオークション	インターネットバンキング	株のネット取引	旅行のオンライン予約サイト等(宿泊・航空券・飲食店の予約)	商品比較・クチコミ等のコミュニティサイト	Q&Aサイト	掲示板	百科事典サイト、オンライン辞書	Twitter、Facebook、Google+、LINE、Gmail、LINE等	通話・インスタントメッセージ(LINE等)	電子メール・SMS(ショートメールサービス)	オンラインゲーム	懸賞サイト	映像や音楽、電子書籍の購入・閲覧	動画共有サイト(YouTube、ニコニコ動画等)	クラウドサービス(DropboxやiCloud、Google Drive等の)	アダルトサイトの閲覧	海外サイトの閲覧	その他	
性別	全体	5,000	80.1	59.2	16.4	57.7	17.8	20.4	6.6	22.4	22.9	18.8	16.2	30.0	58.1	42.5	52.1	22.7	14.0	20.1	38.2	9.7	7.7	2.5	0.2	
	男性	2,540	80.3	61.1	17.7	51.4	20.1	23.8	10.3	19.1	17.6	15.0	17.0	29.3	49.8	35.9	49.0	21.3	13.7	18.0	36.8	12.2	14.0	3.5	0.2	
	女性	2,460	79.8	57.2	15.0	64.2	15.3	16.9	2.8	25.8	28.4	22.6	15.4	30.7	66.7	49.2	55.3	24.1	14.3	22.2	39.8	7.2	1.2	1.6	0.2	
年代別	10代	595	72.8	37.1	12.9	39.2	8.7	5.5	0.7	9.9	14.8	20.8	18.8	38.3	70.8	45.4	45.9	32.6	11.8	25.2	53.8	8.9	9.6	2.0	-	
	20代	1,110	80.2	52.4	15.2	57.4	16.4	4.4	21.5	22.7	21.6	20.9	20.9	36.8	64.8	46.3	46.8	23.2	12.1	23.0	43.5	9.9	9.8	4.3	0.1	
	30代	1,250	80.1	62.2	17.0	62.7	20.9	22.9	8.4	24.0	26.3	19.5	15.4	29.8	59.7	45.3	51.7	23.3	13.6	19.6	36.7	9.3	8.6	2.3	0.2	
	40代	1,165	81.7	64.3	15.7	59.5	21.4	26.1	5.8	21.9	22.1	16.6	13.9	23.9	52.6	38.9	55.5	21.7	14.6	17.3	33.5	10.5	5.0	1.5	0.3	
	50代	630	83.8	71.1	20.8	60.8	17.6	23.8	10.0	27.5	24.3	17.0	13.5	23.8	49.7	38.1	58.6	18.6	17.8	18.9	30.5	9.0	7.5	2.4	0.2	
	60代	250	80.0	73.2	18.0	62.4	13.2	25.6	17.2	36.8	25.6	12.4	11.2	26.0	38.0	32.0	60.8	9.6	17.6	13.6	27.2	11.2	3.2	2.4	0.4	
SD 習熟度	レベル4	944	82.1	62.1	23.8	60.3	22.7	29.3	10.4	23.6	25.7	22.5	23.1	39.1	60.8	45.6	54.8	22.5	14.6	24.7	44.7	20.6	13.3	5.8	0.2	
	レベル3	2,287	85.3	63.2	18.2	61.9	19.6	21.4	6.3	25.1	28.3	22.2	18.5	35.5	66.2	49.7	59.1	28.5	16.1	24.4	45.5	10.4	4.4	8.1	2.2	0.2
	レベル2	1,197	77.5	58.3	11.0	56.1	14.2	16.5	5.6	21.2	17.4	15.4	11.2	21.6	51.5	34.8	48.4	16.9	11.8	13.2	29.1	3.3	4.3	0.4	0.1	
	レベル1	572	61.4	40.2	7.7	40.4	9.8	9.8	3.8	11.9	8.0	6.3	6.5	11.0	35.3	24.3	27.6	12.2	9.3	9.6	17.7	2.4	3.8	2.8	0.3	

5-1-8.インターネット上に漏えいしたら困る情報①

■ インターネット上に漏えいしたら困る情報は、「住所」(79.1%)と「銀行の口座情報」(78.3%)、「クレジットカード番号・使用期限」(78.1%)、「マイナンバー(個人番号)」(78.0%)が約8割でほぼ並ぶ。「ウェブの検索履歴」(32.3%)や「ウェブの閲覧履歴」(32.1%)など、インターネットを利用した際の履歴情報に対しては、あまり意識は高くない。前回調査とほぼ同様の結果となった。

・年代別で見ると、10代、20代は一般的に「困る」と思う割合が低く、40代以上になると「困る」と思う割合が高い。

Q.6 インターネット上に漏えいしたら困るものは何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。(MA)

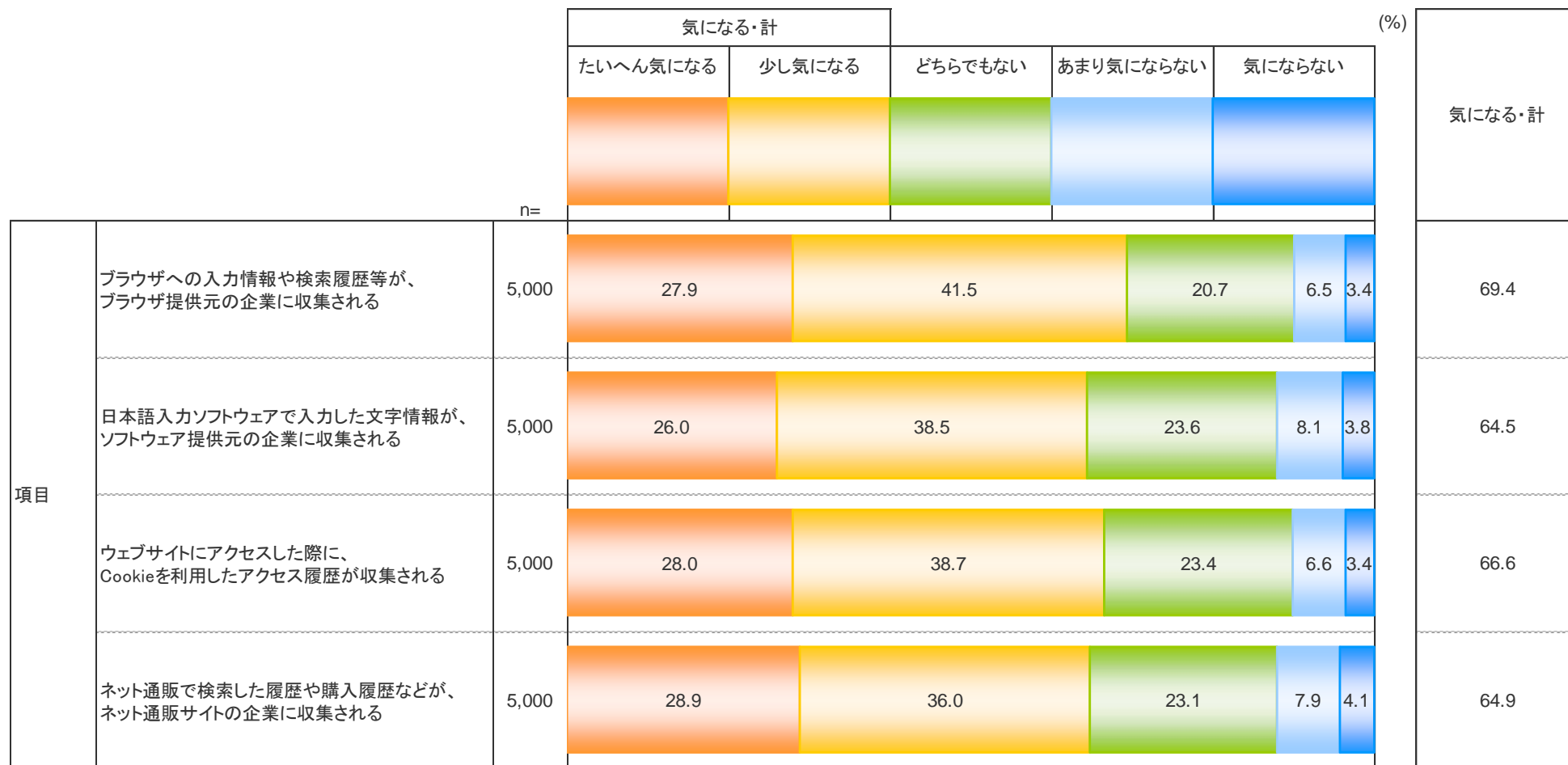


※「マイナンバー(個人番号)」は今回調査から追加された項目。

5-2.情報セキュリティの脅威に対する意識・被害状況・対策 5-2-1.ブラウザへの入力情報等が収集される行為に対する意識①

- ブラウザへの入力情報が収集される行為については、4つの収集行為のいずれに対しても、気になる(「たいへん気になる」+「少し気になる」)と回答した人の割合が6割以上。「ブラウザへの入力情報や検索履歴等が、ブラウザ提供元の企業に収集される」(69.4%)が最も高い。

Q.7 ブラウザへの入力情報、検索履歴、文字入力情報等が収集される行為についてどの様に感じますか。それぞれ、ひとつずつ選択してください。(各SA)

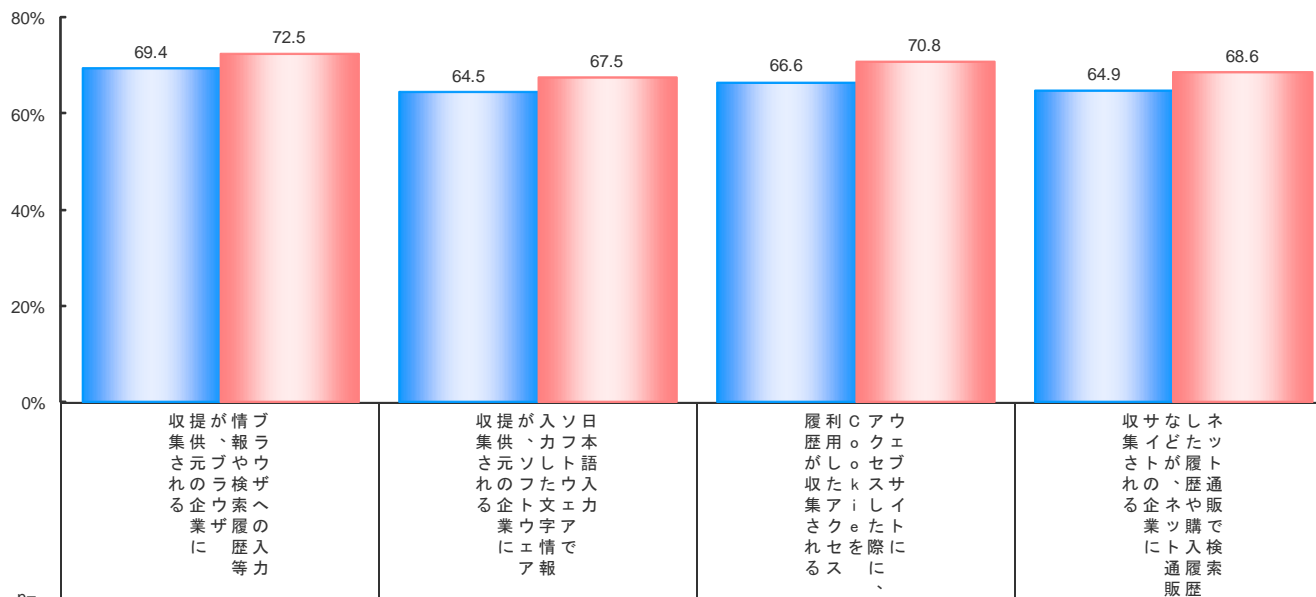


5-2-1.ブラウザへの入力情報が収集される行為に対する意識②

- ブラウザへの入力情報が収集される行為について、前回調査と比較すると、ほぼ差はなく、いずれの収集行為に対しても6割以上が「気になる」と回答している。
- 年代別で見ると、10代～20代は、40代以上と比較して、4つの収集行為のいずれに対しても、意識がやや低いものの、半数以上は「気になる」と回答している。

Q.7 ブラウザへの入力情報、検索履歴、文字入力情報等が収集される行為についてどの様に感じますか。それぞれ、ひとつずつ選択してください。(各SA)

※『気になる・計』スコア



n=30以上で

全体+10pt以上	全体+5pt以上	全体-5pt以下	全体-10pt以下
-----------	----------	----------	-----------

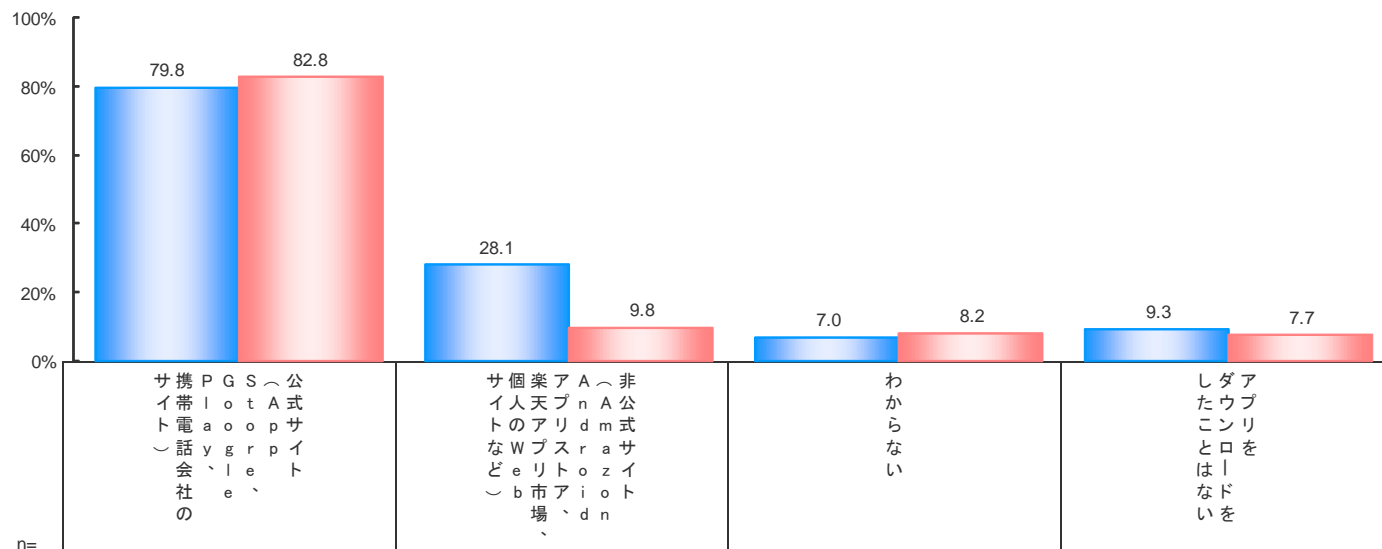
		n=	69.4	64.5	66.6	64.9
全体		5,000	69.4	64.5	66.6	64.9
性別	男性	2,540	65.0	61.1	61.9	59.6
	女性	2,460	74.0	68.0	71.5	70.3
年代別	10代	595	61.3	57.6	58.2	52.3
	20代	1,110	64.4	58.3	60.9	58.4
	30代	1,250	69.4	64.5	65.2	65.1
	40代	1,165	74.6	70.2	73.6	71.1
	50代	630	74.4	70.2	73.0	72.9
	60代	250	74.8	67.6	70.8	73.6
SD 習熟度	レベル4	944	69.2	65.6	67.1	63.3
	レベル3	2,287	72.5	66.5	68.6	66.8
	レベル2	1,197	70.2	64.4	67.5	67.1
	レベル1	572	56.1	54.9	55.9	55.1
時系列	2014年	3,500	72.5	67.5	70.8	68.6

5-2-2.アプリダウンロードサイト

■ アプリをダウンロードしたことがあるサイトは、「公式サイト」(79.8%)が「非公式サイト」(28.1%)を大きく上回るものの、「非公式サイト」は前回調査から約20ポイントと大きく増加。

- ・ 年代別で見ると、いずれの年代でも「公式サイト」の利用率が高い。
- ・ SD習熟度別で見ると、レベルが高い層ほど、「公式サイト」の割合が高く、レベルが低くなると、「わからない」、「ダウンロードしたことはない」の割合が高い。

Q.8 次のうち、アプリをダウンロードしたことがあるサイトをすべて選択してください。(MA)



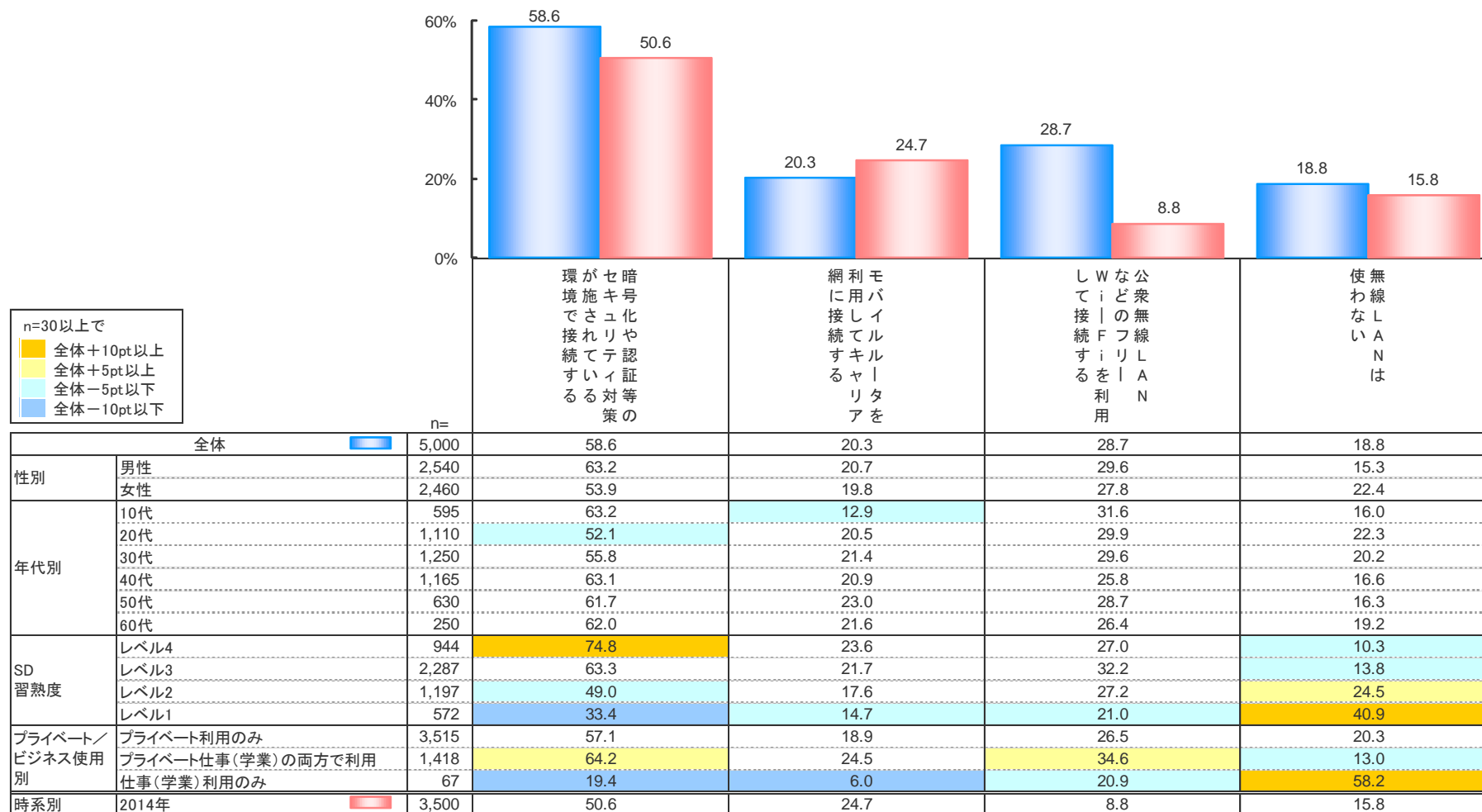
n=30以上で
 全体+10pt以上
 全体+5pt以上
 全体-5pt以下
 全体-10pt以下

		n=	公式サイト (%)	非公式サイト (%)	わからない (%)	ダウンロードしたことはない (%)
全体		5,000	79.8	28.1	7.0	9.3
性別	男性	2,540	82.8	26.5	4.8	9.0
	女性	2,460	76.6	29.7	9.3	9.6
年代別	10代	595	81.5	25.4	6.2	8.4
	20代	1,110	80.3	28.8	5.9	10.3
	30代	1,250	80.5	29.3	6.2	9.4
	40代	1,165	80.9	27.3	6.5	8.6
	50代	630	77.9	26.7	10.2	8.1
	60代	250	69.2	32.0	12.4	12.4
SD習熟度	レベル4	944	88.2	32.0	2.1	6.9
	レベル3	2,287	89.1	30.5	4.0	3.5
	レベル2	1,197	68.8	24.9	12.5	13.5
	レベル1	572	51.6	18.4	15.7	27.8
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	3,515	78.8	26.0	7.6	10.0
	プライベート仕事(学業)の両方で利用	1,418	84.9	34.1	5.1	5.3
	仕事(学業)利用のみ	67	19.4	9.0	16.4	58.2
時系列	2014年	3,500	82.8	9.8	8.2	7.7

5-2-3.無線LAN(Wi-Fi)接続時の環境

- 無線LAN(Wi-Fi)接続時の環境は、「暗号化や認証等のセキュリティ対策が施されている環境で接続する」(58.6%)が最も高く、次いで「公衆無線LANなどフリーWi-Fiを利用して接続する」(28.7%)が高い。
- 前回調査と比較すると、「公衆無線LANなどフリーWi-Fiを利用して接続する」が約20ポイントと大きく増加。
 - ・SD習熟度別で見ると、レベル4では、「暗号化や認証等のセキュリティ対策が施されている環境で接続する」(74.8%)が、全体より高い。
 - ・プライベート/ビジネス使用別で見ると、仕事(学業)利用のみの層では、「無線LANは使わない」(58.2%)の割合が高い。

Q.9 無線LAN(Wi-Fi)を使ってスマートデバイスをインターネットに接続する際に、あてはまるものをすべて選択してください。(MA)

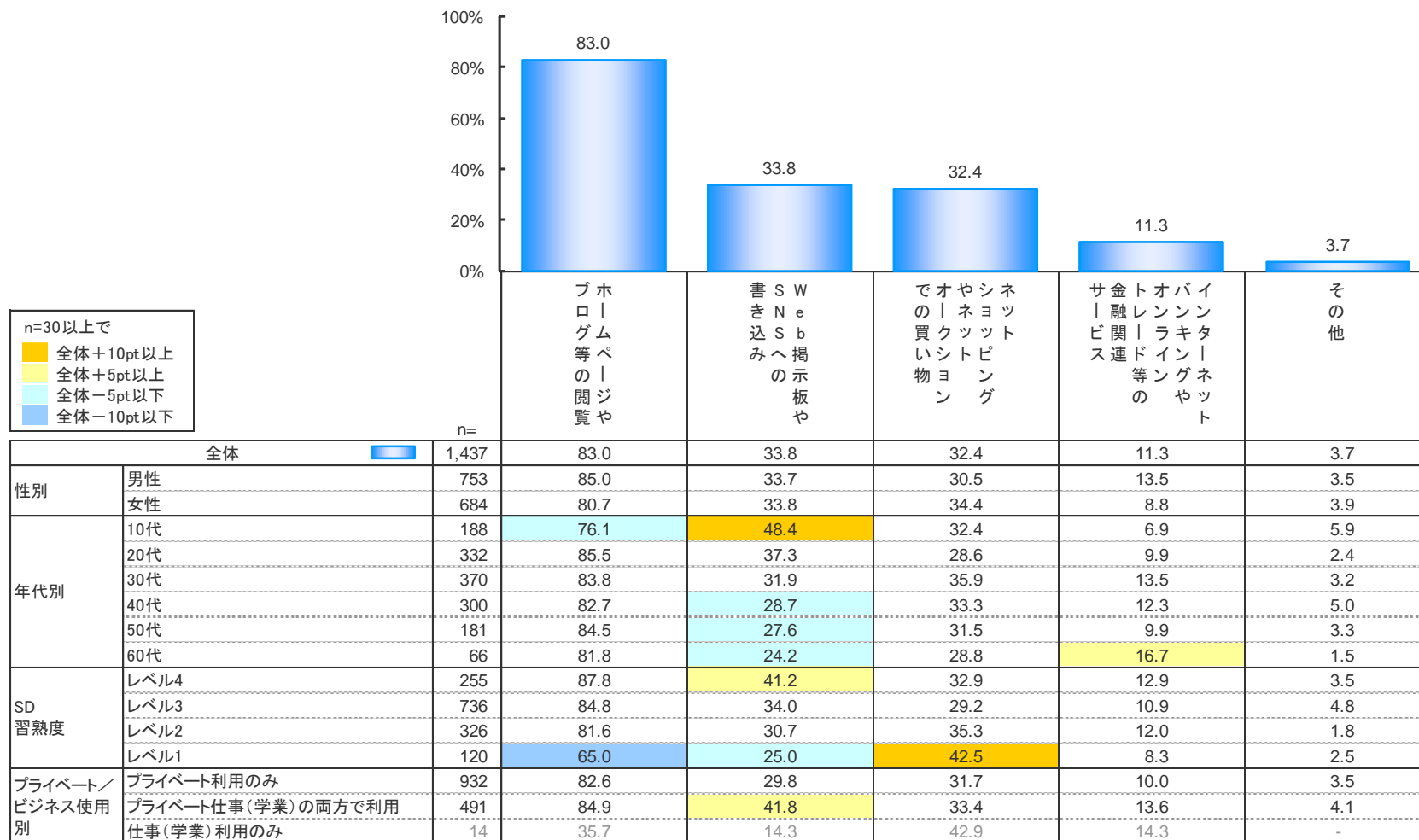


5-2-4.公衆無線LAN(Wi-Fi)接続時に利用しているサービス

■ 公衆無線LAN(Wi-Fi)接続時に利用しているサービスは、「ホームページやブログ等の閲覧」(83.0%)が最も高い。次いで「Web掲示板やSNSへの書き込み」(33.8%)、「ネットショッピングやネットオークションでの買い物」(32.4%)が約3割。

・年代別で見ると、10代では、「Web掲示板やSNSへの書き込み」(48.4%)が約半数と、他の年代に比べて高い。

Q.10 公衆無線LANなどのフリーWi-Fiを利用する際にどのようなサービスを利用していますか。あてはまるものをすべて選択してください。(MA)



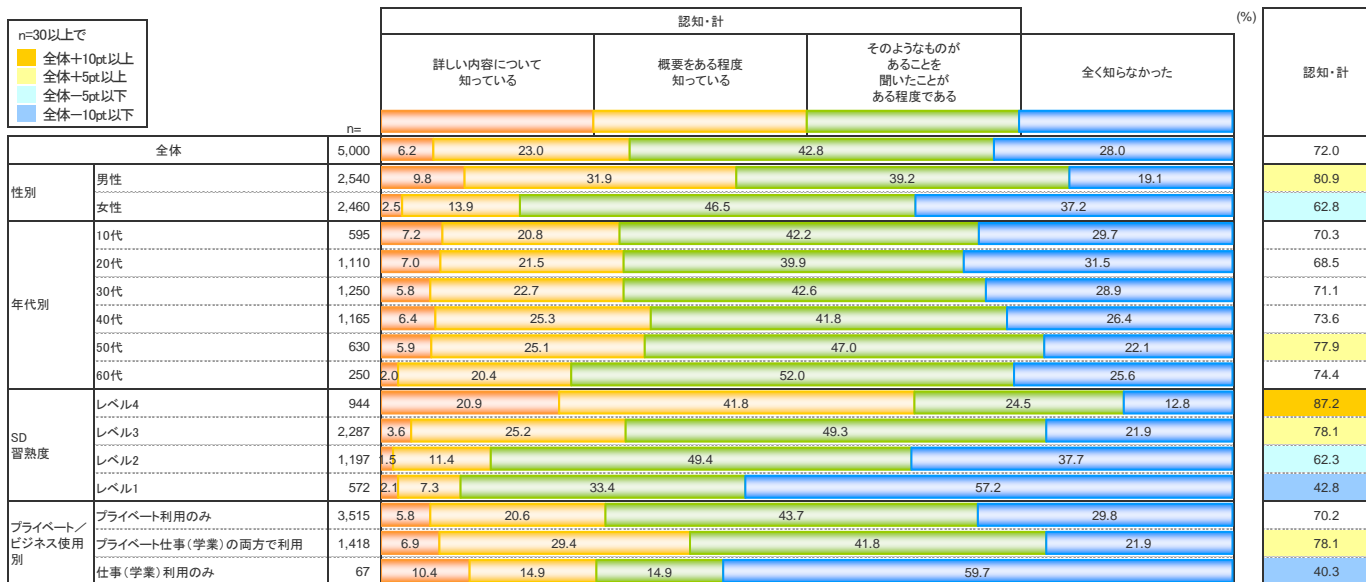
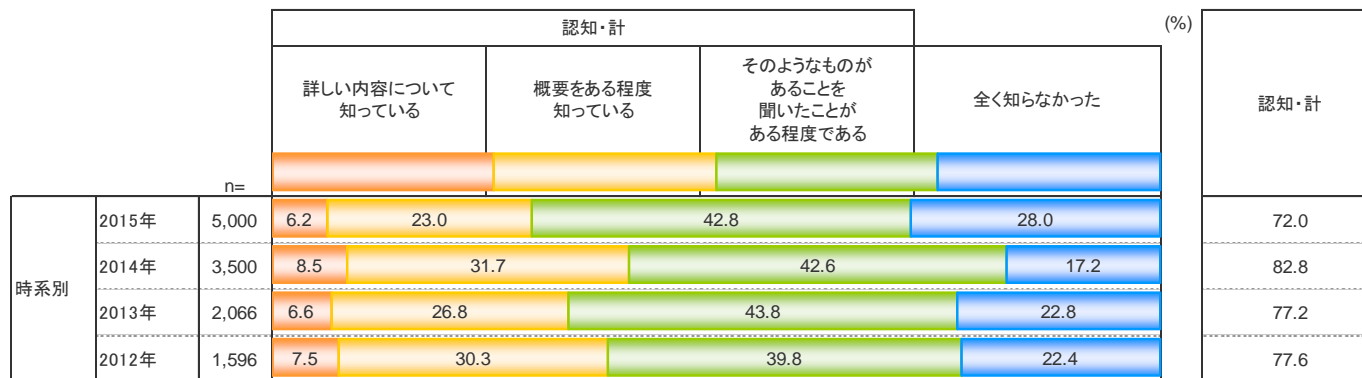
※n=30未満は参考値のため灰色。

5-2-5.スマートデバイスのウイルス認知

■ スマートデバイスのウイルスの認知率(「詳しい内容について知っている」+「概要をある程度知っている」+「そのようなものがあることを聞いたことがある程度である」)は、約7割。前回調査から約11ポイント減少。

- ・年代別で見ると、最も認知率の低い20代と、最も認知率の高い50代では、約10ポイントの開きが見られる。
- ・SD習熟度別で見ると、レベルの高い層ほど認知率が高く、レベル4では、約9割が認知。

Q.11 スマートデバイスをターゲットとしたウイルス(マルウェア)があることをご存知でしたか。(SA)



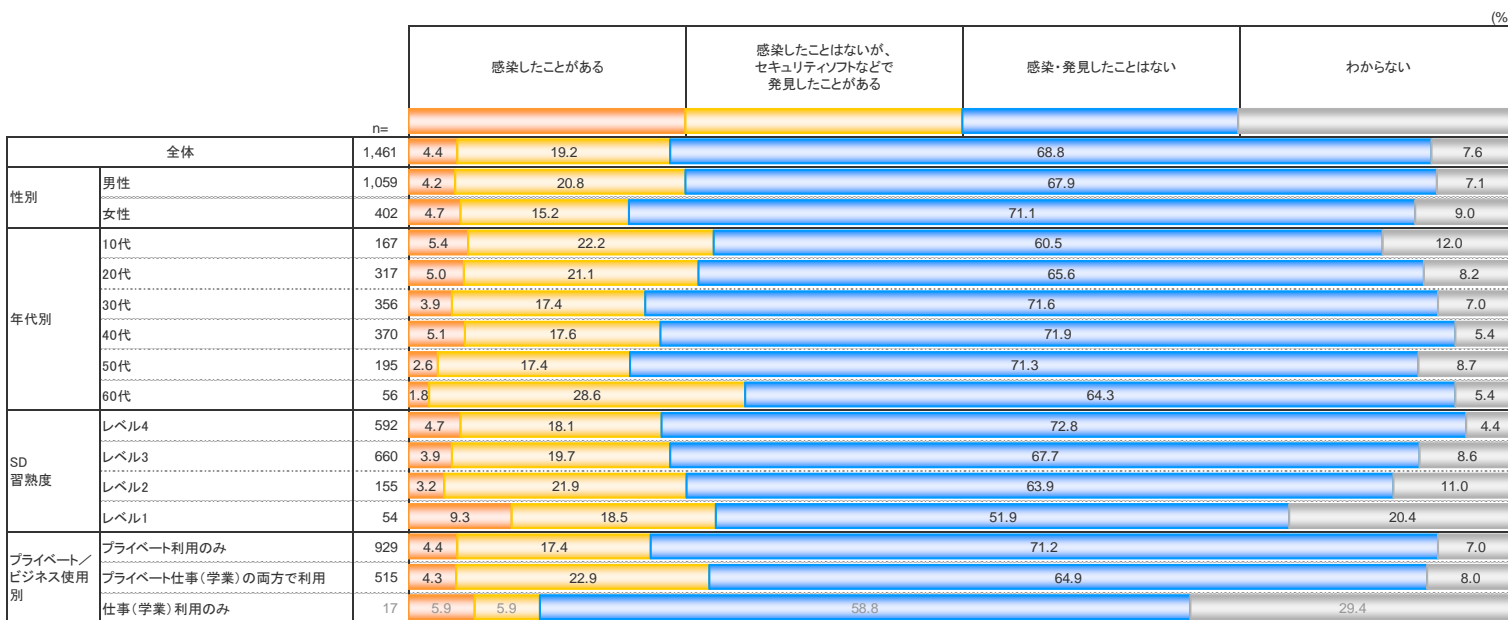
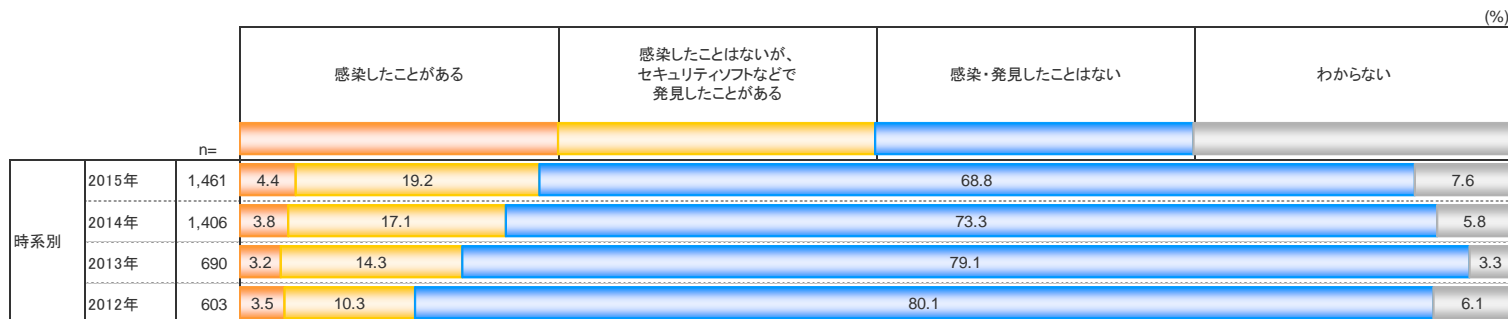
5-2-6.スマートデバイスのウイルス感染経験

■ スマートデバイスのウイルス感染経験は、「感染したことがある」(4.4%)、「感染したことはないが、セキュリティソフトなどで発見したことがある」(19.2%)で、感染経験、発見経験ともに、年々増加。

- ・年代別で見ると、60代で発見したことがある割合が高い。
- ・SD習熟度別で見ると、レベル1では、感染経験、発見経験ともに高い。

Q.12 スマートデバイスでウイルス(マルウェア)に感染したことがありますか。(SA)

【Q.11で「詳しい内容について知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人ベース】



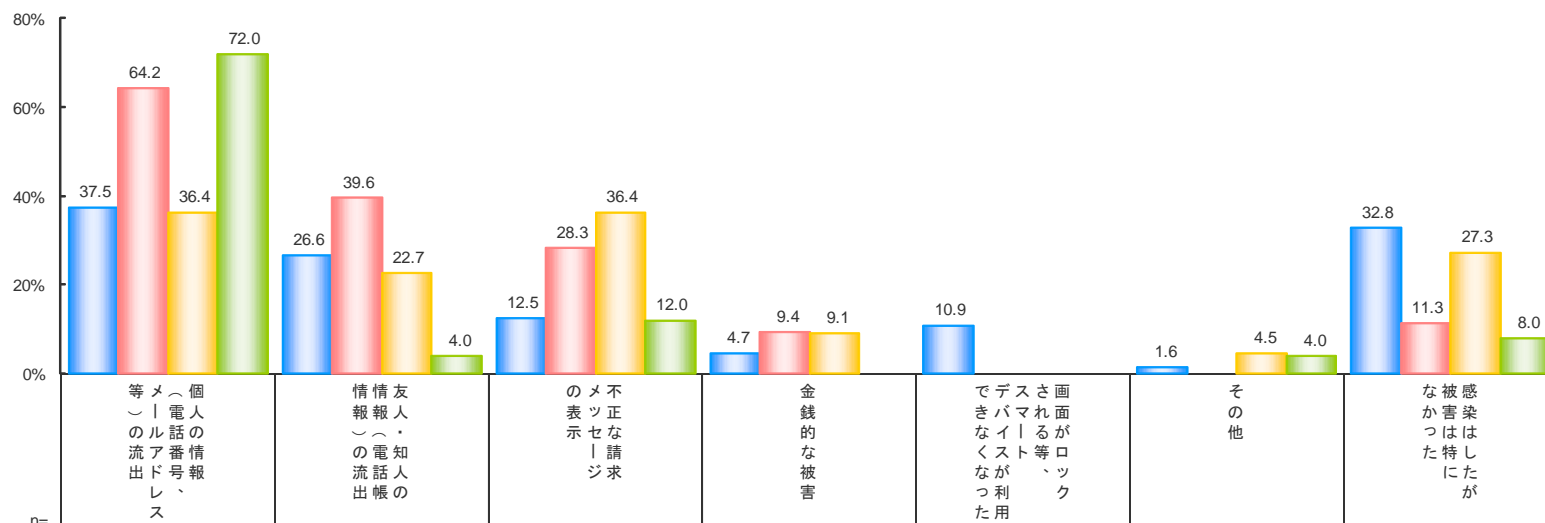
※n=30未満は参考値のため灰色。

5-2-7.スマートデバイスのウイルス感染時の被害状況

- スマートデバイスのウイルス感染時の被害は、「個人情報の流出」(37.5%)が最も高く、次いで「友人・知人の情報の流出」(26.6%)、「不正な請求メッセージの表示」(12.5%)と続く。「感染はしたが被害は特になかった」(32.8%)が3割を超え、前回調査から約22ポイント増加。

Q.13 感染したことによりどのような被害がありましたか。あてはまるものをすべて選択してください。(MA)

【Q.12で「感染したことがある」と回答した人ベース】



n=30以上で
■ 全体+10pt以上
■ 全体+5pt以上
■ 全体-5pt以下
■ 全体-10pt以下

		全体	全体+10pt以上	全体+5pt以上	全体-5pt以下	全体-10pt以下
性別		64				
	男性	45	44.4	26.7	13.3	4.4
	女性	19	21.1	26.3	10.5	5.3
年代別						
	10代	9	66.7	11.1	-	-
	20代	16	37.5	50.0	25.0	12.5
	30代	14	28.6	35.7	21.4	7.1
	40代	19	26.3	10.5	5.3	-
	50代	5	60.0	20.0	-	-
	60代	1	-	-	-	-
SD習熟度						
	レベル4	28	53.6	35.7	17.9	10.7
	レベル3	26	26.9	19.2	11.5	-
	レベル2	5	20.0	20.0	-	-
	レベル1	5	20.0	20.0	-	-
プライベート/ビジネス使用別						
	プライベート利用のみ	41	39.0	26.8	14.6	2.4
	プライベート仕事(学業)の両方で利用	22	31.8	27.3	9.1	9.1
	仕事(学業)利用のみ	1	100.0	-	-	-
時系別						
	2014年	53	64.2	39.6	28.3	9.4
	2013年	22	36.4	22.7	36.4	9.1
	2012年	25	72.0	4.0	12.0	-

※n=30未満は参考値のため灰色。

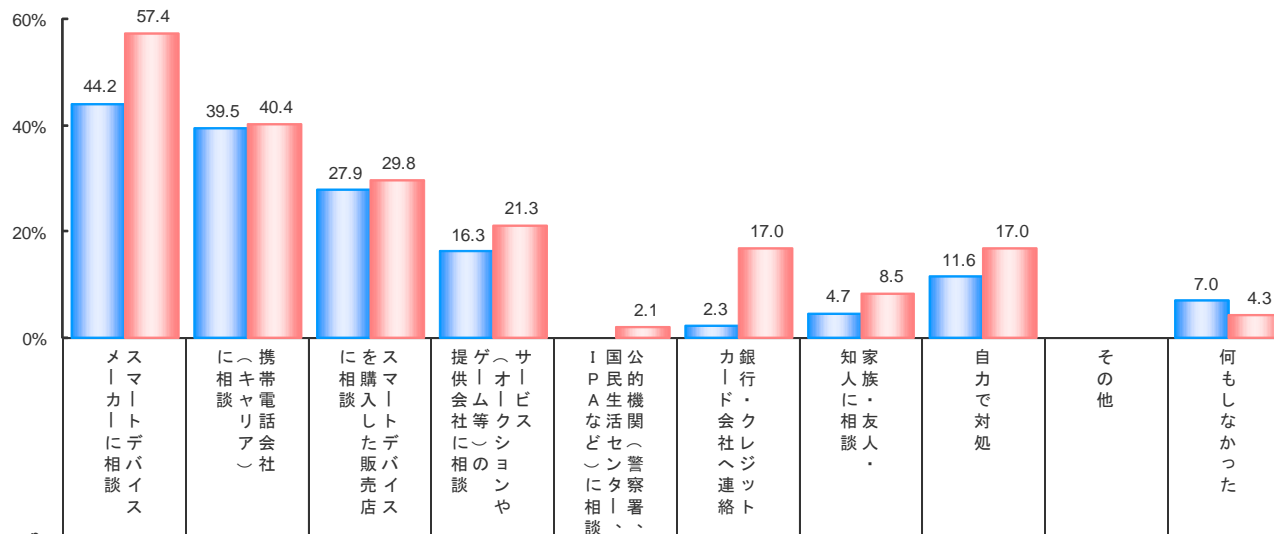
※「画面がロックされる等、スマートデバイスが利用できなくなった」は今回調査から追加された項目。

5-2-8.セキュリティ被害・トラブル時の対処法

■ セキュリティ被害・トラブル時の対処法は、「スマートデバイスメーカーに相談」(44.2%)が最も高く、次いで「携帯電話会社に相談」(39.5%)、「スマートデバイスを購入した販売店に相談」(27.9%)と続く。

Q.14 Q.13でお答えになった被害やトラブルにあったときに、あなたがとった対処方法を以下からすべて選択してください。(MA)

【Q13で「感染はしたが被害は特になかった」以外を回答した人ベース】



n=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

		n=	43	44.2	39.5	27.9	16.3	-	2.3	4.7	11.6	-	7.0
性別	男性	29	48.3	41.4	34.5	13.8	-	3.4	3.4	10.3	-	3.4	
	女性	14	35.7	35.7	14.3	21.4	-	-	7.1	14.3	-	14.3	
年代別	10代	7	71.4	28.6	14.3	14.3	-	-	-	14.3	-	-	
	20代	13	46.2	46.2	23.1	30.8	-	7.7	7.7	15.4	-	-	
	30代	9	33.3	55.6	44.4	22.2	-	-	-	-	-	-	
	40代	11	36.4	27.3	27.3	-	-	-	9.1	18.2	-	18.2	
	50代	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	
	60代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SD習熟度	レベル4	23	52.2	43.5	34.8	17.4	-	4.3	4.3	17.4	-	-	
	レベル3	13	23.1	53.8	23.1	15.4	-	-	-	-	-	15.4	
	レベル2	3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	
	レベル1	4	75.0	-	-	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	
プライベート/ビジネス利用別	プライベート利用のみ	29	48.3	44.8	27.6	13.8	-	-	3.4	6.9	-	3.4	
	プライベート仕事(学業)の両方で利用	13	30.8	30.8	30.8	23.1	-	7.7	7.7	23.1	-	15.4	
	仕事(学業)利用のみ	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
時系別	2014年	47	57.4	40.4	29.8	21.3	2.1	17.0	8.5	17.0	-	4.3	

※n=30未満は参考値のため灰色。

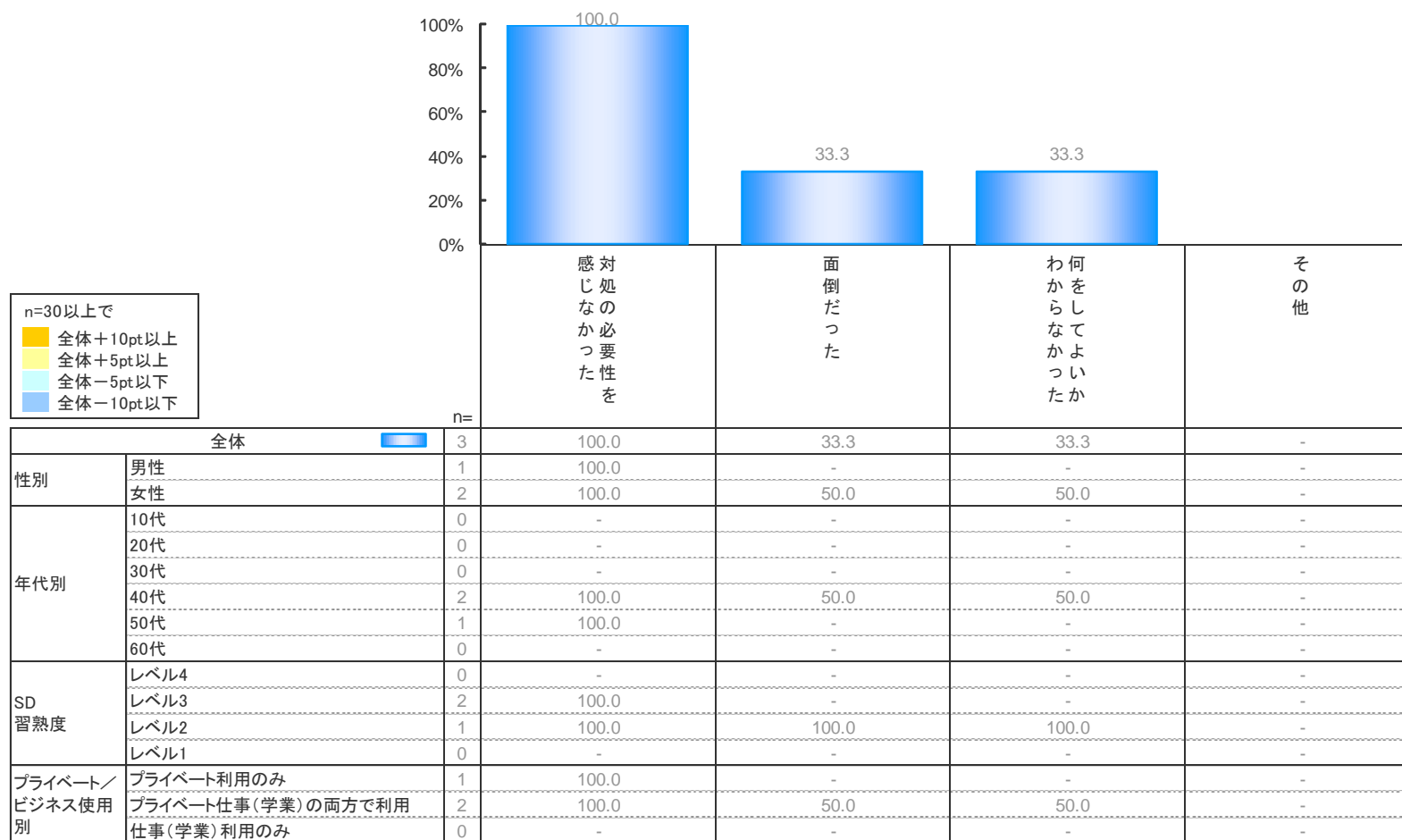
5-2-9.セキュリティ被害・トラブル時に対処をしなかった理由

- セキュリティ被害・トラブル時に対処をしなかった理由としては、「対処の必要性を感じなかった」(100.0%)が最も高く、次いで「面倒だった」(33.3%)、「何をしてもよいかわからなかった」(33.3%)が続く。

※サンプル数が少ないため本結果は参考値

Q.15 対処を何もしなかった理由をすべて選択してください。(MA)

【Q.14で「何もしなかった」と回答した人ベース】



※n=30未満は参考値のため灰色。

5-2-10.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額

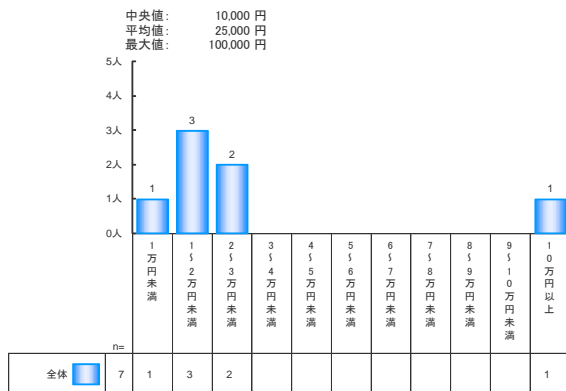
- スマートデバイス利用者の情報セキュリティに関する金銭的被害としては、「ホームページ閲覧中に表示された、契約した覚えのない料金支払い要求メッセージ」の件数が最も多く、最大被害額は10万円となった。

※サンプル数が少ないため本結果は参考値
※被害金額の回答があった項目のみを記載

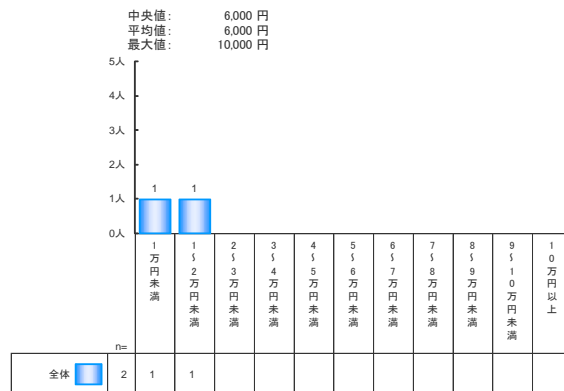
Q.16 Q.13でお答えの情報セキュリティに関するトラブルや金銭的な被害について、過去1年間で被った具体的な被害額をご記入ください。
※金銭的な被害を被っていないトラブルについては「0円」とご記入ください。(NU)

【Q.13で「不正な請求メッセージの表示」または「金銭的な被害」と回答した人ベース】

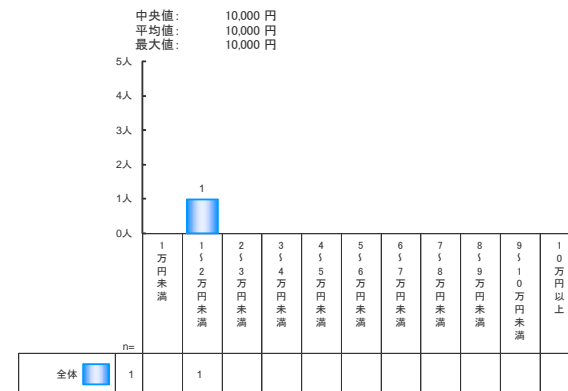
ホームページ閲覧中に表示された、
契約した覚えのない料金支払い要求メッセージ



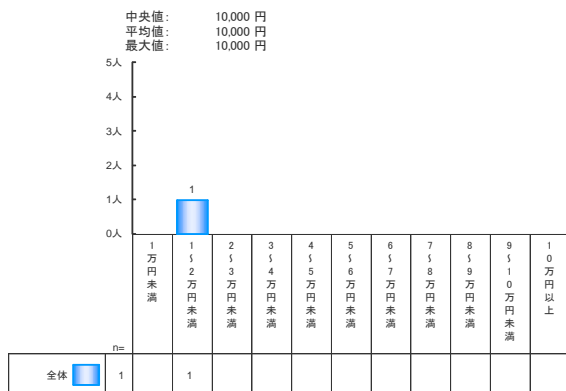
動画を再生中に途中で止まり、
料金請求画面が表示された



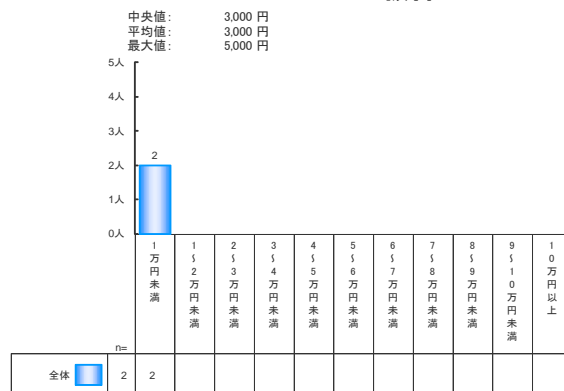
ホームページでは無料となっていたのに、
アクセスしたら後日請求された



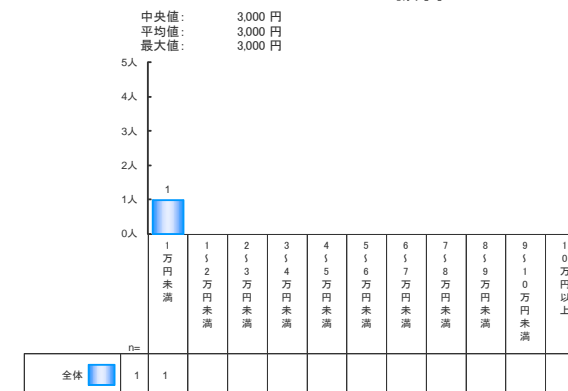
無料の動画をダウンロードしたら、
後日料金請求を受けた



オンラインゲームでの被害



ネットオークションでの被害

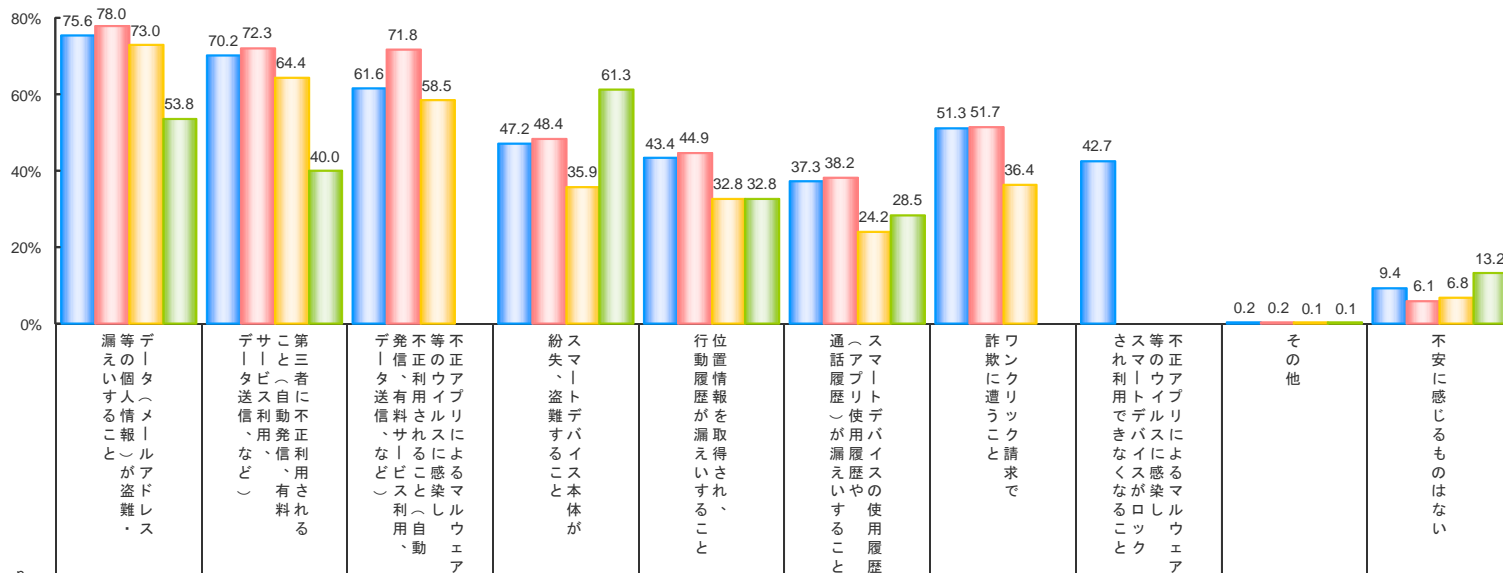


※数値は金銭的被害にあった人数(n数)。

5-2-11.スマートデバイス利用時の不安

- スマートデバイス利用時に感じる不安は、「データが盗難・漏えいすること」(75.6%)が最も高く、次いで「第三者に不正利用されること」(70.2%)、「不正アプリによるマルウェア等のウイルスに感染し不正利用されること」(61.6%)と続く。
- 過去の調査と比較すると、「不正アプリによるマルウェア等のウイルスに感染し不正利用されること」が、前回調査と比べて約10ポイント減少。
 - ・年代別で見ると、50代以上は全般的に不安に思う項目が多い。

Q.17 スマートデバイスを利用する上で、どのようなことに不安を感じますか。あてはまるものをすべて選択してください。(MA)



n=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

		全体	75.6	70.2	61.6	47.2	43.4	37.3	51.3	42.7	0.2	9.4
性別	男性	2,540	69.5	65.4	58.0	44.2	36.9	32.8	43.9	37.7	0.2	12.2
	女性	2,460	81.8	75.0	65.4	50.2	50.1	42.0	59.0	47.9	0.2	6.4
年代別	10代	595	72.3	66.6	57.8	48.4	47.1	34.1	50.6	40.7	0.2	11.8
	20代	1,110	70.5	61.3	54.2	43.2	38.1	32.9	43.7	36.0	0.2	13.2
	30代	1,250	75.7	70.8	61.0	47.8	44.4	39.3	49.0	41.8	-	9.4
	40代	1,165	80.3	75.0	66.2	49.3	46.4	40.6	56.7	47.0	0.3	7.0
	50代	630	78.6	76.5	68.3	50.0	44.1	38.9	57.3	47.9	0.3	5.6
	60代	250	75.6	76.4	68.0	42.0	36.8	36.0	57.6	48.4	0.8	7.2
SD 習熟度	レベル4	944	69.7	65.0	58.7	46.4	41.2	35.2	42.2	38.5	0.3	13.1
	レベル3	2,287	81.2	76.2	67.6	52.4	48.0	40.0	57.2	48.0	0.1	5.6
	レベル2	1,197	77.1	70.8	60.2	44.7	43.4	38.6	53.9	42.4	0.3	8.0
	レベル1	572	59.4	53.3	45.3	32.9	28.5	27.6	37.4	29.2	0.2	21.0
プライベート/ ビジネス使用 別	プライベート利用のみ	3,515	76.6	70.4	61.3	46.1	42.8	36.2	51.4	42.5	0.2	8.9
	プライベート仕事(学業)の両方で利用	1,418	75.7	72.0	64.4	51.5	46.4	41.0	52.6	44.7	0.2	8.6
	仕事(学業)利用のみ	67	19.4	17.9	17.9	13.4	9.0	16.4	16.4	13.4	-	47.8
時系列	2014年	3,500	78.0	72.3	71.8	48.4	44.9	38.2	51.7	42.7	0.2	6.1
	2013年	2,066	73.0	64.4	58.5	35.9	32.8	24.2	36.4	-	0.1	6.8
	2012年	1,596	53.8	40.0	61.3	61.3	32.8	28.5	-	-	0.1	13.2

※「不正アプリによるマルウェア等のウイルスに感染しスマートデバイスがロックされ利用できなくなること」は今回調査から追加された項目。

5-2-12.ルート化やJailbreakの設定経験

■ ルート化やJailbreakの設定経験は、「している」(5.7%)、「していない」(31.6%)で、経験の有無を問わずルート化やJailbreak を認知している人は約4割に留まる。「ルート化やJail Breakがどういうことか、わからない」の割合は前回調査よりも増加。

・年代別で見ると、いずれの年代でも「ルート化やJail Breakがどういうことか、わからない」が約6割。

Q.18 スマートデバイスに対して、Androidならばルート化、iOSならばJailBreakをしていますか。(SA)

【Q.1で「iOS(iPhoneシリーズ、iPadシリーズ)」または「Android(Galaxy、AQUOS PHONE、XPERIA、REGZA、等)」と回答した人ベース】

			(%)		
			している	していない	ルート化やJail Breakがどういうことか、わからない
n=					
全体		4,507	5.7	31.6	62.7
性別	男性	2,302	7.1	42.2	50.7
	女性	2,205	4.4	20.5	75.2
年代別	10代	545	7.0	27.0	66.1
	20代	1,032	5.8	30.1	64.1
	30代	1,157	5.8	30.0	64.2
	40代	1,050	6.4	34.3	59.3
	50代	543	3.9	35.9	60.2
	60代	180	3.3	34.4	62.2
SD 習熟度	レベル4	884	12.2	55.5	32.2
	レベル3	2,163	4.7	28.2	67.2
	レベル2	1,029	3.4	22.0	74.6
	レベル1	431	3.5	22.3	74.2
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	3,182	5.2	30.7	64.1
	プライベート仕事(学業)の両方で利用	1,290	6.9	33.7	59.4
	仕事(学業)利用のみ	35	14.3	25.7	60.0
時系別	2014年	3,154	7.0	35.1	57.9

5-2-13.スマートデバイスのセキュリティ対策の実施状況

- スマートデバイスのセキュリティ対策は、「OSのアップデート」(40.7%)と「信頼できる場所からアプリをインストールする」(40.6%)がほぼ同率で並ぶ。次いで「インストールしたアプリのアップデート」(36.5%)が続く。「特にない」(26.6%)は3割未満に留まる。
- 前回調査と比べて実施率が下がっている項目が目立つ。「特にない」も、前回調査と比べて、約9ポイント増加。「インストールしたアプリのアップデート」は前回調査とほぼ同程度実施されている。
- SD習熟度別で見ると、レベルが上がるほど実施している対策が増加。

Q.19 あなた自身が所有するスマートデバイスや自宅のネットワークについて、現在実施しているセキュリティ対策をすべて選択してください。(MA)

